知書

組合之印

何郡畜産同業組合長印

領收書

第　號	大正　年度	面　里　某納

一金貳拾錢也　畜産同業組合費

大正　年　月　日領收

何郡畜産同業組合長印

第二號様式　手数料徴收原符

第　號	大正　年　月　日　市場

賣買畜牛

性	年齢	毛色	價額	仲介人氏名	取扱者印

賣買主	住所	氏名
賣主	郡　面　里	
買主	郡　面　里	

一金　圓　錢也　仲介手数料

備考

一、本紙ハ複寫紙ヲ以テ記入シ一枚ハ納入者ニ一枚ハ原符トシテ組合ニ保存スヘシ

〔忠南例〕

一金　圓　錢也

右領收候也

大正　年　月　日

市場税

何郡畜産同業組合印

市場管理人（面長）印

〔忠南例〕

第三號様式　收入決議書

長合組	第　號　收		
	大正　年度歳入經常部		
	款		
	項		
長副合組	目		
	發議	年　月　日	
	記帳	年　月　日	
	收	年　月　日	
	入		
係	摘要		人納

一金

第四號様式　支出決議書

長合組	長副合組	係

第一號支		
大正　年度歳出經常部		
款		
項		
目		
發議	年　月　日	
記帳	年　月　日	
支出	年　月　日	
債主	摘要	

一金

本書ノ金額領收ス

年　月　日

組合員名簿

加入年月日	摘要	組合員 住所	組合員 氏名

收納簿

月日	摘要	豫算額	調定額	收入額	不納缺損額	收入未濟額	豫算額納入額
月計							
累計							

備考　一、本簿ハ科目別ニ口座ヲ設クヘシ

收納内譯簿

納入告知書發付年月日	同上番號	組合費金額	領收月日	組合員 住所	組合員 氏名	摘要
月計						
累計						

備考　一、本簿ハ科目別ニ口座ヲ設ケ納入告知書ヲ發スルモノニ付キ設備スヘシ

歳出内譯簿

月日	摘要	豫算額	支出額	殘額
月計				
累計				

備考　一、本簿ハ科目別ニ口座ヲ設クヘシ

現金出納簿

月日	摘要	収入額	支出額	残額
月計				
累計				

歳入歳出外現金出納簿

月日	摘要	収入額	支出額	残額
月計				
累計				

備品臺帳

月日	摘要	受拂	現在

名　品

消耗品受拂簿

名　品

月日	摘要	受	拂	殘

〔忠南例〕

財産臺帳

土地之部

所在地	地番	地目	面積	使用目的	價額	摘要
						購入年月日購入先所有權登記年月日登記番號ヲ記入ノコト

建物之部

所在地	地番	名稱	棟數	建坪	構造	價額	備考
							建設年月日ヲ記入

基本財産之部

月日	收入	支出	現在高	摘要

●畜産同業組合給與規程準則

大正八年四月二十六日
勸第二三五〇號通牒

第一條　給料ハ書記ハ月額二十圓以上六十圓以下技手ハ月額五十圓以上百五十圓以下トス傭人ノ給料ハ月額二十圓以内ニ於テ適宜之ヲ定ム

第二條　給料ハ月額ヲ以テ支給スル者ハ毎月二十一日、日額ヲ以テ支給スル者ハ毎月末日之ヲ支給ス但シ當日休日ニ當ルトキハ月給ハ繰下トシ日給ハ繰上トス

第三條　新任、增給及減給ノ場合ニ於ケル其ノ月分ノ給料ハ發令ノ翌日ヨリ日割ヲ以テ支給ス又ハ第二號表（傭人）ニ依リ旅費ヲ支給ス但シ其ノ支給方法ニ關シテハ朝鮮總督府減額旅費規程、忠淸南道地方費旅費規程及同面長協議會旅費支給規程ノ例ニ依ル

退職又ハ死亡ノ場合ニ於テハ其ノ月分ノ給料全額ヲ支給ス但シ組合ニ於テ解職ヲ命シタル者ニ對シテハ其ノ當日迄日割ヲ以テ支給ス

第四條　病氣ノ爲執務セサルコト六十日ヲ超ユル者及私事ノ故障ニ依リ執務セサルコト三十日ヲ超ユル者ニハ給料ノ半額ヲ減シ仍三十日ヲ超ユル者ニハ給料ヲ支給セス但シ公務ノ爲メ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五條　解職セラレ又ハ退職シタル者事務引繼ノ爲執務シタルトキハ其ノ事務ノ終了ノ日迄在職中ノ例ニ依リ給料ヲ支給ス

第六條　組合吏員傭人公務ノ爲旅行スルトキ及新任ノ書記技手赴任ノトキハ第一號表（吏員）又ハ第二號表（傭人）ニ依リ旅費ヲ支給ス但シ其ノ支給方法ニ關シテハ朝鮮總督府減額旅費規程、忠淸南道地方費旅費規程及同面長協議會旅費支給規程ノ例ニ依ル

第七條　書記技手公務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタルトキハ給料三月分以内ニ於テ實費ヲ超ユル治療手當ヲ支給ス前項傷痍疾病ノ爲終身自用ヲ辨シ若ハ業務ヲ營ムコト能ハス又ハ治療數月ヲ要スル見込ヲ以テ退職シタル者ニハ給料三月分以内ノ扶助金ヲ給スルコトヲ得其ノ之カ爲在職中死亡シタルトキハ其ノ遺族ニ對シ給料三月分以内ノ弔慰金ヲ給スルコトヲ得

前二項ノ規定ハ傭人公務ノ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタル場合ニ之ヲ準用ス

第一號表

吏員旅費定額表

區分	旅費額
組合長	朝鮮總督府減額旅費規程所定郡守旅費定額ニ相當スル額
組合副長	朝鮮總督府減額旅費規程所定郡書記旅費定額ニ相當スル額
評議員	忠淸南道面長協議會旅費支給規程所定面長旅費定額ニ相當スル額

【忠南例】

第二號表

傭人旅費定額表

地區別	汽車賃	馬車賃（每一里）	宿泊シタルトキ（每一夜）	宿泊セサルトキ（每一日）
組合地區內	三等實費	二十錢	五十錢	三十錢
組合地區外			七十錢	

【忠南例】

●畜產同業組合畜牛賣買仲介規程準則

大正七年四月九日
勸第一九〇六號通牒

第一條　本組合ハ定款第何條ノ規定ニ基キ左記ノ場所日次ニ於テ畜牛ノ賣買ヲ仲介ス

一、何牛市場　陰曆　一、六ノ日
二、何牛市場　陰曆　二、七ノ日
三、〃　〃　〃　〃

第二條　本組合ハ前條ノ事業ヲ行フ爲左ノ係員ヲ置キ組合長之ヲ命免ス

一、仲介監督　若干名
二、仲介人　若干名

第三條　仲介監督ハ仲介ニ關スル事務ヲ掌理シ仲介人ヲ指揮監督ス

第四條　畜牛ノ賣買成立シタルトキハ賣主ヨリ仲介料トシテ賣買價格ノ百分ノ一、五ヲ徵收ス。

第五條　本組合員ハ組合ノ仲介ヲ經ルニ非レハ畜牛ヲ賣買スルコトヲ得ス但シ組合地區外ニ於テスル場合ハ此限ニ在ラス

第六條　仲介人ハ市場外ニ於テ賣買ノ仲介ヲ爲スコトヲ得ス但シ仲介監督ノ承認ヲ得タル場合ハ此限ニ在ラス

第七條　仲介人ハ身元保證金トシテ金何圓ヲ本組合ヘ預入スルモノトス

第八條　仲介人ハ畜牛ノ賣買仲介ニ關シ當事者ヨリ報償ヲ受クルコトヲ得ス

第九條　本組合ハ仲介人ニ別記樣式第一號及第二號ノ證票及腕章ヲ交付ス

仲介人ハ仲介從事中前項ノ證票ヲ携帶シ腕章ヲ左腕ニ附スヘシ

第十條　組合員故ナクシテ第五條ノ規程ニ違背シタルトキハ五圓以内ノ違約金ヲ徵收ス

第一號樣式（厚紙）

三寸

表面　一寸八分

第號　郡　何　面　某　里

畜牛賣買仲介人ノ證　組合印

裏面

年　月　日

第二號　雛形　腕章

仲介	地質　羅沙又ハネル
	赤地　文字白
二寸五分	

●何々畜産同業組合牛皮共同販賣仲介規程準則

大正七年四月十七日
勸二五〇〇號通牒

第一條　本組合ハ定款第何條ノ規定ニ基キ毎月何日本組合事務所ニ於テ牛皮共同販賣ヲ仲介ス

第二條　本組合地區内ニ於テ生産シタル鹽乾牛皮ハ所有者住所氏名枚數及斤量ヲ具シ現品ヲ本組合ニ携帶シテ販賣ノ仲介ヲ依託スヘシ

第三條　販賣ヲ仲介スヘキ牛皮ハ牛皮取締規程第十條ノ規定檢査ヲ受ケタルモノニ限ル前項ノ牛皮ハ左ノ種類ニ依リ上等品下等品ニ區分ス

一、大皮乾皮一枚ニ付二十五斤以上ノモノ
二、中皮同二十五斤未滿十三斤以上ノモノ
三、小皮同十三斤未滿ノモノ

第四條　共同販賣入札心得ハ左ノ各項ニ依ル

一、共同販賣ハ競爭入札法ニ依ル
二、入札書ハ鹽乾牛皮百斤ニ付上等品大皮何圓、同中皮何圓、同小皮何圓、下等品大皮何圓、同中皮何圓、同小皮何圓ト認メ記名捺印ノ上嚴封シ牛皮入札書ト表記シ共同販賣當日午前何時迄ニ事務所ニ提出スヘシ入札書ハ之ヲ郵送スルモ妨ケナシ

〔忠南例〕

三、入札者ハ販賣ニ附スヘキ牛皮各種ニ付入札スヘキモノトス但シ種類等級ヲ限リ入札シタルモノハ無效トス

四、開札ハ販賣當日午前何時組合長之ヲ行フ關係者ハ任意立會スヘシ

五、落札者ハ牛皮ノ種類等級ニ付入札最高價額ニ依リ之ヲ定ム但シ不當ノ價額ト認メタルトキハ此ノ退ニ在ラス

六、入札價額同一ナルトキハ抽籤ヲ以テ落札者ヲ定ム但シ郵便入札ノ場合ハ組合長ニ於テ臨時抽籤代理人ヲ指命スルモノトス

七、落札者ハ落札當日代金及代金ノ百分ノ二（又ハ百分ノ一）ノ仲介手數料ヲ本組合ニ納付シ現品ヲ引取ルヘシ但シ落札ノ當日現品引受保證金トシテ牛皮代金ノ何割及仲介手數料ヲ本組合ニ納入シ落札當日ヨリ何日以内ニ代金殘部ヲ納入シテ現品ノ引渡ヲ受クルヲ妨ケス

八、郵便入札ニ依ル落札者ハ落札枚數斤量及代金ノ電報ヲ受ケタルトキハ直チニ代金及仲介手數料ヲ電送スヘシ但シ現品引受保證金及仲介手數料ヲ電送シ何日以内ニ代金殘部ヲ郵送スルモ妨ケナシ

九、郵便入札ニ依ル落札ノ場合ニ於ケル牛皮ノ發送費用ハ落札者ノ負擔トス

一〇、前五項ニ依リ保證金、代金及手數料ヲ支拂ハサルトキハ落札權ヲ放棄シタルモノト認ム但シ既納ノ分ハ之ヲ還付セス

第五條　牛皮ノ販賣代金ハ仲介依託者ニ對シ賣買成立後精算ノ上何日以内ニ支拂フモノトス

●畜産同業組合種畜貸付規程準則

大正八年五月二十日
勸第二八一〇號通牒

第一章　總則

第一條　本組合ハ家畜ノ改良蕃殖ヲ圖ル目的ヲ以テ組合員中種畜ノ借受ヲ希望スル者ニ對シ資産、信用、經驗其ノ他ニ付銓衡ノ上之ヲ無料貸付ス

第二條　本規程ニ於テ種畜ト稱スルハ左ノ三種トス

一、種牛（犢ヲ含ム）
二、種豚（仔豚ヲ含ム）
三、種鷄（雛及卵ヲ含ム）

第三條　種畜ノ借受人ハ其ノ借受ト同時ニ別ニ定ムル樣式ニ依リ借受證ヲ本組合ニ差出スヘシ

第四條　種畜ノ借受、返納ニ關スル費用、及貸付中飼養管理ノ費用ハ借受人ノ負擔トス

第五條　種畜ノ借受人ハ善良ナル飼養管理ヲ爲シ本組合ノ指示スル事項ヲ確守スヘシ

第六條　種畜ハ之ヲ讓渡シ又ハ本組合ノ承認ヲ經スシテ他ニ轉貸シ若クハ其ノ飼養地ヲ變更スルコトヲ得ス

第七條　種畜左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ借受人ハ直ニ本組合ニ届出ツヘシ

一、傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタルトキ
二、盜難、失踪又ハ斃死シタルトキ
三、盜難、失踪ノ所在ヲ發見シタルトキ

第八條　借受人ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ種畜ニ損害ヲ及ホシタルトキハ借受人ヲシテ之ヲ賠償セシム

第九條　種畜借受人ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ貸付期間内ト雖其ノ返還ヲ命スルコトアルヘシ

一、第五條、第六條、第七條ノ規定竝貸付條件

〔忠南例〕

ニ違背シタルトキ

二、不熱心ニシテ改良蕃殖ノ目的ヲ達スルノ見込ナシト認メタルトキ

第十條　種畜借受人貸付期間滿了前其ノ種畜ヲ返納セムトスルトキハ一月前豫メ事由ヲ具シ本組合ノ指揮ヲ受クヘシ

第十一條　貸付期間中借受人死亡シ死亡ノ日ヨリ五日以内ニ相續人ヨリ解約ノ申出ヲ爲ササルトキハ種畜借受人ノ權利義務ハ其ノ相續人ニ於テ承繼ヲ爲シタルモノト看做ス

第十二條　種牡牛、種牡豚ノ借受人ハ組合ヨリ交付スル種付簿ニ所定ノ事項ヲ記入シ種付依頼者ノ認印ヲ受ケ置クヘシ

第十三條　種牝牛、種牝豚、種付又ハ分娩シタルトキハ借受人ハ十日以内ニ其ノ年月日産仔ノ數、牝牡ノ別、毛色ヲ本組合ニ屆出ツヘシ

第二章　種牛

第十四條　種牡牛ノ貸付期間ハ滿四年トス其ノ間無料ヲ以テ種付ノ用ニ供スヘシ但シ種付數ハ一ケ年六十頭以上トシ一日二頭ヲ超ユルコトヲ得ス

第十五條　種牡牛ノ借受人ハ第十二條所定ノ種付簿ニ依リ毎月種付成績表ヲ調製シ翌月五日迄ニ之ヲ本組合ニ差出スヘシ

第十六條　種牡牛ノ貸付期間滿了シタルトキハ借受人ノ希望ニ依リ時價ノ半額ヲ以テ之ヲ特賣ス

前項ノ時價ハ組合長之ヲ決シ借受人ハ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第十七條　種牡牛ノ種付成績良好、飼養管理善良ニシテ他ノ模範ト爲スニ足ルト認メタルトキハ其ノ借受人ニ對シ十五圓以内ノ賞與金ヲ授與シ之ヲ表彰ス

前項ノ成績考査ハ毎年一回之ヲ行フ

第十八條　相當ノ理由ナクシテ一年間ノ種付數六十頭ニ充タサルトキハ其ノ年毎ニ籾（中等品）一石以内又ハ其ノ時價ニ相當スル貸付料ヲ徴收ス

前項ノ貸付料ハ組合長之ヲ定ム

第十九條　種牝牛ノ貸付期間ハ滿五年トス其ノ間蕃殖用ニ供スヘシ但シ種付ノ時期ハ毎年五月ヨリ七月ノ間ニ於テシ本組合指定ノ種牡牛ト交配セシムヘシ

第二十條　種牝牛ノ第一回乃至第三回ノ産犢ハ各其ノ生後滿六月ニ達シタルトキハ本組合ニ納付スヘシ但シ疾病、斃死其ノ他ノ事故ニ依リ之ヲ納付スルコト能ハサルニ至リタルトキハ第四回以後ノ産犢ヲ以テ補足スヘシ

第二十一條　借受人前條ノ義務ヲ履行シタルトキハ其ノ以後ノ産犢ハ借受人ノ所得トシ貸付牝牛ハ借受人ニ於テ希望スルトキハ貸付期間滿了ノ後時價ノ半額ヲ以テ之ヲ借受人ニ特賣ス

前項ノ時價ハ組合長之ヲ決シ借受人ハ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第二十二條　犢ノ貸付期間ハ貸付後年齢四歳ニ達シ本組合ノ種牛檢査ヲ終了スル迄トス

前項ノ檢査ニ合格シタル種牛ヲ其ノ犢タリシ當時ノ借受人ヲシテ引續キ飼養セシムルトキハ第十四條乃至第二十一條ニ依リ種牛トシテ貸付シタルモノト看做ス但シ此ノ場合ニ於ケル貸付期間ハ種牛トナリタル日ヨリ牡ハ滿三年牝ハ滿四年ニ産犢ハ第一回及第二回ノ二頭ニ各低減ス

第二十三條　本組合ノ種牛檢査ニ依リ種牛ノ資格ナシト認メタルモノハ借受人ニ於テ希望スルトキハ時價ノ半額ヲ以テ之ヲ借受人ニ特賣ス

第三章　種豚

第二十四條　種豚ノ貸付期間ハ滿三年トシ但シ第二十九條ノ條件ヲ充タシタルトキハ之ト同時ニ期間滿了スルモノトス

第二十五條　種豚ハ生後十ケ月ヲ經過シタル後蕃殖ノ用ニ供スヘシ

第二十六條　種牡豚ハ一ケ年三十頭以上ノ牝豚ニ無償ニテ種付ヲ爲スヘシ

第二十七條　種牝豚ハ同種牡豚ノ種付ヲ受ケシムヘシ

第二十八條　種牝豚ノ第一回乃至第二回産仔ハ生後三ケ月ノ後現在數ノ半數ヲ（現在數奇數ナルトキハ借受人ニ於テ過半數ヲ收得シ其ノ餘ヲ）本組合ニ納付スヘシ但シ其ノ仔豚ハ組合之ヲ撰擇スルモノトス

第二十九條　種豚貸付後牡ニ在リテハ種付數六十頭以上ニ達シタルトキ牝ニ在リテハ前條所定ノ仔豚ヲ納付シ尚一回ノ分娩アリタルトキハ貸付種豚及貸付種牝豚第三回ノ産仔ハ共ニ之ヲ借受人ニ無償付與ス

第四章　種鷄

第三十條　種鷄ノ貸付期間ハ滿二年トス但シ第三十四條ノ條件ヲ充タシタルトキハ之ト同時ニ期間滿了スルモノトス

第三十一條　種鷄ノ貸付數ハ借受人一人付雄一羽雌二羽又ハ三羽トス但シ特殊ノ事情アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第三十二條　種鷄ノ借受人ハ在來鷄ヲ飼養スルコトヲ得ス但シ母鷄用トシテ飼養スル牝鷄ハ此ノ限ニアラス

第三十三條　種牝鷄ハ異種類ノ鷄ト配合蕃殖ヲ爲スコトヲ得ス

第三十四條　種鷄ノ借受人ハ其ノ産卵ヲ以テ育雛ヲ爲シ孵化後百日ヲ經過シタル後貸付種鷄ノ三倍數ヲ（孵化後六十日以内ノ雛ヲ貸付セル場合ハ其ノ倍數ヲ）本組合ニ納付スヘシ但シ其ノ納付セシムヘキ雛ハ本組合之ヲ撰擇スルモノトス

前項ノ雛ヲ納付シタルトキハ貸付種鷄ハ之ヲ借受人ニ無償付與ス

附則

本規程ハ大正　年　月　日ヨリ之ヲ施行ス

從前ノ規定ニ依リ本組合ノ種畜ヲ借受ケタル者本規程ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ一箇月以内ニ異議ノ申出ヲ爲ササルトキハ其ノ貸付條件ハ本規程ニ依リテ之ヲ更改シタルモノト看做ス

●種牡牛優遇ニ關スル件

大正七年五月十日
勸第二六一八號通牒

首題ノ件ニ關シテハ別紙ノ通リ農工商部長官ヨリ通牒有之候處右ハ種牡牛飼養ノ奬勵上效果尠カラサルノミナラス種付成績ニモ好影響ヲ及ホスコトト被存候條適當ナル二、三面ヲ指定シ三歳以上ノ牝牛飼育者ヲ一團トシテ種牡牛優遇契ヲ設立シ別紙通牒記載ノ方法ニ準シ試驗的ニ實行セシメラレ度依命及通牒候也

追而本文契設立ノ際ハ契規約寫ヲ添ヘ報告相成度申添候

（別紙）

種牡牛優遇ニ關スル件

種牡牛ノ配置困難ナルト異動頻繁ナルコトトハ種付成績ニ惡影響ヲ及ホスコト勿論ニシテ固ヨリ農民ノ種畜ノ念尚幼稚ナルモノト被存候處慶尚南道ニ於テハ之カ防止ノ爲種牡牛優遇ノ方法トシテ各畜産同業組合ニ於テ組合員申合セノ下ニ牝牛飼養者ヨリ種牡牛所有者ニ對シ一ケ年大豆又ハ麥一升或ハ乾草又ハ藁一擔ヲ飼料トシテ提供セシムルノ途ヲ講シ大正五年ヨリ之カ實施奬勵致候處其ノ實績甚タ良好ニシテ種牡牛ノ營養ヲ改善シ其ノ種付ヲ良好ナラシメタルノミナラス延テ種牡牛ノ飼養ヲ希望セシムル等稗益ス

ル處尠カラス既ニ之カ實施區域十一組合ニ亙リ他ノ八組合モ本年度ヨリ之ニ做フ機運ニ達シ居ル趣候條爲參考及通牒候也

種畜貸付規程

大正八年六月十七日
道令第八號

第一章　總則

第一條　本令ニ於テ種畜ト稱スルハ種牛及犢牛、種豚及仔豚、種雞及其ノ雛ヲ謂フ

第二條　道長官ハ告示ヲ以テ毎年一月其ノ年ニ於テ種畜ヲ貸付スヘキ地方ヲ指定ス

第三條　道長官ハ前條指定ノ地方ニ住所又ハ主タル事務所ヲ有シ左ノ各號ノ一ニ該當スル貸付出願者中ニ就キ適當ト認ムルモノヲ選擇シ無料ニテ種畜ヲ貸付ス

一、牛、豚又ハ雞ノ飼養ニ經驗ヲ有シ熱心ニシテ信用アル者

二、牛、豚、雞ノ改良蕃殖ヲ目的トスル縣、組合等各種ノ團體

第四條　種畜ノ貸付ヲ受ケムトスル者ハ毎年三月末日迄ニ貸付願書ヲ道長官ニ差出スヘシ

第五條　種畜貸付ノ許可ヲ受ケタル者ハ別記樣式ノ借受證ヲ差出シ種畜ノ引渡ヲ受クヘシ

第六條　種畜ノ借受納付及返納ニ關シ必要ナル費用竝種畜借受中飼養管理、傷病手當ニ要スル一切ノ費用ハ總テ借受者ノ負擔トス

第七條　種畜ハ道長官ノ許可ナクシテ之ヲ他ニ轉貸スルコトヲ得ス

種畜ノ飼養地又ハ其ノ管理人ヲ變更セムトスルトキハ郡守ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

郡守前項ノ願出ニ付許可ヲ與ヘタルトキハ直ニ之ヲ道長官ニ報告スヘシ

第八條　種畜ニ關シ左ノ各號ノ一ニ該當スル事故ヲ生シタルトキハ借受者ハ遲滯ナク之ヲ道長官ニ屆出ツヘシ

一、傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタルトキ及其ノ恢復シタルトキ

二、斃死シタルトキ

三、盜難ニ罹リ又ハ失踪シタルトキ及其ノ所在判明シタルトキ

四、前各號ノ外重要ナル事故ヲ知リタルトキ

第九條　借受者故意又ハ重大ナル過失ニ因リ種畜ニ損害ヲ與ヘタルトキハ道長官指定ノ期間内ニ其ノ損害ヲ賠償スヘシ

前項ノ損害額ハ道長官ノ認定ニ依ル

第十條　道長官ハ借受者ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル事實アリト認ムルトキハ貸付種畜ノ返還ヲ命スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テ借受者ハ因リテ生シタル損害ノ補償ヲ請求スルコトヲ得ス

一、本令所定ノ義務ヲ履行セサルトキ

二、種畜ノ飼養管理ヲ懈リタルトキ

三、原因ノ如何ヲ問ハス種畜改良蕃殖ノ目的ヲ達スルコト能ハサルニ至リタルトキ

第十一條　郡守ハ貸付種畜臺帳ヲ調製シ種畜ノ種別毎ニ左ノ事項ヲ記錄スヘシ

一、種畜ノ品種、牝牡別、毛色、體尺、年齡、特徵

二、借受者及管理者ノ住所、氏名（團體ニ在リテハ其ノ名稱、代表者氏名）

三、貸付年月日

四、種付又ハ生產成績

五、產仔、產卵ノ處分

六、前各號ノ外重要ナル事項

第十二條　郡守ハ前條ノ臺帳ニ依リ毎年一月末日限其ノ前年中ニ於ケル種畜蕃殖成績ノ概況ヲ道長官ニ報告スヘシ

第十三條　借受者種畜ヲ返納セムトスルトキハ

【忠南例】

一月前豫メ其ノ旨ヲ道長官ニ申告スヘシ

第十四條　借受者死亡シタル場合ニ於テ其ノ死亡ノ日ヨリ十日内ニ相續人ヨリ種畜返納ノ申告ヲ爲ササルトキハ本令ニ依ル借受者ノ權利義務ハ相續人ニ於テ之ヲ承繼シタルモノト見做ス

第十五條　本令ニ依リ借受者又ハ相續人ノ道長官ニ差出スヘキ願、屆、申告及借受證ハ總テ郡守ヲ經由スヘシ郡守ハ前項ノ願出ニ對シ事實ノ調査ヲ遂ケ必要アル場合ハ意見ヲ副申スヘシ

第二章　種牛及犢牛

第十六條　種牛ハ之ヲ蕃殖用ニ供スヘシ

第十七條　犢牛ハ年齡四歲ニ達シタルトキヨリ之ヲ種牛ト爲スヘシ

第十八條　種牛ハ純用其ノ他ノ劇役ニ使用スルコトヲ得ス犢牛ハ之ヲ使用スルコトヲ得ス但シ年齡三歲以上ノモノヲ輕役ニ使用スルハ此ノ限ニ在ラス

第十九條　種牡牛ハ一箇年六十頭以上八十頭以内ノ牝牛ニ無償ニテ種付ヲ爲サシムヘシ但シ一日種付數ハ二頭ヲ超ユルコトヲ得ス

第二十條　種牡牛ノ種付數二百四十頭以上（當該種牡牛カ犢牛タリシトキヨリ同一借受者ニ於テ引續キ飼養セルモノナルトキハ百八十頭以上）ニ達シタルトキハ當該種牡牛ハ之ヲ借受者ニ無償ニテ付與ス

第二十一條　種牡牛借受者ハ種付ヲ受ケタル牝牛ノ年齡、毛色、種付依賴者ノ住所、氏名（種付依賴者團體ナルトキハ其名稱、代表者ノ氏名）事項ヲ記錄シ種付依賴者ノ名下ニ其ノ認印ヲ受ケ置クヘシ

一、配合シタル牝牛ノ年齡、毛色

二、種付年月日

三、種付依賴者ノ住所、氏名（種付依賴者團體ナルトキハ其名稱、代表者ノ氏名）

第二十二條　種牡牛ノ借受者ハ前條ノ種付簿ヲ備ヘ左ノ依リ前月分ノ種付表ヲ作製シ毎月五日迄ニ之ヲ郡守ニ屆出ツヘシ

一、分娩シタル牝牛ノ年齡、毛色

二、產犢ノ牝牡別

三、產犢ノ毛色

第二十三條　種牡牛ハ毎年五月ヨリ七月ノ間ニ於テ郡守ノ指定スル種牡牛ノ種付ヲ受ケシムヘシ

第二十四條　種牡牛ノ分娩シタル第一回及第二回ノ牝牛ニ於テ引續キ飼養セルモノナルトキハ第一回ノ牝犢ノミ）ハ生後六ケ月ヲ經過シタルトキ之ヲ道長官ニ納付スヘシ

第二十五條　種牡牛ノ種付數二百四十頭以上ニ分娩シタル牝犢ヲ以テ之ヲ補足シ納付スヘシ

種牝牛ノ分娩シタル牡犢ハ總テ之ヲ借受者ニ無償ニテ付與ス

第二十六條　郡守第二十三條、第二十五條ノ屆出ヲ受ケタルトキハ保護牛規程施行手續第八號及第九號樣式ニ準シ之ヲ道長官ニ報告スヘシ

第二十七條　種牝牛ノ借受者第二十四條第一項及第二項ノ義務ヲ履行シタルトキハ當該種牝牛ハ之ヲ借受者ニ無償ニテ付與ス

第三章　種豚及仔豚

第二十八條　種豚ハ之ヲ蕃殖用ニ供スヘシ

第二十九條　仔豚生後十箇月ノ後ヨリ種豚ト爲スヘシ

第三十條　種牡豚ハ一ケ年二十頭以上ノ牝豚ニ無償ニテ種付ヲ爲サシムヘシ

第三十一條　種牝豚ハ同種種牡豚ノ種付ヲ受ケシムヘシ

【忠南例】

第三十二條　種牝豚ノ分娩シタル第一回及第二回ノ産仔（當該種牝豚カ仔豚タリシトキヨリ同一借受者ニ於テ引續キ飼養セルモノナルトキハ第二回ノ産仔ノミ）ハ生後三箇月ヲ經過シタル後現在數ノ半數ヲ（現在數奇數ナルトキハ借受者ニ於テ過半數ヲ取得シ其ノ餘ヲ）道長官ニ納付スヘシ但シ一回ノ納付仔豚二頭ニ充タサルトキハ更ニ其ノ後ニ分娩シタル産仔ヲ以テ之ヲ補足シ納付スヘシ

第二十四條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス第一項ニ依リ納付スヘキ仔豚ハ郡守ニ於テ之ヲ選擇スルモノトス

第三十三條　第二十二條第二十三條及第二十六條ノ規定ハ種牡豚ニ第二十五條ノ規定ハ種牝豚ニ各之ヲ準用ス

第三十四條　道長官ハ種牝豚ノ分娩シタル仔豚ニシテ借受者ノ所有ニ歸シタルモノノ處分ヲ制限スルコトヲ得

第三十五條　種牡豚ハ種付數七十頭以上ニ達シタルトキ（當該種牡豚カ仔豚タリシトキヨリ同一借受者ニ於テ引續キ飼養セルモノナルトキハ二箇數ヲ）道長官ニ納付スヘシ

産卵數ノ不足、孵化ノ不良又ハ雛ノ斃死、逃失、盜難其ノ他ノ原因ニ因リ前項規定數ノ雛ヲ納付スルコト能ハサルニ至リタルトキハ其ノ以後ノ春季育雛ニ因リテ得タル雛ヲ以テ補足シ納付スヘシ

第一項ニ依リ納付セシムヘキ雛ハ郡守ニ於テ之ヲ選擇スルモノトス

第四十二條　道長官ハ種雛ノ生産シタル卵又ハ雛ニシテ借受者ノ所有ニ歸シタルモノ處分ヲ制限スルコトヲ得

第四十三條　借受者第四十一條規定ノ雛ヲ納付シタルトキハ當該種雛ハ之ヲ借受者ニ無償ニテ付與ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ本道ニ於テ貸付セル種畜ニ關シテハ仍從前ノ規程ニ依ル

大正○年本道令第一號ハ之ヲ廢止ス

（別記樣式）

種畜借受證

一、借受種畜

番號	種類	性	毛色	年齡	體尺	特徴

二、飼養地　郡　面　里　番地

三、管理者住所氏名　郡　面　里　番地　何　某

右借受候ニ付テハ忠清南道種畜貸付規程固ク遵守可致仍テ借受證如斯ニ候也

年　月　日

道長官　宛

借受人住所　氏　名印

〔忠南例〕

●幼牛、姙牛屠殺取締ノ件

大正九年七月一日
勸第三六五四號通牒

首題ノ件ニ關シテハ明治四十五年三月總督府訓令第九號及大正七年五月道訓令第七號畜産改良增殖ニ關スル件第八項ニ依リ夫々御取締相成居候コトト存候得共近時屠殺牛中幼牛又ハ姙孕牛多ク殊ニ學校組合ニ於テ經營スル屠場ニ於テハ組合ノ收入ニ影響ヲ及ホス關係上姙牛幼牛ノ屠殺取締ハ等閑ニ付セラルヽ傾向アルヤニ被認候處斯クテハ畜牛改良增殖上甚タ遺憾ニ存候ニ付屠場經營タル面又ハ學校組合ニ右趣旨ヲ示達セラルヽハ勿論屠場監檢獸醫及警察官ヲシテ一層取締ヲ嚴重ニセシメラレ度此段依命及通牒候也

●保護牛規程

大正五年一月二日
道令第四號

改正　大正九年五月道令第七號

第一條　保護牛ハ左ノ條件ヲ具備スル畜牛中ヨリ之ヲ指定ス

一、種類　朝鮮種

二、年齡　牡ハ四歲以上十歲以下
牝ハ四歲以上八歲以下

三、毛色　褐色

四、體尺　牡ハ四尺二寸以上
牝ハ四尺以上

五、體格　各部ノ均衡宜シキヲ得姿勢正シク且蹄質堅靱ニシテ步履確實ナルモノ

六、體質　强健ニシテ蕃殖能力ニ故障ナキモノ

七、性質　從順ニシテ惡癖ナキモノ

〔忠南例〕

前項第三號ノ條件ハ已ムヲ得サル場合ニ限リ之ニ依ラサルコトヲ得

第二條　保護牛ハ之ヲ種牡牛種牝牛ノ二種トス

第三條　保護牛ノ指定ハ檢査ニ依リ之ヲ行フ

畜牛ノ所有者又ハ管理者ハ指定ノ日時及場所ニ於テ前項ノ檢査ヲ受クヘシ但シ疾病ニ罹リ又ハ癈疾ノ爲牽出スコト能ハサルモノハ此ノ限ニ在ラス

第四條　保護牛ニハ左角ニ角ナキモノハ前肢左蹄ニ第一號樣式ノ烙印ヲ爲シ其ノ所有者又ハ管理者ニ第二號樣式ノ證書ヲ交付ス

第五條　保護牛ノ所有者又ハ管理者ニ對シテハ保護牛一頭ニ付毎年左ノ標準ニ依リ保護料ヲ交付ス但シ保護期間一年ニ滿タサル場合ニ於テハ月割計算トス

一、種牡牛　　拾圓

一、種牝牛　　四圓貳拾錢

保護料ハ毎年九月及三月ニ各其ノ半額ヲ交付ス

第六條　保護牛左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ指定ヲ解除シ第四條ニ依リ爲シタル烙印ノ側ニ第三號樣式ノ烙印ヲ爲シ交付シタル證書ハ之ヲ返納セシム

一、第一條ノ條件ヲ缺キタルトキ

二、所有者又ハ管理者ヲ不適當ト認メタルトキ

三、保護ノ必要ナシト認メタルトキ

第七條　保護牛ノ所有者又ハ管理者ハ左ノ事項ヲ遵守スヘシ

一、保護牛疾病ニ罹リ又ハ惡癖ヲ生シ若ハ不姙症ト認メタルトキハ十日以内ニ面長ヲ經由シ之ヲ郡守ニ報告スルコト

二、飼養管理及種付ニ關シテハ當該官吏又ハ吏員ノ指揮命令ニ從フコト

三、飼養管理ニ注意シ過劇ノ勞役ニ服セシメサルコト

四、種牡牛ノ種付數ハ一日二頭一年八十頭ヲ超ヘサルコト

第八條　種牡牛ノ所有者又ハ管理者ハ第四號樣式ノ種付簿ヲ備ヘ種付毎ニ所定ノ事項ヲ記載シ併テ種付依頼者ヲシテ住所氏名ノ下ニ捺印セシムヘシ

種牡牛ノ所有者又ハ管理者ハ種付簿ニ依リ毎月第五號樣式ノ種付成績表ヲ調製シ面長ヲ經由シ翌月五日迄ニ郡守ニ之ヲ提出スヘシ

第九條　種牝牛ノ所有者又ハ管理者ハ種牝牛ニ左ノ各號ノ一ニ該當スル事實アリタルトキハ十日以内ニ面長ヲ經由シ郡守ニ之ヲ屆出ツヘシ

一、種付ヲ受ケタルトキハ其ノ年月日

二、分娩シタルトキハ産犢ノ牝牡別、毛色及其ノ年月日

第十條　種牝牛ノ所有者又ハ管理者ハ其ノ種牝牛ノ分娩シタル犢ヲ讓渡シタルトキハ十日以内ニ其ノ讓受人ノ住所氏名ヲ具シ面長ヲ經由シ郡守ニ之ヲ屆出ツヘシ其斃死又ハ亡失シタルトキ亦同シ

種牝牛ノ分娩シタル犢ヲ讓受ケタル者亦前項ノ例ニ依ル

第十一條　種牝牛ノ分娩シタル犢ハ第三條ノ檢査ヲ受ケタル後ニ非サレハ之ヲ屠殺シ又ハ道外ニ搬出スルコトヲ得ス但シ道長官ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十二條　保護牛規則第七條ニ依ル地方長官ノ職務ハ郡守ヲシテ之ヲ行ハシム但シ保護牛ヲ管外ニ移動セムトスルトキハ面長及郡守ヲ經由シ道長官ノ承認ヲ受クヘシ

保護牛規則第九條ニ依ル屆出ハ面長ヲ經由シ郡守ニ之ヲ爲スヘシ

第十三條　第三條及第八條乃至第十三條ノ規定ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

畜牛改良奬勵規程ニ依リ許可シタル保護種牡牛ハ其ノ許可期間內ニ限リ本令ニ依リ指定シタルモノト看做ス畜牛改良奬勵規程中第二十六條乃至第三十六條ハ之ヲ削除ス

［忠南例］

第一號樣式

烙印ハ直徑六分緣及文字ノ太サ五厘トス

第二號樣式ノ一（用紙白色）

表面　縱四寸六分　橫三寸八分

第　號

保護牛證書

種牡牛
產特體毛年種牝牛
地徵尺色齡類

所有者　郡面里名

右保護牛規程ニ依リ保護牛ニ指定ス

年　月　日

朝鮮總督府忠淸南道印

第二號樣式ノ一（用紙白色）

裏面

檢査年月日	齒牙	體格	種付ノ成績	檢査員印	備考

一、保護牛ノ保定ニ關スル事項

二、種牡牛ハ之ヲ種牝牛ノ二倍ト認メラルル牛ヲ種付セシムヘカラス

三、種牡牛ハ一日ニ付二回ヲ超ヘテ種付セシムヘカラス

四、種牡牛ハ種付ニ際シ他ノ牛ヲ近寄ラシムヘカラス

五、種牡牛ハ種付ニ際シ他ノ牛ヲ近寄ラシムヘカラス

六、種牡牛ハ種付ニ際シ他ノ牛ヲ近寄ラシムヘカラス

七、種牡牛ハ種付ニ際シ他ノ牛ヲ近寄ラシムヘカラス

八、種牡牛ハ種付ニ際シ他ノ牛ヲ近寄ラシムヘカラス

第三號樣式ノ二（用紙青色）　表面縦横（六寸）六寸四分

分六寸六	
第　號	
保護牛證書	
牝牛	種類
毛色	特徴
年齢	尺
地方慣行ノ標準ニ依リ保護牛ニ指定ス	徴
所有者	年
郡	月
氏	日
面	
里	
名	

備考　證書番號ノ上ニハ郡名頭字ヲ冠スルモノトス

〔忠南側〕

裏面					
年月日	摘要	檢査員印	備考		

一、保護牛ノ飼養管理ニ注意シ保護牛ノ健康ヲ害シ又ハ其ノ利用ヲ妨ケサルヤウ努ムヘシ

二、保護牛ニ對シ虐待ノ所爲アルトキハ其ノ情狀ニ依リ保護牛ノ指定ヲ取消スコトアルヘシ

三、保護牛ニ對シ管理者ニ於テ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ其ノ義務ヲ怠リタルトキハ其ノ情狀ニ依リ保護牛ノ指定ヲ取消スコトアルヘシ

四、保護牛ニ對シ管理者ニ於テ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ其ノ義務ヲ怠リタルトキハ其ノ情狀ニ依リ保護牛ノ指定ヲ取消スコトアルヘシ

五、保護牛ニ對シ管理者ニ於テ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ其ノ義務ヲ怠リタルトキハ其ノ情狀ニ依リ保護牛ノ指定ヲ取消スコトアルヘシ

六、保護牛ニ對シ管理者ニ於テ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ其ノ義務ヲ怠リタルトキハ其ノ情狀ニ依リ保護牛ノ指定ヲ取消スコトアルヘシ

七、保護牛ニ對シ管理者ニ於テ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ其ノ義務ヲ怠リタルトキハ其ノ情狀ニ依リ保護牛ノ指定ヲ取消スコトアルヘシ

八、保護牛ニ對シ管理者ニ於テ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ其ノ義務ヲ怠リタルトキハ其ノ情狀ニ依リ保護牛ノ指定ヲ取消スコトアルヘシ

〔忠南側〕

第三號樣式

消

烙印ハ直徑六分緣及文字ノ太サ五厘トス

第四號樣式

第　號

種牡牛種付簿　所有者／管理者　氏　名

種付年月日	種付牝牛年齢	牝牛所有者住所氏名	備考
月計何頭			
累計何頭			

備考　備考欄ニハ成ルヘク種付ヲ受ケタル牝牛ノ分娩年月日犢ノ牝牡別及其ノ牝牛ニ關スル所有權ノ移轉消滅等ニ付之ヲ記入スルモノトス

本樣式ノ番號ハ證書番號ヲ用ユルモノトス

第五號樣式

第　號

種牡牛種付報告（大正　年　月分）

所有者又ハ管理者

種付年月日	種付牝牛年齢	住所	氏名
計何頭			

住所
所有者又ハ管理者　氏名

何郡守殿

●保護牛規程施行手續

大正五年十月二十日訓令第十八號

改正　大正九年五月訓令第一七號

第一條　面長ハ第一號乃至第二號樣式ノ臺帳ヲ調製シ面內ニ於ケル保護牛ノ種付、分娩異動及其ノ他ノ事項ヲ所定欄ニ記入整理スヘシ

第二條　保護牛ノ指定アリタルトキハ面長ハ第四號樣式ニ依リ里長ヲシテ公衆ノ目睹シ易キ場所ニ其ノ旨ヲ掲示シ之ヲ監守セシムヘシ

第三條　面長ハ常ニ保護牛ノ飼養管理ニ注意シ左ノ事項ハ即時郡守ヲ經由シ道長官ニ之ヲ報告スヘシ

一、保護牛規則第四條ニ違背シタル者アリタルトキ

二、保護牛規則第八條第一號又ハ第二號ニ該當スルモノアリタルトキ

第四條　郡守ハ第五號乃至第六號樣式ノ保護牛臺帳ヲ調製シ保護牛ノ種付、分娩、異動及其ノ他ノ事項ヲ所定欄ニ記入整理スヘシ

第五條　郡守ハ保護牛規程第七條第一號ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ其ノ詳細ヲ、同第八條第二項ニ依リ種付成績ノ報告ヲ受ケタルトキハ第八號樣式ニ依リ、同第九條ノ屆出アリタルトキハ第九號樣式ニ依リ、及同第十二條ニ依リ職務ヲ行ヒタルトキハ第十號樣式ニ依リ道長官ニ之ヲ報告スヘシ

第一號樣式

種牡牛臺帳　　何面

第　號	所有者管理者住所氏名					異動事由及年月日	所有者管理者住所氏名
保護指定年月日	年齢	毛色	體尺	特徴	産地	何年何月何日賣渡	

備考　一、疾病又ハ參考トナルヘキ事項ヲ本欄ニ記入ノコト、二、番號ハ保護牛指定番號ヲ記入スルコト（以下同シ）三、所有者ニシテ管理スルモノハ管理人氏名ヲ記入スルニ及ハス

種付成績　（本簿ハ約八十頭ノ種付數ヲ記入シ得ル樣調製スルコト）

種付年月日	種付牝牛年齢	牝牛所有者又ハ管理者住所氏名	備考	種付年月日	種付牝牛年齢	牝牛所有者又ハ管理者住所氏名	備考
			何年何月何日牝牡犢生産				
			何年何月何日姙娠ノ儘賣却又ハ斃死ト記載シオクコト				
月計				月計			
累計				累計			

第二號樣式

〔忠南例〕

〔忠南例〕

種牝牛臺帳　（用紙一頭ニ付半枚）　　何面

第　號	所有者管理者住所氏名					異動事由及年月日	所有者管理者住所氏名
保護指定年月日	年齢	毛色	體尺	特徴	産地		

備考　疾病其ノ他參考トナルヘキ事項記入ノコト

成績

成績／年別	種付年月日	分娩年月日	産犢ノ成績		
			牝牡別	毛色	備考
大正　年					何年何月何日候補種牡牝牛ニ合格又ハ何郡何面何某ヘ讓渡、斃死等記入スルコト
大正　年					

第三號樣式（削除）

第四號樣式

揭示

左ノ通保護牛指定セラレタルヲ以テ之ヲ公示ス

保護指定年月日	保護牛別	年齢	毛色	體尺	特徴	所有者又ハ管理者住所氏名
	種牡牛種牝牛					

牝牛ノ所有者又ハ管理者ハ前記種牡牛ニ就キ種付ヲ受クヘシ

年　月　日

何々面長

第五號様式

種牡牛臺帳（用紙一頭ニ付半枚）　何郡

第號	所有者管理者住所氏名					異動事由及年月日	所有者管理者住所氏名
保護指定年月日	年齢	毛色	體尺	特徴	産地		

種付成績

年別＼月別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
大正　年													
大正　年													
大正　年													

備考　一、面別ニ見出ヲ設ケ整理シ置クコト　二、異動許可年月日等ヲ本欄ニ記入シ置クコト　三、其ノ他參考トナルヘキ事項ノ要領ヲ記スルコト

第六號様式

種牝牛臺帳

（第二號様式ニ準シ調製シ面別ニ見出ヲ附シ整理スルコト）

何郡

第七號様式（削除）

〔忠南例〕

第八號様式

種牡牛種付成績報告（期限　四月十日　七月十日　十月十日　一月十日）

郡名

種牡牛所有者住所氏名	番號	月別種付成績				備考
		月	月	月	計	
		頭	頭	頭	頭	
計						

備考　一、種付成績報告ハ期日迄ニ前三箇月分ヲ報告スルコト　二、備考欄ニハ保護牛ノ指定又ハ解除年月、保護牛ノ種付ニ依リ生産シタル犢ノ牝牡別數及其ノ狀況　三、種付牝牛數ノ少キモノハ其ノ事由

第九號様式

種牝牛成績竝産犢異動報告（何月分）

郡名

保護牝牛所有者住所氏名	種牝牛番號	種付月日	分娩月日	牝牡別	毛色	産犢異動			買受又ハ讓受人住所氏名
						保護牛合格月日	斃死亡失月日	賣買讓渡月日	
何面何某									

備考

一、報告期限翌月十日迄ニ前月分ヲ報告スルコト　二、各欄ノ内該當事項ナキモノハ省略スルモ妨ナキコト

第十號樣式

保護牛異動報告（何月分）

郡名

保護牛所有者住所氏名	保護牛番號	譲渡許可月日	管理者變更許可月日	斃死亡失月日	譲受又ハ管理者住所氏名

備考

一、報告期限翌月十日迄ニ前月分ヲ報告スルコト　二、該當事項ナキ欄ハ省略スルモ妨ナキコト

【忠南例】

●保護牛規程實施ニ關スル件

大正五年十二月八日
勸第五五九八號第一部長通牒
各郡守宛

畜牛ハ本道ノ重要物産ナルノミナラス農業ノ組織上缺クヘカラサルモノニシテ體格ノ優劣及頭數ノ增減ハ農業盛衰ノ因トナリ延イテ地方富源ノ消長ニ至大ノ關係アルヲ以テ之カ改良增殖ニ就テハ種々施設スル所アリシト雖未タ一般農民ヲシテ自發的ニ改良增殖ノ念ヲ喚起セシムルノ域ニ至ラス隨テ種牛ノ選擇ヲ等閑視スル者比々皆然ラサルハナク加フルニ因襲ノ久シキ頗繁轉賣ノ弊習今尙存シ改良增殖ノ企圖ヲ妨クルモノ尠カラサルノミナラス動モスレハ優良牛ノ他出及消費ノ生産數ニ超過スル狀態ヲ見ルハ頗遺憾トスル所ナリ然ルニ過般總督府令ヲ以テ保護牛規則發布セラレ民有ノ優良種牡牛竝將來種牛トナルヘキ候補牛保護ノ途ヲ開カレ以テ斯業ノ根本的基礎ヲ確立セラレタルニ依リ本道ニ於テモ其ノ意ヲ體シ今回更メテ道令ヲ以テ保護牛規程ヲ設定シタル次第ニ有之候該保護牛ノ設定ニ就テハ多數ノ農民中ニハ其ノ趣旨ヲ誤解スル者ナキヲ保セス依テ之カ實施ニ當リテハ宜シク施設ノ綱要ト保護牛設定ノ趣旨トヲ周知徹底セシメ且畜牛所有者ヲシテ保護指定ノ爲煩累ヲ感セシムルカ如キコトナク進ミテ保護ヲ希望スルノ氣運ヲ釀成スル樣御配慮相成度而シテ規程施行手續ハ別途訓令相成候得共尙保護牛ノ監督及各種顚屆ノ取扱竝補助金交付ノ方法等ハ左記ニ依リ處理相成度依命此段及通牒候也

記

一、保護牛ノ檢査

保護牛ノ檢査ハ畜産組合地區內ニ於テハ組合技術員其ノ他ニ在リテハ道技術員ヲシテ之ニ當ラシメ檢査ト同時ニ保護牛證書ヲ交付セシムル依テ檢査所ニハ必ス日鮮語ニ通スル郡吏員ヲ派遣シ檢査ノ進捗ヲ圖ルコト

規程（規程トハ保護牛規程ヲ謂ヒ規則トハ保護牛規則ヲ謂フ以下之ニ倣フ）第三條ニ依リ檢査場ニ牽付クヘキ畜牛ハ現在保護牛ノ外年齡二歲以上六歲以下ニシテ體格性質共ニ優良ト認ムヘキモノ一里ニ付十二頭以上（牝牡各四歲以上二頭、三歲二頭、二歲二頭宛）トシ面長之ヲ選定シ檢査當日ハ面長若ハ面書記ヲシテ檢査ニ立會セシムルコト

（ハ）檢査場ハ普通二面一箇所トスルモ大ナル面ニ在リテハ特ニ一箇所ヲ設ケ可成農民カ受檢ノ爲牽出スル煩勞ヲ輕減スルニ努ムルコト

（ニ）檢査所ハ畜牛百頭ヲ繫留シ得ヘキ廣キ場所ニシテ可成樹木アル所ヲ選ヒ面別及檢査ノ目的別（牝牡別年齡四歲以上）ニ區別繫留セシムルコト

二、保護牛ノ公示

施行手續（保護牛規程施行手續ヲ謂フ以下之ニ倣フ）第二條ニ依ル保護牛ノ揭示ハ其ノ面內ニ於ケル保護牛ノ確定ト同時ニ之ヲ爲サシメ又保護牛ニ異動アリタルトキハ其ノ都度第一號樣式ニ依リ面長ヲシテ面事務所揭示場及其ノ他適當ナル場所ニ揭示セシムルコト

三、保護牛ノ譲渡及管理者ノ變更

（イ）譲渡又ハ管理者ノ變更ハ特殊ノ事由ナキ

【忠南例】

限リ承認セサル方針ヲ以テ其ノ事由ヲ精査スルコト

(ロ) 譲渡又ハ管理者ノ變更願ハ第二號樣式(保護牛證書ヲ添附セシム)ニ依ラシメ第三號樣式ノ面長ノ意見書ヲ添附セシムルコト

(ハ) 規程第十二條ニ依ル保護牛ノ譲渡又ハ管理者ノ變更承認ハ郡守ノ名ヲ以テシ保護牛證書ハ名義書換ノ上再交付スルコト

(ニ) 種牝牛ノ生産シタル犢ヲ譲渡シタルトキハ第四號樣式ニ依リ届出テシムルコト

(ホ) 保護牛ノ譲渡又ハ管理者ノ變更ヲ承認シタル爲該保護牛他郡ヘ異動シタルトキハ其ノ旨直ニ關係郡守ヘ通報スルコト

(ヘ) 種牝牛ノ生産ニ係ル犢牛ニシテ規程第三條ノ檢査ヲ受ケサル以前他郡ヘ異動シタルトキハ其ノ旨直ニ關係郡守ヘ通報スルコト

四、保護牛ノ解除

規程第六條ノ各號ニ付認知シタルトキ及同第七條第一號ノ報告ヲ受理シタルトキハ實況ヲ調査セシメ意見ヲ附シ報告スルコト但シ難産、皺腹症其ノ他恢復ノ望ナキ外傷等ニ罹リ食用ノ目的ヲ以テ切迫屠殺ヲ要スルモノト認ムルトキハ電信又ハ電話ニテ報告スルコト

五、保護牛ノ斃死、亡失

規則第九條ニ依リ保護牛ノ斃死又ハ亡失ノ届出ニ對シテハ届ニ保護牛證書ヲ添附セシメ且面長ニ證明セシムルコト

六、保護牛ノ監督及奬勵

(イ) 種牡牛設定ノ目的ハ其ノ種付ニ依リ畜牛ノ改良蕃殖ヲ期スルニ在リ依テ勉クモ一年四十頭以上ノ種付ヲ爲サシムルニ努ムルハ勿論四月ヨリ八月ニ至ル期間ノ種付ヲ極力奬勵スルコト

(ロ) 規程第八條ノ種付簿ハ當分ノ間道ニ於テ作製シ指定ノ際種牡牛ノ所有者又ハ管理者ニ交付スヘキニ依リ之カ記載ヲ怠ラサル樣隨時種付簿ノ點檢ヲ爲スコト

(ハ) 種付簿ノ備考欄ニ記入スヘキ事項ハ種付ノ際種付依頼者ニ對シ該牝牛分娩シタルトキハ其ノ年月日及犢ノ牝牡別人種付後報スヘキ旨口約セシメ而シテ其ノ通報ヲ受ケタル都度記入セシムルコト

(ニ) 種牝牛ニハ五月六月中ニ規則第四條ニ依リ種牡牛ノ種付ヲ爲サシメ毎年産犢セシムルニ努ムルコト而シテ規程第九條第一號ニ依リ種付ノ届出ナキトキハ其ノ事由ヲ調査シ種付ヲ督奬スルコト

七、保護牛ニ關スル補助

(イ) 規程第五條ノ保護料及第六條ノ種付奬勵金ノ額ハ毎年告示ヲ以テ之ヲ定ム

(ロ) 規程第五條ノ保護料ハ請求ヲ俟タスシテ交付金額明細書ヲ添ヘ郡守ニ送金スヘキニ依リ各保護牛所有者ヘ現金ヲ交付シ第五號樣式ノ受領證ヲ徴シ第六號樣式ノ明細書ヲ添ヘ報告スルコト

(ハ) 種付奬勵金ハ便宜一名ノ代理者ヲ定メ(郡守ニ其ノ個人名義ヲ以テ委任セシムルコト)請求及受領ノ委任ヲ受ケ第七號樣式明細書ヲ添ヘ郡守ヲ經テ左ノ期日迄ニ道長官ニ請求書ヲ提出スルコト

自四月至九月種付奬勵金　十月十日迄

自十月至翌年三月種付奬勵金　四月十日迄

第一號樣式

掲示

管内ニ於テ保護牛左ノ通リ異動アリタルヲ以テ之ヲ公示ス

年　月　日

種別	年齡	毛色體尺	異動年月日	異動事由	舊及新所有者又ハ管理者 住所	氏名
種牡牛	六歳	赤毛 四尺三寸	大正　年　月　日	譲渡	舊 郡面里	何某
				受	新 郡面里	何某
種牝牛	五歳	赤白斑 四尺一寸		譲渡	舊 郡面里	何某
				受	新 郡面里	何某
候補種牡牛	三歳	赤毛 三尺九寸		解除	面里	何某
候補種牝牛	二歳	同 二尺八寸		斃死	面里	何某

何郡何面長

第二號樣式

保護牛譲渡(管理者變更)承認願

一、保護牛種別(種牡牛又ハ何々)

一、保護牛指定年月日　大正　年　月　日

一、本年度四月以降ノ種付牝牛數　何頭

一、本年一月以降ノ種付又ハ生産年月日

大正　年　月　日種付

又ハ大正　年　月　日牝(牡)生産

一、譲受者又ハ新管理者住所氏名

何郡何面何里　何某

右何々ノ事由ニ依リ何育致兼候ニ付譲渡(管理者變更)致度候條承認相成度保護牛證書添附相願候也

大正　年　月　日

住所

所有者　氏名

何郡守殿

第三號樣式

意見書

保護牛所有者　氏名

右ノ者ヨリ保護牛譲渡(管理者變更)ノ件願出候ニ付取調候處何々ノ事由アリ保護牛ノ飼養ニ耐ヘ得ルモノト相認メ候也(耐ヘ難キモノト相認メ候也)

大正　年　月　日

何面長

何郡守殿

第四號樣式

犢牛讓渡届

種牝牛番號	牝牡別	生年月日	毛色	讓渡年月日	讓受人住所氏名

右及御届候也

大正　年　月　日

住所

所有者　氏　名

何郡守殿

第五號樣式

受領證

一金何圓何拾錢

但シ何號種牡牛（種牝牛、候補種牡牝牛）自大正何年何月　至同何年何月何ヶ月分保護料

右受領候也

大正　年　月　日

住所

保護牛所有者又ハ管理者　氏　名

忠清南道長官　殿

第六號樣式

保護料受領明細書（保護牛種別ニ調製ノコト）

保護料受領者氏名　住所

種牡牛番號	種付期間	種付牝牛數	保護料請求金額	當保護期間	受領月日	金額
計						

[忠南例]

第七號樣式

種付奬勵金請求明細書

種牡牛所有者又ハ管理者氏名　住所

種牡牛番號	種付期間	種付牝牛數	請求金額
計		何頭	

●保護牛保護料ニ關スル件

大正六年九月十七日
勸第五〇三二號第一部長通牒
各郡守宛

保護牛規程第五條ニヨル保護料ハ衞令便宜一名ノ代理者ヲ定メ（郡守ニ其ノ個人名義ヲ以テ委任セシムルコト但シ委任狀ハ連名ニテ差支ナシ）受領ノ委任ヲ受ケ四月ヨリ九月迄ノ分ヲ九月三十日、十月ヨリ翌年三月迄ノ分ヲ三月三十一日迄ニ左記樣式明細書相添ヘ受領委任狀御提出相成度此段及通牒候也

記

保護牛保護料明細書　自何月至何月（保護牛種類別ニ調製ノコト）

保護牛所有者住所氏名	保護牛番號	控定年月日	保護期間（月數）	交付金額	備考
計					

●保護種牝牛生産調査ノ件

大正八年五月三十日
勸第三〇〇一號第一部長通牒
各郡守宛

保護種牝牛ノ生産成績ハ毎年不良ニシテ保護ノ目的ニ副ハサルモノ多ク甚タ遺憾トスル所ニ候處昨年度ノ調査ニ依レハ中ニハ實際ノ生産アリテ規定ノ報告ヲ爲ササルモノモ尠カラサル狀況ニ有之候ニ付本年度ヨリ毎年五月末日迄ニ左記樣式ニ依リ前年度中ニ於ケル保護種牝牛ノ生産調査ヲ爲シ御報告相成度依命及通牒候也

追テ本年ニ限リ大正七年度分ノ調査ハ六月十五日迄報告期限延期相成候條右申添候

記

番號	種付年月日	分娩年月日	牝牡別	毛色	所有者住所氏名	備考

備考
流産又ハ死産ノモノニアリテハ其ノ旨備考トシテ記入ノコト

●種牡牛表彰ニ關スル件

大正八年十一月十一日
勸第五二七六號通牒

種牡牛ノ種付成績向上方法ニ關シテハ各々御配慮ノ事ト被存候處向之カ奬勵ノ一法トシテ今回種牡牛ノ種付成績優良ナルモノニシテ他ノ模範トスルニ足ルモノハ褒狀ヲ交付スル事ト相成候

【忠南例】

條衞今該當ノ種牡牛有之候節ハ隨時表彰方申請相成度及通牒候也

●組合指定種牡牛設定ニ關スル件

大正九年五月一日
勸第二三七六號第一部長通牒

畜産組合指定種牡牛種付成績　自　月　至　月　郡名

所有者住所氏名	番號	別種付頭數 月	月	月	計	備考

備考　所有者住所氏名欄ニハ面有組合有個人有ノ別ヲ明記スヘシ

各郡畜産組合指定種牡牛ハ全部組合指定種牡牛ニ指定シ種牡牛ノ充實ヲ計リ種付ノ昂上ニ努ムルハ畜産施設上最緊要ノ事ト被認候處本年度ヨリ面有種牡牛ハ保護種牡牛ニ指定セサルコトト相成候ニ付テハ此ノ際組合ニ於テ組合指定種牡牛ヲ設定シ面有種牡牛ハ各郡畜産同業組合長宛

付頭數ニ應シテ種付奬勵金交付スル樣御取計ヒ可相成依命及通牒候也

追而組合指定種牡牛種付成績ハ保護牛種付成績報告ニ準シ左記樣式ニ依リ報告相成度申添候

【忠南例】

●組合指定種牡牛ニ關スル件

大正九年十月二十九日
勸第五七八四號第一部長通牒

五月一日付忠南勸第二三七六號ヲ以テ組合指定種牡牛設定ノ件通牒致置候處右指定種牡牛指定又ハ異動アリタルトキハ爾今左記樣式ニ依リ御報告相成度依命及通牒候也

一、組合指定種牡牛指定報告

各郡畜産同業組合長宛

二、組合指定種牡牛異動報告

所有者住所氏名	番號	異動年月日	異動事由

指定年月日	番號	年齡	毛色	體尺特徴	所有者住所氏名

●殖牛羣規約準則

大正五年十月二十八日
訓令第十九號

第一條　本羣ハ何郡何面殖牛羣ト稱ス

第二條　本羣ハ畜牛ノ改良及蕃殖ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第三條　本羣ハ主トシテ何面內ニ居住スル農業者ヲ以テ之ヲ組織ス

第四條　本羣ノ事務所ハ何面事務所內ニ之ヲ置ク

第五條　本羣ノ事業年度ハ曆年トス

第六條　羣員ハ本羣創立ノ日ヨリ何年間毎月何日迄ニ金何十錢ツヽ本羣ニ醵金スル義務アルモノトス

前項ノ醵金ヲ期日迄ニ納入セサル者ニ對シテハ滯納日數ニ應シ本羣ハ一日ニ付金何錢ノ過怠金ヲ徵收スルモノトス

第七條　本羣ハ第一號樣式ノ醵金通帳ヲ調製シ醵金領收ノ證トシテ羣員ニ之ヲ交付スルモノトス

第八條　第六條ニ依ル醵金及其ノ他ノ收入金總額畜牛ヲ購入シ得ヘキ額ニ達シタルトキハ羣長ハ評議員會ノ同意ヲ得左ニ揭クル條件ヲ具備スル畜牛ヲ購入スルモノトス

一、牝牛ハ年齡三歲以下體格性質共ニ優良ニシテ將來蕃殖ニ適スト認ムルモノ

二、牡牛ハ年齡六歲以下體格性質共ニ優良ニシテ種牡牛ノ資格ヲ有スルモノ又ハ將來種牡牛ニ適スト認ムルモノ

第九條　本羣ノ所有スル牝牛ハ三歲ヨリ八歲ニ達スル迄蕃殖用ニ供シタル後之ヲ賣却スルモノトス

本羣ノ設定スル種牡牛ハ本道保護牛トシテ指定ヲ受ケタル期間飼養シタル後之ヲ賣却スルモノトス

第十條　本羣ノ所有スル牝牛ノ生產シタル犢ハ牝ニ在リテハ八歲迄飼育シ生後三年目ヨリ蕃殖用ニ供シ牡ニ在リテハ候補種牡牛ノ資格ヲ有スルモノヲ除キ年齡二歲ニ至リ之ヲ賣却スルモノトス

第十一條　本羣ノ所有スル畜牛ハ羣員ニ之ヲ預託スルモノトス但シ羣員中ニ飼育希望者ナキトキハ羣員以外ノ者ニ之ヲ預託スルコトヲ得

前項但書ノ場合ニ於テハ羣員二名以上ノ連帶保證ヲ要スルモノトス此ノ場合ニ於テ受託者ハ第二號樣式ノ受託證ヲ提出スルコトヲ要ス

第十二條　羣員中同時ニ二名以上ノ預託希望者アルトキハ抽籤ヲ以テ預託者ヲ定ム但シ一回當籤シタル者ハ他ノ羣員ノ當籤ヲ了ル迄抽籤ニ加ハルコトヲ得ス

第十三條　預託ノ條件ハ地方ノ慣行ヲ參酌シ總會ニ於テ之ヲ決定スルモノトス

第十四條　受託者ハ善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ畜牛ヲ飼養管理スル義務アルモノトス若過失其ノ他其ノ責ニ任スヘキ原因ニ依リ價格ヲ減少シ又ハ之ヲ滅失シタルトキハ評議員會ノ評議ニ依リ其ノ損害ヲ辨償スヘキ義務アルモノトス

第十五條　預託牝牛ノ產犢ハ生後六月間受託者ニ於テ善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ之ヲ飼養管理スル義務アルモノトス

第十六條　本羣員ハ畜牛飼料ノ改善充實ヲ圖ル爲乾草ノ適期採取、貯藏及牧草ノ栽培ヲ爲ス義務アルモノトス

第十七條　本羣ノ所有スル畜牛ノ賣却ハ評議員會ノ同意ヲ得テ羣長ニ之ヲ行フモノトス

第十八條　畜牛ノ賣却代金ハ羣ノ經費ニ之ヲ充テ其ノ剩餘金ハ毎年度羣員ニ之ヲ分配スルモノトス但シ羣有牝牛ノ頭數羣員數ニ滿タサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十九條　羣員ハ本羣ヨリ預託ヲ受ケタル牝牛ハ勿論其ノ他自己ノ所有又ハ管理スル牝牛ト雖道長官ノ指定シタル種牡牛以外ノモノト交配セシムルコトヲ得ス

新ニ加入シタル羣員ハ評議員會ノ議決ニ從ヒ他ノ羣員ノ持分ニ應シ加入金ノ出資ヲ爲スモノトス

〔忠南例〕

會ノ同意ヲ得テ五圓以下ノ違約金ヲ徵收スルモノトス

第二十條　本羣ニハ左ノ帳簿ヲ備ヘ羣員ノ請求ニ應シ何時ニテモ其ノ閱覽ニ供スルモノトス

一、羣規約
一、羣員名簿
一、醵金徵收原簿　第三號樣式
一、羣金出納簿　第四號樣式
一、羣金預入明細簿　第五號樣式
一、預託牛臺帳　第六號樣式
一、羣員所有牛臺帳　第七號樣式

第二十一條　本羣ニ羣長一名評議員何名ヲ置キ其ノ任期ハ二年トス

羣長ハ郡守之ヲ選任シ評議員ハ總會ニ於テ之ヲ選定スルモノトス

第二十二條　羣長ハ羣務ヲ處理シ評議員ハ羣長ヲ輔佐シ羣務ヲ分掌スルモノトス

第二十三條　新ニ本羣ニ加入セムトスル者アルトキハ評議員會ノ同意ヲ得テ羣長之ヲ承認スルモノトス

新ニ加入シタル羣員ハ評議員會ノ議決ニ從ヒ他ノ羣員ノ持分ニ應シ加入金ノ出資ヲ爲スモノトス

ノトス

第二十四條　組員止ムヲ得サル事由ニ依リ本組ヲ脫退シ又ハ其ノ持分ヲ他人ニ賣渡シ若ハ讓與セムトスルトキハ組長ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス

脫退シタル組員ニハ出資金ノ十分ノ五ヲ還付スルモノトス

第二十五條　組員ニシテ本規約ニ違背シ本組ノ目的ニ反スル行爲ヲ爲シ又ハ本組ノ事業ヲ妨ケ若ハ醸金ヲ延滯スルコト二月以上ニ及フ者アルトキハ組長ニ於テ評議員會ノ同意ヲ得テ之ヲ除名スルコトアルヘシ除名シタル組員ニハ前條第二項ニ依ル出資金ノ還付ヲ爲ササルモノトス

第二十六條　本組ハ毎年一月通常總會ヲ開キ臨時必要ノ場合ニハ臨時總會ヲ開クモノトス

第二十七條　本組ノ經費豫算ハ毎年一月通常總會ニ於テ之ヲ決定シ郡守ニ報告スルモノトス

第二十八條　組長ハ通常總會ニ於テ前年中ノ組務狀況ヲ報告シ且前年度組費收支決算書ヲ提出シテ其ノ承認ヲ受ケ其ノ顚末書ヲ添ヘ共ニ之ヲ郡守ニ報告スルモノトス

第二十九條　本規約ニ規定ナキ事項ニ關シテハ組長ニ於テ評議員會ノ意見ヲ徵シ適當ノ處置ヲ爲スモノトス

第一號樣式（縱約五寸、記入欄七十行ヲ要ス）

通帳第　號

醸金通帳

何殖牛組

殿

年	月	日	摘要	醸金	累計	取扱者印
大正	年	月	日	何月分醸金	圓 五〇〇	㊞
同	同	同	同	何月分醸金	五〇〇	㊞
同	同	同	同	何月分醸金	一〇〇〇	㊞
同	同	同	同	何月分醸金	一五〇〇	㊞

〔忠南例〕

第二號樣式

受託證書

一、牝（牡）牛　壹頭　價格金何拾圓也

但シ年齡何歲、毛色何毛（赤毛 黑毛 赤白斑）特徵何々（左角上何類 黑又ハ白斑）

右ノ畜牛左記ノ條件ヲ以テ受託致候處確實也

就テハ各條件ヲ遵守スルハ勿論過失其他自己ノ責ニ任スヘキ原因ニ依リ受託牛ノ價格ヲ減少シ或ハ滅失致候場合ハ貴組規約第十四條ニ依リ其ノ損害ヲ辨償シ貴組ニハ毫モ損害相掛ケ申間敷候爲後日（保證人連署）受託證一札差入申候也

左記條件

一、預託期間　自何年何月何日至何年何月何日何年トス但シ組ノ都合ニ依リ返納ヲ命セラレタルトキハ何時ニテモ返納スルモノトス

一預託料　無料（又ハ受託料年額金何圓トス）

一畜殖方法及飼養管理ノ方法ハ組長ノ命ニ從フコト

一預託牛ノ產犢ハ生後六月間飼育ノ上組ヘ納ムルコト

以上

大正　年　月　日

住所　受託者　氏　名㊞

住所　保證人　氏　名㊞

住所　保證人　氏　名㊞

何殖牛組長　殿

〔忠南例〕

第三號樣式

醸金徵收原簿（一人半枚）

通帳番號　第　號

住所

氏名

月別 / 種別	大正年一月分	同二月分	同三月分	同四月分	同五月分	同六月分	同七月分	同八月分	同九月分	同十月分	同十一月分	同十二月分	計
金額	圓 三〇〇	圓 三〇〇	圓 三〇〇	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓

領収年月日	大正　年　月　日	同　月　日	同　月　日
領収者印	㊞	㊞	㊞
記事	入樌　大正　年　月　日加入ニ付何月何日一時醸金何圓徴収 退樌　大正　年　月　日脱退ニ付何月何日醸金十分ノ五何圓ヲ還付ス 譲渡　大正　年　月　日何某ニ譲渡セシヲ以テ名義変更ス		

第四號樣式

樌金出納簿

年月日	摘要	受入高	拂出高	現在高
大正一月一日	前年度ヨリ繰越	圓 三五〇	圓	圓 三五〇
同一月十日	何誰外何人分何月分醸金	三〇〇〇		三〇〇〇
同	何誰外何人分何月分醸金	一〇〇〇		一〇〇〇
同	何誰延納過怠金	五〇〇		五〇〇
同	牝犢一頭購入代何誰拂		二〇〇〇	
同	何郵便局ヨリ利子受入	九〇〇		九〇〇
同	何誰外何人何月分醸金	一〇〇〇		一〇〇〇
一月三十日	牛紙何百枚代何誰拂		二〇〇〇	
同	牛紙何百枚代何誰拂		二〇〇〇	
	一月分合計	四五九〇〇	二二〇〇〇	二三九〇〇

注意

二月末ヨリハ累計ヲ附スヘシ

十二月ヲ以テ終了トシ左ノ通リ帳簿ノ末尾ニ決算ヲ附シ之ニ對スル證憑書類モ科目別ニ編綴スヘシ

大正何年度決算

收入

一金	前年度繰越金	
一金	預金利子	
一金	樌員醸金	
一金	延納過怠金	
一金	何々	
計金		

支出

一金	事務所費	
一金	牛購入代	
一金	何々	
計金		

第五號樣式

樌金預入明細簿

預入年月日	預入人住所氏名	預入期間及利子	預入金額	回收金額	備考
年　月　日	保證人住所氏名				
同　年　月　日	何面何里何誰	三ヶ月間月二分	圓 一〇〇〇	圓 一〇六〇	何年何月何日利共回收
同　年　月　日	何面何里何面何里何	四ヶ月間月二分五厘	五〇〇〇	五五〇〇	同　同

第六號樣式

預託牛臺帳 （一人半枚）

欄	記入要領
受託者 住所氏名	
保證人 住所氏名	
番號	
牝（牡）	
生年月	
毛色	
特徴	
購入 金額	圓
購入 買入月日	
購入 買入先 氏名	
購入 備考	
受託者 異動	
預託年月日	
蕃殖成績	本欄ニハ牝牛ノ種付及犢ノ生産年月日竝犢ノ處分等ヲ明記シ置クモノトス
賣却年月日	本欄ニハ母牝牛所謂預託牛ノ賣却年月日ヲ記入スルモノトス
賣却價格	本欄ニハ預託牛ノ賣却價格及買受人ノ住所氏名ヲ記入シ置クモノトス
備考	

〔忠南例〕

注意 生年月不明ノモノハ年齢ヲ記スヘシ

〔忠南例〕

第七號樣式

稧員所有牛臺帳 （一人半枚）

面　里　統戸（番地）

飼主　氏　名

種類	牝牡	生年月	毛色	特徴	產地	所有者 住所	所有者 氏名	入除籍年月日及事由	備考

注意

生年月日不明ノモノハ何歳ト記スヘシ

備考欄ニハ牝牛ノ種付及生產年月日等ノ記入ヲナスヘシ

入籍トハ畜牛ノ買入、讓リ受ケ、生產、受託等新ニ飼養シタル場合ヲ謂ヒ除籍トハ賣却預託、讓渡斃死等ニヨル場合ヲ謂フ而シテ除籍ノ場合ハ種類ヨリ產地ニ至ル各欄ニ朱線ヲ引キ置クヘシ

●購牛稧規約準則

大正五年十月二十八日
訓令第十九號

第一條 本稧ハ何郡何面何里（何里何里）購牛稧ト稱ス

第二條 本稧ハ主トシテ何郡何面何里ニ居住スル農業者ヲ以テ之ヲ組織ス

第三條 本稧ハ各稧員ヨリ毎月末金何十錢ヲ出資セシメ稧員ヲシテ畜牛ヲ取得飼養セシムルヲ以テ目的トス

第四條 本稧ノ事務所ハ何面何里何統何戸ニ之ヲ置ク

第五條 本稧ノ存立期間ハ何年（何十ケ月）トス

第六條 出資金總額何圓ニ達シタルトキハ稧長ハ評議員會ノ同意ヲ得テ一定ノ額ノ畜牛ヲ購

入シ抽籤ノ方法ニ依リ當籤シタル組員ニ之ヲ交付スルモノトス但シ當籤者ノ希望ニ依リ所定額以上ノ畜牛ヲ購入スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ超過額ハ當籤者ノ負擔トシ所定額以内ノ畜牛ヲ購入シタルトキハ其ノ剩餘金ハ購入牛ト共ニ當籤者ニ之ヲ交付スルモノトス

第七條　前條ニ依リ畜牛ノ交付ヲ受ケタル組員ハ組員二名以上ノ連署ヲ以テ第一號樣式ノ受領證ヲ本組ニ提出スルモノトス

前項ノ組員ハ本組解散ニ至ル迄善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ其ノ畜牛ヲ飼育管理スル義務アルモノトス

第八條　一囘當籤シタル者及出資金滯納者ハ抽籤ニ加ハルコトヲ得ス

第九條　本組ヨリ畜牛ノ交付ヲ受ケタル組員ハ其ノ翌月ヨリ第三條ノ出資金ト共ニ毎月金何錢ヲ增額出資スル義務アルモノトス

第十條　前條ノ增額出資金ハ組長之ヲ保管シ確實ナル方法ニ依リ其ノ利殖ヲ圖リ之ヲ積立ツルモノトス

前項ノ積立金ハ本組ニ於テ交付シタル畜牛カ疾病ニ依リ斃死シタルトキ其ノ組員ニ對シ金何圓以内ノ犢牛ヲ購入交付セムトスル場合ニ限リ之ヲ支出スルコトヲ得ルモノトス前項ノ支出ハ組長評議員會ノ同意ヲ得テ之ヲ行フモノトス

本組滿期解散ノ際積立金アルトキハ組長ニ於テ評議員會ノ意見ヲ徵シ郡守ノ承認ヲ經テ適當ニ之ヲ處分スルモノトス

第十一條　本組ニハ左ノ帳簿ヲ備ヘ組員ノ請求ニ應シ何時ニテモ其ノ閱覽ニ供スルモノトス

一組規約
一組員名簿
一出資金徵收原簿　第二號樣式
一出資金受拂簿　第三號樣式
一積立金受拂簿　第四號樣式
一購入牛臺帳　第五號樣式

第十二條　本組ニ組長一名評議員何名ヲ置ク組長ハ面長之ヲ選任シ評議員ハ總會ニ於テ之ヲ選定スルモノトス

第十三條　組長ハ組務ヲ處理シ評議員ハ組長ヲ輔佐シ組務ヲ分掌スルモノトス

第十四條　組員ニシテ本規約ニ違背シ又ハ本組ノ事業ヲ妨ケ若ハ出資金ヲ延滯スルコトニ月以上ニ及フ者アルトキハ組長ニ於テ評議員會ノ同意ヲ得テ之ヲ除名スルコトアルヘシ

除名シタル組員ニハ出資金ノ還付ヲ爲ササルモノトス

第十五條　本組ハ每年一月通常總會ヲ開キ臨時必要ノ場合ニハ臨時總會ヲ開クモノトス

第十六條　組長ハ通常總會ニ於テ前年中ノ組務狀況及出資金竝積立金ノ收支計算ヲ報告シ且其ノ顚末書ヲ添ヘ面長ヲ經テ之ヲ郡守ニ報告スルモノトス

第十七條　本規約ニ規定ナキ事項ニ關シテハ組長ニ於テ評議員會ノ意見ヲ徵シ適當ノ處置ヲ爲スモノトス

第一號樣式

受領證

一牝(牡)牛　壹頭　但シ價格金何圓

一金何圓何十錢(所定購入費ニ剩餘金ヲ生シタル場合)

右購牛組規約第六條ニ依リ交付相受候ニ就テハ組期滿了スル迄右畜牛ヲ完全ニ飼育管理シ且規約ニ基キ出資金ハ勿論增額出資金ヲモ確實ニ提供可致候若以上ノ出資ヲ延滯致候場合ハ本人ニ代リ保證人ニ於テ出資シ組ニ對シ毫モ損害相掛ケ申間敷候依テ爲後日保證人連署ヲ以テ受領證差入候也

年　月　日

住所
受領者　氏　名印

住所
保證人　氏　名印

【忠南例】

第二號樣式

出資金徵收原簿

組員名	種別	月別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
	出資金	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢
	領收月日		月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	
	出資金														
	領收月日														
	出資金														
	領收月日														
計															

（大正何年分）

【忠南例】

住所
保證人　氏　名印

何々購牛組長何之誰殿

第三號樣式

出資金受拂簿

年月日	摘要	受入高	拂出高	現在高
大正一年一月一日	前年度繰越金	圓	圓	圓

一月何日	何某外何名何月分出資金					
一月何日	何某外何月分出資金			七五〇〇		七五〇〇
一月何日	畜牛頭購入代何某拂			七五〇〇		一五、〇〇〇
月計					九〇〇〇	六、〇〇〇
				一五、〇〇〇		九、〇〇〇
						六、〇〇〇

備考　一月末ヨリハ累計ヲ附スヘシ

第四號樣式

積立金受拂簿

年月日	摘要	受入高	拂出高	現在高	備考
大正一月何日	何某ヨリ何月分增額出資金受入	圓〇五〇		圓〇五〇	何年何月何日郵便局へ貯金又ハ何某へ貸付
二月何日	何某外何名ヨリ何月分增額出資金受入	一〇〇		一五〇	
月日	何郵便局ヨリ預金利子受入	〇五〇		二〇〇	

備考　金額增加シ且拂出ヲ爲スヘキ時期ニ達シタルトキハ毎月末日ニ於テ月計及累計ヲ爲シ置クコト

第五號樣式

購入牛臺帳

購入番號	牝牡別	年齡	毛色	購入價格	購入年月日	購入先 氏名 住所	交付ヲ受ケタル者 氏名

●殖牛稧竝購牛稧奬勵ノ件

大正五年十月二十八日
勸第五〇九六號第一部長通牒

各郡守宛

殖牛稧及購入稧設立ノ奬勵ニ付テハ訓令第十九號ノ旨趣ヲ體シ夫々御計畫可相成儀ト被存候得共奬勵ノ方法宜シキヲ得ルニ非サレハ有望ナル事業モ終ニ失敗ニ歸スヘク爲ニ或ハ延イテ他ノ施設ニモ累ヲ及ホスニ至ルコトナキヲ保セス依テ之カ奬勵ニ付テハ豫メ計畫ヲ定メ地方ノ狀況ヲ斟酌シ左記要項ニ依リ御奬勵相成度尙殖牛稧設立ノ際ハ第一號樣式ニ依リ稧規約寫ヲ添ヘ其ノ都度其ノ事業ノ成績ハ第二號乃至第四號樣式ニ依リ又購ノ牛稧設立及事業成績ハ第五號樣式ニ依リ每年六月及十二月末日現在ヲ翌月二十日迄ニ報告相成度依命此段及通牒候也

記

一、殖牛稧設立要項

（イ）奬勵方針、殖牛稧ハ今後三年ヲ期シ各面ニ設立セシムル方針ヲ以テ奬勵スルコト

（ロ）區域及稧員數、稧ノ區域ハ面トシ稧員ハ五十名以上トスルコト

（ハ）釀金額及存立期間、稧員一名ノ釀出金ハ年額三圓六十錢以上トシ五年間繼續セシメ存立期間ヲ十年以上トスルコト

（ニ）事務所及役員ノ給與、事務所ハ面事務所內ニ置キ面長ヲシテ常時監督セシメ役員ハ當分無報酬トスルコト

（ホ）畜牛購入期、每年七月乃至九月中飼料豐富ニシテ且牛價下落ノ際ヲ選ヒ購入セシムルコト

（ヘ）購入方法及價格、稧員中最モ能ク畜牛ノ鑑別ニ通スル者ヲシテ鑑定セシメ規約準則第六條ノ條件ヲ具備スル牝牛ヲ購入（價格約二十五圓以內）セシムルコト但シ種牡牛ヲ設定スル目的ヲ以テ成牡牛ヲ購入スル場合ハ豫メ道ノ檢査ヲ受ケシムルコト

（ト）稧金ノ支出監督、稧金ノ支出ニ對シテハ證憑書類ヲ徵收セシメ常ニ整理シ年別ト爲シ保存セシムルコト

（チ）稧員ノ異動、稧員ノ脫退ハ成ルヘク之ヲ戒メ若止ムヲ得サル事情アリテ脫退セムトスル者アルトキハ其ノ權利ハ之ヲ他人ニ賣渡シ又ハ讓與セシムルコト

二、購牛稧設立要項

（イ）奬勵方針、購牛稧ハ今後五年ヲ期シ郡ノ全體ニ涉リ普及セシムル方針ヲ以テ奬勵スルコト

（ロ）區域及稧員數、稧ノ區域ハ一里又ハ二里トシ稧員ハ三十名以上トスルコト

（ハ）出資金額及存立期間、楔員一名ノ出資金ハ年額三圓以上トシ三年以内ニ滿了セシムル方針ヲ採ルコト

（ニ）帳簿ノ整理、郡吏員出張ノ序ヲ以テ隨時監督セシムルト共ニ常ニ面長ヲシテ指導監督セシムルコト

第一號樣式

殖牛楔設立報告

名稱	
事務所ノ位置	
設立年月日	
存立期間	
區域	
楔員人員	
事業經營ノ要領	
楔費徵收方法	
楔費支出方法	

郡名

役員

職名	就任年月日	住所	氏名

備考　楔長ノ異動ハ其ノ都度報告スルコト

〔忠南例〕

第二號樣式

殖牛楔事業成績報告（其ノ一）自　月　至　月

楔名	現在楔員	當期受人金 繰越金	收入金	計	當期支出金 購牛費	經費	返還金	計	現在金高	累計 創立以來受入金	同上支出金
計											

郡名

備考

一、經費トハ畜牛購入費以外ノ諸費ヲ謂フ

二、返還金トハ脱退シタル楔員ニ返還シタル金額ヲ謂フ

三、累計トハ創立以來毎年ノ總計（繰越金ヲ含マス）ヲ謂フ

〔忠南例〕

第三號樣式

殖牛楔事業成績報告（其ノ二）自　月　至　月

楔名	當期購入牛數 購入牛數	同上斃死數	同上賣却數	現在數	當期生産牛數 生産數	同上斃死數	同上賣却數	現在數
計								

郡名

第四號樣式

殖牛楔事業成績報告（其ノ三）自　月　至　月

郡名

稧名	創立以來購入牛累計				創立以來生産牛累計			
	購入牛數	同上斃死數	同上賣却數	現在數	生産數	同上斃死數	同上賣却數	現在數
計								

第五號様式

購牛稧事業成績報告　自　月　至　月　郡名

面別稧名	設立年月日	現在稧員	當期收入金	當期支出金	現在金	創立以來收入金累計	當期購入牛數	創立以來購入牛數累計
計								

●殖牛稧設立奬勵ニ關スル件

大正六年三月二十二日
勸第一七九四號第一部長通牒
各郡守宛

殖牛稧ノ設立ハ畜牛ノ改良增殖上最モ適切ナル方法ト認メ本道ノ大ニ奬勵スル處ニ候得共中ニハ成績ヲ擧クルニ急ニシテ道ノ方針ヲ超越シ初年ヨリ各面ニ又ハ一面ニ稧ノ割合ヲ以テ之カ設立奬勵ニ努ムル向モ有之哉ニ聞及候然ルニ事業ノ性質如何ニ良好ナルモ經營者其ノ人ヲ得ルニ非サレハ的確ナル成績ヲ收メ得ヘキモノニアラス殊ニ本稧ノ如キハ事創始ニ屬シ一般人民ニ經驗乏シク且諸帳簿ノ整理、事業ノ經營等ニ關シテハ細心ノ注意ヲ要スルモノ有之候ニ付先ツ各郡中最モ有望ト認ムル三、四面ヲ選拔指定ノ上稧員ヲ精選シテ確實ナルモノヲ組織セシメ其ノ成績ヲ見テ漸次之ヲ各面ニ普及セシムル方針ヲ以テ御奬勵相成候樣致度依命此段及通牒候也

【忠南例】

●牧草種子ニ關スル件

大正六年三月二十日
勸第二〇一六號第一部長通牒
各郡守宛

曩ニ配付致候牧草種子ノ栽培ニ關シテハ左記ニ依リ播種シ之レカ普及ヲ圖ラレ度尙先年來配付シタル牧草種子ハ各郡共ニ其ノ成績良好ナラス甚タシキニ至リテハ全ク其ノ痕ヲ絕ツニ至リタル箇所不尠見受ケラレ候其ノ原因種々アルヘキモ要スルニ未墾ノ放牧地ニ直接播種セシ結果雜草ノ爲壓倒セラレ或ハ適當ナル地ニ播種スルモ其ノ監視宜シキヲ得サリシ結果ニ外ナラスト被認候斯クテハ數年來畜牛ノ飼料トシテ普及スヘク配付シタル種子モ其ノ好果ヲ收ムル能ハス殊ニ牧草種子ハ明年度以後配付致ササル筈ニ有之候條永ク採種ノ目的ヲ以テ栽培セシムル樣農業技手ヲシテ實地指導ヲナサシメ充分ナル御監督ノ下ニ普及ヲ圖ラレ度此段及通牒候也

記

赤詰草及ルーサン

一、播種地
面苗圃或ハ常ニ監視シ得ヘキ既墾ノ放牧地ヲ選フヘシ

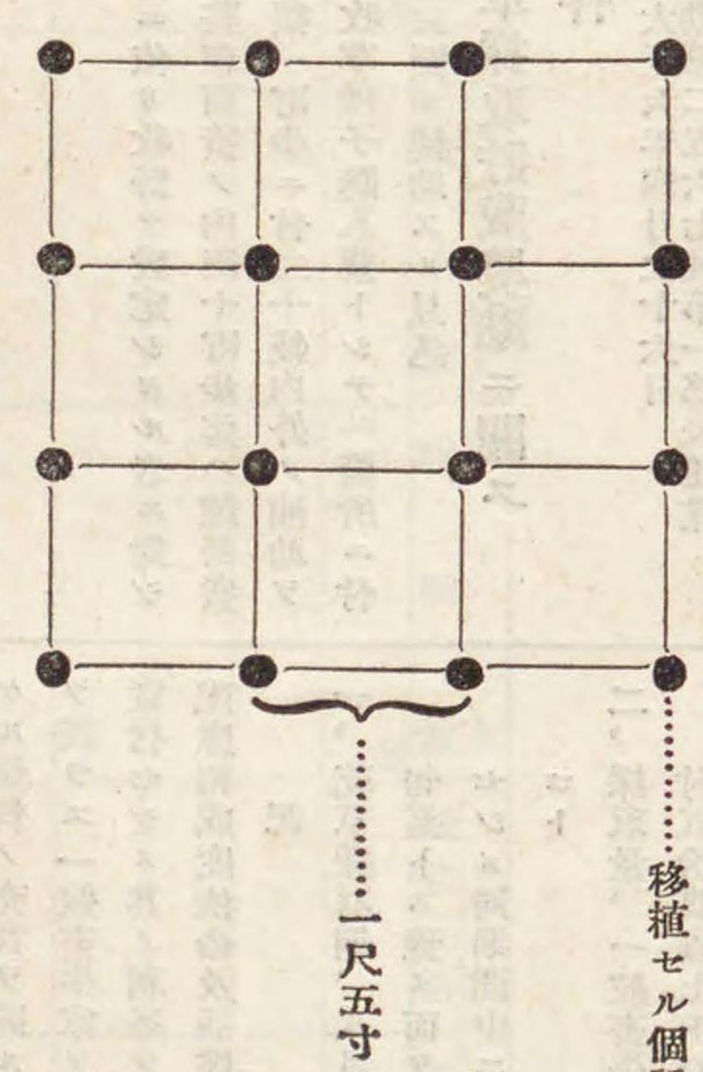
二、播種地ノ準備
深ク耕起シ草根ヲ取除キ土塊ヲ粉碎シテ平坦ト爲シ植堆肥ヲ圃場ノ全面ニ不同ナク散布シ能ク之レヲ播キ均スヘシ

三、播種期及播種量
成ルヘク四月中旬迄ニ播種ス其ノ量ハ一段歩ニ付三斤乃至四斤トス

四、播種方法
風無キ靜穩ノ日ヲ選ヒ種子ヲ畝蒔キトシ蒔キ終ラハ箒ニテ土ヲ覆ヒ同時ニ土壤ト種子トヲ密ニ混合セシメ其ノ上ヲ長キ圓木ヲ轉シテ壓鎭シ風雨ノ爲種子ノ散亂スルヲ防クヘシ

五、收穫期及方法
採種ノ目的ナルヲ以テ九月中旬ヨリ十月上旬ノ間ニ於テ結實シタル時刈取リ乾燥セシメ筵ノ上ニテ桴皮ヲ揉ミ種子ヲ採集スヘシ

六、移植
移植ハ播種ノ翌年ニ行フヲ適當トス其ノ法約三寸四方ヲ一株トシ土ト共ニ切取リ之ヲ畦畔其ノ他ノ草生地ニ左圖ノ如ク移植スヘシ斯スル時ハ其ノ翌年ニ至リ一面ノ牧草ヲ以テ覆ハルヽニ至ルヘシ



●共同牧野設定ニ關スル件

大正六年四月二十五日
勸第二五四六號第一部長通牒
各郡守宛

畜牛ノ改良增殖上草生地ヲ保護シ野草ノ改善ヲ圖ルハ極メテ緊要ナル施設ナリ依テ牧野ノ設定ニ就テハ去ル大正二年八月以降奬勵ノ結果數ニ於テ三千五百三十四箇所面積ニ於テ八千三百七十町七段ヲ算スルニ至レリト雖モ經營ノ見ルヘキモノ殆ト之ナク却テ漸次縮少ノ狀態ニ在ルハ

【忠南例】

頗ル遺憾ニ不堪候就テハ左記要領ニ依リ既定ノ牧野ヲ整理シ必要ニ應シテ之ヲ擴張シ又ハ他ニ適當ナル場所ヲ選定シ部落民共同牧野ノ經營及利用方法ヲ指導セラレ度依命及通牒候也

記

一、箇所、本年度ニ於テ整理又ハ設定スヘキ牧野ハ一郡ニ付二箇所又ハ三箇所トスルコト

二、面積、一箇所ニ付共同者一戸當四段歩以上トスルコト

三、位置、可成路傍又ハ人家ニ近ク監視上便宜ノ地ニシテ將來草生地トシテ成功ノ見込アル未墾地（傾斜十五度以内）ヲ選フコト

四、前項ニ依リ設定シタル共同牧野ニ對シテハ事業計畫書ヲ添ヘ貸付ノ手續ヲ爲サシムルコト

五、經營、五年計畫ヲ定メ牧野ノ外圍北、西面ニハ防風林造成ノ目的ヲ以テ濶葉樹ヲ密植セシメ（一坪二本ノ割）野面ニハ一段歩ニ付二十本ノ割合ヲ以テ同樹ヲ植栽シ植樹以外ノ野面ハ開墾ノ上牧草ノ種子ヲ播種シ又ハ牧草及野草中飼料トシテ良好ナルハギカヤノ類ヲ移植セシムルコト

六、利用、以上ノ事業經營中ハ單ニ共同者ノ乾草採取貯藏ノミナラス如シ從テ野草ノ豊富ナル地方ニ於テ勵モスレハ飼料ニ不足ヲ告クル傾向アルハ畜牛ノ改良繁殖上頗ル遺憾トスル所ニ有之候由來野草ハ概シテ滋養ニ富ミ稻藁又ハ穀菽類ノ藁稈ニ比シ優良ナル飼料ナルニ依リ冬期間ニ於ケル飼料ノ充實ヲ圖ル爲メ左記要領ニ依リ時期ヲ誤ラス一般畜牛家ヲ督勵シ乾草ノ採取貯藏ヲ實行セシメ其ノ利益ヲ實地ニ周知セシムル樣御配慮相成度依命及通牒候也

記

一、乾草採取期、八月上旬（雨季後）ヨリ同月中旬迄トス豫メ面ヲシテ採取日割ヲ決定報告セシメ同期間中ニハ吏員ヲ派遣シ督勵スルコト

二、採取量、一般畜牛者ニ對シテハ畜牛一頭ニ付五拾貫以上トシ更ニ一面ニ付篤農者ニシテ畜牛ヲ飼養スル者五名以上ヲ選拔指定シ各人勘クモ百五十貫匁以上ヲ採取セシムルコト

三、採草ノ種類、禾本科（圓キ莖ト長キ葉ヲ有スルカヤノ類）及萱科（圓キ葉ヲ有シ豆ノ如キ花ヲ開クハギ、葛ノ類）ニ屬スルモノヲ主トシテ採取セシムルコト

四、調製法、晴天ノ日ヲ選ヒ畜牛ノ嗜好ニ適スル野草ヲ地上一寸五分位ノ所ヨリ刈取リ之ヲ日光ノ直射スル場所ニ擴ケ一日二三回宛反轉シ雨露ニ當テサル樣二三日間繼續乾燥セシムルコト

五、貯藏法、前記ノ方法ニ依リ調製シタル乾草ハ之ヲ適當ニ壓搾結束（七八貫匁位）セシメ濕氣ナキ乾燥ノ地ニ丸太ノ如キ臺ヲ置キ其ノ上ニ累積シ雨露ノ浸入ヲ受ケサル樣覆ヲ爲シ貯藏セシムルモノトス若シ乾燥充分ナラサル力又ハ濕氣ヲ吸收スルトキハ乾草醱酵シ褐色ニ變シ滋養分減退スルヲ以テ特ニ注意スルコト

六、成績報告、前記ノ方法ニ依リ貯藏セシメタル乾草量ハ第一號樣式ニ依リ九月三十日迄ニ當廳ニ報告スルコト

七、補助、乾草百五十貫匁以上採取シタル者ニ對シテハ補助金交付ノ途アルニ依リ郡畜產技手又ハ農業技手ヲシテ九月中ニ巡回審査ヲ爲サシメ等級ヲ付シ第二號樣式ニ依リ九月三十日迄當部ニ報告スルコト

【患畜例】

●乾草採取貯藏奬勵ニ關スル件

大正六年四月二十六日
勸第二五六七號第一部長通牒

郡守宛

本道ニ於ケル畜牛ノ冬期飼料ハ主トシテ稻藁ニシテ之ニ少量ノ穀菽莖稈或ハ糠又ハ皺ヲ混シテ給與スル狀態ニ有之乾草ヲ利用スル者極メテ尠シ偶々之ヲ調製シ飼料ニ供スル地方アリト雖此等ハ前記飼料ノ不足ヲ補充スル意味ニ於テ利用スルニ過キスシテ未タ乾草ノ眞價ヲ知ラサルモノヽ如シ

【患畜例】

第一號樣式

乾草採取貯藏成績報告

面別	百五十貫未滿採取人員	同上百五十貫以上採取人員	合計採取量	貯藏方法等級	貯藏量	貯藏者住所氏名
			貫		貫	
計						

郡名

第二號樣式

乾草審査成績報告

郡名

注　意、審査ノ採點方法ハ追テ決定ノ上當廳ヨリ通知スヘシ

貫

●共同牧野設定ニ關スル件

大正六年六月二十日
勸第二六七三號第一部長通牒
各郡守宛

共同牧野ノ設定ニ關シテハ四月二十五日付忠南勸第二五四六號通牒ニ基キ夫々御配慮相成居候義ト被存候處該通牒ニ依リ設定セントスル牧野ニ對シテハ國有未墾地ヲ無料貸付セラレ度旨別紙計畫書ヲ添ヘ其ノ筋ヘ照會セシニ今回貸付料免除ノ必要アル場合ハ國有未墾地利用法施行規則第十九條ニ依リ經營者ヲシテ出願セシメラルヽニ於テハ相當詮議方取計フヘキ趣回答有之候條右御了知ノ上共同牧野ノ設定方御督勵相成度及通牒候也

國有未墾地利用計畫

一、利用ノ目的　牧畜
二、面積　一ケ所十町歩以内ノ豫定
但シ關係者一戸ニ付四段歩以上トスルコト
三、植樹
(イ)　外圍西、北面ニハ一坪二本ノ割合ヲ以テ適當ナル濶葉樹ヲ植栽シ五ケ年ヲ期シテ全線ニ植付クルモノトス
(ロ)　野面ニハ一段歩ニ付二十本ノ割合ヲ以テ毎年四百本宛適當ナル濶葉樹ヲ植栽シ五ケ年ヲ期シテ全面ニ植付クルモノトス
(イ)　植樹以外ノ野面ハ初年度ニ於テ十分ノ一ニ相當スル面積ヲ四月中ニ開墾シ一段歩ニ付赤詰草二斤及禾本科ニシテ適當ナルモノ一斤半ノ割合ヲ以テ混合播種シ次年度ヨリ二町三段歩宛開墾シ前記ノ牧草ト共ニカヤハギ葛類ノ飼料ニ適スルモノヲ移植シ五年目ニ完成セシムルモノトス
五、利用方法
以上ノ事業經營中ハ單ニ共同者ノ乾草採取所ト爲シ八月上旬(雨季後)共同刈取リヲ爲スノ外他ノ目的ニ使用セス而シテ植栽シタル樹木畜牛ノ繫留ニ差支ナキ程度ニ成育シタル後ハ

〔忠南例〕

●牧草栽培普及ニ關スル件

大正七年五月十六日
勸第三一九二號第一部長通牒
各郡守宛

牧草ノ栽培普及ニ就テハ夫ミ計畫ヲ樹テ督勵中ノ事ト被存候處一般農民ニ對シ速ニ其價値ヲ周知セシメ自發的空閒地及路傍等ヲ利用シ飼料ノ增收ヲ圖ラシムル方法トシテ左記要領ニ依リ實行ニ努メラレ度依命及通牒候也

記

一、郡面廳舍ノ空地中芝草地域ニハ白苜蓿ヲ又草生地域ニハ赤詰草ヲ播種又ハ移植スルコト

二、模範里洞又ハ振興會中成績良好ナルモノヲ指定シ小面積ノ苗圃ヲ作リ白苜蓿ヲ又ハ赤詰草ヲ播種シ之ヲ里外道路ノ路傍、法面等ノ草生地ニ移植セシメ其成績ヲ見テ漸次他ノ里洞面ニ及ホサシムルコト(草生地ニ直ニ播種スルハ概ネ成績不良ナルヲ以テ注意ヲ要ス)

全面積ヲ二分シ乾草採取所及畜牛繫飼所トシテ毎年輪換的ニ利用スルモノトス

三、郡面廳舍ノ空地ニ移植シタル前記牧草ハ一部ヲ採取方法指導用トシ其他ハ刈取及乾燥方法指導用ニ供シ尙乾草ハ道有面有牛ノ飼料ニ利用スルコト

四、白苜蓿ハ矮性ナルヲ以テ鹽舍ノ前庭等ニハ風致上之ヲ可トスヘキモ肥料又ハ飼料トシテノ收量ハ遠ク赤詰草ニ及ハス故ニ路傍其他ノ空閒地ニ栽植スルニハ成ルヘク赤詰草ヲ選フヘキコト

●牛皮取締規程

大正五年十二月
道令第八號

改正　大正八年六月道令第七號

第一條　生牛皮ハ製革スルモノノ外之ヲ本令ニ依リ設置シタル獸皮乾燥場ニ於テ鹽乾乾燥スヘシ

第二條　生牛皮ハ鹽乾又ハ製革ノ爲獸皮乾燥場若ハ製革場ニ移送スル場合ノ外之ヲ屠場ヨリ搬出スルコトヲ得ス

第三條　屠場經營者(學校組合ヲ除ク)ハ獸皮乾燥場ヲ設置スヘシ　但シ附則第二項ニ該當スル牛皮改良組合所在地ニ在ル屠場ノ經營者ハ此ノ限ニ在ラス

〔忠南例〕

學校組合經營ノ屠場ニ於テ剝離シタル獸皮ノ鹽乾加工ヲ目的トシテ獸皮乾燥場ヲ設置セムトスル者ハ道長官ノ認可ヲ受クヘシ

獸皮乾燥場ハ一屠場ニ付一箇所ノ外之ヲ設置スルコトヲ得ス

第四條　獸皮乾燥場ノ新築、改築ヲ爲サムトスルトキハ左ノ事項ヲ具シ豫メ道長官ノ認可ヲ受クヘシ

一、經營者ノ本籍、住所、氏名、年齡(面組合ニ在リテハ郡面名又ハ組合名、及面長若ハ組合長氏名)
二、獸皮乾燥場設置豫定地及其附近ノ狀況ヲ知ルニ足ルヘキ略圖
三、工事設計仕樣書同設計圖
四、一ケ年間ニ鹽乾加工ヲ爲スヘキ生牛皮ノ豫定數量(枚數)

第五條　獸皮乾燥場經營者ハ生牛皮鹽乾加工ノ依賴ヲ拒ムコトヲ得ス

獸皮乾燥場ノ經營者生牛皮鹽乾ノ委託ヲ受ケ現品ヲ受領シタルトキハ其委託者ニ對シ第一號樣式ノ預證ヲ交付シ爾後加工ヲ完了シ現品ノ引渡ヲ爲ス迄善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ保管ノ責ニ任スヘシ

前項ノ預證ハ第二號樣式ノ通帳ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第六條　生牛皮鹽乾加工ノ方法及其ノ手數料額ハ道長官ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムヘシ

但シ面ニ於テ經營スル獸皮乾燥場ノ手數料ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第七條　獸皮乾燥場ニハ第三號及第四號樣式ノ臺帳ヲ備ヘ乾燥鹽付ノ狀況ヲ記載スヘシ

第八條　剝皮ハ改良刀（彎刀）ヲ使用シ第五號圖式ニ依ルヘシ

第九條　牛皮ハ泥土、砂礫、鐵粉其ノ他ノモノヲ塗抹シ又ハ苦汁其ノ他ノ液ニ浸漬スルコトヲ得ス

第十條　鹽乾皮ニハ屠獸檢査ニ從事スル官吏、吏員ヨリ第六號圖式ニ依ル檢印ノ押捺ヲ受クヘシ

前項ノ檢印押捺ヲ受ケサル牛皮ハ之ヲ獸皮乾燥場ヨリ搬出スルコトヲ得ス

第十一條　鹽乾皮ハ折目ヲ付セス毛生面ヲ內側トシ丸卷ト爲スヘシ

第十二條　本令ニ依リ設置シタル獸皮乾燥場ヲ讓渡セムトスル者ハ讓受人ト連署シ道長官ノ認可ヲ受クヘシ

屠獸場ノ經營者又ハ附則第二項ニ該當スル牛皮改良組合ノ設置シタル獸皮乾燥場ハ當該屠場若ハ牛皮改良組合ノ業務ト共ニスルニ非ラサレハ之ヲ讓渡スルコトヲ得ス相續又ハ引繼（面、組合ノ廢合ニ依ル）ニ依リ獸皮乾燥場ノ權利義務ヲ承繼シタルモノハ其ノ事實發生ノ日ヨリ一月內ニ戶籍民籍ノ謄本若ハ引繼引受ニ關スル郡守ノ認證書ヲ添ヘ道長官ニ屆出ツヘシ

第十三條　本令第一條乃至第四條第五條第一項、第六條第九條及第十條ノ規定ニ違反シタルモノハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ノ規定ニ依リ設置シタル牛皮鹽乾加工場及大正五年十二月二十七日以前ニ道長官ノ認可ヲ受ケテ設立シタル牛皮改良組合ノ經營スル牛皮鹽乾加工場ニシテ現ニ存スルモノハ本令ニ依リ設置シタル獸皮乾燥場ト見做ス

第一號樣式

生牛皮預證

番號	牝牡別	年齡	毛色	生皮重量	加工手數料
				貫	圓

右預リ候也

大正　年　月　日　住所

何某殿

屠場經營者　氏名

（又ハ何牛皮改良組合）

【忠南例】

第二號樣式

表紙

生牛皮預託通帳

何某殿

屠場經營者　氏名

（又ハ何牛皮改良組合）

【忠南例】

內容記入事項

番號	受託月日	牝牡別	年齡	毛色	生皮重量	加工手數料	引渡月日	受託者印
					貫	圓		

備考　點線ヨリ切離シ一ヲ控トスヘシ

番號	牝牡別	年齡	毛色	生皮重量	加工手數料	受託月日	依頼者氏名
				貫	圓		

備考　乾皮ノ引渡ト共ニ受託月日ヨリ加工手數料迄ノ各欄ニ朱線ヲ引キ整理スルコト

第三號樣式

生牛皮乾燥臺帳

番號	受託月日	牝牡別	年齡	毛色	生皮重量 貫	乾皮重量 貫	檢印月日	缺點 生皮缺點	缺點 乾皮缺點	乾皮等級	所有者住所氏名
月計		牝 五			二〇〇〇						
累計		牡 一〇			五〇〇〇	一二〇〇				甲 五	
						二七〇〇				乙 五	
										丙 五	

備考

累計ハ翌月ヨリ記入ノコト

第四號樣式

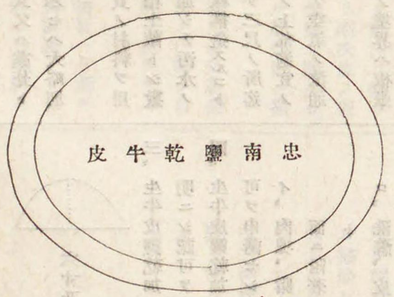
生牛皮鹽付臺帳

番號	生皮重量 貫	第一回鹽量 升	第二回鹽量 升	手數料 圓	同上受領月日	摘要	監督官吏檢查印	所有者住所氏名
					第一回鹽漬何月何日			
					第二回同何月何日			

第五號圖式

月計		
累計		

第六號圖式



横　二寸
縦　一寸

●牛皮取締規程實施ニ關スル件

大正六年一月三十一日
勸第六九八號第一部長通牒

各郡守宛

本道ノ牛皮ハ其ノ品質優良ナル點ニ於テ全鮮ニ冠タリト稱セラルルモ實際ノ市價之ニ伴ハサルハ主トシテ剝皮及乾燥方法ノ宜シキヲ得サルト梱包ノ不良ナルトニ因ルモノニシテ產業上遺憾トセシ所ナリ依リテ從來牛皮改良組合ノ設立ヲ奬勵シ當業者間相互ノ制裁ヲ以テ之カ改善ヲ爲サシメムコトヲ圖レリト雖是等階級ニハ共圖ノ

觀念ニ乏ク目前ノ利益ニ腐心シ不正手段ヲ行フ者尠カラス爲ニ組合ノ制裁力ノミニテハ到底豫期ノ目的ヲ達スルコト能ハサル實況ニ鑑ミ今回改メテ道令ヲ以テ牛皮取締規程ヲ制定セラレタル次第ニ有之候要スルニ該規程制定ノ趣旨ハ道内ニ生産スル牛皮ハ生皮ノママ製革スルモノヲ除ク外ハ悉ク一定ノ方法ニ依リ剝皮、乾燥及梱包ヲ爲サシメ不正手段ヲ嚴禁シ以テ改善ノ實ヲ擧クルト共ニ市價ノ向上ヲ圖ラムトスルニ有之候條本令ノ實施ニ關シテハ左記ノ方針ニ依リ御配慮ノ上施行期日ニ至リテ萬遺憾ナキヲ期セラレ度依命右及通牒候也

記

一、屠場營業者ニ對シ本令發布ノ趣旨ヲ周知セシメ牛皮改良組合ノ鹽乾皮加工場所在地以外ノ屠場營業者ヲシテ速ニ規程第四條ノ申請ヲ爲サシムルコト

二、鹽乾皮加工場ノ位置及構造ハ次ノ方針ニ據ラシムルコト

イ、位置、屠場ニ接近シ高燥且ツ平坦ニシテ日光ノ直射スル場所ヲ選ムコト

ロ、地積、屠牛數ノ多少ニ依リ一定シ難キモ一日一頭ノ割合ニ屠殺スル地ニ於テハ二十坪三頭ノ割合ニ屠殺スル地ニ在リテハ六十坪以上ノ乾燥庭ヲ設置スルニ足ル面積ヲ有スルコト

ハ、構造及設備

(1)、建物ハ生牛皮置場及加工場ト倉庫トノ二室ニ區分シ屋根ハ瓦又ハ藁葺トスルコト之ヲ平面圖ニ示セハ大略別圖ノ如シ

(2)、加工場ノ地盤ハ不滲透質ノ材料ヲ用フルカ又ハセメント或ハ粘土敲トシ數條ノ排水溝ヲ設ケ樋ヲ通シテ汚水ノ屋外汚水溜ニ流入スル樣構造スルコト

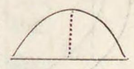
(3)、加工場ノ内側周圍ハ高サ三尺ノ所迄ヲ亞鉛又ハ板張トシ其ノ上部適宜ノ所ニ開閉自在ノ窓ヲ設ケ空氣ノ流通ヲ良クスルコト

(4)、加工場ト鹽乾皮倉庫トノ境界ハ板張トスルコト

(5)、鹽乾皮倉庫ノ地盤ハ板張トスルコト

(6)、汚水溜ハ不滲透質ノ材料ヲ以テ造リ雨水ノ侵入セサル樣覆蓋ヲ爲スコト

(7)、生皮鹽漬臺ハ屠牛數一日平均三頭以内ノ地ニ在リテハ二臺四頭以上ノ地ニ於テハ三臺ヲ備ヘ付クルコト而シテ其ノ構造ハ木製トシ長サ九尺幅七尺ノ屋根形（形狀琴胴ノ如クスルモノトス）ニシテ中央ト兩端ノ勾配ハ六寸乃至八寸ヲ限度トスルコト



六寸乃至八寸　圖ノ如シ

三、生牛皮鹽乾加工手數料ハ其ノ算出ノ基礎ヲ明ニシ認可ヲ申請セシムルコト

四、生牛皮鹽乾加工ノ方法ハ左ノ要領ニ依リ認可ヲ申請セシムルコト

イ、肉塊、脂肪ノ除去ハ細心注意シテ皮内面ニ附著スル肉塊及脂肪ヲ切除スルコト

ロ、洗滌、皮ノ内外面ニ附著セル血液及汚物ハ多量ノ清水ヲ注キ圖ノ如キ柄付刷毛ニテ能ク洗滌シ次テ水中ニ沒シテ毛生面ヲ揉ミ洗フモ水ノ濁ラサルニ至ル迄清潔ニスルコト

ハ、脫水、洗滌シタル生皮ハ高サ五尺以上ノ横桿ニ折半懸垂シ嚢ニ皮ノ内面ヲ上

ニ向ケ刀双ヲ皮ニ當テ水分ヲ脫却スルト共ニ脂肪及肉塊ノ有無ニ注意シ更ニ毛生面ヲ上ニ反轉懸垂シ刀双ヲ以テ上ヨリ下ニ梳拭シテ能ク水分ヲ取リタル後秤量シ生皮鹽漬臺ニ移ス

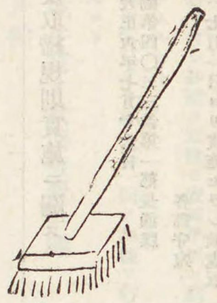
ニ、鹽漬、生皮ハ毛生面ヲ下ニ第一鹽漬臺ニ擴布シ皺ノ伸ヘ木製ノ番號札ヲ附シ生皮一貫匁ニ付六合二勺（生皮十斤ニ付一升ノ割）ノ割合ヲ以テ皮内面全體ニ厚薄ナク食鹽ヲ散布シ縄束ニテ能ク擦入シ更ニ手掌ニテ平均ニ撫付ケ殊ニ皮ノ周圍ハ鹽ヲ包ムカ如ク折リ曲ケ之ヲ兩側ヨリ上下擦入シ漸次積ミ重ネ夏期ハ五日冬期ハ七日間放置シタル後第二鹽漬臺ニ移スモノトス第二鹽漬臺ハ第一鹽漬臺ノ上層ニアリタルモノヲ下層トシ生皮一貫匁ニ付二合ノ割合ヲ以テ皮内面ニ食鹽ヲ散布シ一樣ニ白色トナル迄手掌ニテ之ヲ擦込ミノ上漸次堆積シ夏期ハ二日間冬期ハ四日間放置スルモノトス

ホ、乾燥法、前記ノ方法ニ依リ鹽漬ヲ終リタルモノハ上層ノモノヨリ漸次皮ノ表裏ヲ篩ニテ掃キ浮出セル食鹽ヲ除去シタル後毛生面ヲ外巻トシテ乾燥庭ニ擴出スルモノトス

(1)、擴布法、乾燥庭ハ牛皮擴入前毎朝能ク掃除シ砂礫ヲ除去シ皮ノ内面ヲ日光ニ向ケ形狀正シク皺襞ヲ造ラサル樣擴布スルモノトス

(2)、乾燥中ノ處置、乾燥ノ初日ハ夕刻ニ至リ擴布ノ儘第二生皮鹽漬臺ノ上ニ靜置シ乾燥第二日目以後ハ三枚以上ヲ重ネ毛生面ヲ内ニ後端ヨリ丸巻トシテ納庫シ漸次巻皮ニ馴レシメ後日龜裂ノ生セサル樣ニ爲スモノトス

(3)、乾燥ノ程度、水分能ク乾燥シ擦鹽皮ノ内面ニ噴出シテ白色ヲ呈シ光澤ヲ

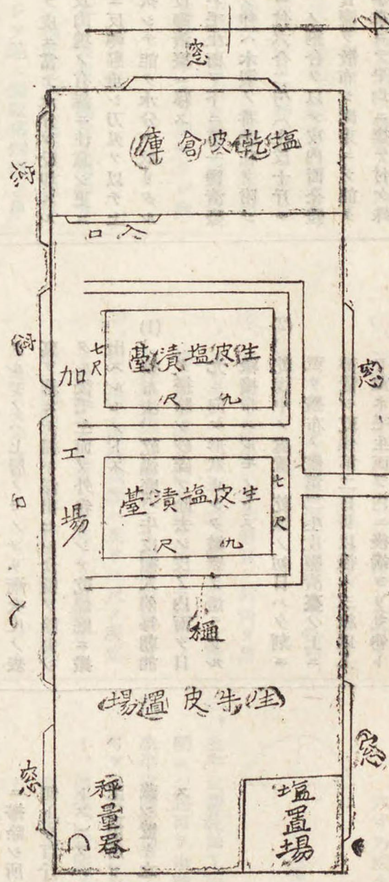


備ヘ皮ヲ曲ケテ之ヲ放テハ彈力ニヨリテ原形ニ復スルヲ程度トス

(4)、雨天、濃霧、夜間ハ勿論雨後及冬春期ハ早朝乾燥庭ニ出ササルモノトス

ヘ、梱包法、前記ノ方法ニヨリ乾燥終リタルモノハ牛皮取締規程第十條ノ檢印ヲ受ケ秤量ノ上乾皮ノ表裏ヲ篩ニテ清潔ニ掃除シ所有者別ニ區別シ毛生面ヲ内側トシ百斤内外（數枚重ネテ卷クモノトス）ヲ一個トシテ卷皮トシ二箇所乃至三箇所ヲ繩ニテ括リ鹽乾皮倉庫ニ貯藏シ置キ之ヲ所有者ニ引渡スモノトス

鹽乾皮工場平面圖



●牛皮取締規則實施ニ關スル件

大正六年七月十六日
勸第四〇三三號第一部長通牒
各郡守宛

牛皮取締規程ハ七月一日ヨリ實施セラレ候處取締上ノ疑義ヲ生シ種々問合セノ向モ有之右ハ同規程及一月三十一日忠南勸第六九八號通牒ノ外尙左記要項ニ依リ取締相成度依命及通牒候也

記

一、牛皮取締規程第七條ニ依リ當業者ニ於テ調製スヘキ第三號樣式ノ臺帳中「缺點及乾皮等級欄」ニハ當分ノ間記入事項ヲ省略差支ナキコト

二、生牛皮鹽乾用食鹽ハ白色ニシテ凝塊ナキモノヲ使用セシムルコト

三、食鹽計量ノ爲秤ハ必ス一升、五合及一合ノ三種ヲ設備セシムルコト

【忠南例】

●鹽乾牛皮ノ共同販賣ニ關スル件

大正六年九月六日
勸第四八〇九號第一部長通牒
各郡守宛

現下鹽乾皮百斤ニ對スル市價ハ六十圓乃至八十圓ノ間ヲ往來シツヽアルニ不拘實際ノ取引價格ハ五十圓乃至六十圓見當ニ過キス此ノ多大ナル差額ハ畢竟仲買商人ノ爲ニ壟斷セラルヽモノニシテ洵ニ遺憾トスル所ニ有之候就テハ之カ弊害ヲ除去シ販賣者ノ利益ヲ保護增進スルノ目的ヲ以テ左記要領ニ據リ鹽乾皮ノ共同販賣ヲ實行スルコトニ致度候條販賣者ヲ勸誘シ以テ之カ實行ニ努メラレ度依命及通牒候也

追テ共同販賣日ハ本月末日迄ニ確定報告相成度申添候

記

一、大田皮革株式會社ニ於ケル每月牛皮買入價格ヲ翌月早々當廳ヨリ貴廳ニ通報スヘキコト

二、共同販賣日ハ左ノ標準ニ依リ可成加工業者及販賣者ノ意見ヲ徵シ決定スルコト但シ必要ニ應シ加工場二個所以上ノ販賣日及販賣個所ヲ同一ニスルヲ妨ケス

イ、屠牛數一ケ月平均五十頭未滿ノ加工場ニ在リテハ
月　一回

ロ、同　五十頭以上百頭未滿ノ加工場ニ在リテハ
月　二回

ハ、同　百頭以上ノ加工場ニ在リテハ
月　三回

三、販賣スヘキ鹽乾皮ハ牛皮取締規程第十條ノ檢査ヲ受ケ能ク乾燥シタルモノヲ左ノ三種ニ區別スルコト

イ、大皮　乾皮一枚ニ付貳拾五斤以上ノモノ

ロ、中皮　同上　貳拾五斤未滿拾參斤以上ノモノ

ハ、小皮　同上　拾參斤未滿ノモノ

四、共同販賣ハ競爭入札法ニ依ルモノトシ其方法左ノ如シ

イ、各加工場ニ於ケル共同販賣定日及入札者心得ヲ汎ク牛皮商人ニ通知スルコト

ロ、入札ハ鹽乾皮百斤ニ付大皮何圓中皮何圓小皮何圓ト認メ記名捺印シ嚴封ノ上牛皮及販賣者ノ意見ヲ徵シ決定スルコト但シ必要ニ應シ加工場二個所以上ノ販賣日及販賣個所ヲ同一ニスルヲ妨ケス

ハ、開札ハ販賣定日ノ午前十時トシ入札者ノ面前ニ於テ面長又ハ代理者（郡廳所在地ニ在リテハ郡守又ハ庶務主任）之ヲ行フ但シ入札價格不當ト認メタル場合ハ販賣セサルコト

ニ、開札ノ際ハ賣買關係者ヲシテ任意立會セシムルコト

ホ、落札代金ハ現品引替ニ之ヲ受取リ直ニ販賣者ニ支拂フコト

ヘ、入札價格同一ナルモノ二名以上アルトキハ抽籤ヲ以テ落札者ヲ定ムルコト

五、入札心得

イ、共同販賣ハ競爭入札法ニ依リ各鹽乾皮加工場ニ於テ所定ノ販賣期日ニ之ヲ行フ

ロ、入札ハ鹽乾皮百斤ニ付大皮何圓中皮何圓小皮何圓ト認メ記名捺印シ嚴封ノ上牛皮

【忠南例】

入札ト表記シ販賣定日ノ前日迄當該面事務所(郡廳所在地ニ在リテハ郡廳)ニ提出スヘシ但シ入札書ハ之ヲ郵送スルモ妨ナシ

ハ、開札ハ販賣定日ノ午前十時トシ入札者ノ面前ニ於テ面長又ハ代理者(郡廳所在地ニ在リテハ郡守又ハ庶務主任)之ヲ行フ但シ入札價格不當ト認メタル場合ハ販賣セサルコトアルヘシ

ニ、開札ノ際賣買關係者ハ任意立會スヘシ

ホ、落札人ハ代金引替ニ現品ヲ引キ取ルヘシ

ト、入札價格同一ナルモノ二名以上アリタルトキハ抽籤ヲ以テ落札人ヲ定ム

●鹽乾皮ノ共同販賣ニ關スル件

大正六年十月十三日
勸第五四四一號第一部長通牒
各郡守宛

鹽乾牛皮ノ共同販賣ハ全鮮ニ於ケル新規事業ニシテ各道ノ注目スル所ニ有之候ニ就テハ此際好績ヲ擧クルノ手段トシテ改良乾皮中ニハ斷シテ(一)鹽乾方法不良ノ爲一部腐敗シタルモノ(二)脂肪及肉塊ノ除去充分ナラス又ハ光澤不良ナルモノ(三)刀痕又ハ鞍傷痕多キモノ等下等品ヲ混入セシムルコトナク各入札者ハ安シテ郵便入札ヲ爲シ得ル樣御配慮相成度尙共同販賣ノ狀況ハ左記樣式ニ依リ開札後五日以內ニ御報告相成度依命及通牒候也

追テ本文下等品ハ別途販賣ノ方法ニ依ラシメラレ度申添候

記

販賣場所名	乾皮生產・數 種別	乾皮生產・數 枚數	同上共同販賣枚數	同上斤量	同上百斤對落札價格	總販賣金額	落札者 住所	落札者 氏名
				斤	圓	圓		
計								

〔忠南例〕

備考

一、下等品ヲ別途共同販賣ニ付シタル場合ハ本表該當欄ニ朱書スルコト

二、鹽乾皮生產枚數ニ比シ共同販賣枚數ニ過不足アルトキハ其ノ事由ヲ備考ニ記載スルコト

三、各入札所每ニ入札者氏名入札價格ヲ備考ニ記入スルコト

〔忠南例〕

●牛皮取締規程第六條ニ依ル手數料ニ關スル件

大正八年二月十九日
勸第一一二〇號第一部長通牒
各郡守宛

牛皮取締規程第六條ニ依ル加工手數料ハ大正七年九月五日付通牒ヲ以テ各々增額徵收セシメ居候處近時尙諸物貨ノ暴騰ニ件ヒ加工材料タル食鹽ノ如キハ前手數料制定當時ニ比シ約五割ノ騰貴ヲ示シ且加工人夫賃ノ如キハ約二倍トナリ從而其ノ他諸經費非常ニ增加シ其ノ結果當業者ノ收支相償ハサルノミナラス自然乾皮ノ品質ヲ粗惡ナラシムル傾向有之候ニ付當事者ヨリ申請アリ次第該手數料ハ左記標準ニ依リ增額認可相成ヘク候條其ノ旨一般當業者ニ周知セシムルト共ニ鹽乾加工方法ニ對シテハ警察當局ト協議ノ上一層充分ナル監督ヲ加ヘ生產業者ノ利益ヲ保護スル樣御配慮相成度依命及通牒候也

追而手數料增額認可申請ノ際ハ參考ノ爲各屠場一ケ年ノ屠牛數記載セシメラレ度申添候

記

一、屠牛數一ケ年一千頭以上ノ地

イ、生牛皮一枚ニ付　四貫匁未滿ノモノ　金八十五錢內

ロ、同　五貫匁　金一圓以內

ハ、同　五貫匁以上ノモノハ一貫匁未滿ヲ增ス每ニ金十五錢ノ割增金ヲ徵收ノコト

二、屠牛數一ケ年千頭未滿五百頭以上ノ地

イ、生牛皮一枚ニ付四貫匁未滿ノモノ　金九十錢以內

ロ、同　五貫匁未滿ノモノ　金一圓五錢以內

ハ、同　五貫匁以上一貫匁未滿ヲ增ス每ニ金十五錢ノ割增金ヲ徵收スルコト

三、屠牛數一ケ年五百頭未滿ノ地

イ、生牛皮一枚ニ付四貫匁未滿ノモノ　金九十五錢內

ロ、同　五貫匁未滿ノモノ　金一圓十錢內

ハ、同　五貫匁以上一貫匁未滿ヲ

増ス毎ニ金十五錢ノ割増金ヲ徴収ノコト

●畜牛賣買仲介ニ關スル件

大正八年十月二十日
勸第五二三二號第一部長通牒
各郡守宛

記

市場名	開市回數	出場頭數	賣買頭數		同上價額		仲介手數料	
			成牛	犢	計	成牛	犢	計	仲介人手當	組合收入	計
計											

備考　畜牛賣買ニ關スル參考事項ヲ簡單ニ記述スルコト

貴管内畜産同業組合ニ於テ畜牛賣買仲介ヲ開始シタル場合ハ直ニ其ノ旨ヲ報告スルト共ニ爾今毎月五日迄ニ前月分ノ仲介狀況左記ニ依リ報告スヘキ旨同組合長ニ御示達相成度依命及通牒候也

追而記ニ畜牛賣買仲介ヲ實施シ本文ニ該當ノ事項アルモノハ之迄ノ分凡テ至急報告相成樣申添候

●畜牛賣買仲介ニ關スル件

大正十年一月二十五日
機第四七號内牒

畜牛賣買仲介ニ關シテハ各々組合制定ノ規程ニ依リ畜牛賣買ノ圓滑ヲ計リ組合員相互ノ利益ヲ增進セシムル樣夫々御配慮ノ事ト被存候處近時二三郡ノ畜牛賣買仲介手數料領收書ニ組合印ヲ缺クモノ發見セラレ之等取締ノ不行屆ヲ被認候條爾今之カ取締ニ付テハ左記ニ依リ嚴重御監督相成度及内牒候也

記

一、畜牛賣買仲介手數料ノ原符ハ豫メ組合ニ於テ調製成冊トシ番號ヲ付シ組合印ヲ押捺シ取扱者ニ交付スルコト

二、取扱者ニ於テ誤認又ハ書損シタルトキト雖モ破棄スルコトナク現金送納ト共ニ其ノ汚損紙ヲ組合ニ返納セシムルコト

三、組合ニ原符ノ受拂簿ヲ作製シ原符出納ノ都度明記シ組合長副組合長之ニ認印スルコト

●畜牛特徴記載方一定ノ件

大正八年十一月七日
勸第五五〇二號通牒

首題ノ件ニ關シテハ從來其ノ用語區々ニシテ鑑別上甚タ支障有之候ニ付爾今別紙ノ通リ一定シ御取扱相成度及通牒候也

（別紙）

大正八年十月畜産技術官會同協定

畜牛特徴記載方一定ノ件

（參照）

大正五年農業技術官會同協定

朝鮮牛ノ赤、褐、黃等ト呼ヘル毛色ハ一般ニ赤ト稱シ尙濃淡ニヨリ濃赤、又ハ淡赤ト稱シ其ノ他ハ黑、簏、黑白斑等ト稱スルコト

一、特徴記載ノ要項

一、先ツ毛色ヲ記シ其ノ他個體ノ識別ニ便ナル特徴ニ、三ヲ簡明ニ記スルコト

二、記載スヘキ特徴及用語ハ地方習慣上嫌忌スルカ如キモノハ可成之ヲ避クルコト

二、特徴ノ稱方

一　毛色ノ稱方

（一）赤

（イ）赤、（ロ）淡赤、（ハ）濃赤、（ニ）黑赤、（赤毛ヲ主トシ之ニ黑毛ヲ混シタルモノ）

（二）黑

（イ）黑　（ロ）赤黑（黑毛ヲ主トシ之ニ赤毛ヲ混シタルモノ）

（三）簏（體表ノ二分ノ一以上二種ノ毛色ニヨリ交互簏狀ヲナスモノ）

（イ）簏（又ハ虎毛）　（ロ）赤簏（赤昧勝ニ見エル簏）

（ハ）黑簏（黑昧勝ニ見エル簏）

赤黑等ノ毛色ニシテ顏面又ハ後軀等ノ一部ニ簏樣斑ヲ有スルモノハ特ニ部位ヲ冠シ顏簏、後軀簏等ト記ス

（四）斑　體ノ大部分二種以上ノ異毛ニヨリ斑ヲ爲スモノ

（イ）黑白斑（黑毛多ク之ニ白斑アルモノ）　（ロ）赤白斑（赤毛多ク之ニ白斑アルモノ）

三、旋毛ノ稱方

旋毛ノ中心流レテ線狀ヲナシ或ハ其ノ形正シカラサルモノヲ「流」ト謂フ旋毛ノ稱呼ハ特ニ慣用セラルルモノノ外其ノ部位ヲ冠記スルモノトス

（イ）面旋又ハ額旋、額ニアルモノ（珠目ニ相當スルモノ）

面旋ノ位置ハ額ノ正中線ト兩外眦ヲ連ネタル線ト交叉線ニアルモノヲ中トシ其ノ他ノ位置ヲ上、下、左、右、左上、左下、右上、右下等ト記ス二個アルモノハ二ト記ス

面旋ニ限リ之ヲ缺除セルモノハ「面旋缺」ト記入ス

（ロ）項旋（ウナジツジ）後頂部ニ在ルモノ

（ハ）肩旋（マユツジ）見上ニ相當スルモノ

（ニ）頰旋（オホツジ）頰ニアルモノ

（ホ）肩旋（カタツジ）鬐甲部ニ在ルモノ

（ヘ）背旋（セツジ）背線上ニ在ルモノ

四、角ノ特徴

（一）角折　角軸又ハ角鞘ノ折レタルモノ

（二）角脫　角鞘ノ脫落シタルモノ

（三）切角　人工的ニ切斷シタルモノ

其ノ他角ノ形狀ハ往々變化シ易ク特徴トシテ記ス價値少ナキモ若之ヲ記ストセハ大體左ノ稱方ニヨル

一文字角（笄）角大ニシテ左右ニ水平ニ突出シタルモノ

天地角、（雲雀角）一方ハ上方、他方ハ下方ニ向フモノ

前輪、水平ニ前ニ彎曲セルモノ

柳角（ヤナギ）左右ニ伸ヒ漸次下方ニ彎曲スルモノ

五、其ノ他ノ特徴

【忠南例】

(一)星、額ニ存スル白點ヲ謂フ大、小、流若クハ其ノ形狀ヲ記ス　(二)面白、顏面白キモノ　(三)鼻白、鼻白キモノ　(四)糊口、口圍淡色ノモノ　(イ)糊口(上唇ノミ)(ロ上糊口(上唇ノミノモノ)(ハ)下糊口(下唇ノミノモノ)　(五)目黑、眼ノ周圍ノ黑キモノ　(六)褄黑、四肢蹄冠部ノ黑キモノ　(七)袴黑、四肢及下腹部黑色ノモノ　(八)腹白、腹ノ白斑　(九)鰻線、背線ノ異毛色ナルモノ　(十)刺毛、異色毛ノ混生セルモノ(部位ヲ冠記スルコト)　(十一)異毛　其ノ他、色名及部位ヲ記スルコト　斑點、異色毛ノ限局シテ小ナルモノ(色名ヲ冠記ス)　異色毛ノ區域稍大ナルモノ(同右)

別紙樣式

病畜治療狀況報告　(何月分)

何郡畜産組合

畜名	種類	性	年齡	病名	施療轉歸 頭數	施療轉歸 回數	施療轉歸 全治	施療轉歸 不治	施療轉歸 斃死	摘要
計										

備考

[忠南例]

●病畜施療ニ關スル件

大正九年五月七日
勸第二五三〇號通牒

畜産組合設置以來組合員所有病牛ノ治療ニ就テハ常ニ留意セラレ居事ト被存候得共過般其ノ筋ノ通牒モ有之候事トテ今後益々其ノ效果ヲ揚ケシムル樣特ニ配意相成度尙本年度ヨリ別紙樣式ニ依リ毎月十日迄ニ前月分ノ狀況報告相成度依命及通牒候也

線、異色毛ノ細ク長キモノ　異毛、後天性ノ異色毛

●獸疫注射ニ關スル件

大正九年六月二十二日
勸第三四四一號第一部長通牒

一、前日ヨリ繼續シタル病畜頭數ハ外書朱書スヘシ
二、同種類、同性、同年齡、同症ノモノハ一行中ニ治療頭數及施療迄回數ヲ合セ記入シ其ノ異ナルモノハ各別行ニ記入スルコト

各郡守宛

十七條第三號第四號第五號樣式ニ依ル成績表ノ外別紙明細注射完了後直ニ御報告相成度及通牒候也

免疫血清
豫防液　注射表
診斷藥　何

注射月日	注射量	獸類	牝牡別	年齡	毛色	所有者住所氏名
計						

[忠南例]

●報告例報告樣式ニ關スル件

大正十年二月七日
勸第九一八號通牒

朝鮮總督府報告例第三二二號家畜家禽數表報告ハ爾今左記樣式ニ基キ御報告相成度依命及通牒候也

記

第三二二號家畜家禽數表　大正　年十二月末現在

面名	牛					馬			驢	騾	豚	山羊	緬羊			鷄
	牡		牝		計	牡	牝	計					牡	牝	計	
	四才以上	四才未満	四才以上	四才未満												
總計																

備考　本欄ニハ前年ニ比シ著シク增減アル場合其ノ原因理由其ノ他參考事項ヲ記スルヲ要ス

備考　一、豚鷄ノ改良種及其ノ雜種ハ各欄左側ニ朱書內書スルコト

二、本表ニハ道種苗場其ノ他畜產同業組合等ニ於ケル分モ揭記スルコト

●畜牛賣買狀況調査報告ニ關スル件

大正十年四月十五日
勸第四六八號通牒

首題ノ件ニ關シ過般其ノ筋ヨリノ通牒モ有之特ニ貴組合內各市場ニ於ケル取引狀況ヲ極メテ詳細ニ調査報告スヘキ事ト相成候條御了知ノ上別紙樣式ニヨリ爾今每月五日迄ニ御報告相成度尙備考欄ニ揭クル事項ハ必ス記載相成度及通牒候也

追テ從來每日報告相成居候畜牛賣買仲介成績ハ從前ノ通報告相成度爲念申添候

（別紙）

大正　年　月生牛相場表

郡牛市場

性別	一齡別	調査時期	出場頭數	賣買頭數	賣買總價格	一頭價格 最高	最低	平均
牝	二歲以下	前半期	圓	圓	圓	圓	圓	圓
		後半期						
	三歲以上	前半期						
		後半期						
計								
牡	二歲以下	前半期						
		後半期						
	三歲以上	前半期						
		後半期						
計								
總計								

備考　一、牛價變動ノ主ナル原因

二、出場頭數、賣買頭數、增減ノ理由

〔忠南例〕

●畜牛賣買仲介成績報告ニ關スル件

大正九年四月九日
勸第一九六六號通牒

各市場ニ於ケル畜牛賣買狀況ハ可成詳細ニ報告ノ必要ヲ認メ候條從來ノ報告樣式ヲ改メ爾今別紙樣式ニ依リ翌月五日迄ニ報告相成度及通牒候也

別紙樣式

市場名	開市回數	出場頭數	賣買頭數				同上價格				仲介手數料		
			成牛		犢		成牛		犢		仲介人手當	組合收入	計
			牝	牡	牝	牡	牝	牡	牝	牡			
						計				計			

〔忠南例〕

計								

備考

一、牛價ノ變動及出場牛増減ノ主ナル原因

一、成牛牝牡各一頭最高、最低、價額及平均價額

三、犢牝牡各一頭最高、最低價格及平均價格

●畜産同業組合業務報告ニ關スル件

大正十年五月六日
農第七六四號通牒

報告例第三三三號畜産同業組合業務報告ハ大正九年度分ヨリ別紙樣式ニ準シ組合長ヨリ提出セシメ朝鮮重要物産同業組合令施行規則第六條第三項ノ報告ニ代ヘシメラレ度依命及通牒候也

（樣式）

一、畜産ノ概況

組合地域内家畜ノ増減、賣買狀況、體質ノ改良、飼料供給其ノ他一般農事トノ關係等ニ付現況及其ノ趨勢ノ概要ヲ又業務ニ付テハ特ニ奬勵施設シ又ハ効果ノ顯著ナル事項等ヲ概記スルコト

二、職員及組合數

年度別	役員			技手		書記		組合員			
	組合長	副組合長	評議員	專任	囑託	專任	囑託	生産業者	賣買業者	仲介業者	計
本年度	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
前年度											

〔忠南例〕

注意　囑託中無給ノ者アルトキハ員數ノ上ニ「無」字ヲ冠スルコト

三、經費ノ徵收及狀況

組合費、使用料、仲介料、病中治療費、檢査手數料等徵收狀況ヲ記述シ且ツ組合員ノ之ニ對スル感想及意見等アラハ併セテ之ヲ記スルコト

四、違約處分

違約ノ事項、人員及過怠金額等ヲ記スルコト

五、基本財産及負債

年度別	基本財産	負債	摘要
本年度	金　何圓 畓、田　何町 林野　何町	圓	
前年度			

注意　摘要欄ニハ基本財産ハ管理ノ方法又負債ハ其ノ事由及償還ノ方法ヲ概記スヘシ

六、畜牛數及其増減

年度別 面別	組合員所有牛	組合員管理牛（囑託牛）	計	生産數	消耗數
計					

〔忠南例〕

前年度									

注意

一、本表頭數ハ凡テ十二月末現在調査數ヲ掲クヘシ

二、消耗數ハ斃死、故殺及屠殺ノ頭數ヲ計上スルコト

七、種牛及其ノ種付

種牛ノ供給及配置ノ狀況、年齡、種付料、種付成績其ノ他畜牛蕃殖上必要ナル事項ヲ概記スルコト竝之ニ關スル組合員ノ感想及意見等アラハ之ヲ概記スルコト

イ、種牛頭數

面別	種牡牛頭數						種牝牛頭數					
	組合有		面有	縣有	其ノ他	計	組合有		面有	縣有	其ノ他	計
	頭		頭	頭	頭	頭	頭		頭	頭	頭	頭
計												
前年度												

注意

一、其ノ他ノ種牛中ニハ道有組合有等ヲ含ム

二、保護牛規則ニ依ル保護牛數ハ各欄共左側朱書ニテ內書スルコト

ロ、種牡牛ノ種付頭數

面別	組合有	面有	縣有	其ノ他	計	一箇年一頭平均種付頭數
	頭	頭	頭	頭	頭	

〔忠南例〕

計									
前年度									

注意　一、一箇年一頭平均種付頭數ハ種付總頭數ヲ一箇年ノ種牡牛頭數ヲ以テ除シタルモノトス

二、一箇年種牡牛頭數ハ各種牡牛ノ延月數ヲ十二ニ除シタルモノトス

八、飼料

イ、乾草

乾草ノ採收及貯藏方法竝燃料採取トノ關係其ノ他採收上困難ト認ムル事項等ニ付概記スルコト

面別	乾草採收戶數	乾草採收量				地域內總畜牛數ニ對スル一頭平均採收量	乾草ヲ採取セサル戶數
計							
前年度							

ロ、牧草

牧草ノ種類、生育及普及ノ狀況（見込面積ヲモ記ス）ヲ概記スルコト

九、牧野

樹木及野草繁茂ノ狀況、管理方法竝牧野ノ保護又ハ改善ニ付特ニ施設シタル事項ヲ概記スルコト

面別		牧野ノ數及其ノ所有區別			面積	
	國有	何箇所			町段	
	民有	何箇所			町段	

〔忠南例〕

面別			
計			
前年度			

十、畜牛賣買及仲介

畜牛ノ集散及賣買ノ狀況竝仲介人ノ監督又ハ取締等ノ概要ヲ記スルコト

面別	市場數	入場賣買頭數				一頭平均價格（成牝牛中等物）			
		頭數 牝	牡	犢	計	總賣買價格	最高	最低	平均
		頭	頭	頭	頭	圓	圓	圓	圓
計									
前年度									

注意 一、最高最低ハ一箇年ヲ通シ最高最低ト認メタル額ヲ又平均ハ各月ノ平均額ヲ其ノ月數ニテ除シタルモノトス

十一、牛契

契ノ組織、醵金ノ徵收方法、畜牛ノ分配或ハ管理ノ方法等ヲ概記スルコト

面別	契數				契員總數	契期		醵金		畜牛購入數	
	既設	新設	滿了	差引現在數		最長	最短	總額	一口一回ノ醵金高	成牛	犢
計											

〔忠南例〕

面別			
前年度			

〔忠南例〕

十二、畜牛衞生

畜牛ノ一般衞生狀況、多發病名及發生狀況竝ニ其ノ成績等ヲ概記スルコト

イ、治療表

面別	治療頭數	轉歸				
		快復	斃死	故殺	屠殺	中止
	頭	頭	頭	頭	頭	頭
計						
前年度						

ロ、病類表

病類別	病名	發生頭數	備考
計			
前年度			

注意 一、備考欄ニハ疾病ノ發生、轉歸等ニ關シ參考トナルヘキ事項ヲ記入スルコト

二、本表ハ管内全組合ヲ綜合シテ作製スルモノトス

十三、品評會及表彰

イ、品評會

品評會名稱	場所	區域	出陳點數						
			牛	乾草	何	何	何	何	何

ロ、表彰

面別	表彰牛		功勞者氏名	摘要
	性別	頭數		

注意　一、摘要欄ニハ功勞者ニ對スル表彰ノ事由及方法等ヲ概記スルコト

二、表彰牛ハ特ニ組合ニ於テ表彰シタルモノノミヲ掲ケ單ニ品評會ニ於テ授賞セラレタルモノハ之ヲ含マス

十四、講習及講話

面別	講習會回數	講習人員	講話回數	摘要
計				
前年度				

注意　摘要欄ニハ講習員ニ特別ノ資格ヲ要シタルトキ其ノ資格講習員ニ給與シタル物品及補助金竝講習ノ狀況ニシテ顯著ナルモノ等ヲ記スコト

第七章　水産

●忠淸南道漁業取締規則

大正六年五月
道令第六號

改正　大正七年一月道令第三號、一〇年七月第七號

第一條　左記各號ノ水產物ハ其ノ下記期間之ヲ採捕スルコトヲ得ス

一、鮑　　自九月一日至十一月末日
二、海鼠　　自六月一日至八月末日
三、鮎　　自九月十五日至翌年六月末日
四、石花菜　　自十一月一日翌年四月末日
五、海藿　　自十一月一日翌年三月末日
六、和布　　自十二月一日翌年三月末日
七、鼈　　自六月一日至七月末日

第二條　左ニ揭クル水產物ハ之ヲ採捕スルコトヲ得ス

一、介殼最長部ノ直徑二寸五分以下ノ鮑
二、同　　三寸以下ノ貽貝
三、同　　一寸二分以下ノ蠣
四、同　　一寸二分以下ノ蛤
五、背甲最長部ノ直徑三寸以下ノ鼈

第三條　左記各號ノ漁業ハ下記ノ期間及區域ニ於テ之ヲ行フコトヲ得ス

一、打瀨網漁業
（甲）期間　每年四月一日ヨリ十月末日迄
（乙）區域　瑞山郡近興面馬島北端及買誼島北端及弓矢島北端ヲ連結スル各線以南竝弓矢島北端ヨリ保寧郡鰲川面外烟列島中黃島西端見通線以東ノ海面

二、第九種許可漁業ノ內朝鮮在來式以外ノ漁業
（甲）期間　每四月一日ヨリ六月末日迄
（乙）區域　保寧郡鰲川面外長古島北端及同

郡同面外烟列島中ノ黃島北端ヲ連結ス
ル直線以南ノ海面
三、螺旋推進器ヲ備フル漁船ニ依リテ爲ス漁
業及船刺網漁業
（甲） 期間 每年四月一日ヨリ十月末日迄
（乙） 區域 保寧郡鰲川面外長古島北端及同
郡同面外烟列島中ノ黃島北端ヲ連結ス
ル直線以南ノ海面
第四條 錦江流域ニ於テハ口徑一尺五寸以上ノ
筌ヲ使用スルコトヲ得ス
第四條ノ二 保寧郡熊川面熊川大橋ヨリ下流三
百間ノ區域ニ於テハ七月一日ヨリ十一月末日
迄水産動植物ノ採捕ヲ禁止ス
第五條 第一條乃至第四條ノ二ニ違反シテ採捕
シタル水産物ハ之ヲ授受シ又ハ授受ノ委託ヲ
受クルコトヲ得ス
第六條 第一條乃至第五條ニ違反シタル者ハ百
圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
第一條乃至第五條ニ違反シテ採捕シ又ハ收受
シタル水産物及第一條乃至第四條ノ二ニ違反
シテ使用シタル漁具ハ之ヲ沒收スルコトヲ得
但シ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルト
キハ其價額ヲ追徵ス
第七條 漁業取締規則第十二條ノ二ニ依リ朝鮮
總督ノ認可ヲ受ケ漁撈又ハ養殖ノ調査又ハ試
驗ヲ爲ス場合又ハ養殖業者カ養殖ニ必要ナル
種苗ヲ採捕スル場合ハ本令ノ規定ヲ適用セ
ス

附 則

本令ハ大正六年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

●漁船移入取締方ニ關スル件

大正六年七月二十七日
勸第三二六三號第一部長通牒

內地ヨリ漁船ヲ移入シ又ハ內地ヨリノ出漁船ヲ
購入スル場合ハ關稅法規ニ依リ移入手續ヲ爲ス
ヘキモノナルカ概シテ漁業者ハ法規ニ暗ク其ノ
手續ヲ周知セサル爲メ不知不識ノ裡ニ犯則行爲
ヲ致テシ其ノ結果巨額ノ罰金ニ處セラル、等ノ
コトモ有之甚タ遺憾ニ不堪趣ヲ以テ特ニ仁川稅
關長ヨリ示達方依賴越候條貴郡漁業者ニ對シ左
記事項ヲ周知セシメ豫メ犯則者ヲ出ササル樣御
措置相成度右及通牒候也
追而本件ニ關シテハ稅關法第一條、第三條、
第四條、第五條、第二十四條、第三十一條、
第三十四條關稅令施行規則第三十六條關稅定
率令第一條、第三條第十八項等參照相成度申
添候

記

一、漁船ヲ移入セムトスル者ハ（內地ヨリ購入シ來リ又ハ內地ヨリノ出漁船ヲ買受クル等場合）普通ノ貨物同樣總テ朝
鮮關稅令及同施行規則ニ依リ開港地稅關ニ
於テ移入手續ヲ爲シ移入稅ヲ納付スヘキモ
ノナルコト前項ノ手續トシテハ一定ノ樣式
移入申告書ヲ稅關ニ提出スルト共ニ現品ノ
提示ヲ要ス是等ノ手續ハ稅關貨物取扱人ニ
依賴スルヲ便利トス
二、漁業者カ自己ノ使用ニ供スル爲メ移入スル
漁船漁具ハ前項ニ拘ハラス免稅ノ取扱ヲ受ク
ルヲ得但シ此ノ場合ニ於テモ關稅令施行規
則ニ依リ移入手續ヲ爲スヘキモノナルコト
三、前項ニ依リ關稅ノ免除ヲ受ケントスル場合
ハ漁業免許狀又ハ府尹郡守ノ證明書（自家漁業
用ニ供スル旨ヲ明記シタルモノ）ヲ提出スルコト
四、漁業組合カ組合員ノ漁業ニ關スル共同施設
事業トシテ共同購入ノ方法ニ依リ組合員使
用ニ供スヘキ漁船漁具ヲ移入スル場合ニ於
テモ其ノ都度地方官廳ノ證明書ヲ提出シ免
稅ノ取扱ヲ受ケ得ラル、コト

〔忠南例〕

●石防簾漁業取締ニ關スル件

大正七年九月十一日
勸第四四〇六號第一部長通牒
舒川外五郡守、水産組合忠淸南道支部

石防簾漁業ハ屆出漁業ニ屬スルカ如キモ之カ實
體ヨリ觀察スルトキハ第一種免許漁業ニ該當ス
ルヤニ被認取扱上疑義ヲ生シ其ノ筋ニ照會相成
候處右ハ第一種免許漁業魚箭漁業箭トシテ取扱
フヘキ旨回答有之候條自今右ニ據リ御取扱相成
度此段及通牒候也

●第三種許可漁業出願調査ノ件

大正八年十月十六日
勸第五一六〇號第一部長通牒
舒川外五郡守宛

爾今第三種許可漁業ノ出願ヲ受理相成候節ハ左
記事項調査ノ上願書ト共ニ進達相成度依命及通
牒候也

記

一、願人ノ職業內地人ニ在リテハ移住者通漁者別
二、願人ノ資産信用竝企業能否ノ見込
三、願書記載ノ採捕物中主トシテ採捕セムトス
ルモノノ種類
四、漁業時期ノ適否
五、許可ヲ受ケムトスル期間適否
六、從來經營セル漁業ノ種類及其經營狀況竝出
願漁場ト願人トノ關係
七、前各號ノ外處分ノ上參考トナルヘキ事項

●潛水器漁業取締ニ關スル件

大正九年四月六日
勸第一七七〇號第一部長通牒
論山外七郡守宛

從來潛水器漁業ハ其ノ許可ヲ賣買讓渡共有貸付
ノ目的トスルコト往々有之樣聞及候處右ハ許可
漁業ノ性質ニ反シ不都合不尠ニ付今後自己ノ計
算ヲ以テ本業ヲ經營セサル者發見ノ場合ハ遲滯
無ク御報告相成度尙許可ヲ受ケタル者ノ住所氏
名許可臺數其ノ他必要ナル事項ヲ關係警察官署
ニ通知シ嚴重取締相成度此段及通牒候也

●船鑑札交付ニ關スル件

大正九年四月十九日
勸第二一六七號第一部長通牒
論山外六郡守宛

近時漁業ノ發達ニ伴ヒ發動機船ヲ使用シテ漁業
ヲ營マムトスル者有之候ニ付テハ其ノ漁業許可
處分上參考ニ資シ度候條右漁船ノ船鑑札ヲ交付
相成候場合ハ其ノ都度鑑札記載事項寫添附御報
告相成度依命及通牒候也

〔忠南例〕

●漁業組合決議錄作成方ノ件

大正九年十一月十六日
勸第六〇八〇號第一部長通牒
舒川、保寧、瑞山郡守宛

從來漁業組合等ノ決議錄ハ其ノ形式區々ニシテ
一定セサルノミナラス內容要領ヲ得サルモノア
リ取扱上不便不尠候條爾今決議錄ニハ必ス左記
事項ヲ記載シ議長及出席者二人以上之ニ記名捺
印セシメラレ度此段及通牒候也

記

一、開會ノ日時及場所
二、總代ノ定數又ハ組合員ノ數
三、出席者ノ員數
四、議事ノ要領

●漁業資金貸付規程

大正十年七月十二日
道令第六號

第一條 漁船漁具ノ改良ヲ圖ラムカ爲本規程ニ
依リ每年度地方費豫算ノ範圍內ニ於テ漁業者
ニ資金ヲ貸付ス

第二條　資金ノ貸付ヲ受ケムトスル者ハ別記第一號樣式ノ願書ヲ道知事ニ提出スヘシ

第三條　資金貸付ノ許可ヲ受ケタル者ハ保證人二名以上連署ヲ以テ別記第二號樣式資金借受證書ヲ道知事ニ提出スヘシ

保證人ハ道内ニ住所ヲ有シ貸付金額以上ノ不動産ヲ有スル者タルヲ要ス

保證人ニシテ左記各號ノ一ニ該當スル事由發生シタルトキハ更ニ前項ノ資産ヲ有スル保證人ヲ追加スヘシ

一、保證人死亡シタルトキ

二、保證人道外ニ轉住シタルトキ

三、保證人ノ不動産貸付金額以下ニ低下シタルトキ

第四條　貸付金ハ無利子トシ五年以内ノ年賦償還ノ方法ニ依リ償還スヘシ

第五條　貸付ヲ受ケタル者ハ其年償還スヘキ金額ニ達スル迄毎月漁獲高ノ百分ノ十以上ヲ貯蓄スヘシ

第六條　貸付金ニ依リ購入シタル漁船漁具ハ貸付金ノ償還ヲ終ルニ非サレハ他人ニ讓渡、交換、貸與若ハ擔保等ニ供スルコトヲ得ス但シ道知事ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七條　資金借受人ハ貸付金ニ依リ購入シタル漁船漁具ヲ亡失又ハ毀損シ使用不能ニ至ラシメタルトキハ其旨直ニ道知事ニ届出ツヘシ

左ノ場合ニ於テハ資金借受人ハ一月以内ニ其ノ旨道知事ニ届出ツヘシ

一、資金借受人又ハ保證人住所ヲ變更シタルトキ

二、保證人死亡シ又ハ其ノ不動産貸付金額以下ニ低下シタルトキ

資金借受人死亡シタルトキハ相續人ニ於テ十日以内ニ其旨道知事ニ届出ツヘシ

第八條　資金借受人道外ニ轉住セムトスルトキハ貸付金ノ全部ヲ一時ニ返還スヘシ但シ道知事ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九條　貸付金ニ依リ購入シタル漁船漁具ヲ避クヘカラサル事故ニ依リ亡失毀損シタルトキ又ハ借受人死亡シ若ハ疾病ニ罹リタル等已ムヲ得サル事由アリト認ムルトキハ貸付金償還ノ延期ヲ許可シ又ハ貸付金ノ償還ヲ減免スルコトアルヘシ

前項ニ依リ貸付金償還ノ延期又ハ減免ヲ請ハムトスル者ハ其ノ事由ヲ具シ別記第三號第四號又ハ第五號樣式ノ願書ヲ道知事ニ提出スヘシ

第十條　資金借受人左記各號ノ一ニ該當スル行爲アリタルトキハ期間内ト雖貸付金ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ命スルコトアルヘシ

一、第三條第三項第五條及第六條ノ規程ニ違反シタルトキ

二、貸付金ヲ其ノ目的以外ニ使用シタルトキ

三、正當ノ理由無クシテ貸付金ニ依リ購入シタル漁船漁具ヲ使用セス又ハ目的以外ニ使用シタルトキ

四、資金借受願書ニ虚僞ノ記載ヲ爲シタルトキ

五、第七條ノ届出ヲ爲ササルトキ

六、償還ヲ遲滯シタルトキ

第十一條　貸付金ニ依リ購入シタル漁船漁具ノ利用ニ關シテハ道及郡ノ當該職員ノ指揮ニ從フヘシ

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（第一號樣式）

漁業資金借受願

私儀

〔忠南例〕

漁業資金貸付規程ニ依リ左記ノ通資金借用致度候ニ付御許可相成度此段奉願候也

年　月　日

住所

氏　名印

道知事殿

一、貸付ヲ受ケントスル金額

二、購入スヘキ漁船漁具竝附屬具ノ種類、數量、價格及構造

三、購入スヘキ漁船、漁具ノ使用方法竝一個年間ノ漁獲高見込金額

四、保證人トナルヘキ者ノ住所氏名及其ノ資産額

〔忠南例〕

（第二號樣式）

漁業資金借受證書

一金　也

右ノ金額借受候ニ就テハ漁業資金貸付規程ヲ遵守シ左記ノ通相違ナク返濟可仕候此段保證人連署ヲ以テ誓約候也

大正　年　月　日

住所

借用主　氏　名印

住所

連帶保證人　氏　名印

住所

連帶保證人　氏　名印

道知事殿

記

年賦償還回數	年賦償還金額	年賦償還期間
第　回	金　也	大正　年　月　日

第　回	金　也	大正　年　月　日
第　回	金　也	大正　年　月　日

（第三號樣式）

借受金償還延期願

私儀

大正　年　月　日借用仕候漁業資金　也（又ハ漁業資金何程ノ内第何回年賦償還金何程）ハ何々ノ事由ニ依リ契約ノ期日迄ニ償還致兼候ニ付左記ノ通償還延期御許可相成度此段奉願候也

年　月　日

住所

借用主　氏　名印

住所

連帶保證人　氏　名印

住所

連帶保證人　氏　名印

道知事殿

記

償還回數	償還金額	償還期限
第　回	金　也	大正　年　月　日
第　回	金　也	大正　年　月　日

（第四號樣式）

借受金償還減額願

私儀

大正　年　月　日借用仕候漁業資金　也（又ハ何程ノ内返濟殘金何程）ハ何々ノ事由ニ依リ契約ノ金額償還致兼候ニ付金圓御減額ノ上左記ノ償還方御許可相成度此段奉願候也

年　月　日

住所
連帶保證人　氏　名印

道知事殿

（第五號樣式）

借受金償還免除願

私儀

大正　年　月　日借用仕候漁業資金　也（又ハ何程ノ内返濟殘金何程）ハ何々ノ事由ニ依リ到底償還難致候ニ付御免除相成度此段奉願候也

年　月　日

住所
借用主　氏　名印

道知事殿

記

償還回數	償還金額	償還期限
第　回	金　也	大正　年　月　日
第　回	金　也	大正　年　月　日

第八章　水利灌漑

●驛屯土堤堰工事取扱手續

明治四十四年十二月七日訓第百二十七號

第一條　郡守ハ驛屯土堤堰工事規程第一號樣式ニ準シ翌年度ノ驛屯土堤堰工事費見積書ヲ作リ前年度一月末日迄提出ス可シ

第二條　前條及驛屯土堤堰工事規程第三條ニ依ル報告ヲナストキハ實地ヲ調査シ別紙第一號乃至第三號樣式ノ工事仕樣書圖面及工費豫算書ヲ提出スヘシ

第三條　郡守ハ工事施行ノ通達アリタルトキ又ハ工事施行ノ委任ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク請負希望者又ハ小作人總代ヲ召喚シ工事仕樣書圖面及別紙第四號樣式ノ如キ請負人心得ヲ示シ工費見積書ヲ徵シタル上其見積額豫算範圍內ナルトキハ別紙第五號樣式ノ如キ請書ヲ作ラシメ之ヲ提出セシムヘシ

第四條　郡守ニ於テ委任ヲ受ケ施行スル工事ノ監督ハ郡廳員ヲ以テ之ニ充テ直ニ其官氏名ヲ報告スヘシ

第五條　工事監督員ハ左ノ事項ニ注意シ若設計ニ適合セサルモノアル時ハ手直シ又ハ改築ヲ命シ隨時之ヲ報告スヘシ

イ、材料ノ品質寸法及數量カ設計ニ適合スルヤ否

ロ、修築ス可キ個所水門ノ位置等設計ニ適合セルヤ否

ハ、請負人又ハ其代理人ハ常ニ現場ニ臨ミ督役ヲ爲シツヽアルヤ否

第六條　委任ヲ受ケタル工事竣功シタル時ハ遲滯ナク檢査員ヲシテ實地檢査ヲナサシメ驛屯土堤堰工事規程第二號樣式ノ竣功檢査調書ヲ作成セシムヘシ

第七條　委任ヲ受ケタル工事カ完全ニ竣成シタル時ハ別紙第六號樣式ニ依ル工費請求書ヲ徵シ前條檢査調書ノ寫ヲ添ヘ提出スヘシ

圖面及別紙第四號樣式ノ如キ請負人心得ヲ示シ工費見積書ヲ徵シタル上其見積額豫算範圍內ナルトキハ別紙第五號樣式ノ如キ請書ヲ作ラシメ之ヲ提出セシムヘシ

第四條　郡守ニ於テ委任ヲ受ケ施行スル工事ノ監督ハ郡廳員ヲ以テ之ニ充テ直ニ其官氏名ヲ報告スヘシ

第五條　工事監督員ハ左ノ事項ニ注意シ若設計ニ適合セサルモノアル時ハ手直シ又ハ改築ヲ命シ隨時之ヲ報告スヘシ

イ、材料ノ品質寸法及數量カ設計ニ適合スルヤ否

ロ、修築ス可キ個所水門ノ位置等設計ニ適合セルヤ否

ハ、請負人又ハ其代理人ハ常ニ現場ニ臨ミ督役ヲ爲シツヽアルヤ否

第六條　委任ヲ受ケタル工事竣功シタル時ハ遲滯ナク檢査員ヲシテ實地檢査ヲナサシメ驛屯土堤堰工事規程第二號樣式ノ竣功檢査調書ヲ作成セシムヘシ

第七條　委任ヲ受ケタル工事カ完全ニ竣成シタル時ハ別紙第六號樣式ニ依ル工費請求書ヲ徵シ前條檢査調書ノ寫ヲ添ヘ提出スヘシ

第一號樣式

何郡何面何里何々堤堰修築工事仕樣書

（例示）

一、（イ）ヨリロニ至ル（ロ）ニ至ル箇所

闕壞シタル箇所ニ土盛ヲ爲シ殘堤ニ添加シ堤防ノ馬踏何尺敷何間法何割高何尺トシ舊狀ニ復セシメ尙法面ニハ芝草ヲ張詰ムルモノトス云々

二、（ハ）ノ箇所

破壞シタル箇所ヲ馬踏何尺敷何間法何割高何尺敷何間ノ土盛ヲ爲シ兩側ハ石ヲ積上ケ其下部ニハ徑何寸長何尺ノ松杭ノ何本ヲ石止トシテ打込ミ杭木ノ內側ニハ徑何寸ノ粟石ヲ塡充シ堅牢ニ仕上クルモノトス

右之通ニ候也

年　月　日

何郡　守㊞

以下樣式省略

●驛屯土堤堰工事取扱方ノ件

明治四十四年十二月五日
財發第一二一九號部長通牒

各郡守宛

右之件ニ付別途訓令相成候處尙左記ノ件御了知相成度
右依命通牒候也

記

一、驛屯土附屬ノ洞洑、溜池及堤塘等ニヲテ修築ヲ要スヘキモノアル時ハ之ヲ調査シ從來小作人修築ノ慣例アリ且其工事ノ輕易ナルモノニ在リテハ直ニ之カ修築ヲ小作人ニ命シ以テ驛屯土ノ管理ヲ完フセラルヽコト

二、前項工事ニシテ從來小作人修築ノ慣例ナキカ又ハ工事輕易ナラス小作人ノ負擔ニ堪ヘサルモノト認ムルモノニ限リ別途訓令ニ基キ工事ヲ爲スモノト了知セラルヽコト

三、驛屯土、堤堰工事ハ成ルヘク驛屯土堤堰工事規程（四十四年十一月二十七日官報ニ記載アリ）第五條ニ依リ驛屯土小作人ヲシテ請負ハシムル方針ナルニ付了知シ置カルルコト

四、前項驛屯土、小作人ヲシテ工事ヲ請負ハシメタル場合ノ工費ハ各勞役者ニ正當ニ支給セラレシヤ否ヲ監督シ小作人總代等ニ不正ノ行爲ナカラシメンコトニ注意スルコト

五、本年夏季ニ於ケル豪雨被害堤堰ニ對シ應急修理費ヲ請求セラレタル郡ニ於テ之カ工事

住所
借用主　氏　名印
住所
連帶保證人　氏　名印
住所
連帶保證人　氏　名印

道知事殿

記

償還回數	償還金額	償還期限
第　回	金　也	大正　年　月　日
第　回	金　也	大正　年　月　日

【忠南例】

【忠南例】

ヲ施行セラルヽ場合ハ別途訓令ニ基キ施行セラルヽコト

但別途訓令第一條第二條ノ報告ハ之ヲ要セス

●堤堰洑管理規程

大正二年五月
道令第二號

第一條　堤堰及洑ノ管理者ハ樋ヲ設ケテ之ヲ保護シ灌漑ノ利便ヲ圖ルヘシ

第二條　樋ハ規約ヲ作リ左記各號ノ事項ヲ規定スヘシ

一、目的及組織
二、名稱竝事務所ノ位置
三、事務執行ノ方法
四、役員ノ名稱員數選任ノ方法任期及職務權限
五、會議ノ方法
六、樋員共有財産ノ得喪及保管方法
七、加入脫退ノ方法
八、樋ノ經費賦課竝徵收方法
九、違約者處分方法
十、其他必要ト認ムル事項

第三條　樋ノ執行ス可キ業務ノ概目左ノ如シ

一、毎年一回以上池底若クハ水路ヲ浚渫シ又ハ修理スルコト
二、灌漑水ヲ適當ニ分配スルコト
三、豪雨洪水等ニ因リ堤堰若クハ洑ヲ破損シ又ハ破損ノ虞アルトキハ應急ノ處置ヲ爲スコト
四、水源涵養ノ爲植樹ヲ爲スコト

第四條　左記ノ事項ハ所轄郡守ノ認可ヲ受クヘシ

一、規約竝ニ其變更若クハ追加
二、堤堰又ハ洑ニ關スル修理工事
三、役員ノ就任
四、樋ノ豫算

第五條　灌漑段別一町歩未滿ノ堤堰及洑ニ關シテハ本規程ニ據ラサルコトヲ得此場合ニ於テハ關係者ノ互選ニ依リ所轄郡守ノ認可ヲ經テ管理者ヲ置ク可シ

第六條　道長官又ハ所轄郡守ハ堤堰及洑ノ管理上必要ト認メタルトキハ之カ修築又ハ工事ノ變更ヲ命スルコトアル可シ

●堤堰又ハ洑敷地整理ノ件

大正四年六月十四日
土第四一八號第一部長通牒
各郡守宛

堤堰又ハ洑ノ修築ニ當リ民有地カ堤堰又ハ洑ノ敷地トナリタル場合ハ遲滯ナク其手續可致ノ處從來往々相當ノ手續ヲ怠リタルモノ有之甚遺憾ニ候條自今必工事ノ竣工ト同時ニ左記各項ノ手續ヲナサシムヘキハ勿論既ニ施行スミノモノニシテ干今手續漏レノ分ハ本年七月末日迄ニ一切整理候樣御取計ライ相成度此段通牒候也

記

一、國有堤堰又ハ洑ノ修築ニ當リ民有地ヲ編入スル必要アル時ハ土地所有者直接又ハ蒙利關係者ニ於テ買收ノ上其土地ヲ國有ニ寄附セシムルコトトシ修築費補助申請ニ對シ許可アリタルトキハ直ニ土地寄附申請書ヲ徵シ其寄附ヲ受諾スルコト

二、前項寄附ヲ受ケタル時ハ土地ノ所在地番號地目面積價格土地寄附者住所氏名ヲ報告スルコト

三、第一項ノ寄附ヲ受ケタル土地カ未登記又ハ未證明ノ土地ナルトキハ大正三年五月總督府令第十五號ニ定ムル通知ヲナシ既登記又ハ既證明ノ土地ニ付テハ證明又ハ登記ノ囑託ヲ爲ストキ同時ニ土地調査令施行規則第五條ノ通知ヲナスコト

四、民有堤堰又ハ洑ノ敷地ニ更ニ民有地ヲ附加

【忠南例】

シタル時竝民有堤堰又ハ洑ヲ新設シタルトキハ地稅令施行規則第六條又ハ第十四條ノ申告ヲ爲スコト同時ニ土地調査令施行規則第五條ノ申告ヲ爲スヿシ

（注意）

國有地所管轉換ノ分ハ稅務係ニ於テ池沼成手續ヲ爲スコトニ協定致シタルニ付單ニ民有地池沼成ノミニ付キ通牒スル次第ナリ

●灌漑排水事業補助規程

大正五年八月二十三日
道令第三號

第一條　堤堰洑其他灌漑又ハ排水ヲ目的トスル設備ノ新設若クハ修築工事ニシテ必要ト認ムルモノニ對シテハ本規程ニ依リ道ニ於テ其工事ノ測量設計ヲ爲シ又ハ每年度地方費豫算ノ範圍內ニ於テ其工事費ノ一部ヲ補助スルコトアルヘシ

第二條　前條ニ依リ工事ノ測量設計ヲ申請セムトスル者ハ第一號書式ニ依リ道長官ニ申請書ヲ差出スヘシ

第三條　第一條ニ依リ工事費ノ補助ヲ受ケムトスル者ハ第二號書式ノ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シタル文書ヲ添附シ道長官ニ申請スヘシ

一、工事設計書
二、工事ニ要スル金品及勞役ノ調達方法
三、工事著手及完了ノ豫定期日
四、竣功後ノ維持管理方法（管理基金ノ積立ヲ爲ス場合ハ其積立方法ヲモ併記スヘシ）
五、工事ノ施行ニ因リ隣接地ニ影響ヲ及ホス場合ハ當該隣接地地主ノ承諾アリタルコト書面
六、蒙利關係者ノ同意アリタルコトヲ證スル書面

第四條　二人以上共同シテ施設スル灌漑又ハ排水事業ニ付前二條ノ補助ヲ受ケムトスルモノハ豫メ其代表者ヲ定メ當該代表者名義ヲ以テ申請スヘシ

第五條　補助ヲ受ケタル工事ノ設計ヲ變更セムトスルトキハ其事由ヲ記載シタル申請書ニ變更計畫設計書及圖面ヲ添附シ道長官ニ認可ヲ申請スヘシ

第六條　工事費ノ補助ヲ受ケタルモノ豫定期日內ニ工事ニ著手シ又ハ工事ヲ竣功スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ具シ延期申請書ヲ提出シテ道長官ノ認可ヲ受クヘシ

第七條　工事費ノ補助ヲ受ケタル者ハ當該灌漑又ハ排水設備ノ管理基金ニ編入スヘシ

第八條　前條工事竣功ノ屆出アリタルトキハ道長官ハ竣功檢査ヲ爲シ工事ノ出來形ニシテ不完全ナリト認ムル時ハ必要ナル修理ヲ命シ又ハ補助金ヲ減額スルコトアル可シ

第九條　補助金ハ左ノ二回ニ分チテ之ヲ下付ス

一、工事ニ著手シタル時半額
二、第八條ノ竣功檢査ヲ終リタル時半額

第十條　工事費ノ補助ヲ受ケタル者ハ補助金及蒙利關係者ノ出資シタル金品出納ニ關スル帳簿ヲ備ヘ一件每ニ收支ヲ明カニシ且其仕拂證憑書類ヲ整備保存スヘシ

第十一條　工事費豫算ニ剩餘ヲ生シタル時ハ當該灌漑又ハ排水設備ノ管理基金ニ編入スヘシ

第十二條　本規程ニ依リ道ニ於テ測量設計ヲナシ又ハ工事費ノ補助ヲナシタル灌漑又ハ排水設備ノ維持管理ニ關シテハ本規程ニ規定アルモノノ外堤堰洑管理規程ニ據ルヘシ

第十三條　本規程ニ依リ道長官ニ差出ス文書ハ

【忠南例】

總テ管轄郡守ヲ經由スヘシ

第十四條　第五條第六條ノ規程ニ違背シ其他不正ノ行爲アリタル時又ハ故ナク工事ヲ中止シタルトキハ補助ノ指令ヲ取消シ又ハ補助金ノ一部若ハ全部ヲ返納セシムルコトアルヘシ

第十五條　工事ノ測量設計ヲ受ケタル者故ナク施工セサル時ハ當該測量設計ニ要シタル費用ノ一部若クハ全部ヲ納付セシムルコトアルヘシ

附　則

本令ハ大正五年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

溜池及用水路補助規程ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

書式

第一號

灌漑(又ハ排水)事業測量設計補助申請書

一、灌漑(又ハ排水)事業ノ位置　何郡何面、何里

二、事業ノ目的　堤堰又ハ洑修築又ハ新設等

三、灌漑(又ハ排水)地域ノ面積　町段畝ノ豫定

掴者等今般前記灌漑(又ハ排水)事業施行致シ度候條測量設計ニ關シ貴廳ノ技術員御派遣相願度別紙見取圖相添ヘ此段及申請候也

大正　年　月　日

代表者　何　某

同　何　某

忠清南道長官宛

灌漑地域(又ハ排水地域)ノ見取圖添附ヲ要ス

第二號

灌漑(又ハ排水)工事費補助申請書

一、所在地　何郡何面、何里

一、工事目的　何々堤堰ノ修築又ハ何洑ノ新設等

右灌漑(又ハ排水)工事今般蒙利關係者共同施行致シ度候處工事費ノ調達方困難ニ有之候條相當御補助相仰度大正五年八月二十三日忠清南道令第三號第三條各項ヲ具シ此段及申請候也

年　月　日

住所　何郡何面、何里

起業代表者　何　某

忠清南道長官殿

第三號

灌漑(又ハ排水)工事竣功届

一、所在地　何郡何面何里

二、工事名　何々堤堰又ハ洑修築又ハ新設

三、工事著手年月日　年月日

四、工事竣功年月日　年月日

右及御届候也

大正　年　月　日

起業代表者　何　某

忠清南道長官宛

第三號附表ノ一

何々工事補助金精算書

工種別	設計金額	支出金額	過不足	摘要
			過	
			不足	

【忠南例】

堤防工事	圓	圓	圓	圓
	○○○	、、、	、、、	、、、
餘水吐	○○○○	、、、	、、、	、、、
樋管	、、、	、、、	、、、	、、、
取入口	、、、	、、、	、、、	、、、
土地買收費	、、、	、、、	、、、	、、、
何	、、、	、、、	、、、	、、、
計				

備考　右內補助金何圓、差引不足何圓ハ蒙利者出資金ニ依リ支辨セリ

差引補助金、殘額何圓何拾錢

第三號附表ノ二

何々工事蒙利者出資金品精算書

收入種別	金額	收入內譯	支出種別	金額	支出內譯
	圓			圓	
地主負擔金	○○○	一等地何斗落 一斗ニ付何圓	人夫辨當料	○○○	一日一人五錢何人分
	○○○	二等地何斗落 一斗ニ付何圓			一日一人十錢何人分
小作人負擔金	○○○	一斗落ニ付金五錢	土工器具代	○○○	何個一個何錢
		何斗落			何本一本何錢
寄附金	○○○	何某ヨリ寄附	補助不足額補塡	○○○	別紙補助金精算書、不足額ニ充ツ
雜收入金	○○○	雜木又ハ草何貫目賣却代金	土地買收費	○○○	一斗落ニ付何圓 何斗落買收
何			補償費	○○○	作物補償何段歩 一段歩ニ付何圓

【忠南例】

何	雜費	〇〇〇〇
何		
計		
		差引剩餘金何圓

備考　剩餘金何圓ハ施行後ノ維持管理費トシテ稧ニ引續ク

●堤堰修築ニ關スル起業代表者選定ニ關スル件

大正六年七月五日
土第七八七號第一部長通牒

各郡守宛

大正五年八月道令第三號灌漑排水事業補助規程ニ依リ本道ニ補助ヲ申請スル堤堰又ハ洑等ノ修築工事ニ關シ其起業代表者ノ選定ニ關シテハ從來貴官ニ於テ相當注意ノ上選定セラレ候義ト存シ候處往々人選上ノ注意ヲ缺キタルモノアリヤニ被認候向モ有之候條今後ハ必ス蒙利土地所有者ニシテ相當ノ信用ト資產ヲ有スル地方有力者ヲ選任セシメ候樣配意相成度依命此段及通牒候也

追而蒙利土地所有者ニアラサルモ其堤堰又ハ洑ニ緣故ヲ有スル有力者又ハ地方有力者ニシテ蒙利民ノ信頼上必要アル人物ナル時ハ代表者ニ選任候モ差支無之此場合ニハ特ニ貴官ヨリ其旨副申相成候樣致度申添候

●水害報告電報略號ノ件

大正五年五月二日
土第四六二號第一部長通牒

各郡守宛

這般來豪雨出水ノ爲メ各道路ニ被害多ク一般交通ニ支障ヲ來タシタル箇所有之候ニモ不拘報告遲延シ著シクハ報告セサル趣有之處理上支障有之候殊ニ時下追々出水期モ切迫シ來候間自今被害ヲ受ケタル時ハ直ニ左記樣式ニ依リ電報通知スルト同時ニ應急補修相成度而シテ後其ノ狀況詳細報告セラレ度依命此段通牒候也

略號

洑(〇ク)水路(〇ロ)取入口(〇レ)放水路(〇ス)　耕地被害(〇チ)

●土地寄附採納ニ關スル件

大正六年四月七日
土第三九三號第一部長通牒

各郡守宛

道路、河川、堤防、堤堰、築洑等ノ工事ニ要スル土地ノ寄附ヲ國ニ於テ受納スル場合ハ總督府直轄工事ニ係ル場合ノ外道長官ニ於テ登記證明等ノ手續ヲモ履行スルコトト相成居候處右之内本道ノ直轄工事以外郡ニ於テ施行スル工事ニ關シ土地寄附採納ノ場合ハ爾今道長官ノ名ニ依リ貴官ニ於テ處理相成度此段及通牒候也

追而受納ノ土地ハ總督府報告例第一三二號ニ準シ毎年六月末及十二月末ノ二期ニ於テ御報告相成度申添候也

第九章　國有未墾地

〔忠南例〕

●國有未墾地貸付ニ關スル願書進達方ノ件

大正元年十月二十五日
勸第二〇〇號通牒

國有未墾地貸付ニ關スル願書取扱方ノ件ニ付テ曩ニ及通牒置候次第モ有之候處簡單ナル副申ヲ以テ進達相成爲メニ屢々照覆ノ手數ヲ重子ル向往々有之相互ノ整理上差支不尠候條爾今左ノ各號ニ依リ御取扱相成度候也

記

甲、未墾地貸付願提出ノ場合

一、願書ハ第一號雛形式ニ依リ整備セシムルコト

二、關係書類ハ國有未墾地利用法施行規則第八條乃至第十四條ニ依リ整備セシムルコト

三、出願地及隣接地ノ現形圖ニ示セル利用法施行規則第十條第二號乃至第六號ノ事項カ實地ト適合スルヤ否ヤヲ調査シ相違アルトキハ訂正セシムルコト

四、願書進達ノ場合ハ第二號書式ノ調査書ヲ作リ添付セラル、コト

五、國有私有區分ノ調査ハ明治四十五年二月三日朝鮮總督府訓令第四號ニ依リ決定セラル、コト

六、願書ノ却下ハ明治四十四年五月十二日官通牒第百二十七號及同日官通牒第百二十八號ニ依リ取扱ハル、コト

七、調査ノ結果若從來ヨリ利害關係ヲ有スル者アリ之ヲシテ利用セシムルモ充分事業遂行ノ見込アルトキハ其ノ者ニ利用意思ノ有無ヲ問ヒ利用意思アルトキハ之ヲ利用セシムル方針ヲ採ラル、コト利用ノ意思ナキトキ又ハ事業遂行ノ見込充分ナラサルトキハ其旨調査書ニ記載セラル、コト

國有未墾地貸付願

〔忠南例〕

道　郡　面　里洞所在

未墾地ノ種類面積　歩

右箇所國有未墾地ト相認候ニ付御貸付相成度國有未墾地利用法施行規則第九條ニ規定スル書類及圖面ヲ添ヘ此段奉願候也

年　月　日

本籍

現住所

出願人　氏　名印

朝鮮總督殿

願書ハ二通ヲ提出セシムルコト内一通ハ道廳留置ノ分トス

國有未墾地貸付願ニ關スル調査書

出願地ノ狀況						國民有區分
地勢	地質	水利	水害	潮水	生產物數量及價格	
土地ノ現況カ森林法ノ制裁ヲ受クルヲ適當ト認ムルトキ其旨記載スルコト				大滿潮時　小潮時　干潮時		

利用目的ノ適否	
事業計畫ノ適否	
出願人　資力	
出願人　信用	
出願人　事業遂行ノ見込	
利用ニ依ル附近人民ニ及ホス利害	
利害ノ程度補償ノ要否	
先願者ノ有無	
付與又ハ拂下ノ區分	
出願者ノ意思	
貸付許否ノ意見	

●國有未墾地貸付地ノ付與ニ關スル件

大正四年一月二十一日
勸第五四三號通牒

自今國有未墾地貸付地ノ付與願ヲ受理セラレタルトキハ其ノ實況ヲ調査シ調査員ヲシテ左記樣ノ調書ヲ作成セシメ添付ノ上進達相成ルヘク右依命及通牒候也

記

調書

郡　面　里所在

草生地　何町何段歩　被貸付人　何　某

一、事業成功ノ狀況

「本人願書記載ノ通相違無シ」

「本人願書ニハ全部成功トアルモ事實ハ別紙見取圖記載ノ如ク未成功ニ屬スル部分約何段歩アリ」

二、實測圖ノ正否

「實測圖ヲ實地ノ境界線ニ對照スルニ悉ク符合ヲ認メ又貸付許可書ニ添付シアル圖面ニモ符合ス」

「實測圖ヲ實地境界線ニ對照スルニ別紙掛ケ紙ノ如ク符合セス」

右ノ通リニ候也

年　月　日　調査員　郡書記何某印

●國有未墾地貸付出願地ヲ驛屯土臺帳ト照合ノ件

大正四年六月九日
勸第三四九一號通牒

郡ニ於テ國有未墾地貸付願書ヲ進達セラルヽニ方リ驛屯土臺帳ト照合ヲ缺クカ爲貸付許可後ニ於テ其ノ驛屯土タルヲ發見スルコト有之處理上差支候ニ付今後願書ヲ受理セラレタルトキハ必ス先ツ驛屯土臺帳ニ照合シタル上其ノ關係ノ有無調査書國有民有區別ノ欄ニ記入ノ上進達相成度依命及通牒候也

〔忠南例〕

●國有未墾地ニ關スル願書取扱方ノ件

大正六年七月二十日
勸第四一一八號通牒

首題ノ件ニ付テハ既ニ屢次通牒又ハ指示セル所有之候ヘ共今以テ不完全ノ書類ヲ進達セラルヽ向不尠處理上甚差支候ニ付自今左記事項ニ付テハ特ニ注意ヲ加ヘ取扱上遺漏ナキヲ期セラレ度右及通牒候也

記

一、調査書ノ分

一、地勢欄内ニハ「東ハ山ヲ負ヒ西南ハ沓北ハ海ニ向ヒ何々街道ニ接シ最近部落何々里迄ノ距離何町歩」又ハ草生地ニシテ「東南ハ山ヲ負ヒ西北ニ向ケ傾斜ス度數約何度何々里ニ接ス」等可成詳細ニ記スヘシ單ニ地勢平坦等記スヘカラス

一、潮水欄内ニハ大滿潮時小潮時ノ水深ヲ記シ干潮時ハ出願地ヨリ何町位退潮スト記スコト

一、生産物數量及價格欄ニハ苟モ生産物アレハ多少ニ拘ハラス之ヲ掲記スヘキモノナリ然ルニ地勢欄ニハ草生地トアリテ生産物欄内ニハ無シト記セルカ如キモノアリ

一、國民有區分欄ニハ必ス土地臺帳ニ登記ノ有無ヲ記シ又登載シアル土地ナレハ其ノ表示カ土地臺帳ニ符合セルヤ否ヤ其ノ地圖ハ地籍圖ニ符合セルヤ否ヤヲ記シ尚驛屯土ナルヤ否ヤヲモ記スヘシ

一、出願人資力欄ニハ沓何斗落價格何圓田何斗落價格何圓垈何坪價格何圓建物何棟價格何圓計何圓外ニ現金凡何百圓ヲ有ス等詳細ニ示スヘシ

一、出願人信用欄ニハ金錢融通上ニ關スル信用ノ程度ヲ記スヘシ若シ地方名望家ナルモ無一物ニシテ金錢融通上信用ナキニ於テハ「名望家ナルモ信用ナシ」ト記シ又本人無資産ナルモ親屬ヨリ融通シ得ヘキモノハ「無資産ナルモ親屬ニ資産家多ク凡何百圓迄ハ融通シ得ヘシ」等記スコト

一、利用ニ依ル附近人民ニ及ホス利害欄ニハ鹽業、漁業、船著、里民共同牧野等ニ關スル利害ノ點ヲ詳細ニ記スヘキハ勿論利用上築堤、築洑等ヲ爲スニ因リ對岸及水上水下ニ支障ヲ來ス虞アルモノノ如キモ亦本欄ニ詳記スヘシ

一、先願者ノ有無欄ニハ現ニ先願者アルヤ否ヤヲ記載スルハ勿論一旦貸付ヲ受ケタル後取消又ハ返還シタル土地ナルトキハ其ノ沿革ヲ記スヘシ

貸付願ノ分

一、面積ハ町段ノ名稱ヲ用ユヘキモノナルニ坪ヲ以テスルモノアリ又合勺ヲ附スルモノアリ自今總テ何町何段何畝何歩トスルコト

一、事業ノ計畫頗ル粗雜ニシテ要領ヲ得サルモノアリ自今ハ堤塘、水門、用水路、作道等ハ各其長、高ヲ明記シ尚其ノ構造設計ヲ詳記シ單價モ事實ニ適合セシムルコト

一、收支計算ハ其ノ事業ノ適當ナルヤ否ヤヲ判斷スヘキ唯一ノ材料ナルヲ以テ實地ニ依リ精密ニ打算スヘキモノナルニ拘ハラス代書人等カ千遍一伸ニ架空ノ計算ヲ列フルモノアリ此ノ點ニ付テハ特ニ注意セラルヽコト

一、三町歩未滿ノ貸付願ハ現形圖ノミ二通ヲ要シ他ハ一通ニテ足ルニ二通提出スルモノアリ無益ノ手數ナルヲ以テ注意セラルヽコト

付與願ノ分

一、土地調査施行以前ニ於テ貸付ヲ爲シタル土地ノ付與願ハ其ノ土地ハ土地臺帳ニ登載セ

〔忠南例〕

ラレシモノナルトキハ其ノ面積ハ土地臺帳ニ地圖ハ地籍圖ニ符合スルヲ要スルモノニシテ强テ貸付ヲ受ケタル際ノ面積ト地圖トニ符合セシムルヲ要セサルニ付此ノ點ニ注意シテ照合セラルヽコト

一、土地臺帳ニ記載シアル土地ハ實測ニ及ハサルコト

一、付與願モ亦三町歩未滿ハ書面一通ニテ足レリ但シ圖面ハ二通添付セシムルコト

利用權賣買讓與ノ分

一、利用權ノ賣買讓與ニ付テハ特ニ買受人又ハ讓受人ノ事業ヲ遂行スルニ足ルモノナリヤ否ヤ其ノ資產信用ヲ精査シ副申セラルヽコト

●千潟地內ノ鹽田ニ關スル取扱方ノ件

大正六年九月十八日
勸第五〇六九號通牒

千潟地貸付ノ出願ニ方リ其ノ區域內ニ鹽田アルトキハ必ス鹽業者ノ承諾書ヲ提出セシメ若シ提出セサルトキハ進達ヲ拒絕セラルル向往々有之哉ニ相聞エ候處右ハ必スシモ鹽業者ノ承諾ヲ必要ト爲サス郡ニ於テ其ノ釜數、年產額等ヲ調査シ之ヲ調査書ニ記入進達セラルレハ可ナルモノニシテ斯ル箇所ヲ許可セラルヽ場合ハ必ス鹽業者ニ相當補償ヲ爲スヘシトノ條件ヲ付セラルヘク而シテ被貸付人ハ鹽業者ニ補償ノ協議ヲ遂ケ若シ調ハサルニ於テハ國有未墾地利用法施行規則第七條ニ依リ總督ニ於テ裁定セラルヘキモノニシテ斯ル箇所ヲ許可セラルヽ場合ハ必ス鹽業者ニ相當補償ヲ爲スヘシトノ條件ヲ付セラルヘク而シテ被貸付人ハ鹽業者ニ補償ノ協議ヲ遂ケ若シ調ハサルニ於テハ國有未墾地利用法施行規則第七條ニ依リ總督ニ於テ裁定セラルヘキモノニ有之候條前記所用ノ手續ニ拘泥シテ時日ヲ遷延スルカ如キコト無之樣御取扱相成度依命及通牒候也

●鹽幕敷地ヲ土地臺帳ニ照合ノ件

大正六年十月五日
勸第五三〇〇號通牒

國有千潟地中ニ在ル鹽幕敷地及鹽盆ニ付テハ古來私有ヲ認メサリシヲ以テ國有未墾地貸付願ノ調査ニ當リテモ郡ハ其ノ國民有區分ニ深キ注意ヲ拂ハス千潟地ナレハ直ニ之ヲ國有ト認メ調査書ニモ「千潟地ナルヲ以テ純然タル國有地ナリ」等記載セラルヽ向有之候處或郡ニ於テハ現ニ土地調査ノ際鹽幕敷地ヲ民有地トシテ申告シ調査確定シタルモノモ有之候條自今ハ千潟地ナリトモ爲念土地臺帳及地籍圖ニ照合ノ上其ノ結果ヲ調書ニ記載進達セラレ度右及通牒候也

●國有未墾地貸付期限ニ關スル件

大正六年十月五日
勸第五三一九號通牒

國有未墾地利用法ニ依リ開墾成功ト認メテ付與セラルヘキ場合ハ單ニ田畑トシテ整理ヲ了レルヲ以テ足レリトセス少クモ一、二年間耕作ヲ爲シ相當收穫ヲ見タル後ナルコトヲ要スルニ拘ハラス貸付出願者ハ極端ナル短期限ヲ以テ貸付ヲ受クルカ爲往々年期中ニ成績ヲ見ル能ハス更ニ繼年期ヲ爲スノ已ムナキニ至リ相互ノ手數甚少カラス候右ハ畢竟付與ノ早カラムコトヲ希フノ餘ニ出ツルモノナルヘキモ貸付地ノ充全ニ成功スル以上ハ假令年期中ナルモ付與セラルルモノナルヲ以テ長期限ヲ以テ貸付ヲ受クルモ何等不利トスル所無之モノニ候條自今ハ願書進達ノ際注意ヲ加ヘラレ如何ニ小面積ノモノト雖草生地及池沼ハ三年以上千潟地ハ五年以上ノ期間ヲ以テ出願方御取計相成度右依命及通牒候也

追テ目下出願中ニ屬スル當廳處分ノモノニシテ其年期ノ短キニ過クルト認ムルモノハ便宜相當期限ニ訂正ノ上許可相成ヘク候條右ニ御了知置相成度申添候

【忠南例】

●河川沿岸國有未墾地貸付願ニ關スル注意ノ件

大正七年七月三十一日
勸第四六七二號通牒

近時作畓ノ目的ヲ以テ河邊ノ荒蕪地又ハ舊川敷ノ貸付出願ヲ爲ス者劇增シ來リ郡ハ之ニ對シ許可然ルヘキ旨副申セラルルモ吏員ヲ派シ實地調査セシムルニ及ンテハ率ネ他ニ水害ヲ及ホスノ虞アルヲ認メ終ニ不許可ノ處分ヲ爲スニ至リ官民共無益ノ手數ニ了ル場合甚不尠候元來堤防ノ施設未タ完カラサル今日ノ狀態ニ在テハ川邊ノ土地ハ一々之ヲ自然ノ放流ニ委スルノ外致方無之若シ慾ヒ之カ利用ヲ企テ一部ニ堤塘ヲ設ケテ水勢ニ逆フトキハ假令開墾地ハ保護シ得ルモノトスルモ之カ爲水勢ヲ刺激シテ他ノ良田ヲ缺潰セシムルニ至リ國家經濟上ヨリ之ヲ見ルモ得ル所少クシテ失フ所多キヲ以テ此ノ種ノ土地ノ貸付出願ニ對シテハ從來不許可ノ方針ヲ以テ處分致シ居リ候次第ニ有之郡ニ於テモ能ク此ノ趣旨ヲ體シ萬々支障ノ生シト認ムルモノノ外出願者ニ對シ說示ノ上願書撤回セシメラルヘク若シ强テ進達ヲ望ム者アル場合ニ於テハ忌憚ナク不許可ノ副申ヲ爲シ御回送相成度右依命及通牒候也

●河川沿岸國有未墾地貸付願ニ關スル注意ノ件

大正七年七月三十一日
勸第四六七二號通牒

近時作畓ノ目的ヲ以テ河邊ノ荒蕪地又ハ舊川敷ノ貸付出願ヲ爲ス者劇增シ來リ郡ハ之ニ對シ許可然ルヘキ旨副申セラルルモ吏員ヲ派シ實地調査セシムルニ及ンテハ率ネ他ニ水害ヲ及ホスノ虞アルヲ認メ終ニ不許可ノ處分ヲ爲スニ至リ官民共無益ノ手數ニ了ル場合甚不尠候元來堤防ノ施設未タ完カラサル今日ノ狀態ニ在テハ川邊ノ土地ハ一々之ヲ自然ノ放流ニ委スルノ外致方無之若シ慾ヒ之カ利用ヲ企テ一部ニ堤塘ヲ設ケテ水勢ニ逆フトキハ假令開墾地ハ保護シ得ルモノトスルモ之カ爲水勢ヲ刺激シテ他ノ良田ヲ缺潰セシムルニ至リ國家經濟上ヨリ之ヲ見ルモ得ル所少クシテ失フ所多キヲ以テ此ノ種ノ土地ノ貸付出願ニ對シテハ從來不許可ノ方針ヲ以テ處分致シ居リ候次第ニ有之郡ニ於テモ能ク此ノ趣旨ヲ體シ萬々支障ノ生シト認ムルモノノ外出願者ニ對シ說示ノ上願書撤回セシメラルヘク若シ强テ進達ヲ望ム者アル場合ニ於テハ忌憚ナク不許可ノ副申ヲ爲シ御回送相成度右依命及通牒候也

●國有未墾地貸付出願者身元調査ニ關スル件

大正七年八月十二日
勸第四八九八號通牒

國有未墾地貸付出願者ノ資產調書ハ其ノ事業ヲ遂行シ得ヘキ資力アリヤ否ヤヲ認定シ依テ以テ許否ノ處分ヲ決スル唯一ノ參考資料トナルヲ以テ之カ調査ニ付テハ十分ノ注意ヲ拂ヒ出來得ル丈ケ正確ヲ期セラルヘキ旨既ニ再三申進メタル次第モ有之候處今尙其ノ調査ニ於テ不動產價格ヲ莫大ニ見積リ又ハ不動產ヲ所有セサルモノニ對シテハ其ノ代リトシテ動產何千圓現金何萬圓等誇大ノ見積ヲ爲シ負債ノ如キハ之ヲ記載セス無理ニモ之ヲ資力家ノ如ク裝ヒテ以テ貸付許可ヲ得セシメムトセラルル向モ有之哉ニ認メ候此ノ如キハ上級官廳ノ處分ヲ誤ラシメ延ヒテ國家富源ノ啓發ニ阻害ヲ與ヘシムルニ至リ職務上忠實ノ義務ヲ缺クモノト言ハサルヲ得サル次第ニ付一層御注意ノ上情實ニ拘ハラス正確ノ御副申相成度依命及通牒候也

●千潟地利用ニ關スル事業計畫ノ件

大正七年八月二十七日
勸第五一五六號通牒

國有千潟地貸付願ニ添付ノ事業計畫中防潮堤防ノ法ハ一割內外ノ設計トナリ居ルモノ往々有之候處本府ニ於テハ一割五分以上ニアラサレハ是認セラレサルニ付願書進達ノ際ニ於テ篤ト注意ヲ加ヘ一割五分以內ノモノハ訂正セシメタル上御進達相成度候也

●國有未墾地事務取扱ニ關スル件

大正八年三月十二日
勸第一五四三號通牒

國有未墾地事務ノ取扱ニ付テハ既ニ屢次指示及通牒置キ候處尙今般本府ヨリ特ニ注意ノ次第モ

【忠南例】

有之重複ヲ厭ハス左ニ重ナル事項ヲ擧ケ及御注意候條之ニ依リ無遺漏御取扱相成度依命及通牒候也

記

一、貸付地ノ境界ニ標識建設ノ實行ヲ促スコト

二、數人共同シテ出願セシ場合ハ其ノ共同者間ニ於テ必ス代表者ヲ定メ其ノ屆出ヲ爲サシムルコト

三、朝鮮ニ住所ヲ有セサルモノノ出願ニ付テハ假住所ヲ定メ屆出シムルコト

四、相續屆出遲延ノモノニ付テハ理由書ヲ添付セシムルコト

五、干潟地開懇ノ場合其ノ締切堤防計畫ノ不備ナルモノ竝工費ノ單價及利益計算ニ於ケル耕作物段當收量等不相當ナルコトカ常識ヲ以テ容易ニ判斷シ得ヘキモノハ相當訂正セシメラルコト

六、締切堤防ノ法ハ一割五分以上タラシムルコト

七、土地臺帳及地籍圖ニ照合シ面積及圖面ヲ符合セシメ其ノ地番ハ必ス土地表示ニ記載セシメ尙調書ニハ土地臺帳及地籍圖ニ符合ノ旨ヲ記スヘク又土地臺帳及地籍圖ニナキモノハ其旨調書ニ記スヘキコト

八、河川ニ沿フ原野荒蕪地等貸付ノ出願ニハ其ノ四周ノ地況ヲ見ルニ足ルヘキ圖面ヲ作成添付セラルヽカ又ハ五萬分地形圖ノ寫ニ其ノ出願地ヲ示シタルモノヲ添付セラルヽコト

九、從來河川沿ノ土地貸付願ノ副申ニ方リ單ニ水害ノ虞ナシ又ハ附近ニ水害ヲ及ホス虞ナシ等調書ニ記載セラルヽ向アルモ爾後ハ其ノ虞ナシト認メタル事由ヲ詳記セラルヽコト

十、貸付出願又ハ付與申請ノ際ハ實測圖三葉ヲ以テ添付セラルヽコト但シ三町歩以下ノモノニ在テハ貸付出願ニハ現況圖二通付與願ニハ實測圖二通ニテ足レリ（地籍圖ニアルモノハ實測ヲ要セス其ノ寫ニテ可ナリ）

十一、土地臺帳施行前貸受ケタルモノヲ今日ニ於テ付與出願ノモノハ貸付當時ノ面積ニ依ラス總テ土地臺帳面積ニ又圖面ハ地籍圖ニ依リ土地臺帳及地籍圖ニ照合シ面積及圖面ヲ符合セシメ其ノ地番ヲ記載セシメラルルコト

十二、三町歩以下ノ付與願ハ必ス實地調查ヲ行ヒ大正四年一月二十一日附勸第五四二一號通牒ニ依リ調查員ノ調查ヲ添付セシムルコト但「實測圖ノ正否」ノ項ハ已ニ地籍圖ニ登載ノモノニ在テハ其ノ符合ノ有無ヲ記スルコト

十三、付與又ハ拂下申請ノ場合ニ於テ郡面ノ廢合ニ依リ行政區劃ヲ異ニスルモノニ至リタルモノ又ハ地目ヲ異ニスルモノ等ハ分筆シ（大正五年六月官通（牒九十六號參照））其ノ分筆シタル面積ヲ實測スルコト

十四、許可書ニ裏書ヲ要スル事項ノ出願ニ付テハ許可書ヲ添付スルコト（三町歩未滿ノモノニ在リテハ家督相續外裏書ヲ爲ササルヲ以テ添付ニ及ハス）

●國有未墾地願書取扱方ノ件

大正八年七月十日
勸第三七九九號通牒

國有未墾地貸付願及付與願ヲ進達セラルルニ方リ土地臺帳ニ登記シアル地ナリヤ否ヤ申越無之キ向往々有之處理上差支候ニ付其ノ登載ナキモノハ副申又ハ調書ニ其ノ登載ナキ旨ヲ明記相成度爲念及通牒候也

追テ地籍圖ニ登記ナシト雖登載地ト隣地ナルトキハ其ノ境界線ヲ地籍圖ト符合セシムル樣御取計相成度申添候也

●國有未墾地貸付料ニ關スル件

大正八年八月二日
勸第三三四六號通牒

面ヨリ國有未墾地貸付ヲ出願スル場合貸付料免除願差出ノ向往々有之候處面及學校ニ於テ單ニ基本財產造成ヲ目的トシ國有未墾地ヲ利用セムトスルニハ特別ナル場合ノ外貸付料ヲ免除セラレス候條爲念及通牒候也

追テ面模範林及學校實習林ハ本文ノ限リニ無之右申添候

●國有未墾地貸付期限ニ關スル件

大正八年八月二十五日
勸第四四三〇號通牒

國有未墾地ノ貸付期限ハ草生地ハ三個年干潟地ハ五箇年以上タルヘキ旨大正六年十月五日勸第五三一九號ヲ以及通牒置候處今尙短期限ヲ以テ出願ノモノ往々有之是等ニ付テハ便宜適當ノ期間ニ改メ許可書交付シ來リ候處斯クテハ借受人ノ意思ニ重キヲ置カサルノ嫌モ有之爾今ハ總テ返却ノ上訂正セシムヘク候ニ付受理ノ際ニ於テ注意ヲ加ヘラレ度右及通牒候也

●國有未墾地貸付延期願ニ關スル件

大正八年九月十六日
勸第四六七二號通牒

干潟地ノ貸付延期願ハ貸付期限內ニ之ヲ提出スル者甚少ナク多クハ半箇年又ハ一箇年ヲ經過シタル後差出スカ如キ狀態ニ有之候處爾今ハ貸付期限內ニ郡ニ差出シタルモノヲ除クノ外新規貸付願ヲ提出セシムルコトニ本府ニ於テ決定相成候條借受人一般ニ周知方御取計相成度候也

●芦田ニ利用スル國有未墾地貸付願書取扱ノ件

大正八年九月十六日
勸第四六七三號通牒

國有未墾地ヲ芦田トシテ利用セムトスル貸付許可ニ付テハ當廳ヨリ本府ヘ經伺ヲ要シ候ニ付三町歩未滿ノモノト雖願書二通ヲ提出セシメラレ度右及通牒候也

●國有干潟地ノ付與願取扱ニ關スル件

【忠南例】

大正八年九月二十三日
勸第四七五號通牒

國有干潟地ト雖中ニハ土地調查ニ於テ地籍圖ニ登載シアルモノ有之ヘクト存候條付與願出ノ際ハ地籍圖ニ照合シ登載ノ有無竝登載シアレハ地形符合ノ有無ヲ調書又ハ副申書ニ御記載ノ上御差出相成度右及通牒候也

●國有未墾地ノ願屆書類ニ郡受付月日及番號記入ノ件

大正八年十月十六日
勸第五一八七號通牒

郡ヨリ進達セラルル國有未墾地ノ願屆書類ニ郡受附ノ記入アキモノ往々有之候處右ハ處理上必要ニ付自今必ス書類欄外ニ受付印ヲ捺シ月日及番號記入ノ上御進達相成度右及通牒候也

●國有未墾地貸付願ニ添付スヘキ圖面ノ件

【忠南例】

大正八年十一月十九日
勸第五六七五號通牒

首題ノ件ニ付テハ既ニ數次通牒ニ及ヒ候ヘ共今尙不足又ハ不備ノモノモ不尠候條左記事項ニ付

テハ特ニ御注意相成度右及通牒候也

記

一、實測圖（小面積ノモノハ現形圖ヲ以テ代ユルコトヲ得）ハ許可書ニ貼付スヘキモノラ一通餘分ニ差出スヘキモノナルニ其ノ分ノ添付ナキモノアリ自今圖面ハ左ノ通リ添付ヲ要ス

イ、三町歩未滿ノ貸付願書

現形圖二葉（内一葉ハ許可書ニ添付ノ分）事業豫定圖一葉（事業ヲ年次割ニナササルモノハ提出ヲ要セス）

ロ、三町歩以上ノ貸付願書

正本ノ分　現形圖一葉實測圖二葉（内一葉ハ許可書ニ添付ノ分但地籍圖ニ登錄セラレアルモノハ其ノ寫ニテ可ナリ實測ニ及ハス）事業豫定圖一葉

副本ノ分　現形圖一葉、實測圖一葉、事業豫定圖一葉

二、實測圖ニ境界線ノミ記載シアリテ三斜ノ記入ナキモノアリ若シプラニメーターニ依リタルモノナレハ「プラニメーター計算法ニ依ル」ト記入シ其ノ縮尺ヲモ揭記スルヲ要ス

三、元來未墾地利用法ノ手續ニ依レハ出願者ハ出願ノ際ニ於テハ現形圖ト事業豫定圖トヲ添ヘテ提出シ許可官廳ニ於テ調査ノ末許可スヘキモノト認メタルトキハ更ニ實測圖ノ提出ヲ命スルコトトナリ居レルモ斯クテハ却テ手數ナルノミナラス出願人ニ於テモ大概出願前其ノ面積ヲ實測スルヲ以テ便宜上出願ト同時ニ實測圖ヲモ添付セシムルモノナリ故ニ若シ出願者ニ於テ出願ノ當初ニ於テ實測圖ヲ提出シ難キ旨申出ツルモノアレハ其ノ旨ヲ記シテ其ノ儘進達セラルヘシ

四、現形圖、豫定圖、實測圖トモ皆隣接地、附近耕地、人家、道路、河川池沼、堤塘、橋梁等ノ狀況ヲ示スヘキモノナルニ何等記載ナキモノアルヲ以テ注意セラレタシ

●河川敷地ノ貸付ニ關スル件

大正八年十一月二十三日
勸第四八七六號通牒

舊河川敷地（地籍圖ノ境界線ニ依ル）ニシテ陸地又ハ干潟地トナリタル土地ノ利用ニ付テハ官有財產管理規則ニ依ルヘキ旨曩ニ及通牒候處右ハ河川取締規則第一條第四號ニ依リ貸付出願セシムヘク而シテ本年九月十八日官通牒第百十三號ハ河川敷地ニ屬スル草生未墾地ノ如キモノハ治水上支障ナキカ又ハ將來河川又ハ堤防敷トシテ存置ノ必要ナキ場合ニ限リ國有未墾地利用法ニ依ル處分ヲ認ムルコトアルヘキ旨趣ニ過キサル旨本府ヨリ申越有之候ニ付自今右ニ依リ御取扱相成度依命及通牒候也

追テ未墾地利用法ニ依リ出願ノ場合三町歩未滿ト雖願書二通ヲ差出サシメラレ度尙錦江沿岸ノ新規發生地ニ付テハ芦草栽培ノ目的ヲ以テ從來個人ノ出願不尠候處芦田經營ノ如キハ面事業トシテ最モ適當ニ付特別ノ緣故者（私有地ノ浦落シタルモノニシテ確認アルモノ等）ナキ分ハ悉ク面ヲシテ經營セシメ燃料調節ノ一助タラシメラルヘク申添候

●國有未墾地貸付延期願ノ取扱ニ關スル件

大正八年十二月十八日
勸第六一〇八號通牒

國有未墾地ノ借受人ハ既定ノ計畫ニ從ヒ著々事業ヲ進行シ貸付期限内ニハ必ス之ヲ成功セシムヘキモノニシテ特ニ相當事由ノ存セサル限リ貸付延期ノ出願ヲ爲スヘキモノニ無之候處今日迄ノ實例ニ依ルニ期限内ニ成功スルモノハ極メテ少ナク且ツ其ノ延期ヲ願出ツルニ方リテモ之ヲ必要トスル事由ヲ詳記セサルモノ有之詮議上甚差

〔忠南例〕

支候條既ニ屢々通牒ニ及ヒ候通リ事業ノ進行ニ付テハ常ニ監督ヲ加ヘラルルハ勿論延期ノ出願ニハ貸付以來事業施行ノ事績ト延期ヲ必要トスル事由トヲ願書ニ詳記（別紙トナスモ妨ナシ）セシメラレ之ニ對スル貴官ノ意見ヲ附シ進達セラレ度右及通牒候也

追テ貸付地ノ期限內ニ成功セサルハ當初借受人ニ於テ妄リニ急速ナル計畫ヲ立ツルニモ一因スルモノト認メ候ニ付事業不相應ニ短期限ノモノハ貸付出願ノ際ニ於テ注意ヲ與ヘラレ度申添候

●國有未墾地願書取扱ニ關スル件

大正九年三月八日
勸第一四二三號通牒

郡ニ於ケル國有未墾地願書ノ未濟ナルモノハ率ネ不備ノ點ヲ訂正セシムルカ爲返却シタルモノカ一二年ニ亙リ再提出セラレサルニ基クモノト認メ候條爾今左記方法ニ依リ御處理相成度右及通牒候也

記

一、國有未墾地ニ關スル願書ニシテ不備ノ點アリ訂正又ハ補正セシムトスルトキハ豫メ再提出ノ期限ヲ指定シ（一ケ月乃至二ケ月ト爲スコト）若シ期日迄ニ差出ササルトキハ願意拋棄ト認ムヘキ旨通知スルコト

一、前項指定期限ニ至リ提出スルモノハ出願月日ヲ引直サシメ新ナル受附ヲ爲シ先後願ノ順位ヲ正スコト

●河川沿岸國有未墾地貸付願ニ關スル件

大正九年四月十六日
勸第二一七〇號通牒

河川沿岸ノ國有未墾地貸付願ヲ受理セラレタルトキハ本年二月二十四日附官通牒第一七號左記事項ヲ調査シ尙河川ノ上下流及對岸ノ狀況ヲ明ニセル圖面添付ノ上御進達相成ルヘキノ處往々之ヲ缺カルル向不尠處理上差支候ニ付爾後遺漏無之樣御留意相成度右御申進候也

●國有未墾地貸付願書ノ提出ニ關スル件

大正九年四月十九日
勸第二一六九號通牒

本年度ヨリ十町歩未滿ノ國有未墾地ノ處分ヲ知事ニ委任相成候ニ付テハ十町歩迄ハ願届書一通ニシテ宜敷尤モ芦田ノ利用河川沿岸ノ未墾地貸付及十町以上ヲ有スル園地內ノ一部貸付ハ本府ニ經伺ノ爲依然二通ヲ要シ候條右ニ御了知ノ上取扱相成度候也

●國有未墾地貸付許可書ノ添附ニ關スル件

大正九年五月二十六日
勸第二八九八號通牒

國有未墾地ノ利用權讓渡及事業計畫變更等願出ノ場合ニ於テハ貸付許可書ヲ添付差出スコトト相成居候處當廳ニ於テ委任ニヨリ處分スヘキモノハ本府處分ノ如ク許可書ニ裏書ヲ爲サス總テ處分用紙ヲ以テ處分スルコトニ取扱居リ候ニ付テハ爾今十町歩未滿ノモノニ許可書ノ添付ヲ要サス候條右御了知相成度及通牒候也

追テ相續屆ハ許可書ニ裏書ヲ爲ス取扱ニ付悉ク許可書ヲ添付セシメラレ度候也

●國有未墾地貸付願記載方ノ件

大正九年九月二十日
勸第五〇一二號通牒

土地臺帳ニ登記シアル林野ヲ國有未墾地トシテ貸付願ヲ提出スルニ方リ願書ニ單ニ何番林野ト記載ノ向不尠取扱上差支候條國有未墾地利用法第

〔忠南例〕

一條ニ記載シアル小地目ヲ必ス記載スル樣（何番原野（荒蕪地）（草生地））御取計相成度右及通牒候也

●國有未墾地利用法等ニ依ル願書受理表提出ノ件

大正十年四月訓令第十七號

記

（國有未墾地又ハ同施行規則ニ依ル願書受理表）
（河川取締規則ニ依ル願書受理表）

何年何月分　何郡

願件名	出願地ノ所在	土地ノ種目	面積	出願人住所氏名	受附月日

注意

一　土地ノ種目ノ欄内ニハ干潟地、草生地、荒蕪地等願書記載ノ種目ヲ記スヘシ

一　河川取締規則ニ依ル願書受理表ニハ「土地種目」ノ欄ヲ「河川名」ニ改ムヘシ

●國有未墾地付與願ニ關スル件

大正十年六月十四日農第一二四二號通牒

國有未墾地利用法又ハ同施行規則竝河川取締規則ニ依ル願書ヲ受理シタルトキハ其ノ月分ヲ取纏メ翌月十日限左記樣式ニ依リ其ノ要項ヲ報告スヘシ

前項ノ願書ニシテ現ニ受理シアルモノニ付テハ五月二十日限リ取纏メ之ヲ報告スヘシ

土地臺帳ニ地番ヲ付シテ登錄シアル國有未墾地ノ付與願ニハ圖面ノ添付ヲ省略シ差支無之右及通牒候也

●河川沿岸ノ國有未墾地貸付ニ關スル件

大正十年六月十七日農第一一七九號通牒

大正九年一月二十六日附官通牒第五號ヲ以テ河岸ノ國有未墾地利用ニ關スル件ニ付通牒相成居候處追書ニ直接治水上支障ナキ場合ニ在リテハ特別ノ事由ナキ限リ一定ノ期限ヲ附シ國有未墾地利用法ニ依ラサル使用ハ差支ナキ見込ナル旨記載有之治水上支障ナキ場合ニ於テモ亦未墾地利用法ニ依リテハ貸付セラレサル方針ナルカ如クニモ解セラルルヲ以テ今般其ノ筋ニ照合候處治水上全然支障ナキ河川沿岸ノ未墾地ハ利用法ニ依リ貸付差支無之旨回答有之候條御了知置相成度右及通牒候也

追テ沿岸未墾地ノ貸付處分ハ當廳ニ委任ノ範圍内ト雖本府ヘ經伺ヲ要シ候ニ付願書ハ二通提出セシメラレ尚大正九年二月二十四日附官通牒第一七號ノ事項ハ詳細御調査ノ上御副申相成度申添候

●國有干潟地ノ付與ニ關スル件

大正十年十二月五日農第一三二八號通牒

［忠南例］

瑞山郡地方ニ於テハ甲カ防潮堤防ヲ設ケテ干潟地ヲ開墾シタル後ニ乙カ其ノ地續ヲ利用スル爲海ニ進ムテ新タニ防潮堤ヲ設ケタルトキハ從來甲ノ設ケタル防潮堤ト溜水池トハ不用ニ歸スルヲ以テ之ヲ乙ノ所有ト爲スノ習慣昔時ヨリ行ハレ居ルヲ以テ乙ノ付與願ニハ乙ノ被貸付地ト甲ノ防潮堤溜水池トヲ合セテ提出セシメ可然ヤ否ヤ今般同郡廳ヨリ照會有之候處該習慣ハ不合理ノ點アルヲ以テ之ヲ認メサルコトトシ別紙ノ通回答致置候間爲御參考右及通牒候也

（別紙）

國有干潟地ノ付與ニ關スル件

九月五日附瑞財第二四五三號ヲ以テ首題ノ件ニ付御照會相成候處堤防敷及溜水池ノ如キハ大正五年六月二十二日附官通牒第九十六號左記第三項ニ依リ之ヲ本地ニ竝合スルヲ定則トナスヲ以テ貴地方ノ在來習慣ナルモノハ之ヲ認メ難ク候就テハ土地調査又ハ付與處分ニ於テ堤防敷及溜水池カ本地ニ量入セラレス依然國有地トシテ存置シアルモノニシテ新起業者ノ堤防築造ニ依リ不用ニ歸シタル場合ハ舊起業者ヲ以テ緣故者トシテ貸付出願セシメラレ度尤モ新舊起業者ノ合意ニヨリ適當解決セシムルハ差支ナキ儀ト御了知相成度右及回答候也

●國有未墾地ノ取締ニ關スル件

大正七年五月二十日勸第三二九五號通牒

近時地價ノ暴騰ニ伴ヒ開墾事業ノ勃興シ來レルト共ニ檀ニ國有地ヲ占用シ甚シキハ河川取締規則ヲ無視シテ堤防ヲ築造シ他ニ水害ヲ被ラシムル等其弊漸ク增大シ來タレルヲ認メ候右ハ畢竟之ニ對スルノ處罰竝驛屯土編入等ノ處分アルヲ知ラス又ハ假令之ヲ知ルモ其ノ終ニ宥恕セラルヘキヲ思ヒ事ノ此ニ及フモノト存候條此ノ際一般ニ此等制裁ノ存スルコトヲ周知セシメテ嚴ニ之ヲ戒飭シ尙違反スル者アルトキハ情實ニ拘ハラス相當處分ヲ加ヘ以テ一層之カ取締ヲ御勵行相成度右依命及通牒候也

●國有未墾地利用ノ事業監督ニ關スル件

大正七年五月三十日勸第三四七九號通牒

國有未墾地ノ貸付許可數ハ年ヲ逐フテ增加シ來レリト雖實際ニ於ケル事業ノ進行ハ兎角捗々シカラサルモノノ如ク中ニハ年々提出スル事業報告書ノ表面ノミ相當ノ成績ヲ擧ケタルノ如ク裝ヒ其ノ實ハ事業著手ノ意志スラ之ヲ有セス機ヲ見テ權利ヲ賣却セムトスル者モ有之哉ニ見受ラレ候斯ノ如キハ國家カ利用法ニ依リテ種々ノ特典ヲ借受人ニ與ヘ以テ富源ノ開發ヲ促進セムトスルノ趣旨ニ背反致候義ニ付該事業ノ進行ニ付テハ常ニ嚴重ノ監督ヲ加ヘラレ貸付後一箇年ヲ經テ尙事業ニ著手セサル者竝著手スルモ豫定ノ進行ヲ爲ササル者ニ對シテハ先ツ一應催告ヲ與ヘ相當ノ事由ナクシテ之ニ從ハサル者アラハ貸付許可取消方御内申相成度依命及通牒候也

追テ催告ヲ發セラレタルトキハ其ノ日附及内容等同時ニ御報告相成度右申添候

●國有未墾地ノ利用ニ關スル件

大正八年三月十日勸第一四七四號通牒

曩ニ施行セラレタル土地調査ノ結果ニ依レハ畓田間ニ介在セル五萬坪以内ノ園地中ニ於テ國有ト決定セル林野及未墾地ノ總面積ハ三千二十五町歩其ノ筆數三千三百四十七筆ヲ算シ居リ候此等ノ土地ノ多クハ人民カ私有ヲ申告セサリシ底ノモノナルヲ以テ固ヨリ膏腴ノ土地ニハ非サルヘ

［忠南例］

キモ率ネ植樹又ハ牧畜ノ用ニ堪エ中ニハ開墾耕作ニ適スルモノモアルヘキニ依リ調査確定後ハ直ニ貸付出願續出スヘキコトト期待シ居レルニ拘ハラス今日ニ至ル迄ノ貸付數僅ニ二十筆其ノ面積十六町八段餘ニ過キス殊ニ面基本財産ノ造成、面有林學校林及共同牧野ノ設置等其ノ急須ヲ要スルコトカ屢次訓示及通牒セラレタル今日ニ於テ此ノ種ニ屬スルモノノ貸付カ僅ニ九筆面積七町二段歩ニ出テサルカ如キハ甚奇怪ナル現象ト存候右ハ面、學校及各種組合ニ於テ纏マリタル國地ヲ得ンコトニノミ腐心シ小面積ノ如キハ捨テテ顧ミサルニ由ルモノカトモ存候モ既ニ土地調査ニ於テ私人ノ所有權カ確定セラレ現ニ行ハレツヽアル林野整理調査ニ於テモ私人ノ權利ヲ尊重シテ査定ヲ行ヒツツアル折柄到底昔日ノ如ク國有トシテ大圖地ノ土地ヲ借受ケムコトハ殆ント不可能ニ有之又進歩セル今日ニ於テ强テ小策ヲ弄シ緣故權ヲ無視セントスルモ徒ニ紛議ヲ惹起スルニ止マリ終ニ其ノ非ヲ遂ケ得ラレルヘキモノニ非ラス結局國有ト決定スルニ從ヒ順次小面積ヲ收拾シテ大面積トナスノ外良策無之モノニ候條本年六月迄ニ先ッ前記土地調査決定ノ國有地ニ對シテ一々調査ヲ遂ケ團體又ハ學校ノ所要ニ從ヒ其ノ適地ヲ案シテ夫々貸付出願ヲ爲サシメラルヘク尚開墾適地ノ如キハ面ニ於テ悉ク貸付ヲ受ケ置キ之ヲ小作開墾ニ付シ或ル一定ノ年限後面ニ於テ收益ヲ得ルコトセハ基本財産造成ノ一助ト相成ルヘクト存候條熟心ヲ以テ實行方御指導可相成依命及通牒候也

●國有未墾地ノ利用ニ關スル件

大正八年十月二十三日
勸第五二六五號通牒

追テ土地調査ニ於テ國有ト決定セシモノノ多クハ民有ノ申告ヲ爲ササリシモノ又ハ申告セルモ民有ヲ認メサリシモノニ付或特別ノモノヲ除ク外ハ緣故ヲ認ムルニ及ハス候條右御含ミノ上御取扱相成度候

●國有未墾地ノ利用權讓渡ニ關スル件

大正八年十月二十三日
勸第五二六五號通牒

國有未墾地ノ利用權ヲ相當ノ事由ナクシテ讓渡シ又ハ讓受ケムコトハ殆ント不可能ニ有之候條此ノ點ニ對シテハ自今許可ヲ與ヘスシテ其ノ貸付ヲ取消サルルコトニ內定相成候ニ付テハ其ノ事由書ヲ添付セシメ尙出願ノ實例ニ依ルニ全ク支障ナシト認メラルルモノハ甚少ク假リニ支障ナシト認ムル場合ト雖洪水時ニ於ケル洗速其他複雜ナル調査ヲ具シ當廳ニ委任セラレタル範圍內ノ面積ノモノモ尙本府ニ一々經伺ヲ要シ候カ爲到底迅速ニ貸付ノ運ヒト不相成候條御含ハ可成始メヨリ官有財產管理規則ニ依リ使用ヲ出願セシメラレ度右及通牒候也

●國有未墾地事務ノ取扱ニ關スル件

大正九年七月七日
勸第三七二九號通牒

郡ニ於テ事務ヲ處理スルニ方リテハ常ニ庶務財務兩係ノ聯絡ヲ保ツヘキ旨屢次訓示セラレ居リ候處國有未墾地ノ取扱ニ至リテハ往々財務係ニ合議ヲ洩ラシ爲ニ處分後ニ於テ支障ヲ生スル場

合不勘候條爾後驛屯土ヲ國有未墾地ノ利用ニ委セントスル場合ノ如キハ勿論土地臺帳及地籍圖ニ照合シ其他財務係ニ關係アル事項ハ必ス之ニ合議セシメタル上決裁施行可相成右依命及通牒候也

●ポプラ造林及芦田ニ適スル國有未墾地ヲ面事業トシテ利用ノ件

大正九年八月二十七日
勸第四六二四號通牒

ポプラ造林及芦田ノ經營ハ出費ヲ要スル事少クシテ其ノ地味ニサヘ適スルニ於テハ收益頗ル多ク且燃料調節ノ一助トモナリ面事業トシテ最適當ナルヲ以テ之ニ適スル國有林野又ハ國有未墾地アル場合ニ於テハ必ス面事業トシテ經營セシメラルヘキ旨昨年二月二十五日附勸第一二五四號及昨年十二月三日附勸第四八七六號ヲ以テ及通牒置候處其ノ趣旨未タ十分ニ徹底セサルモノノ如ク今ニ於テ尙ポプラ造林及芦草栽培ヲ目的トスル私人ノ未墾地貸付願ニ許可ノ副申ヲ附シ進達セラルル向モ不勘斯ノ如キハ大ニ本道ノ所期ニ反スル義ニ付爾後此ノ種ノ願書ヲ進達セラルル場合ニ於テハ面ニ於テ經營シ難キ事由ヲ御副申相成度右依命及通牒候也

追テ從來ノ例ニ徵スルニ面ハ自ラ利用ノ意志アルモ其ノ貸付出願ノ手續ヲ等閑ニ付シ置キ及ムテ始メテ競願的ニ願書ヲ提出スルモノハ大ニ事業家ノ企劃ヲ妨害スルコトト相成候ニ付現ニ適當地ト存スル面ニ在テハ他ニ先テテ急速ニ貸付ノ手續相運候樣御示達相成度候

●國有未墾地ノ事業成績屆ニ關スル件

大正十年五月二十九日
勸第二九七一號通牒

國有未墾地ノ貸付ヲ受ケタルモノハ毎年三月末日限リ前年ニ於ケル事業ノ成績ヲ屆出ツヘキノ處之ヲ怠ル者甚タ多ク道ニ於テハ年々本府ヨリ再三ノ督促ヲ受ケ漸ク十二月ニ至リ大體ヲ取纏メ得ルカ如キ狀態ニシテ處理上甚差支候條本年ハ嚴重督促ヲ加ヘ其ノ每年之ヲ怠ルカ如キ者ニ對シテハ假借ナク之ヲ告發シテ一般ヲ戒飭シ六月中ニハ取纏メ御進達相成度右及通牒候也

追テ屆書中許可番號記載ナキモノ往々有之照合ニ苦シミ候條必ス許可番號ヲ記載セシメラレ度申添候

●國有未墾地願書受理表ノ件

大正十年八月十八日
農第二九九六號通牒

每月差出サルヘキ首題ノ表ニ十町歩以上ノ貸付願副本差出シタルモノヲ記載ノ尙有之候處右ハ記載セラルルニ及ハス又十町歩以上ノモノハ可成當廳ニ於テ直接調査ヲ行フ方針ナルニ付特ニ照會ヲ爲ササル限リ調査書ノ提出ヲ要セス候條右ニ御了知置相成度及通牒候也

第十章　勸農機關

●產業技術員巡回指導簿作製ニ關スル件

大正六年十一月二十九日
勸第六四六〇號通牒

農林業巡回指導ノ效果ヲ確實ニシ併セテ技術者ノ指導情況ヲ知悉スルノ便ニ供セムカ爲大正七年一月ヨリ各面ニ左記樣式ノ簿册ヲ備付ケ置カ

シメ農業、蠶業、畜産業、林業等ノ技術員ヲシテ其ノ面ニ出張中指導奬勵セシ事項其ノ他實行セシ用務ヲ記載セシメ度候條右御了承可然御措置有之度依命及通牒候也

追テ畜産組合棉作組合等ノ技術者ニ對シテモ同樣取扱方貴官ヨリ同組合長ニ御指示相成度

（樣式）

表紙

大正七年一月

産業技術員巡回指導簿

何面事務所

月日	巡回地名	宿泊地名	用務ノ概要	出張者印
何月何日	何里	何面何里	何々指導（其ノ狀況ノ大要ヲ記入スルコト）	
			何々講話（其ノ要領及狀況ノ大要ヲ記入スルコト）	
			夜間講話（同上）	右
			何々調査（其ノ要領ヲ記入スルコト）	
何月何日		何々	何々打合（同上）	右 印
			何々	
		何々		印

備考

一、出張員ニシテ面事務所ニ立寄ルコトヲ得サルトキハ次回立寄ノ際前回ニ於ケル分ヲ記載スルコト

申添候

●道種苗場規程

大正元年九月二十五日
告示第十號

改正　大正七年四月告示第二一號、八年六月第三六號

目的トス

第一條　種苗場ハ農業ノ改良發達ヲ企圖スルヲ

第二條　種苗場ニ於テ行フ業務左ノ如シ

一、種苗、種禽、種卵、種畜及蜜蜂ノ配付又ハ種畜ノ種付ヲ爲スコト

二、農事ニ關スル模範ヲ示スコト

三、農産ノ改良增殖ニ關シ試驗及調査ヲ行フコト

四、農用器具、器械ノ貸與ヲ爲スコト

五、農事ニ關スル講話講習及實地指導ヲ爲スコト

六、農事見習生ヲ養成スルコト

第三條　種苗場長、種苗場技手ハ道技師及道技手ヲシテ其ノ事務ヲ行ハシムル外特ニ地方費ヲ以テ左ノ職員ヲ置ク但シ種苗場書記ノ事務ハ種苗場技手ヲシテ兼務セシムルコトアルヘシ

種苗場技手

種苗場書記

種苗場長ハ道長官ノ指揮ヲ承ケ場中一切ノ事務ヲ掌理シ部下職員ヲ監督ス

種苗場技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

種苗場書記ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第四條　場長事故アルトキハ上席技手之ヲ代理ス

●道種苗場事務取扱方ノ件

第七編　産業　第十章　勸農機關

種畜ノ種付ヲ爲スコト

二、農事ニ關スル模範ヲ示スコト

三、農産ノ改良增殖ニ關シ試驗及調査ヲ行フコト

四、農用器具、器械ノ貸與ヲ爲スコト

五、農事ニ關スル講話講習及實地指導ヲ爲スコト

六、農事見習生ヲ養成スルコト

第三條　種苗場長、種苗場技手ハ道技師及道技手ヲシテ其ノ事務ヲ行ハシムル外特ニ地方費ヲ以テ左ノ職員ヲ置ク但シ種苗場書記ノ事務ハ種苗場技手ヲシテ兼務セシムルコトアルヘシ

種苗場技手

種苗場書記

種苗場長ハ道長官ノ指揮ヲ承ケ場中一切ノ事務ヲ掌理シ部下職員ヲ監督ス

種苗場技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

種苗場書記ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第四條　場長事故アルトキハ上席技手之ヲ代理ス

●道種苗場農事見習生規程

大正二年四月八日
訓第八號

【忠南例】

大正五年五月十九日
告示第二十五號

其ノ場事務取扱方左ノ通相達候條右ニ依リ處務規程ヲ定メ當廳ノ認可ヲ受クヘシ

第一條　見習生ハ種苗場長及場員ノ指導ヲ受ケ農業ノ實習ヲ爲スモノトス

第二條　見習生ハ品行方正、身體强健、實習ニ堪ユル年齡拾六年以上ノ男子ニシテ左ノ資格ノ一ヲ有スル者タルコトヲ要ス

一、小學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者

二、公州公立農業學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者

三、場長ニ於テ試驗ノ上適當ト認メタル者

第三條　見習生ノ修業年限ハ一箇年以上トシ見習生各個ノ修業成績ニ鑑シ場長適宜之ヲ定ム

第四條　見習生修業中ノ費用ハ其ノ自辨トス但シ場合ニ依リ一日金三拾錢以內ノ食費ヲ補給スルコトアルヘシ

第五條　見習生成績不良ニシテ成業ノ見込ナキトキ其ノ他不都合ノ所爲アリタルトキハ退場ヲ命スルコトアルヘシ

第六條　修業ノ成績良好ナル見習生ニ對シテハ修業ノ終ニ於テ修業證書ヲ授與ス

第七條　見習生タラムトスル者ハ第一號樣式ノ

【忠南例】

願書ニ履歷書ヲ添附シ之ヲ場長ニ差出スヘシ

第八條　見習生ノ許可アリタルトキハ其ノ保證人ヨリ第二號樣式ノ保證書ヲ場長ニ差出スヘシ

（第一號樣式）

見習生志願書

私儀見習生志願ニ付御許可相成度別紙履歷書相添ヘ此段奉願候也

本籍
現住所
年　月　日　何　某㊞
生年月日

忠清南道種苗場長宛

（第二號樣式）

保證書

本籍
現住所
何　某
生年月日

右者今般貴場見習生御許可相成候ニ就テハ御規程堅ク爲相守可申ハ勿論見習中本人ニ係ル一切ノ事件ハ私ニ於テ引受可申候右保證候也

本籍
現住所
年　月　日　職業　何　某㊞

忠清南道種苗場長宛

●忠清南道種苗場生産物配付規程

大正八年十月十六日
告示第四十九號

第一條　種苗場ニ於ケル生産物ハ本規程ニ依リ之ヲ配付ス

第二條　配付ハ蕃殖ノ用ニ供スル條件トシ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ限リ之ヲ行フ

一、本道内居住農業者
二、本道内ニ於ケル學校及實業團體
三、以上ノ外種苗場長ニ於テ適當ト認メタル者

第三條　配付スヘキ品種一口ノ數量ハ左ノ如シ但シ特別ノ事由アル場合ハ此ノ限リニ在ラス

一、種苗
第一類　穀菽類ノ種子
一品種　三舛以内
第二類　甘藷、馬鈴薯及其他根莖類
一品種、種子ハ三貫以内苗ハ五百本以内
第三類　果樹苗
一品種二十本以内
第四類　蔬菜種子竝苗類
一品種種子ハ五勺以内苗ハ二十本以内
第五類　杞柳、楮其他
一品種三百本以内

二、種禽、種卵及種畜
第一類　種雞、種卵（白色レクホーン種、名古屋コーチン種〔名古屋種ト稱ス〕ブリマスロツク種）
一品種二羽又ハ十個以内
第二類　種豚（バークシヤー種、バークシヤー種ト在來種トノ雜種）
一品種二頭以内

三、蜜蜂
一品種一群

第四條　果樹苗、種禽、種畜及蜜蜂ハ之ヲ有償配付トシ其ノ他ハ無償配付トス但シ特別ノ事由アル場合ハ果樹苗、種禽、種畜及蜜蜂ハ之ヲ無償配付スルコトアルヘシ

前條但書ニ依リ規程ノ數量ヲ超過スル場合ハ前項無償配付ノモノト雖有償トナスコトアルヘシ

〔忠南例〕

第五條　有償配付生産物ノ價格ハ種苗場長ノ定ムル所ニ依ル

第六條　生産物ノ配付ヲ受ケムトスル者ハ左ノ期限内ニ所轄郡守ヲ經由シ第一號樣式ノ申請書ヲ提出スヘシ

一、春播種子　一月末日迄
一、秋播種子　六月末日迄
一、果樹苗、楮、種禽、種畜　二月末日迄
一、甘藷苗、蔬菜苗及蜜蜂　二月末日迄
一、其ノ他　隨時

第七條　配付生産物ノ輸送費及荷造費ハ受配付者ノ負擔トス運送方法ニ關シ特ニ希望アル者ハ申請書ニ其方法ヲ記載スヘシ

第八條　配付申請者ニ對シテハ配付生産物ノ有無及配付豫定期日ヲ通知ス出頭受領スル者ニシテ其ノ期日ヲ經過スルモ現品ヲ引取ラサルトキハ其配付ヲ取消スルコトアルヘシ

第九條　生産物ノ配付ヲ受ケタル者ハ左記事項ヲ遵守スヘシ

一、種苗ニ在リテハ收穫後直ニ其ノ成績ヲ報告スルコト
二、種禽、種畜及蜜蜂ニ在リテハ受配付後一年ヲ經過スレハ直ニ其ノ成績ヲ種卵ハ孵化後七日ヲ經テ孵化羽數ヲ報告スルコト
三、特ニ生育ノ狀況調査ヲ照會シタルトキハ即時回報スルコト
四、配付ヲ受ケタル後種禽及蜜蜂ハ二箇年種畜ニ在リテハ三箇年間他人ニ貸與、讓與、賣却又ハ屠殺スルコトヲ得ス但シ種苗場長ノ承認ヲ得タル場合ハ此限ニ在ラス
五、種禽、種畜及蜜蜂受配付後一箇年以内ニ斃死又ハ逃失シ若ハ盜難ニ罹リタルトキハ直ニ其旨ヲ報告スルコト

之ヲ發見シタルトキ亦同シ

第十條　無償配付ヲ受ケタル種苗、種禽、種卵及蜜蜂ヲ蕃殖用ニ供セサルトキハ種苗場長ニ於テ認定シタル價格ノ一部若ハ全部ヲ納付セシメ又ハ無償ヲ以テ之ヲ還納セシムルコトアルヘシ

第一號樣式

生産物配付申請書

一、種苗　何々　何程
一、種畜　何々　何程
一、種禽　何程

右蕃殖用ニ供シ度候條御配付相成度此段申請候也

〔忠南例〕

追テ現品ハ荷造ノ上小包郵便ヲ以テ發送相成度（通運便ニ依リ發送相成度）（御通知ニ依リ出頭受領可致）申添候

年　月　日　住所　氏　名印

忠清南道種苗場長宛

●忠清南道蠶業取締所規程

大正八年五月二十九日
告示第三十三號

第一條　忠清南道蠶業取締所ニ左ノ職員ヲ置ク

一、所長
一、蠶業取締吏員　若干名
一、書記　一名

第二條　所長ハ道技手ヲ以テ之ニ充テ道長官ノ命ヲ承ケ所務ヲ處理シ部下職員ヲ指揮監督ス所長事故アルトキハ上席吏員其ノ職務ヲ代理ス

第三條　蠶業取締吏員ハ所長ノ指揮ヲ承ケ蠶業取締及蠶種檢査ニ從事ス

第四條　書記ハ所長ノ指揮ヲ承ケ庶務及會計ニ從事ス

規程

大正八年六月十二日
訓令第四號

第一條　左ニ揭クル事項ハ道長官ニ經伺シ所長之ヲ施行スヘシ

一、職員道內出張ノ件
二、職員ノ請暇竝私事旅行許否ノ件
三、職員傭人除服出仕ノ件
四、傭人ノ採用、賞罰、罷免ノ件
五、所內諸規程制定ノ件
六、前各號ノ外重要ナル事項

第二條　左ニ揭クル事項ハ所長之ヲ專行スルコトヲ得

一、部下職員事務分擔ヲ定ムル件
二、所管諸報告處理ノ件

第三條　所長ハ蠶業取締事務ニ關シ所名又ハ其ノ名ヲ以テ各官廳及當業者ト直接文書ノ往復ヲ爲スコトヲ得

第四條　蠶業取締所ニ備付スヘキ帳簿ノ種類樣式ニ關シテハ特ニ規程アルモノノ外大正五年十月忠南會第二六八六號通牒ニ準據スヘシ

第五條　所長ハ每年五月末日迄ニ前年度ノ業務成績ヲ道長官ニ報告スヘシ

第六條　當該官吏、吏員其ノ職務ノ執行ニ當リ朝鮮蠶業令又ハ之ニ基ク命令ニ違背シタル者アルコトヲ認知シタルトキハ告發狀ヲ具シ所長ヲ經テ道長官ノ指揮ヲ受クヘシ但シ證據湮滅ノ虞アルトキ又ハ至急ヲ要スト認ムルトキハ直ニ告發ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ遲滯ナク其ノ旨ヲ道長官ニ報告スヘシ

第七條　前各條ノ外服務、文書ノ取扱及當宿直ニ關シテハ道處務規程ヲ準用ス但シ朝鮮蠶業令施行事務取扱規程第二條ニ依リ手簿ヲ供閱シタルトキハ特ニ必要アル場合ノ外別ニ復命書ノ提出ヲ要セス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

㊟忠淸南道蠶業講習所規程

大正十年四月一日
告示第十二號

第一條　本所ハ蠶業ニ關スル學理及技術ヲ講習スルヲ以テ目的トス

第二條　本所講習生ノ定員ヲ二十名トシ隔年之ヲ入所セシム

入所志願者定員ヲ超ユルトキハ第十條ニ定メタル程度ニ依リ選拔試驗ヲ行フ

第三條　講習期間ハ二年トシ學期ハ每年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第四條　休業日左ノ如シ但シ實習ノ都合ニ依リ休業セサルコトアルヘシ

祝祭日
日曜日
朝鮮總督府始政紀念日
夏季休業　自七月二十一日　至八月三十一日
冬季休業　自十二月二十九日　至一月十八日

第五條　講習生ニハ授業料ヲ徵收セス其ノ年度地方費豫算ノ定ムル所ニ依リ食費ヲ支給ス但シ缺席七日ヲ超ユルトキハ其ノ事情ニ依リ日割計算ニ依リ支給スルコトアルヘシ

入所及退所ノ場合ニ於テ在所一月ニ滿タサル講習生ノ食費ハ日割計算トス

第六條　入所志願者ニシテ在所中ノ食費ヲ自辨シ入所セムトスル者アルトキハ第二條定員外ニ於テ特ニ入所ヲ許可スルコトアルヘシ

第七條　講習生ハ總テ所內ニ寄宿スヘシ但シ本所ノ都合ニ依リ通學セシムルコトアルヘシ

第八條　講習科目左ノ如シ

一　學科

【忠南例】

修身　國語　算術　理科　蠶業況論　養蠶法　桑樹栽培　蠶種製造法　蠶體生理　解剖　製絲法　蠶體病理　蠶業法規　農業大意

二　實習

桑樹栽培　養蠶　蠶種製造　製絲　屑繭整理　蠶體解剖　蠶種檢查　桑苗育成　蠶種　繭　生絲　桑苗蠶具ノ審査

第九條　入所志願者ハ左ノ資格ヲ具備スル者タルヲ要ス

一、年齡十六歲以上ノ男子
二、公立普通學校卒業者產(蠶)業傳習所修了者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者
三、志望確實ナル者
四、身體强健品行方正ナル者
五、講習中家事ニ係累ナキ者

第十條　入所志願者ハ二月末日迄ニ第一號書式ノ願書ニ第二號書式ノ履歷書ヲ添ヘ所轄郡廳ヲ經由シ蠶業講習所長ニ提出スヘシ

第十一條　入所許可ヲ受ケタル者ハ二人ノ保證人ヲ附シ第三號書式ノ誓約書ヲ差出スヘシ

前項ノ保證人ハ二十歲以上ノ男子ニシテ道內ニ於テ獨立ノ生計ヲ營ミ相當ノ資產ヲ有スル者タルコトヲ要ス

第十二條　疾病其ノ他已ムヲ得サル事故ニヨリ退所セムトスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人連署ノ上願出ツヘシ但シ疾病ノ場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第十三條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ謹愼、出席停止又ハ退所ヲ命スルコトアルヘシ

一、本規程竝講習生心得ニ違背シタル者
二、品行不良ニシテ改善ノ見込ナキ者
三、怠惰ニシテ成業ノ見込ナキ者
四、身體虛弱ニシテ成業ノ見込ナキ者
五、正當ノ理由ナク缺席三十日以上ニ及ヒタル者

第十四條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ在所中前項ノ謹愼又ハ出席停止ヲ命セラレタル者ニハ其ノ間食費ヲ給セサルコトアルヘシ

給與シタル食費ノ全部又ハ一部ヲ返納セシムルコトアルヘシ

一、第十二條ニ依リ退所シタル者
二、第十三條ニ依リ退所ヲ命セラレタル者

第十五條　一年ノ課程ヲ修了シタル者ニハ修業證書二年ノ課程ヲ修了シタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

【忠南例】

附　則

本規程ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式

入所願書

今般貴所ニ入所致度候間御許可被成下度別紙履歷書相添此段相願候也

年　月　日

私儀
本籍
現住所
職業
何某何男(兄弟又ハ夫)
姓名㊞
年月日生

忠淸南道蠶業傳習所長何某殿

第二號書式

履歷書

姓名
年月日生

學業

一、何年何月何所何學校ニ入學何年何月卒業
又ハ何學年ノ課程修了
一、何年何月ヨリ何年何月迄何所何某ニ就キ

何學年修業
職　業

一、何年何月ヨリ何年何月迄何職ニ從事
賞　罰
一、何年何月何處ニ於テ何々ニ依リ受賞又ハ受罰

右ノ通リ相違無之候也

右　姓　名㊞

第三號書式
誓約書

本　籍
現住所
職　業
何某何男（兄弟又ハ夫）
姓　名
生年月日
私儀

今般貴所ニ入所許可相成候ニ付テハ該規則ヲ堅ク相守リ勤學可仕此段誓約候也

年　月　日　姓　名㊞

何某ニ對シ今般入所御許可相成候ニ付テハ前記誓約ヲ堅ク相守ラセ可申ハ勿論本人在所中ニ關スル事件ハ本人貴所卒業後ト雖拙者ニ於テ引受可申連署ヲ以テ此段保證候也

本　籍
現住所
職　業
保證人　姓　名㊞
年月日生

本　籍
現住所
職　業
保證人　姓　名㊞
年月日生

●忠清南道原蠶種製造所規程

大正四年四月一日
告示第十四號

第一條 忠清南道原蠶種製造所ハ道長官ノ管理ニ屬シ左ノ事項ヲ掌ル

一、原蠶種ノ製造及配付
二、蠶絲業ニ關スル試驗及調査
三、蠶絲業ニ關スル講習講話實地指導及質疑應答

第二條 原蠶種製造所ニハ左ノ職員ヲ置ク

所　長
技　手　若干名
書　記　一名
助　手　若干名

第三條 所長ハ所務ヲ掌理シ部下職員ヲ指揮監督ス
技手書記及助手ハ所長ノ指揮ヲ承ケ技術及庶務ニ從事ス

第四條 所長事故アルトキハ上席技手其ノ職務ヲ代理ス

●忠清南道原蠶種製造所處務規程

大正四年七月十五日
訓第十號

第一條 所長及部下職員出張ヲ要スルトキハ其ノ用務出張先及豫定日數ヲ具シ道長官ノ承認ヲ受クヘシ

第二條 所長及部下職員私事ノ爲メ旅行セントスルトキハ旅行先旅行日數ヲ具シ道長官ノ承認ヲ受クヘシ

第三條 所長ハ技術ニ關スル事務ニ付官公署實業團體及實業者ト文書ヲ往復スルコトヲ得

第四條 原蠶種ノ配付ハ受配付者ノ住所氏名種類名及數量ヲ記シ道長官ノ承認ヲ受クヘシ

第五條 左ニ揭クル事項ハ其ノ都度道ニ報告スヘシ

1、蠶兒催青中ノ狀況及蠶兒掃立月日及蛾量（種類別）
2、各齡ニ於ケル蠶兒發育狀況
3、蠶兒上簇月日
4、收繭調査（收繭總枡量、種繭枡量、選除繭枡量、繭層片薄不整繭等枡量、原蠶種製造豫定枚數、普通蠶種製造豫定枚數、）
5、母蛾發生月日
6、蠶種製造枚數
7、蠶兒被害狀況
8、蠶兒飼育成績（但シ表ハ別紙樣式ニ依リ詳細記載スヘシ）
9、其他重要ト認ムル事項

第六條 原蠶種製造所ニハ左ノ簿册ヲ備ヘ產業傳習所簿册樣式ニ準シ之ヲ整理スヘシ

1、職員出勤簿
2、日誌（養蠶日誌ハ別册トス）
3、備品臺帳
4、消耗品受拂簿
5、切手受拂簿
6、書類收受發送簿
7、豫算推算簿
8、參觀人名簿

第七條 書類ハ左ノ通リ分類シ曆年ニ依リ編綴スヘシ

1、訓令通牒綴
2、往復ニ關スル綴
3、雜件綴

第八條 所要備品消耗品ニシテ一口十圓以上ノモノハ品名數量用途ヲ記シ豫メ購入ノ承認ヲ受クヘシ

（蠶兒飼育成績表樣式）

催青中ノ溫濕度表

項目 / 時期		晴雨	室外溫度 最高	室外溫度 最低	室外溫度 平均	室外濕度 最高	室外濕度 最低	室外濕度 平均
天然催青中	晴曇日 雨日							
補溫催青中	同							

各齡中溫濕度表

項目 / 時期		晴雨	室外溫度 最高	室外溫度 最低	室外溫度 平均	室外濕度 最高	室外濕度 最低	室外濕度 平均
天然催青中	晴曇日 雨日							
補溫催青中	同							

齡次＼項目	晴雨日數		室外溫度			室內溫度		
	晴日	曇雨日	最高	最低	平均	最高	最低	平均
第一齡								
第二齡	同							
第三齡	同							
第四齡	同							
第五齡								
合計								
最高最低平均								

經過表

齡次＼項目	掃立月日	停食月日	齡中日數		
			食桑中	絕食中	計
第一齡					
第二齡					
第三齡					
第四齡					
第五齡					
計					

給桑表（對蠶量一匁）

齡次＼項目	回數	給桑量	量	蠶座面積
第一齡				
第二齡				
第三齡				
第四齡				
第五齡				
計				

上簇中溫濕度表

晴曇雨日	晴雨	室外溫度			室內溫度			室外濕度			室內濕度		
	日	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均

收繭表

種類別	項目	掃立蚕量	上蔟	下蔟	同功繭	計
			重量	重量	重量	重量
			容量	容量	容量	容量

對蟻量一匁及對給桑百貫匁收繭量

種類別	項目	對蟻量一匁	對給桑百貫匁	對上蔟一升
		重量	重量	重量
		容量	容量	容量
		量	量	量
		重	重	重
		量	量	量
		對	對	對
		顆	顆	顆
		數	數	ノ數

種繭保護中溫濕度表

樣式前記溫濕度表ニ同シ

一粒繰成績表

種類別	項目	糸長			糸量	對一升	繊度			對四百回
		最長	最短	平均	糸量	顆數	糸量	最太	最細	平均	切斷類節

第十一章　商工

●市場斗監考ニ關スル件

明治四十四年一月二十八日
訓令第十四號

各郡守宛

從來市場斗監考ニ對シ郡守ニ於テ準許ヲ與ヘ來リタル慣例ノ處右ハ畢竟一種ノ營業ニ屬シ且ツ賣買者間双方ニ於テ取引上斗監考ヲ介スルト否トハ任意ノ私的關係ニ屬スヘキモノナレハ自今斗監考ノ準許ヲ求ムル者アルモ之ニ對シ許可ノ處分ヲ爲スヘカラス

●市場斗監考ニ關スル件

明治四十四年一月二十八日
地收第二〇號内務部長通牒

各郡守宛

斗監考ニ對シ自今準許ノ手續廢止方本日長官ヨリ訓示相成候處右ハ斗監考ヲ禁止若ハ停止セシムヘキ趣意ニアラスシテ畢竟是等ノ營業者ニ對シ行政上ノ處分ヲ與フヘキモノニアラスト云フノ意ニ外ナラサレハ此點ニ對シ誤解ナカラシムル樣御留意相成度而シテ既ニ其ノ認許ヲ與ヘラレタル向ニ對シテモ此際本文ノ趣旨ヲ懇示シ其ノ既ニ認許ヲ得タルノ故ヲ以テ市場ニ於テ特權ヲ有スルモノノ如キ誤解ヲ抱カシメサル樣御諭示相成度此段申進候也

●會社又ハ個人經營ニアラサル市場經營者指定ノ件

大正三年十一月三十日
告示第六十七號

大正三年九月朝鮮總督府令第百三十六號市場規則第二十七條ニ會社又ハ個人經營ニ屬セサル市場ノ經營者ヲ左ノ通指定ス

記

市場名稱	市場所在地	經營スヘキ面名
廣亭市	公州郡正安面	正安面
公須院市	牛城面	牛城面
敬天市	鷄龍面	鷄龍面
大橋市	長岐面	長岐面
孔岩市	反浦面	反浦面
虎溪市	寺谷面	寺谷面
利仁市	木洞面	木洞面
柑城市	燕岐郡錦南面	錦南面
中部市	同南面	南面
烏致院舊市	同北面	北面

同　新市	同　同	同
東部里市	同　全義面	全義面
小井里市	同　同	同
新灘市	大田郡北面	北面
芝茗市	同　同	同
塔山市	同　東面	東面
儒城市	同　儒城面	儒城面
黒谷市	同　杞城面	杞城面
佳水院市	同　同	同
鎭岑邑内市	同　鎭岑面	鎭岑面
論山市	論山郡論山面	論山面
魯城邑内市	同　魯城面	魯城面
石城邑内市	扶餘郡石城面	石城面
扶餘邑内市	同　縣内面	縣内面
恩山市	同　恩山面	恩山面
林川邑内市	同　林川面	林川面
笠浦市	同　良化面	良化面
鴻山邑内市	同　鴻山面	鴻山面
旺津市	同　縣内面	縣内面
韓山邑内市	舒川郡韓山面	韓山面
新場市	同　馬山面	馬山面
舒川邑内市	同　南陽面	南陽面
吉山市	同　同	同
庇仁邑内市	同　庇仁面	庇仁面
板橋市	同　東面	東面
長峙市	保寧郡珠山面	珠山面
大川市	同　熊川面	熊川面
保寧邑内市	同　周浦面	周浦面
鰲川邑内市	同　鰲川面	鰲川面
結城邑内市	洪城郡龍川面	龍川面
瓮岩市	同　廣川面	廣川面
大橋市	同　金馬面	金馬面
白野市	同　高道面	高道面
金井市	青陽郡化城面	化城面

〔忠南例〕

〔忠南例〕

大山市	瑞山郡大山面	大山面
聖淵市	同　聖淵面	聖淵面
翠徯市	同　浮石面	浮石面
余美市	同　雲山面	雲山面
天宜市	同　貞美面	貞美面
泰安邑内市	同　泰安面	泰安面
唐津邑内市	唐津郡蝙背面	蝙背面
三巨市	同　高大面	高大面
沔川邑内市	同　馬岩面	馬岩面
機池市	同　松嶽面	松岩面
泛斤市	同　合德面	合德面
南元市	同　同	同
德山邑内市	禮山郡德山面	德山面
大川市	同　古德面	古德面
禮山邑内市	同　任城面	任城面
新禮院市	同　同	同
大興邑内市	同　大興面	大興面
光時市	同　光時面	光時面
新陽市	同　新陽面	新陽面
屯浦市	牙山郡屯浦面	屯浦面
曲橋市	同　鹽峙面	鹽峙面
密頭市	同　仁州面	仁州面
牙山邑内市	同　靈仁面	靈仁面
新昌邑内市	同　鶴城面	鶴城面
仙掌市	同　椒井面	椒井面
大橋里外市	同　温陽面	温陽面
下里内市	同　同	同
天安邑内市	天安郡寧城面	寧城面
豐西市	同　豐歳面	豐歳面
成歡市	同　成歡面	成歡面
笠場市	同　笠場面	笠場面
並川市	同　葛田里	葛田面

●面經營市場ニ關スル件

大正七年三月十一日
商第三〇四號農商工部長官移牒 道長官宛

面ニ於テ經營スル市場ノ使用料ニ關シテハ面制施行規則第四十六條ニ依リ朝鮮總督府ノ認可ヲ受クルヲ要スル儀ニ付市場規則第五條ニ依リ許可ヲ受クルニ及ハサル旨其ノ筋ヨリ通牒相成候條右御了知相成度及移牒候也

●物産陳列場規則

大正四年十月十五日
告示第四十九號

第一條　忠淸南道物産陳列場ハ之ヲ忠淸南道公州郡公州面ニ置ク

第二條　忠淸南道物産陳列場ハ本道産業ノ改良發達ニ資スルヲ以テ目的トシ之カ目的ヲ達スル爲必要ナル內外ノ物産及圖書ヲ蒐集陳列シテ一般ノ縱覽ニ供シ兼ネテ諸般ノ調査竝生産品ノ販路ニ關スル通信紹介ノ囑託ヲ受ク

第三條　忠淸南道物産陳列場ニ左ノ職員ヲ置ク

場長　一名
事務員　一名
守衞　一名

第四條　場長ハ道長官ノ命ヲ承ケ陳列場ニ關スル一切ノ事務ヲ掌理シ部下職員ヲ指揮監督ス場長事故アルトキハ事務員其ノ職務ヲ代理ス

第五條　事務員ハ場長ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第六條　守衞ハ場長ノ指揮ヲ承ケ陳列場ヲ看守シ其他雜役ニ從事ス

第七條　忠淸南道物産陳列場ハ物品ノ寄贈又ハ委託ヲ受ケ之ヲ陳列スルコトヲ得

第八條　縱覽人ハ別ニ定ムル所ノ縱覽人心得ヲ遵守シ尙場職員ノ指揮ニ從フヘシ

第九條　忠淸南道物産陳列場ノ陳列品ハ見本用ニ供スル場合ニ限リ之ヲ貸付シ又ハ無償若クハ相當ノ價格ヲ以テ之ヲ分與スルコトアルヘシ

第十條　見本品ノ貸付ヲ受ケタル者之ヲ毀損シ又ハ紛失シタルトキハ場長ノ定ムル所ニ從ヒ其ノ價格ヲ辨償スヘシ

第十一條　忠淸南道物産陳列場ノ休日及開場時限ハ左ノ如シ
但シ時宜ニ依リ變更スルコトアルヘシ

休日　三大節及日曜日
開場時限　自十二月二十八日　至翌年一月五日
　　自三月一日　午前八時ヨリ　至九月三十日　午後四時迄
　　自十月一日　午前九時ヨリ　至翌年二月末日　午後四時迄

●米穀計量法ノ矯正ニ關スル件

大正八年二月
勸第四二八號通牒

度量衡器ハ其ノ普及計畫實施ノ結果トシテ到ル所器物ノ普及ヲ見ルニ至リタルモ計畫法ニ付テハ乍遺憾之ニ伴ハス各市場米穀ノ取引又ハ小作米ノ授受等ニ於テ今尙舊慣ノ計量法ニ依ルモノアリ爲ニ奸商其ノ間ニ乘シ又ハ地主對小作人間紛擾ヲ釀スノ事例乏シカラス器物ノ普及ト共ニ計量法ノ改善ハ一日ヲ緩ウスヘカラサルモノアルヲ認ムルモ因襲ノ久シキ是等舊慣ノ矯正ハ容易ノ業ニ非サルヲ以テ一面檢定取締ヲ嚴ニスルト共ニ一面適切ナル指導ニ依リ一般人民ノ度量衡ニ對スル思想ノ昻上ヲ圖リ度候條別紙要項ニ依リ各郡一齊ニ舊慣ノ矯正、正規計量法ノ徹底ニ努メ以テ度量衡器普及計畫ノ目的貫徹ヲ期セラレ度依命及通牒候也

米穀計量法指導ニ關スル要項

一、計量方法

(1)　一斗以上ノ計量ニハ圓壔形一斗桝ヲ使用スルコト

(2)　一斗未滿五升以上ノ計量ニハ圓壔形五升桝ヲ使用スルコト

(3)　一斗桝又ハ五升桝ヲ以テ計量スルニハ先ツ桝ヲ水平ニ安置シ箕（木製ノモノヲ可トス）其ノ他ノ器物ヲ以テ計量物ヲ扱ヒ取リ靜ニ桝中ニ注入シ圓壔形斗概ヲ桝ノ口緣ニ接觸シテ平均ニ概ラスコト但シ有芒ノ粒ハ前記ニ準シ手ニテ概ラスコト

(4)　計量ニハ絕對ニ桝ヲ動搖シ又ハ動搖セシメサルコト

二、指導ノ方法

(1)　本計量法ハ面ノ外地主會其ノ他農事團體ニ示達シ一般人民ニ周知セシムルト共ニ實行ヲ期スルコト

(2)　郡內各市場ニ於ケル斗監考（計量人）ノ全員ニ對シ計量方法ヲ實地ニ敎習シ爾後之カ指導ニ努ムルコト但シ敎習ニ要スル器具ハ斗監考又ハ市場管理人ニ準備セシムルコト

(3)　農務講話其ノ他人民集會ノ機會又ハ面長協議會、區長會議等ノ際度量衡ニ關スル講話ヲ行ヒ舊慣ニ依ル計量法ノ矯正ニ努メ度量衡ニ對スル思想ノ昻上ヲ圖ルコト

(4)　前(2)項ニ付テハ其ノ敎習月日市場名及斗監考ノ氏名及住所ヲ二月末日迄ニ又(3)項ニ付テハ實施ノ都度其ノ月日聽講人員及講話ノ大要ヲ報告スルコト

備考　度量衡ニ關スル講話ハ本要項ノ外大正六年三月官通牒第六十四號ニ據ルコト

第十二章　鑛業

●鑛業令ニ依ル願書取扱方ノ件

大正六年五月二十四日
勸第三一〇一號第一部長通牒

各郡守宛

鑛業令施行規則第三十五條土地收用又ハ使用ノ許可申請書ハ總テ郡ヲ經由セシメ郡ニ於テハ受付後五日以內ニ左記事項ヲ調査シ意見副申ノ上進達相成度右依命及通牒候也

記

一、表示セル里、地番、面積及所在者住所、氏名カ土地臺帳ト符合スルヤ否ヤ

一、添付セル地圖カ地籍圖ト符合スルヤ否ヤ

一、工事設計カ適當ナルヤ否ヤ

一、出願シタル事業カ果シテ鑛業上必要ナルヤ否ヤ

一、土地使用上危險又ハ公害ヲ惹起スルノ虞ナキヤ否ヤ

一、其ノ他處分上參考トナルヘキ事項

以上ノ事項中專門家ニ非サレハ判定シ難キ事項ハ調査ニ及ハス只其旨ヲ記スヘシ

●鑛業令ニ依ル願書取扱方ノ件

大正六年五月二十八日
勸第三一〇一號第一部長通牒

各郡守宛

鑛業令施行規則第三十五條土地收用又ハ使用ノ許可申請書取扱方ニ付テハ本月二十四日勸第三一〇一號ヲ以テ通牒ニ及ヒ候處右書類ニハ執レモ二十圓ノ收入印紙ヲ貼用シアルヲ以テ之カ取扱ニ付テハ監督上特ニ注意ヲ加ヘラレ尙之カ發送ニ付テハ鑛業令施行規則第四十三條第三項ニ依リ郵便物ノ表面ニ鑛業書類ナルコトヲ朱書シ書留郵便ヲ以テ差出サレ度右爲念及通牒候也

第十三章　林野

●面模範林管理規程

大正五年一月十二日
訓令第一號

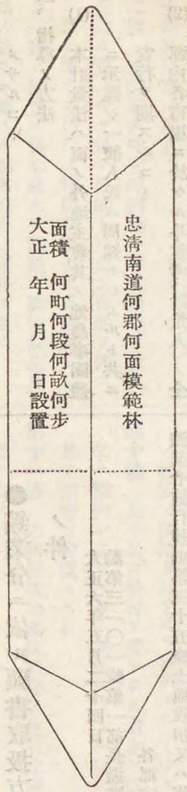
第一條　面模範林（以下單ニ模範林トス）ハ面ニ於テ之ヲ施設シ面民ニ對シ造林事業ノ模範ヲ示シ併テ面有財産ノ造林ヲ圖ルヲ以テ其ノ目的トス

第二條　模範林ノ設置竝管理ニ要スル費用ハ面民ノ寄附ニ係ル金品及模範林ノ經營ニ因リテ生スル收益ヲ以テ之ニ充ツヘシ

第三條　面ニ於テ模範林ヲ設置シタルトキハ面長ハ遲滯ナク樣式第一號ニ據ル施業方法ヲ定メ之ニ樣式第二號ノ調査ヲ添附シ郡守ヲ經テ道長官ニ其ノ認可ヲ申請スヘシ其ノ之ヲ變更セムトスルトキハ亦同シ

第四條　模範林ノ枝拂、手入及間伐ニ付テハ郡守ノ指示ニ從ヒ之ヲ實行スヘシ

第五條　模範林ニハ左ノ雛形ニ據ル標杭ヲ建設スヘシ



（五寸角長七尺）

第六條　面長ハ模範林ノ保護取締上必要アリト認ムルトキハ地元民中ヨリ模範林監督員ヲ選任シ之ニ其ノ保護取締ヲ委囑シ報酬トシテ下草ノ採取又ハ主產物若ハ副產物ノ一部ヲ給與スルコトヲ得但シ其ノ給與スヘキ物ノ種類數量ニ付テハ豫メ郡守ノ認可ヲ承クヘシ

第七條　面長ハ每月一回以上模範林ヲ巡視シ植栽又ハ保育ノ狀況ヲ調査シ補植其ノ他手入ヲ要スト認ムトキハ隨時之ヲ實行スヘシ

第八條　面長ハ樣式第三號ニ依リ其ノ年十月末日現在模範林植栽ノ成績及手入保護ノ實況ヲ每年十二月末日迄ニ郡守ニ報告シ郡守ハ各面ノ報告ヲ取纏メ翌年一月末日迄ニ之ヲ道長官ニ報告スヘシ

第九條　面長ハ樣式第四號ニ依リ模範林臺帳ヲ設クヘシ樣式第三號ニ依ル事業成績表ノ原本ヲ編綴シテ臺帳ニ代フルコトヲ得

前項但書ノ場合ニ在リテハ最初ノ事業成績表欄外上方ニ模範林ノ設置年月日面積ヲ朱書スヘシ

第十條　模範林ニ盜伐火災其ノ他ノ被害アリタルトキハ面長ハ遲滯ナク其ノ狀況ヲ郡守ニ報告シ郡守ハ之ヲ道長官ニ報告スヘシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ設置シタル面模範林ニ在リテハ本令施行日ヨリ二月以內ニ第三條ニ準シ其ノ施業方法ニ付道長官ノ承認ヲ受ケ第八條ノ報告ヲ爲スヘシ

（樣式第一號）

面模範林施業方法（記載例）

年度	樹種	新植 苗數	新植 面積	補植 苗數	天然稚樹保育 面積	備考
初年度	カラマツ	二〇、〇〇〇本	一〇町			
	クリ	八〇、〇〇〇	二〇	〇〇〇〇		
	ニセアカシヤ	一五、〇〇〇	五	〇〇〇〇		
	コナラ					
	計	一一五、〇〇〇	三五	〇〇〇〇	六〇、〇〇〇	天然稚樹ヲ保育シ疎立區域ニハ補植ヲ行ヒ約坪一本二分立トスル見込
二年度	アカマツ	六〇、〇〇〇	一〇	〇〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	新植區域內ノ天然稚樹ヲ保育シ約坪一本五分立トスル見込
	クリ		一二、〇〇〇		六〇、〇〇〇	前年度ノ新植地ニ補植ス一割五分枯損ノ見込
	ニセアカシヤ	一五、〇〇〇	五	〇〇〇〇		新植區域內ノ天然稚樹ヲ保育シ約坪一本五分立トスル見込
	コナラ				一〇〇、〇〇〇	天然稚樹ヲ保育シ約坪一本二分立トスル見込
	計	七五、〇〇〇	一五	〇〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	
	計	一五〇、〇〇〇	一二、〇〇〇			

【忠南例】

【忠南例】

合計	一九〇、〇〇〇	五〇〇〇〇	七二、〇〇〇	二〇〇〇〇〇

備考

イ、本施業方法ハ之ヲ箇所別ニ調製スヘシ

ロ、天然稚樹保育ノ方法

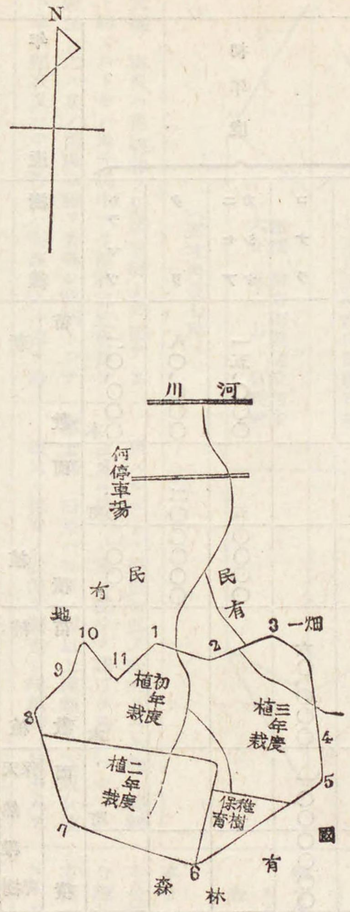
ハ、造林地一般ノ保護及手入ノ方法

ニ、毎年度ノ經費見込

ホ、植付及手入ノ時期

ヘ、地方民トノ關係

ト、其他必要ナル事項



右御認可相成度申請候也

〔忠南例〕

年　月　日

道長官宛

面　長

〔忠南例〕

（様式第二號）

模範林調書

所在地		何郡何面何里何山
全面積		實測何町歩
現況	地況	起伏ノ多キ立岡ニシテ地勢ハ西南方ニ向ヒテ漸次低下ス山腹ノ傾斜十五度乃至二十度アリ土性壤土植土ニシテ其ノ深サ一尺乃至二尺ニシテ處々岩石露出シ地味良好ナラスト雖雜草又ハ樹木ノ生長ノ狀態ヨリ考フルトキハ中庸ノ土地ト認ム
	林況	アカマツ　クヌキ　ノ稚樹點生スルモ大部ハ無立木地ナリ
其ノ他參考トナルヘキ事項		

（様式第三號）

模範林造林事業成績表　大正何年十月末日調

何面

所在地	種別	樹種	稚樹保育成績 面積	稚樹保育成績 生育狀況	植栽本數	同上成績 平均活著歩合	同上成績 生育狀況
					本		

備考

注意

一、種別ハ普通植栽砂防植栽天然稚樹保育ノ三トシ植栽ニハ播種及挿條造林ヲ含ム
二、樹種ハ一樹毎ニ掲記スヘシ但混淆林ニアリテハ主要ナル樹種及混淆歩合ヲ一欄ニ掲記スヘシ
三、播種造林ノ播種量ハ植栽本數欄ニ掲記スヘシ
四、箇所別ニ小計及平均活著歩合ヲ掲記シ一表毎ニ總計ヲ示スヘシ
五、模範林中ニ存在スル成木ニ付テハ其ノ狀況ヲ附記スヘシ

（様式第四號）

面模範林臺帳

設置年月日
所在地
面積

植栽

年月日	面積	樹種	本數	所要人夫數	經費	成績	備考
	町		本	人	圓	生育狀況調査年月日	

手入

實行事業	所要人夫數	經費	領収其ノ他	備考
年月日 補植下刈				
樹種 本數	人夫數	經費	人夫數	經費

〔忠南例〕

	本	人	圓	人	圓	人	圓

備考

一、植栽及手入ハ曆年毎ニ整理スルモノトス
二、生育狀況ハ良、中、不良ノ三等ニ分チ更ニ表中備考欄ニ其ノ平均幹長直徑等ヲ掲記シ被害ノ概況其ノ他參考トナルヘキ事項ヲモ附記スヘシ
三、經費ハ人夫賃、苗木代、標杭、建設費、消耗品費等ノ合計ヲ記入シ備考欄ニ其ノ財源（寄附收益ノ別）ヲ附記スヘシ
四、本表ノ補植欄ハ天然稚樹保育ノ場合ノ補植ヲ掲記スルモノトス

〔忠南例〕

●造林貸付地事業實行監督ニ關スル件

大正五年三月十日
勸第八五九號通牒

造林貸付地ニ於ケル事業實行ノ狀況ヲ案スルニ稀ニハ誠意以テ豫定ノ計畫ニ基キ著々事業遂行ニ努メツツアルモノナキニ非ラスト雖其ノ過半ハ柴草採取ヲ事トシ造林ヲ等閑ニ付スルノ傾アルハ甚タ遺憾トスル所ニシテ之カ實行監督ニ付テハ既ニ屢次指示注意スル所アリタリト雖尚自今左記方法ニヨリ直接間接ニ指導督勵ヲ行ヒ以テ事業ノ促進ヲ圖リ造林貸付ノ目的ヲ達成スルニ努メラレ度依命及通牒候也

記

一、郡守ハ國有林野ノ借受人ヨリ毎年其造林實行ノ狀況報告ヲ徵シ同報告ニ依リ實地調査ノ上意見ヲ附シ道長官ニ報告スルコト
二、郡守ハ毎年冬期ニ於テ一回林野借受人ヲ郡廳ニ召集シ事業上ニ關スル注意ヲ與フルコト但此場合ニハ可成道技術員ノ派遣ヲ求メ造林上ニ關スル講話ヲナサシメ以テ事業ノ促進ヲ計ルコト
三、貸付地四圍ノ境界ニ相當間隔ヲ以テ貸付年月日、面積、借受人、住所氏名ヲ記載シタル標杭ヲ樹立セシメ道職員、郡吏員等内巡視ノ際其貸付地タルコトヲ認知セシムルニ便ナラシムルト共ニ其新植保護ノ狀況ヲ一目明瞭ナラシメ以テ事業ノ督勵ニ力ムルコト

●國有林野讓與貸付願等ニ關スル面積檢定ノ件

大正五年六月十九日
勸第三一〇七號通牒

從來國有林野讓與又ハ貸付願等ニ關スル添付圖面ノ面積ヲ計算スルニ或ハ大ニ失シ或ハ小ニ失スル等不完備ノモノ多ク之カ爲再三照覆ヲ重ネルハ甚タ遺憾トスル所ニ有之是レ畢竟面積ノ檢定ヲ爲サスシテ其儘進達セラルルノ結果ナリト認メラレ候ニ付テハ自今別紙記載ノ方法ニ依リ

必ス圖面ノ檢定ヲ遂ケ其正鵠ヲ期シタル上進達相成度及通牒候也

追テプラニメーター器ハ土地臺帳實施ト共ニ配付可相成筈ニ有之候

面積檢定法

一、面積計算框ハ方眼紙ニ一定ノ線ヲ引キ其線内ノ面積ヲ表ハシタルモノニシテ之ヲ使用スルニハ先ツ圖面ト同一縮尺ナル框ノ上ニ按排シテ圖面ヲ置キ面積ヲ算定スルモノナリ然ルニ圖面ハ框ノ如ク方形ノモノニアラス多クハ不正形ノモノナルカ故ニ之ヲ框上ニ置キテ出入セル部分ハ其ノ線内ノ小ナル方眼數ヲ數ヘ面積ヲ算定シ加減スルモノトス今千二百分ノ一圖「イ」「ロ」「ハ」「ニ」「ホ」「ヘ」「ト」ナル圖面ノ面積ヲ知ルニハ別圖ノ如ク圖面ヲ框ノ上ニ置クヘシ然ルトキハ「イ」「ロ」「チ」「リ」内ノ面積ハ四段歩ナルコト二十八ニシテ千二百分ノ一圖ニ於ケル五厘目通シ一方眼ノ面積ハ一坪ナルカ故八百二十八坪卽チ二段七畝十八坪ナルコトヲ知ル仍テ全面積ハ二段七畝十八歩ナリト謂カ如シ

二、其他ノ縮尺ニ依ル框ノ使用法モ同一ノ理ニ依リ算定シ得ヘシ

三、縮尺ノ誤記又ハ面積ニ大ナル誤差アルトキハ框上ニ圖面ヲ置キ一目シテ相違セルモノナルコトヲ知ルヘシ

四、又一方法トシテハ一個ノ面積計算機（プラニメーター）アリ之カ使用法ニ付テハ財務係ニ熟練セル者アルニ依リ習得スルコト

（圖面略ス）

●面長在職者ニ國有林野貸付ノ件

大正六年二月二十四日
勸第一一〇三號通牒

從來面長在職者ヨリ國有林野貸付出願ノ場合ハ許可セサル取扱ニ相成居候處右ハ自今之ヲ容認シ地方林業奬勵ノ一助タラシムルコトニ決定相成候條御了知相成度及通牒候也

●未立木地造林計畫ニ關スル件

大正五年十二月七日
勸第五六一七號内牒

人民ノ經濟上竝國土保安上造林ノ必要ナルコトハ玆ニ多言ヲ要セサル所ニ有之始政以來林政上ノ施設一、二ニシテ止マラスト雖モ今猶本道林野總面積四十七萬町歩中未立木地實ニ十九萬町歩ノ多キヲ占ム而シテ其ノ荒廢ノ度ハ年ト共ニ甚シカラムトスルノ傾向アルヲ以テ本年初期荒廢林野ニ造林計畫ヲ樹テ就中其ノ最モ甚シキ大田、燕岐、天安三郡地方ニ之ヲ實施スルニ至レリ然リト雖モ斯ル大事業ハ獨リ官廳ノ力ノ克ク爲シ得ヘキ所ニアラス廣ク一般人民ノ努力ニ待ツヲ要シ且荒廢林野一般ニ及スノ必要ヲ認メ今般審議ノ末別紙ノ通未立木地造林計畫相樹テ候就テハ右計畫竝實行方法充分御咀嚼ノ上夫々計畫ヲ樹立シ實行上遺憾ナキヲ期セラレ度就中面苗圃及部落林ノ選定ハ本年度中ニ設置ヲ了シ以テ事業ニ蹉跌ヲ來ササル樣御配意置相成度依命及内牒候也

別紙省略ス

●未立木地造林豫定案編成ニ關スル件

大正六年五月三十一日
勸第三二二八號通牒

未立木地造林計畫ニ就テハ客年十二月一日附忠南勸第五六一七號ヲ以テ及通牒候處右計畫ニ基キ毎年實行スヘキ私有林（緣故林ヲ含ム）ノ造林ニ對シテハ毎年八月末日限リ別紙樣式ニ依リ造林豫定案ヲ作製シ道長官ニ承認ヲ受ケラルヘク又面ヲ本位トスル部落林ニ在リテハ大正五年一月十二日訓令第一號面模範林管理規程ニ準シ施業方法ヲ定メラレ度尙造林豫定案調製ニ就テハ特ニ左記各項御留意相成度依命及通牒候也

記

一、毎年ノ造林面積ハ未立木地造林計畫ニ基キ其ノ年度割面積ヲ算出シ其ノ毎年ノ植栽面積ヲ下ラサルコト

二、前項ニ依ル造林ノ内私有林（緣故林ヲ含ム）ニ在リテハ水源涵養又ハ土砂扞止等國土保安上造林ノ急施ヲ必要トスル部分ヨリ著手スルコト

三、前項ニ依ル造林箇所ハ可成集注的ニ選定ヲナスコト

四、植栽ノ疎密度ハ實地ノ狀況ニ鑑ミ裸出地ニ在リテハ坪二本以上トシ草生地ニ在リテハ坪一本以上ノ割ヲ以テ算出スルコト

五、樹種ノ選定ハ立地ノ狀況ニ鑑ミ裸出地ニ在リテハヤマハンノキ　アカマツ　クロマツ等ヲ配置シ草生地ニ在リテハカラマツ　クヌキ　クリ等ヲ配置スルコト

六、私有林（緣故林ヲ含ム）ノ傾斜四十度以上ニシテ現ニ崩壞流砂シツヽアル箇所及岩石地ハ除地トスルコト

（樣式）

大正年度私有林（緣故林ヲ含ム）未立木地造林豫定案

林野所在地及植栽面積	何面　何里何町歩　何里何町歩　計何町歩（數里ニ渉ル場合ニハ里毎ニ内譯ヲナスコト）	
植栽者ノ種別及員數	占有者何人　所有者何人　合計何人	
植栽期間	自何月何日　至何月何日	
植栽樹種及本數	何種何本　何種何本　何種何本　計　何本	
樹苗供給方法	自作苗　何種何本　何種何本　購入苗　何種何本　何種何本　購入苗木ハ道ニ買入ヲ依託又ハ郡廳ニ於テ斡旋ヲ爲ス等記入スルコト	
植栽概要	苗木ノ取扱及植栽上ニ付テハ郡吏員實地指導ヲ爲ス等記入ノコト	
備考	本表ハ面別ニ作成スルモノトス	

●面有林設營竝苗圃施設ニ關スル注意ノ件

大正六年十一月十六日
勸第六一四八號通牒

未立木地造林計畫ニ依ル面有林ノ設營ハ本道ニ於ケル林政上ノ一大方針ニシテ將來面ノ基本財産ヲ造成シテ其ノ基礎ヲ鞏固ナラシメ一面荒廢山野ノ救濟法トシテ特ニ企圖セラレタルモノニシテ之カ設營ニ就テハ大正五年十二月八日忠南勸第五六一七號通牒ノ次第モ有之既ニ手配中ノ儀ト被存候得共尙左記注意事項ヲ參酌シ一層成果ヲ擧クルニ努メラレ度依命及通牒候也

記

（イ）面有林

一、面有林ノ設定ヲ急クヘキコト

面有林（未立木地造林計畫ニ依リ面ヲ本位トスル部落林ハ面制實施後之ヲ面有林ト稱ス）ノ造成ハ大正七年度ヨリ大正十六年度ニ至ル向フ十箇年ヲ期シ之ヲ完成スヘキモノナルカ故ニ既ニ土地ノ選定ヲ了シ居ラルヘキ筈ナルニ今ニ未決定ノ向アルハ甚遺憾トスル所ナルヲ以テ此際急速ニ土地ノ選定ヲ遂ケ國有ナルニ於テハ本年度内ニ貸付出願ノ手續ヲ完了シ若シ私有ニシテ寄附等ニ依ルモノナルニ於テハ其ノ所在地面積竝事業計畫書ヲ添附シ報告セラルヘシ

二、面有林ヲ設定スルニ當リ林野ノ國私有區分ヲ誤ラサルコト

面有林ノ設定ニ當リ土地ノ私有又ハ緣故ヲ主張スル者アルカ爲之カ決定困難ナリトシ或ハ何等ノ理由確證ナキニ拘ハラス私有又ハ緣故ヲ誤認シ遂ニ査定スヘキ適地ナシトセル向アルハ甚タ遺憾ナリ例セハ單ニ地籍届ヲ爲シタルノミニシテ樹木禁養等ノ事實ナキモノニ對シ祖先墳墓ノ存在又ハ柴草採取ノ慣行ヲ事由トシテ直ニ私有又ハ緣故ヲ認メ國有ト認定スルニ躊躇スル向尠カラサルカ如シ宜シク明治四十五年朝鮮總督府訓令第四號森林山野及未墾地國有私有區分標準及大正元年九月總督府令第十號朝鮮國有森林未墾地及森林産物特別處分令ニ據ル森林ノ緣故者及木材業者ノ資格ノ件ヲ參照査定セラルヘシ

三、面有林ハ可成荒廢地ニ選定スルコト

面ノ基本財産ヲ造成セシメムトスル點ヨリ之ヲ謂ヘハ可成地味良好ノ土地ニシテ將來ノ成林ヲ期待シ得ラルヘキ箇所ニ選定スヘキモノナルモ斯ノ如キハ個人ト雖尚克ク其ノ經營ニ任シ得ヘキヲ以テ面ニ於テ努メテ荒廢山野中水源涵養土砂扞止等國土保安ノ關係上造林ヲ必要トシ然カモ個人ノ資力ヲ以テハ適當ナル土地ヲ得難キ場合多シ故ニ之ヲ各所ニ分設スルモ妨ケナシ

五、面有林ノ造成ハ決シテ多額ノ經費ヲ要セサルコト

面有林ノ造成ニ就テハ比較的多額ノ費用ヲ要シ制限外ノ賦課ヲ爲ササルヲ得サルヤニ誤信セル向アリ凡ソ造林費中ノ主要目ハ人夫賃ナリトス而シテ人夫、夫役ヲ以テ之ヲ充當シ得ヘシ自餘ハ林野貸付料金及種子代ノ一部ニ過キス要ハ爲政者ノ熱誠ト工夫如何ニ存ス特ニ注意考慮セラルヘシ

六、面有林ノ事業計畫ハ適確ナルヘキコト

土地ヲ選定シ國有林野ノ貸付出願ヲ爲ス場合ニ添附スヘキ事業計畫書ハ卽チ造林基案ナルヲ以テ之カ作成ニ當リテハ能ク實地ヲ調査シ立地ノ狀況ニ鑑ミ樹種ノ配置ト植栽本數ヲ適合ナラシムヘシ然ルニ從來ノ例ニ徴スルニ其ノ計畫甚粗漏ニシテ全ク机上ノ作製ト見ルヘキモノ多シ斯ノ如キハ造林ノ根本ヲ誤レルモノニシテ將來ノ蹉跌ハ必ス茲ニ胚胎スヘシ苟モ面有林ノ事業計畫書ハ特ニ郡林業技手ヲシテ實地調査ヲ爲サシメ適確ナル計畫ヲ企圖スルニ留意スヘシ

【忠南例】

（ロ）面苗圃

一、健全ナル苗木ヲ養成シ生産苗數ノ增加ヲ計ルヘキコト

從來面苗圃ノ成績概ネ不良ナルハ甚遺憾ナリ之カ原因ハ一ニシテ足ラスト雖多クハ故ラニ圃地ヲ地味瘠惡ナル箇所ニ選定シタルト施業方法ノ不完全或ハ保護管理ノ不行届ナルトニ在リ此際不適ノ分ハ適所ニ移轉シ且施業ノ完全ヲ期セラルヘシ

二、養成スヘキ樹種ハ面有林ノ事業計畫ニ依リ決定スルコト

面苗圃ニ於テ養成スヘキ樹苗ハ面有林ノ立地ニ鑑ミテ作成シタル事業計畫ニ基キ每年ノ樹種別所要本數ヲ生産スヘク播種又ハ床替ノ數量ヲ豫定シテ作業ヲ爲スヘキモノナリ然ルニ從來漫然クリ　クヌキ　何石ヲ播下スル等甚不合理ナル施業ヲ敢行セシ結果遂ニ立地ト襦衡ヲ失ヒ已ムヲ得ス不適當ナル樹種ヲ植栽スルノ弊ニ陷ルハ遺憾ナリ自今能ク是等ノ點ニ注意ヲ拂ヒ造林地ト樹種ノ適合ヲ期セラルヘシ

三、施業ニ就テハ可成殖林手引ヲ基範トスルコト

殖林手引ハ樹苗圃施業上ノ好指針ナルニ拘ハラス往々理由ナクシテ之ト異ナル施行ヲ爲シ遂ニ不良ナル結果ヲ招キ甚シキハ該册子ノ所在スラ之ヲ知ラサル向ナリ斯クテハ到底完全ナル施業ヲ爲スコト能ハス將來一層注意ヲ加ヘ相當理由ナキ限リハ該手引ニ依リ施業ヲ爲サシムヘシ

四、成苗（山出苗）ノ標準ヲ勵行スルコト

從來山植後ノ成績不良ナル所以ハ一ニ苗木ノ形質良好ナラサルニ在リ各地ノ山出苗中大正三年官通牒第四〇七號成苗標準ニ充タサルモノ多ク甚シキハ床替ヲ爲スヘキモノニシテ尙之ヲ行ハス苗木ノ良不良ヲ問ハス監督ヲ要スヘキモノトス須ク一般ニ成苗標準ヲ敎示シ適當ノ形質ヲ具備スル苗木ニアラサレハ植出サシメサル樣注意スヘシ

●面ノ出願ニ係ル國有林野貸付願副申ニ關スル件

大正八年五月二十四日
勸第二八四二號通牒

面ニ於テ基本財産造成ノ目的ヲ以テ國有林野ノ貸付等ヲ出願スルモノニシテ其ノ事業經營費支辨ノ方法判明セサル向アリ爲メニ照覆ニ手數ヲ要シ候ニ付テハ自今右願書進達ノ際ハ必ス事業年度中ノ每年度經費所要額其支辨方法竝ニ面民ノ負擔ニ及ホス狀況詳具相成度及通牒候也

●林野調査ニ關スル件

大正八年六月二十四日
勸第三四九五號通牒

區分調査濟以外ノ林野ニ於テハ其ノ權利關係尙依然トシテ曖昧ノ狀況ニ有之候處目下實施中ノ林野整理調査ニ依リ其ノ確定ヲ見ルモ將ニ遠カラサル事ト相成候付キテハ是等ノ林野ニ對スル貸付讓與ノ出願ハ此ノ際可成其ノ出願ヲ見合サシメ朝鮮林野調査令ニ依リ權利確定ノ後一齊ニ處理スヘキ旨其ノ筋ヨリ通牒ノ次第モ有之候條是等ノ出願ニ對シテハ有趣旨ニ依リ處理相成度及通牒候也

●造林事業成功ニ依ル國有林野讓與願ノ調査ニ關スル件

大正九年一月二十六日
勸第五四二號通牒

造林事業成功ニ依ル國有林野讓與願ニ對スル調書作成ノ場合ニ於テ其ノ貸付地カ全然天然生稚

【忠南例】

樹保育ニ依リタル場合又ハ貸付地面積五町歩以下林野ニ付テハ森林令施行手續第十七號樣式造林事業成功調書ノ注意トシテ掲記セル豫定實行對照表及區域圖ノ添付ヲ省略スルモ差支無之義ト御了知相成度依命及通牒候也

●土地臺帳ニ登錄セラレタル國有林野ノ處分ニ關スル件

大正九年三月一日
勸第一二三三號通牒

土地臺帳ニ登錄セラレタル國有林野ノ拂下讓與又ハ交換等ノ處分ヲ爲シタルトキハ大正三年訓令第十五號ノ規定ニ依リ其ノ都度本府ヨリ所轄府郡島ニ通知致置候處其ノ通知事項（主トシテ地積）カ土地臺帳登錄事項ト相違シ整理不能ノ故ヲ以テ該通知書ヲ返戻スルモノ往々有之右ハ畢竟道府郡島ニ於テ調査不充分ナル願書ヲ進達スルニ基因スルモノト被認候條本件ハ出願ノ都度其ノ願地ハ土地臺帳及地籍圖ニ照合シ區域地積及權利關係等符合スルヤ否精細調査ヲ遂ケ尙分割處分ヲ要スルモノニ付テハ大正三年府令第四十五號土地臺帳規則第八條同年稅第一五五五號土地分割ニ關スル件及大正八年四月九日忠南稅第七八二號分割地地積算定ニ關スル件通牒等御參照ノ上分割地ノ實測及端數地積ノ計算等遺憾ナキヲ確メタル後願書御進達相成候樣致度爲念及通牒候也

●第一種不要存林野ニ對スル出願處理ノ件

大正九年五月二十日
勸第二六四九號通牒

第一種不要存林野ニ對スル出願ノ督勵及之カ處理方ニ付テハ屢々通牒ノ次第モ有之候處尙調査濟ノ箇所ニシテ未タ處分ニ至ラサルモノ不尠然ルニ貴廳ニ於テ願書受理後往々格別ノ事ナク漫然之ヲ留置キ進達ヲ爲サヽルカ爲其ノ間競願者頻出スルニ至リ徒ニ處理ノ複雜ヲ來ラスノ事例アルヲ見ルハ民願處理上甚タ面白カラサル次第ニ付左記事項ヲモ御留意ノ上處理上遺憾ナキヲ期セラレ度依命及通牒候也

記

一、一企業者ヨリ出願アリタル場合ニ於テ地元住民其ノ他ニ於テモ同樣出願ノ意アルノ故ヲ以テ先願書類ノ進達ヲ見合ハス向アルモ其ノ林野ニシテ地元部落ノ經營ニ屬セシムルヲ最モ適當トスル等ノ爲詮議シ難キモノト認メラルヽ場合ト雖總テ先願書類ニ對シテハ何分ノ意見ヲ附シ直ニ進達ノ手續ヲ爲スコト

二、前項ノ場合ニ於テ地元部落出願ノ意思アルモ容易ニ願書ヲ提出スルニ至ラサルカ爲著シク處分ノ遲延ヲ來タスコトアリ如此ハ先願者ノ利益ヲ侵害スルコト尠カラサル儀ニ付期限ヲ定メテ督促スル等可成速ニ出願ヲ實現セシムルコト

三、競願者アル場合ニ於テ往々先願書類ノ進達ヲ差控ヘ後願書類ノミ進達スルカ爲處理ノ公正ヲ害スルコトアリ總テ願書ノ進達ハ出願ノ順序ニ依ルコト

四、區分調査ノ當時出願ノ申告ヲ爲シタル者ニシテ數年ヲ經ルモ尙出願ヲ爲サヽルモノアリ右ニ對シテハ一定ノ期限內ニ出願ヲ爲サヽルニ於テハ願意ヲ拋棄シタルモノト看做スヘキ旨豫告ヲ發シ以テ之ヲ整理ヲ行フコト

五、區分調査濟林野ニ對シ所有又ハ緣故ニ付異議ノ申立ヲ爲シ來ルモノ近來益々多キヲ加フルニ付テハ該申立ニ對シテハ之カ事情ヲ精査シ可成速ニ相當解決ノ方法ヲ講シ以

テ異議申立人ヲシテ徒ニ當局ノ處置ニ疑ヲ抱カシムルカ如キコトナカラシムルコト

●區分調査濟第一種不要存林野處理ノ件

大正九年六月十四日
勸第三二二六號通牒

國有林野區分調査ニ際シ第一種不要存林野ト認メラルル區域ニ對シ出願ノ意思アルコトヲ申告セル者アルトキハ出願者ト同一取扱ヲ爲シ調査シ其ノ出願ノ意思申告ノ有無ヲ區分調査ニ記載シ該林野處分ノ際ハ申告者ヨリ正式願書ヲ提出セシメ若シ申告者以外ノ者ヨリ貸付出願アリタル場合ハ申告者ノ同意ヲ得ルヲ要スルコトト相成候處申告者ニシテ申告後數年ヲ經過スルモ正式ノ出願ヲ爲サヽル者尠ナカラスシテ處理上却テ得策ナラサルノミナラス諸種ノ弊害有之爾今右取扱ハ之ヲ廢止スル旨本府ヨリ通牒有之候條右ニ御了知ノ上區分調査書ニ申告ノ有無ヲ論セス一般希望者ヲ求メ第一種不要存林野ノ處理ヲ了スル樣御取扱相成度依命此段通牒候也

●國有林野貸付願書取扱ニ關スル件

大正九年十一月六日
勸第五八九五號通牒

小面積ノ國有林野貸付料金極メテ小額ナルモ之レカ徵收ニ付テハ正規ノ手續ヲ要スルノミナラス數年後再ヒ造林成功讓與願ヲ提出スル等所有權收得ニ至ルマテ種々煩雜ナル手續ヲ要スルハ相互ノ不便不尠候條爾來左記ニ依リ處理相成候樣致度此段及通牒候也

左記

一、稚樹多ク殆ント播種又ハ植栽ヲ要セスシテ成林ノ見込確實ナル面積一町歩未滿ノ林野貸付願人賣却願ニ變更セシムルコト但シ前項ニ該當スル林野ニシテ緣故者ヨリ出願スル場合ニ於テ拂受ニ要スル經費ノ負擔ニ堪ヘサルモノニ限リ貸付處分ヲ行フ

二、前項ノ貸付願進達ノ際ハ其ノ事由ヲ具申スルコト

三、無立木地林野ニ在テモ可成賣却願ニ變更方勸誘スルコト

●社寺境內地ニ供スル國有林野ノ處分ニ關スル件

大正十年一月十九日
勸第四九四號通牒

神社及寺院ノ境內地ニ使用スル爲國有林野ノ讓與若ハ貸付ノ出願アリタル場合ニ於テ國ニ支障ナキトキハ必要ト認ムル地域ヲ限リ無料貸付ノコトニ決定相成候條右ニ御了知相成度及通牒候也

●記念植樹實行ニ關スル件

大正十年二月二十八日
勸第一五八四號通牒

記念植樹ノ實行ハ殖林ノ奬勵及其ノ普及上多大ノ效果可有之モ其時期宜シキヲ得サルトキハ往々不良ナル成績ヲ殘スノミナラス一般人民ヲシテ植栽ノ時期ヲ誤ラシムル等却ツテ殖林奬勵上遺憾トスル場合モ有之候ニ付植栽日ハ神武天皇祭日ニ限ラス地方的氣候ニ依リ最適期ヲ選ヒ擧行相成差支無之候條爲念及通牒候也

●白楊樹類速成林造成ニ關スル件

大正十年三月一日
勸第一五九〇號通牒

燃料速成ヲ圖ルハ人民生活ノ安定ヲ計ルト共ニ林野ノ保護上至大ノ關係ヲ有シ之カ目的ヲ達成セムニハ白楊樹類ノ植樹ヲ以テ最善ノ策ト認メ曩ニ大正八年二月二十六日忠南勸第一二五四號ヲ以テ之カ實行方通牒致置候得共現今稍之カ實

行ヲ等閑ニ附スル向アリ尚空閑地モ殘存シ植栽セル個所モ其成績甚タ不良ニシテ植換ヲ要スルモノモ不尠ト被認候條右通牒ニ基キ必ス實行相成度依命及通牒候也追テ參考ノ爲大正八年二月二十六日忠南勸第一二五四號寫一部添付候尚本春ハ一戸當三十本ヲ可成植栽セシメラレ度申添候

各郡守宛

●第一種不要存林野ノ貸付料及其ノ林産物數量價格調査ニ關スル件

大正十年五月二十六日
勸第二五〇九號內務部長通牒

各郡守宛

區分調査濟ニ係ル第一種不要存林野ニ對シ出願アル場合ニ於テ其ノ貸付料又ハ林産物ノ數量價格ニシテ調査後多クノ日子ヲ經過セルモノハ林相ノ變化若クハ市價ノ異動ニ依リ調査當時ノ料金又ハ代金ニ依リ處分スルハ適當ナラサル場合有之可ヲ以テ此等ニ對シテハ再調ノ上相當更正シ事由ヲ具シ進達相成度及通牒候也

●面苗圃廢止ニ關スル件

大正十年十二月一日
勸第三五九二號內務部長通牒

面苗圃設置經營ハ大正五年十二月八日付忠南勸第五六一七號通牒ニ基キ創始シタルモノニシテ爾來孜々トシテ勵ミ成苗ハ面有林ニ植栽シテ造林ヲ期セラレツヽ有之候得共由來養苗事業ハ朝鮮ニ於テハ新規ノ作業ニ屬シ不慣ノ關係モアリ又面ニ於テ直營スルハ其他ノ事情ニ制肘セラレ管理宜シキヲ得サル等幾多ノ原因存スルモノアリ爲ニ勞費ヲ投シ且努力ヲ拂ヘル割合ニ成績ノ見ルヘキモノ鮮ク苗圃造林共概シテ不良ナルモノ多ク最早今日ニ於テハ造林進捗上苗圃經營ヲ最良ノ手段トシテ晏如タル能ハサルコトニ被存候之カ促進策トシテハ將來面苗圃ハ寧ロ廢止シ代フルニ民間養苗業者ニ毎年養苗ヲ委託シ之ヲ購入シテ造林セシメム方却テ勞費勘クシテ然モ年々確實ニ所定ノ植栽ヲ實行シ得ルノミナラス民間養苗業ノ發達ヲ促進セシムルモノト被認候條此方針ニ依リ面造林用ノ養苗ヲ委託スルハ共ニ郡內ノ自作自給ニ一段ノ奬勵ヲ加ヘラレ度隨ツテ大正十一年度事業ニ就テハ早速養苗受託者ヲ定メ手落ナク準備セシメラレ度尚本件ハ面ニ依リ左記各項ヲ特ニ御注意相成度右依命及通牒候也

記

一、面苗圃經營ヲ有利トスル特別ノ事情アル面ハ當分ノ間之ヲ存續スルモ差支ナシ

一、急遽之ヲ廢止スルヲ不可能トスル面ニ在リテハ右ノ方針ニ據リ漸時改變スルコト

●林野産物賣却單價算定ニ關スル件

大正十一年二月十五日
勸第三九三號內務部長通牒

各郡守宛

林野産物ノ賣却單價ハ從來厘以下ノ算定區々ニ渉リ居候處爾今毛位ニテ四捨五入シ厘位ニ止メ算定スルコトニ決定相成候條右ニ依リ御取扱相成度依命及通牒候也

追テ誤盜伐等ニ於ケル損害價格算定ノ場合ニ於テモ右ニ準シ御取扱可相成申添候

●私有林伐採取締規則

大正五年五月四日
道令第二號

第一條　私有林ニ於テハ左ノ樹木ヲ伐採スル事ヲ得ス但シ枯損木生長不良ト認ムル被害木又ハ手入間伐ヲ要スル樹木ハ此ノ限リニアラス

一、二十年未滿ノマツ類

樹高ノ四分ノ一ノ高サ以下ニ在ルモノ

二、樹高二間以上ノ林木ニ在リテハ地表ヨリ樹高ノ三分ノ一ノ高サ以下ニ在ルモノ

前項ノ制限ヲ超ユル生枝ト雖特別ノ事由アルトキハ所轄郡守ノ許可ヲ受ケ伐採スルコトヲ得

第三條　樹根ハ之ヲ採掘スルコトヲ得ス

第四條　第一條第二項又ハ第二條第二項ノ許可ヲ受ケントスル者ハ伐採著手前別紙樣式ニ依ル願書ヲ所轄郡守ニ提出スヘシ

第五條　第一條第二條又ハ第三條ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

【忠南例】

二、十年未滿ノクリ、クヌギ類、ナラ類、カシハ、ヤマハンノキ、カエデ類及サクラ

前項ノ樹齡ニ達セサルモノト雖特別ノ事由アルトキハ所轄郡守ノ許可ヲ受ケ伐採スルコトヲ得

第二條　私有林ニ於ケルマツ類ノ生枝ハ左ニ掲クルモノヲ除クノ外之ヲ伐採スルコトヲ得ス

一、樹高五尺以上ノ林木ニ在リテハ地表ヨリ

別紙

樣式

一、私有林伐採願

所在地	伐採木	殘在木
	樹種 樹齡 見込本數	樹種 樹齡 見込本數

右ハ（何理由）ニ付伐採致度特ニ御許可相成度相願候也

住所　願人氏　名印

年月日

郡守宛

二、私有林伐枝願

所在地	見込本數	伐採セントスル枝ノ地表ヨリ平均高	地表ヨリ最大枝マテノ高

右ハ（何理由）ニ付伐採致度特ニ御許可相成度相願候也

住所　願人氏　名印

年月日

郡守宛

●火田整理ニ關スル件

大正五年七月七日
勸第二七一四號第一部長通牒

各郡守宛

火田ナルモノハ因襲ノ久シキ國有私有ノ區別ナク林野内ニ濫ニ火入開墾ヲナシ天然ノ森林ヲ燒燬シ土砂ヲ崩壞シ水源ヲ涸渇シ洪水山崩田畓ノ

埋沒ヲ來ス等其ノ損害擧ケテ數フ可カラス斯ノ如クムハ一面各種ノ手段ヲ盡シテ植林ヲ奬勵スト雖モ終局ノ目的ヲ達セムコト容易ノ業ニアラス然リト雖今俄ニ之カ禁遏ヲ爲スカ如キハ山間住民ノ生活上頗ル顧慮スヘキモノアルヲ以テ急激ナル取締ニ出テス漸ヲ追フテ之ヲ處理スルコトト爲シ永遠ノ利害ヲ說示シテ順次他ニ生業ヲ得ルノ手段ヲ講セシムルニ於テハ終ニハ其ノ目的ヲ達スルヲ得ヘシト被認候條先差當リ左記整理ノ方法ニ依リ警務官憲ト連絡ヲ保チ地方ノ狀況ニ照ラシ適當ノ措置ヲ施サレ度依命及通牒候也

記

一、國有林野區分調査ノ結果要存置林野ニ編入セラレタル林野ニ於テハ火田ヲ目的トスル火入又ハ耕作ハ之ヲ嚴禁スルノ方針ナルヲ以テ耕田ノ火田ハ本年限之ヲ廢止シ新ニ火田冒耕ノ防止ニ努ムヘシ

但斯ル現耕ノ火田ニシテ已ムヲ得サル事情アリト認ムルモノハ林野所在地竝耕作者氏名火田位置ヲ見取圖ニ記入シ耕作年限ヲ定メシメ其ノ認容方ヲ道長官ニ申請セシムヘシ

二、前項以外ノ國有林野ニシテ傾斜三十五度以上（花崗岩質ニアリテハ二十度以上）ノ土地竝國土保安其ノ他特別ノ事由アル土地ニアリテハ新ニ火田ヲ目的トスル火入又ハ耕作ヲ禁止スル方針ナリ其ノ傾斜二十五度未滿ノ林野ニ在リテハ國土保安其ノ他特別ノ事由ナキ限リ當分ノ間從前ノ慣習ニ依ルヲ妨ケス

三、私有林ニシテ其ノ開墾カ地力ヲ荒廢シ國土保安上危害アリト認ムル區域ハ森林令第五條ニ依リ開墾禁止又ハ制限ヲナスノ方針ナルヲ以テ是等ノ區域ニ對シテハ同施行手續第七條ニ依リ書面ヲ作製シ道長官ニ具申スヘシ

備考

傾斜ヲ測ルニハ曩ニ配付シタル「クリノメーター」ヲ用フヘシ其ノ使用法ハ盤面附屬ノ見透器ヲ側面圓ノ金屬側ニ移動シテ一致セシメ小孔ノ方ヨリ馬尾毛ヲ見透スヘシ而シテ使用ニ當リテハ火田ノ下端ニ體ヲ屈メ上端地表ヲ體ノ高サニ於テ見透盤面文字ニ指針ノ垂直靜止ノ度數ヲ讀ミテ斜度トス傾斜度ハ平地ニ直立姿勢ヲ採ラハ平地ハ零度ニシテ之ニ對スル直立姿勢ハ九十度ナリ其ノ中間ハ四十五度ニ相當ス故ニ登山ニ際シ其ノ傾斜カ聊カ體ヲ前方ニ屈シ地上ノ草ヲ力トスルカ如キ程度ニアルトキハ其ノ傾斜ハ三十度以上ト知リ甚シク屈スルトキハ三十五度以上ナリト目測ス本法ハ固ヨリ正確ノモノニアラサルモ大差ナカルヘシ

●森林ノ間伐ニ關スル件

大正五年七月三十一日
勸第三七四四號第一部長通牒

各郡守宛

曩ニ郡守會議開催ノ際私有林伐採取締規則ニ依ル間伐ニ就テハ規定上制限ナキヲ奇貨トシ所有者ニ於テ間々皆伐ヲ爲スモノアルヤニ申立ラルヽ向有之候處果シテ然ルニ於テハ森林保護上甚タ遺憾ノ次第ニ有之候條左記ヲ斟酌シ以テ濫伐ノ弊ヲ矯正シ森林保育上萬遺憾ナキヲ期セラレ度此段及通牒候也

記

一、間伐ノ意義

間伐トハ或林木カ他ノ林木ヨリ壓セラレ又ハ他ヲ壓スルヲ防キ以テ森林ノ鬱齊ナル發育ヲ遂ケシムル目的ヲ以テ林木ヲ伐採スルヲ謂フ

〔忠南例〕

二、間伐ノ目的

間伐ノ目的ハ林木ノ成育ヲ促シ森林ヲシテ整齊健全ナラシムルト共ニ收入ヲ速ナラシメ森林ノ利益ヲ大ナラシムルニ在リ。

三、間伐ノ程度

間伐ノ程度ハ林木ノ枝端カ互ニ相離ルヽニ至リテハ既ニ其ノ度ヲ超エタルモノナリ然レトモ間伐ハ間伐後數年間ハ之ヲ繰返ス必要ナキ程度ニ於テ爲スヲ可トス

四、間伐ノ實行

間伐ヲ始ムル年度ハ樹種地味森林ノ密度等ニ依リ同シカラサルモ林相鬱閉シテ林木ニ優劣ヲ生シタル場合ニ始ムヘキモノトス

五、間伐回數

一回間伐セル森林モ再ヒ鬱閉スルニ至レハ間伐ヲ繰リ返スヘキモノトス其ノ之ヲ繰返ス年度ハ生育ノ狀況及自他ノ關係ニ依リ異ルト雖モ概ネ第一回ノ間伐（除伐）ヲ爲シタル後十年毎ニ繰返シ中年以後ハ十五年乃至二十年毎ニ繰返スヘキモノトス

●私有林伐採取締規則ニ關スル件

第七編　産業　第十三章　林野

大正五年八月四日
勸第三七八〇號第一部長通牒

各郡守宛

首題ノ件ニ依ル出願處理ニ當リテハ常ニ警務官憲ト連絡ヲ保チ以テ圓滿ナル實施ヲ期スヘキ旨曩ニ通牒ノ次第モ有之候處自今本則ニ依リ伐採ノ許可ヲ與ヘタル場合ハ遲滯ナク被許可者氏名、林野所在地、樹種、樹齡及許可本數等ヲ警務官憲ニ通知シ許可後ノ取締ヲ遺憾ナカラシメラレ度右依命及通牒候也

●濶葉樹ノ萌芽刈採取締ニ關スル件

大正六年六月六日
勸第三三五九號第一部長通牒

各郡守宛

濶葉樹萌芽濫伐ノ矯正ニ就テハ屢次訓示及通牒セル所アリ尙大正五年五月四日道令第二號私有林伐採取締規則制定後ハ特別ノ事由アルモノノ外全然禁止スルコトト相成居候處今尙其弊ヲ脫セス濫伐ヲ敢テシ一向萌芽更新ノ跡ヲ認メサルハ林政上甚遺憾トスル所ニシテ更ニ地方官憲ノ一段ノ努力ヲ要スルモノト存候元來濶葉樹ノ萌芽ハ主トシテ綠肥代用トシテ使用セラルヽモノナルモ綠肥ハ必シモ濶葉樹ノ萌芽タルヲ要セス代フルニ野草ヲ以テスルモ決シテ不可ナキモノナルヲ以テ今後ハ主トシテ野草ヲ使用セシメ或ハ下枝ヲ刈取ラシムルコトヽシ若シ事情已ヲ得ス濶葉樹萌芽ヲ使用セムトスル場合ハ其ノ良好ナル萌芽一本以上ヲ必ス殘存セシメ以テ萌芽更新ノ目的ヲ達成スルニ努メラレ度尙本件取締ニ就テハ別途寫ノ通警務部長ヘモ依賴置候ニ付警務官憲ト協力ノ上單ニ面長ニ訓示スルヲ以テ足レリトセス郡廳員管內出張ノ場合ハ嚴ニ之カ注視ヲ怠ラス苟モ濶葉樹ノ萌芽ヲ肥料ニ使用スルモノヲ發見シタルトキハ其ノ都度必ス許可ヲ受ケタルト否トヲ調査シ之ヲ戒飭スルハ勿論場合ニ依リテハ道令ノ制裁ヲ與ヘ以テ一般ヲ警戒セラルヘク右依命及通牒候也

●松蛤蠣驅除豫防規則

大正三年六月三日
道令第五號

改正　大正四年九月十四日道令第六號

第一條　森林山野ニ松蛤蠣發生シタルトキハ其ノ所有者占有者又ハ森林令第十條ノ地元住民ハ左ノ期間ニ於テ之カ驅除ヲ行フヘシ但シ驅除スヘキ區域ハ別ニ之ヲ定ム

〔忠南例〕

一、幼蟲驅除期間　甲　自四月一日至六月三十日　乙　自八月一日至十月二十日　丙　自十二月二十日至翌年二月二十日

二、蛹驅除期間　六月十日ヨリ八月十日ニ至ル

三、卵驅除期間　六月二十日ヨリ八月三十一日ニ至ル

第二條　クリ、クヌギ、ナラ類、カシハ、山ハンノキ、カヘデ類、サクラノ萌芽ヲ刈採セントスルトキハ松蛅蟖豫防ノ爲一株ノ内一本以上ノ萌芽ヲ殘存シ十箇年以上生育セシムヘシ

第三條　第一條ノ驅除ヲ怠リタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ第二條ニ違反シタル者ハ十圓以下ノ科料ニ處ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

●松蛅蟖被害林伐採竝驅除豫防ニ關スル件

大正六年四月二十五日
勸第二五三六號第一部長通牒
各郡守宛

松蛅蟖驅除ニ就テハ前年來官民共ニ一大努力ヲ以テ驅除ニ盡瘁セリト雖未タ其ノ跡ヲ絶ツニ至ラス今ヤ松蛅蟖ノ驅除ハ到底人力ノ企及スヘキ所ニアラスト爲シ一般ニ倦怠ノ念生シ驅除豫防規則ノ如キハ殆ト實行不能ニ至ラムトスルハ遺憾ノ次第ニ有之元來松蛅蟖ノ驅除タル尋常ノ手段ヲ以テシテハ之カ全滅ヲ期スルコト甚タ難シト雖モ本道ノ如キ赤松ヲ以テ主林木ト爲ス地方ニ在リテハ飽迄モ之カ根絶ヲ圖ルニ非サレハ林相ノ回復ハ得テ望ムヘカサルモノニ有之候條左記方針ヲ以テ十分之カ驅除豫防ニ努メラレ度右依命及通牒候也

記

一、松蛅蟖ハ松蛅蟖驅除豫防規則ニ依リ驅除スヘキハ勿論ナリト雖モ驅除豫防ノ必要上左記ニ該當スル森林ハ此ノ際所有者占有者ヲシテ皆伐ヲ行ハシメ以テ斯蟲ノ糧道ヲ絶チ其ノ根絶ヲ期セラレタキコト

イ、蟲害初發ノ森林ニシテ捕殺驅除ノ見込ナシト認ムルモノ

ロ、被害甚大ニシテ將來成林又ハ保育ノ見込ナシト認ムルモノ但シ第六項ニ該當スルモノヲ除ク

ハ、現ニ被害ナキモ被害林ヨリ二百間以内ニ在ルモノ但シ地勢地況ニ依リ河川或ハ田畓等ヲ以テ斯蟲ノ傳播ヲ豫防シ得ヘシト認メタル場合ハ此ノ限ニアラス

二、前項ニ依リ伐採シタル樹幹技葉ハ伐採地ニ堆積シ置キ二ケ月ヲ經過シタル後ニアラサレハ他ニ搬出移動セシメサルコト

三、伐採跡地ハ翌年ニ於テ必ス新植ヲ爲スヘキ旨ヲ記述シタル請書ヲ其ノ所有者、占有者ヨリ徴シ是ニ要スル苗木ヲ所持セサル者ニ對シテハ郡廳ニ於テ之カ購入ヲ斡旋シ必ス其ノ實行ヲ期セシムルコト

四、伐採跡地ニ對スル新植面積カ廣大ナルカ又ハ所有者占有者ノ資力乏シクシテ一ケ年ニ全面積ノ新植ヲ爲スコト能ハサル場合ニハ年期ヲ定メ繼續シテ造林ノ完成ヲ期セシムルコト

五、前項被害林中濶葉稚樹ノ現存セルモノハ本年ヨリ直ニ之ヲ保育セシメ絶對ニ柴草ノ採取ヲ禁シ其ノ疎生區域ニハ來春ニ於テ補植ヲ行ハシムルコト

六、本春既ニ松葉ノ全ク蝕盡セラレタル被害林ハ當分伐採ヲ行ハス爾後ノ生育及松蛅蟖發生ノ狀況ニ應シ適宜處分スルコト

〔忠南例〕

七、松蛅蟖被害林ニシテ左記各號ノ一ニ該當スル森林ニ在リテハ松蛅蟖驅除豫防規則ニ依リ捕殺ヲ勵行スルコト

イ、所有者、占有者カ伐採ニ應セサルカ又ハ伐採ニ應スルモ新植又ハ稚樹保育ニ應セサル森林

ロ、被害程度微弱ニシテ捕殺シ得ヘキ森林

ハ、風致林、又ハ水源涵養林等國土保安上ニ關係アリト認ムル森林

八、唐津、瑞山、洪城郡ノ如キ松蛅蟖ノ被害未タ大ナラサル地方ニ在リテハ前項ノ外豫防上ニ關シ別途指示スルコトアルヘシ

九、郡守ハ前第一項第三項及第五項ニ關スル調査ヲ行ヒ左ノ樣式ニ依リ本年十月末日迄ニ報告スヘシ

松蛅蟖被害林伐採狀況報告

面別	伐採ヲ承諾セル面積	同上ニ對スル所有者占有者員數	伐採跡地ノ新植ヲ承諾セル面積	同上所有者占有者員數	稚樹保育面積	同上所有者占有者員數	新植補植ニ要スル苗木共同購入樹種別本數			
							アカマツ	クロマツ	何々	計
計										

備考、苗木ノ共同購入又ハ自給ノ本數及年期別植栽面積ヲ備考トシテ掲記スヘシ

〔忠南例〕

●苗圃病蟲害報告ノ件

大正八年六月十一日
勸第三二六六號第一部長通牒
各苗圃技手　扶餘郡守宛

自今苗圃ニ於ケル病蟲害ニ關シテハ左記樣式ニ依リ毎月ノ狀況ヲ翌月五日迄ニ報告相成度依命及通牒候也

記

苗圃病蟲害報告表

大正　年　月　日　何々苗圃

苗圃名	被害種類	被害樹種	本月中被害面積	本月中被害價額	驅除面積	驅除數量				計	驅除使用	
						幼蟲	蛹	成蟲	卵		經費	人員

			町		圓		町		升
									升
									升
									升
									升
									圓

備考

注意

一、病蟲害ノ種類毎ニ別記ト爲スヘシ

二、病蟲害ノ名稱不明ナル場合ハ標本ヲ添付スヘシ

三、驅除經費欄ニハ費目及費額ヲ揭記スヘシ

四、被害激甚ニシテ急速措置ヲ要スルモノハ其ノ都度報告スヘシ

五、被害ナキ場合ハ該當事項ナシト報告ノコト

●道有林監守服務心得

大正五年五月五日
訓第六號

第一部　道有林監守

第一條　道有林監守ハ指定ノ箇所ニ駐在シ擔當道有林保護區域內ニ於ケル森林ノ保護保育及監視ニ從事スヘシ

第二條　道有林監守ハ擔當區域內ヲ巡視シ特ニ左ノ事項ニ注意スヘシ

一、道有林ノ盜伐、火災、侵墾、病蟲害其他被害ノ有無

二、道有林ノ境界標其ノ他標識設備ニ損壞ナキヤ否

道有林監守前項第一號又ハ第二號ノ事項ニ關シ被害アルコトヲ發見シタルトキハ直ニ之カ防止ニ關スル應急ノ處置ヲ爲シ其顚末ヲ道長官ニ報告スヘシ

第三條　道有林監守ハ道ヨリ交付セラレタル手簿ヲ常ニ携帶シ常ニ之ニ服務ニ關シ必要ナル事項ヲ記錄スヘシ

第四條　道有林監守ハ毎月二十五日以上擔當道有林保護區域ヲ巡視スヘシ但特命ヲ受ケ又ハ必要ニ依リ特別ノ業務ニ從事シタルトキハ此限ニアラス

第五條　道有林監守ハ其ノ職務ノ執行ニ關シ常ニ郡廳及警察官署ト連絡ヲ保ツヘシ

第六條　道有林監守道有林ニ關シ森林令第十九條第二十條又ハ第二十一條ニ該當スル現行犯ヲ發見シタルトキハ直ニ犯人ヲ逮捕シ最寄警察官署ニ告發シ其ノ旨遲滯ナク道長官ニ報告スヘシ

第七條　道有林監守ハ別紙樣式ニ依リ毎月巡視シタル狀況ヲ翌月十日迄ニ道長官ニ報告スヘシ

●森林保護員勤務規程

大正八年九月十一日
訓令第八號

第一條　道森林主事ハ森林監守ヲ指揮シ擔當森林保護區內ニ於ケル國有森林山野ノ保護ニ從事スヘシ

【忠南例】

第二條　森林監守ハ道森林主事ノ指揮ヲ受ケ其任務ニ從事スヘシ

第三條　道森林主事ハ擔當ノ森林保護區ヲ適當ノ保護分區ニ分チ部下ノ保護員ヲ配置スヘシ森林保護分區ノ設置廢止分合及變更ハ第一號書式ニ依ル略圖ヲ添付シ其ノ都度道知事ニ報告スヘシ

第四條　森林保護員ハ毎月二十日以上擔當森林保護區又ハ保護分區ヲ巡視スヘシ、但シ特命ヲ受ケ又ハ必要ニ依リ特別ノ業務ニ從事シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五條　森林保護員擔當森林保護區又ハ保護分區ヲ巡視スル際ハ左ノ各號ノ事項ニ注意スヘシ

一、竊盜

二、火災

三、侵墾

四、前三號以外ノ森林被害

五、境界標其ノ他標識及制札等保存

六、森林保護ノ爲メ特ニ施設ヲ要スヘキ事項ノ有無

七、間伐其ノ他手入ヲ要スヘキ箇所ノ有無

八、前三號ノ外國有森林山野ノ保護保育ニ關スル事項

九、森林ニ關スル法令違反者ノ有無

前項第六號乃至第八號ニ該當スル事項ニ付テハ意見ヲ具シ道森林主事ヨリ之ヲ道知事ニ上申スヘシ

第六條　森林保護員ハ林産物處分個所ニ於ケル伐採搬出等ニ付常ニ注意ヲ拂ヒ其ノ伐根ノ檢查ヲモ行フヘシ

第七條　森林保護員ハ森林令第十條ニ依リ保護組合ノ組織セル保護區內ノ地元住民ノ組織セル地元住民ノ森林保護ニ關スル法令ヲ普及シ森林ニ於テ火災ヲ發見シタルトキハ速ニ消防ノ方法ヲ講シ其ノ原因等ヲ調查スヘシ

第八條　森林保護員ハ常ニ森林手簿ヲ携帶シ巡視中ニ於ケル事故其ノ他服務ニ關スル事項ヲ記載スヘシ

第九條　道森林主事ハ警察官署ト連絡ヲ保チ常ニ共助ヲ圖ルヘシ

第十條　道森林主事ハ森林監守ニ對シ指導監督ヲ爲スヘシ

森林保護員ハ森林令第十條ニ依リ保護組合ノ組織セル保護區內ノ地元住民ノ組織セル保護組合ノ監督ヲ爲スヘシ

森林保護員ハ常ニ森林手簿ヲ携帶シ巡視中ニ於ケル事故其ノ他服務ニ關スル事項ヲ記載スヘシ

第九條　道森林主事ハ警察官署ト連絡ヲ保チ常ニ共助ヲ圖ルヘシ

第十條　道森林主事ハ森林監守ニ對シ指導監督ヲ爲スヘシ

森林保護員ハ森林令第十條ニ依リ保護組合ノ組織セル保護區內ノ地元住民ノ組織セル保護組合ノ監督ヲ爲スヘシ

森林保護員ハ常ニ森林手簿ヲ携帶シ巡視中ニ於ケル事故其ノ他服務ニ關スル事項ヲ記載スヘシ

第十一條　森林保護員擔當區森林保護區內又ハ附近ノ森林ニ於テ火災ヲ發見シタルトキハ速ニ消防ノ方法ヲ講シ其ノ原因等ヲ調查スヘシ

第十二條　森林保護員擔當森林保護區又保護分區々內ニ於テ動植物、風水害其ノ他ノ被害アルヲ發見シタルトキハ相當保護ノ方法ヲ講スヘシ

第十三條　前二條ノ被害ニ付テハ第三號樣式ニ依リ道森林主事ヨリ道知事ニ報告スヘシ

第十四條　道森林主事ハ第四號樣式ニ依リ毎月ノ勤務狀況ヲ翌月十五日迄ニ道知事ニ報告スヘシ

第十五條　道森林主事ハ第五號樣式ニ依リ毎年一月末日迄ニ前年中國有森林保護ノ狀況ヲ道知事ニ報告スヘシ

第十六條　森林保護員公務ニ依リ擔當森林保護區外ニ出張ヲ要スル場合ハ道森林主事ヨリ道知事ニ上申シ許可ヲ受クヘシ但シ犯人ノ追跡又ハ逮捕等ノ爲メ必要ナル場合ハ此ノ限ニアラス前項但書ノ場合ニ在リテハ事後ニ於テ道知事ノ承認ヲ受クヘシ

第十七條　森林保護員駐在所ニハ左ノ圖簿ヲ備フヘシ

一、日誌　（第六號樣式）

【忠南例】

二、國有林被害簿（第七號樣式）
三、國有林犯罪者名簿（第八號樣式）
四、林產物處分一覽簿（第九號樣式）
五、備品目錄
六、消耗品受拂簿
七、郵便切手受拂簿
八、文書件名簿
九、出勤簿
十、保護區一覽圖（分區ノ境界及其ノ名稱ヲ朱書スヘシ）
十一、國有林境界圖

第十八條　森林保護員駐在所ニハ「何」森林保護區保護員駐在所）ト記載シタル標札ヲ揭クヘシ

第十九條　道森林主事ニ名以上勤務スル森林保護區ニ在リテハ本規程ニ依ル道森林主事ノ勤務ハ上席者之ヲ行フ

第一號樣式

森林保護分區ノ設置（廢止分合又ハ變更）ニ關スル件報告

保護區名	面積	擔當者ノ職氏名	備考
計			

右及報告候也

注意　報告ハ凡テ件名ノ前ニハ發送番號等ヲ順次ニ記入スヘシ以下各號之ニ準ス

第二號樣式

森林犯罪ニ關スル件報告

犯罪名	犯罪個所	發見年月日	處置	犯罪者 住所	犯罪者 職業	犯罪者 氏名	犯罪者 年齡	備考

右及報告候也

注意　一、犯罪名欄ニハ現行犯非現行犯ヲモ併記スヘシ
二、犯罪個所欄ニハ國有林名ヲモ併記スヘシ
三、處置欄ニハ告發シタル年月日ヲモ併記スヘシ
四、本報告ニハ第三號樣式ニ準シ被害報告ヲ添付スヘシ

第三號樣式

被害ノ時	箇所	被害種類	被害區域面積	樹種	材種區別	胸高直徑	高	本數	材積	被害程度	見積價額	處置	備考

右及報告候也

注意　一、處置欄ニハ加害者ニ對スル處置及被害箇所竝被害物件等ニ對スル處置ヲモ記載スヘシ
二、若シ被害物件樹木以外ナルトキハ本調書ニ準シテ作製スヘシ

第四號樣式

何森林保護區保護員出勤表（何年何月分）

官職名	氏名	出勤日數 巡視	調査	內業	小計	缺勤日數 病氣	其ノ他	小計	計	備考
道森林主事										
道森林監守										

同										
同										
計										

第五號樣式

森林保護ニ關スル件報告

一、何、

二、何、

三、何、

注意　記載事項ハ地元民ノ生業ト國有林トノ關係被害ノ種類程度及前年度トノ比較

火田整理ニ關スル事項

國有林境界標識ニ關スル事項

保護上特ニ施設シタル事項及其ノ效果

將來ニ於ケル保護上ノ施設其ノ他ニ關スル意見等凡テ參考トナルヘキ事項ヲ記載スヘシ

第六號樣式

日誌

月日	記事
何月何日	金曜日　晴
	一、午前七時駐在所ヲ出發シ何面何里所在何國有林巡視ノ際盜伐木ノ伐根アルヲ發見シ直ニ何面何里方面ニ對シ捜查ヲ行ヒタルニ何里何統何戶何某ノ牛舎內ニ該贓品ニ恰當スルモノアルヲ認メタルヲ以テ前記何某ニ就キ取調ヘタルニ全ク同人ノ所爲ナルコトヲ自白シタルニ依リ告發ノ手續ヲ了セリ本件ニ關シテハ何月何日第何號ヲ以テ道長官ニ報告濟
	二、午後三時何面何里所在何國有林何々附近ニ於テ技打セル箇所アルヲ發見セルニ依リ充分警戒スヘキ旨注意ヲ與ヘ午後五時歸所ス
	三、何保護分區擔當何森林監守ヨリ何面何里所在何國有林ノ何々附近ニ於テ濫ニ焚火ヲ爲シタル者アルモ犯人不明ノ旨報告アリ
	四、何國有林ノ峯通ニ防火線ヲ設クル必要ヲ認メ上申中ノ處許可アリタルニ依リ保護命令ヲ受ケタル何里住民ヲ使役シ幅十間ノ稚樹刈拂ヲ行ハシメタリ尙刈拂ヒタル稚樹ハ使役セル地元住民ニ讓渡セリ
	五、何面何里住民ニ保護命令ノ趣旨徹底セサルモノト認メ面事務所前ニ里民一同ヲ集メ之カ趣旨ヲ說示セリ

〔忠南例〕

注意　日誌ハ歷年度每ニ調製スヘシ

〔忠南例〕

第七號樣式

國有林被害簿

被害ノ時	ケ所	被害種類	被害區域面積	樹種	材種區分	胸高直徑	高	本數	材積	被害程度	見積價額	處置	備考
							間		尺〆		圓		

第八號樣式

國有林犯罪者ノ名簿

犯罪名	犯罪個所	發見年月日	森林所有別	處置	犯罪者				處刑別	備考
					住所	職業	氏名	年齡		

注意
一、處置欄ニハ告發年月日ヲ記入スヘシ
二、處刑欄ニハ判決ヲ受ケタル刑名（懲役何箇年罰金何圓等）不起訴免訴等ヲ記入スヘシ
三、初犯再犯等ノ區別ヲ備考欄ニ記入スヘシ

第九號樣式

年月日	處分官廳	處分個所	樹種	處分數量	金額	搬出期間	買受人住所姓名	備考

注意
處分官廳欄ニハ本府又ハ道ト記入スヘシ

●造林事業成績届及造林成績臺帳ニ關スル件

大正六年十一月二十八日
勸第六四七一號第一部長通牒
各郡守宛

國有林野ノ貸付處分ハ年ヲ逐フテ進捗致候處之ニ伴ヒ造林ノ實行ヲ見ルニ非サレハ所期ノ效果ヲ完ウシ難キ儀ニ有之貸付地ノ造林狀況ニ付テハ常ニ注意シ其ノ狀況ニ應シテ適宜指導奬勵ヲ加ヘラレ度殊ニ實地ニ就キ之ヲ監督スルノ必要ナルハ勿論ニ候ヘトモ借受人ヲシテ毎年施業ノ狀況ヲ届出シメ臺帳ヲ備ヘテ之カ督勵ニ資シ併テ林業ノ趨勢ヲ知ルハ緊要ノ事ト被存候條左記各項ニ依リ處理可相成及通牒候也

追テ從前許可ニ係ル借受人ニ對シテハ此ノ際示達シ新ニ許可ヲ受ケル者ニ對シテハ指令書交付ノ際通達相成度申添候

【忠南例】

記

一、造林ノ目的ヲ以テ貸付タル面積五町歩ヲ超ユル國有林野ニ付借受人ヲシテ別記樣式ニ依リ毎年其ノ事業實行ノ狀況ヲ若シ未著手ナルトキハ其ノ事由ヲ土地所在ノ府尹郡守又ハ島司ニ届出テシムルコト（用紙ハ美濃罫紙十行ヲ用ユ）又大正六年以前ノ許可ニ係ル貸付地ノ成績ニ付テハ大正七年春期現在ニ依リ既往各年分ヲ一括シテ届出シムルコト但シ保育ノミニ依ル造林貸付地及植栽完了シタル翌年以降ノ分ハ之ヲ要セス

二、府尹、郡守又ハ島司ハ前項ノ届書ニ基キ其ノ成績ヲ道長官ニ報告シ道長官ハ其ノ管内ニ屬スル成績ヲ毎年十二月末日迄ニ總督ニ報告スルコト

三、府、郡、島ハ別記樣式ニ依リ貸付國有林野事業成績臺帳ヲ備ヘ第一項届出ノ事實及道府郡島ニ於テ實地監査シタル事業成績ヲ記載スルコト

四、臺帳又ハ届書ハ面別ニ整理シ索引ヲ附スルコト

五、從來臺帳ヲ備ヘタルモノハ從前ノ分ニ限リ本規定ニ依ラサルコトヲ得ルコト

【忠南例】

（届書樣式）

借地造林事業成績届

許可年月日及指令番號	許可地所在地名	許可面積	新植 面積	新植 樹種	新植 本數	新植 枯損本數又ハ歩合	前年補植本數	備考
年　月　日　第　號	道　府郡面　洞里　何々山							

右及御届候也

年　月　日

住所　借受人
（右管理人）

府尹（郡守、島司）宛

注意

一、屆書ハ指令ノ異ナル毎ニ各別ニ調製スヘシ
二、管理人ニ於テ屆出ツル場合ニハ借受人ノ名義ヲ併記スヘシ
三、春秋兩期植栽ヲ爲シタルトキハ之ヲ區分シテ記載スヘシ
四、天然稚樹ノ保育ヲ主トスル場合ノ補植ハ新植欄ニ記載シ其ノ旨備考欄ニ記述スヘシ
五、枯損本數ハ前年ニ屬スルモノヲ記載スヘシ
六、備考欄ニハ被害ノ狀況其ノ他成績ニ付說明又ハ參考トナルヘキ事項ヲ記載スヘシ

（臺帳樣式）

（表）

借受人 氏名	住所
面積	貸付地所在
貸付期限	許可番號 年月日
摘要	

（面）

事業成績

年次	豫定計畫 面積	豫定計畫 樹種	豫定計畫 本數	實行 面積	實行 本數	實行 枯損本數又ハ歩合	前年補植本數	備考

〔忠南例〕

（裏）

（面）

注意

一、摘要欄ニハ造林事業成功讓與、貸付期間、延長、貸付地ノ返還權利讓渡其ノ他權利ノ異動ニ關スル重要事項ノ要領ヲ摘記スヘシ
二、事業成績ハ屆出狀況（墨書スルコト）及監査狀況（朱書スルコト）ヲ一行ニ列記シ得ヘキ樣記載上豫メ留意スヘシ
三、備考欄ニ記載スヘキ事項ハ屆書樣式ノ注意第六ニ同シ

〔忠南例〕

●造林事業成績屆及成績臺帳ニ關スル件

大正八年一月二十七日
勸第六九二號第一部長通牒
各郡守宛

首題ノ件ニ關シ大正六年十一月二十八日忠南勸第六四七一號竝ニ大正七年二月十八日忠南勸第一七八七號ヲ以テ及通牒候處同通牒左記第一第二項ニ依ル貸付地成績屆出ニ付テハ大正八年以後毎年十月末日限リ報告相成度及通牒候也

●地方費苗圃事業計畫提出ニ關スル件

大正八年九月二十三日
第一部長通牒
各苗圃技手　扶餘郡守宛

苗圃事業ニ於ケル成績如何ハ其施業ノ巧拙ニ至大ノ關係ヲ有スルハ勿論ナリト雖之カ基本タル計畫ニ於テ適切ヲ得サレハ充分ナル成績ヲ期シ能ハサルヲ以テ大正九年以降各苗圃擔當林業技術員ヲシテ事業計畫ヲ樹立セシメ以テ豫算竝事業施行ノ資料ニ供シ該事業ノ適確ヲ期シ度候條

各圃地ニ於ケル地味地質等充分精査ノ上作業竝成績上遺憾ナキ樣別紙樣式ニ依リ計畫ヲ樹立シ

毎年十月二十日限リ提出相成度及通牒候也

追而計畫調書ハ別紙基礎表ニ準シ作製相成度

申添候也

大正何年度地方費何々苗圃施業計畫調書

施業稚	樹種	面積	數量	經費 人夫賃	經費 消耗品代	經費 計	一段歩當經費	備考
播種	何々	坪	合	圓	圓	圓	圓	
	何々							
	何々							
計								
一回床替	何々		本					
	何々		本					
	何々		本					
計								
二回床替	何々		本					
	何々		本					
	何々		本					
計			本					

〔忠南例〕

二回床替	何々		本					
	何々		本					
	何々		本					
計								
山出準備	何々		本					
	何々		本					
	何々		本					
計								
合計			合本					

内譯

播種ノ部

樹種	施業面積	施業量	種目	細則	摘要	數量	單價	金額	備考
何々	坪	合	人夫	耕耘	一人ニ付總何坪	人	圓	圓	
				床拵	同床何坪				但シ歩道何坪
				播種	同床何坪				
				除草	同總何坪				年何回施行ス
				施肥	同床何坪				年何回施行ス

〔忠南例〕

				日霜除	同	床何坪		
				雜役	同	總何坪		
小計								
何々			消耗品	肥料	床一坪ニ付金何錢ノ割			
何々			消耗品	繩	床十坪ニ付何匁	匁	匁	
				藁	床一坪ニ付何匁	匁	匁	
				抗	床一坪ニ付何本ノ割	本	本	（日覆材料長平均二尺末口一寸位ノモノ）
				竹	同何本ノ割	本	本	同長何尺何寸竹
				簀	同何枚ノ割	枚	枚	同長十三尺巾三尺三寸ノモノ
				籾殻	同何升ノ割	升		
				木札	床何十坪ニ付一枚ノ割	坪		
				雜	床一坪ニ付何錢ノ割	錢		害蟲驅除藥品等
小計								
計								
何々			人夫	同上	同	上		
小計								
計								
合計		人夫						
計		消耗品						

一回床替之部

何々			人夫	耕耘	一人ニ付總何坪	人	圓	圓	但步道何坪
				床拵	同床何坪				
				植付	同何本				
				掘取撰苗根切假植	同何本				
				除草	同總何坪				年何回施行ス
				肥料	同床何坪				年何回施行ス
				雜役	同總何坪				
小計									
何々			消耗品	肥料	床一坪ニ付金何錢ノ割	坪			床一段步ニ付人糞何荷又ハ油粕何貫何何種
				繩	床十坪ニ付何匁ノ割	匁			
				藁	床一坪ニ付何匁ノ割	匁			

	木札	一床何十坪ニ付一枚ノ割	坪	
	雜	床一坪ニ付何錢ノ割	錢	
小計				
計				
小計				
何々	人夫	同上	同上	
小計				
消耗品	同上	同上		
小計				
計				
合計	人夫			
	消耗品			

山出準備之部

何々	人夫	掘取	一人ニ付何本	人	圓	圓
何々	人夫	根切小束假植	一人ニ付何本			
小計						
何々	消耗品	繩	一梱ニ付何匁	匁		
		蓆	同何枚	枚		

小計			
計			
何々	人夫	同上	同上
小計			
	消耗品	同上	同上
小計			
計			
合計	人夫		
	消耗品		
通計	人夫		
	消耗品		

標準養苗費算出基礎表

一、人夫

區分		標準	一人一日ノ耕耘工程
			總坪
播種	ハンノキ		一二〇坪
	マツ		一二〇坪
	アカシヤ		一二〇坪
	クヌキ		一二〇坪
一回床替	ハンノキマ		一二〇坪
	ツクヌキ		一二〇坪
二回床替	ハンノキマ		一二〇坪
	ツクヌキ		一二〇坪
挿條			一二〇坪

一人一日ノ床替工程	床	坪
一人一日撰種及浸水鉛丹塗沫工程	種	子
一人一日ノ播種工程	床	坪
一人一日ノ穂拵工程	挿	穂
一人一日植付挿付工程	苗	木
一人一日ノ除草工程	總	坪
一人一日ノ施肥工程	床	坪
一人一日ノ間引工程	床	坪
一人一日ノ切幹工程	床	坪
一人一日幼苗又ハ成苗掘取工程	床	坪
一人一日撰苗根切假植小束工程	苗	木
一人一日ノ雜役工程	床	坪

一五坪	一五坪	三〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪
	五〇坪	三〇〇升											
一五坪	一五坪	二〇坪											
二〇坪	三〇坪	四〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪
二〇坪	三〇坪	四〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪
一五坪	五〇坪	三〇坪	四〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪
一五坪	五〇坪	三〇坪	四〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪
一五坪	五〇坪	三〇坪	四〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪
一五坪	五〇坪	三〇坪	四〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪
一五坪	五〇坪	三〇坪	四〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪
一五坪	五〇坪	三〇坪	四〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪	六〇坪	五〇坪

一〇〇坪	一〇〇坪	二〇〇坪	三〇〇坪	四〇〇坪	三〇〇坪	四〇〇坪	三〇〇坪	四〇〇坪	三〇〇坪	四〇〇坪	三〇〇坪	四〇〇坪	三〇〇坪
一〇〇坪	一〇〇坪	二〇〇坪	三〇〇坪	四〇〇坪	三〇〇坪	四〇〇坪	三〇〇坪	四〇〇坪	三〇〇坪	四〇〇坪	三〇〇坪	四〇〇坪	三〇〇坪
一〇〇坪	一〇〇坪	二〇〇坪	三〇〇坪	四〇〇坪	三〇〇坪	四〇〇坪	三〇〇坪	四〇〇坪	三〇〇坪	四〇〇坪	三〇〇坪	四〇〇坪	三〇〇坪
一五〇坪	一五〇坪	三〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪
一五〇坪	一五〇坪	三〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪
一五〇坪	一五〇坪	三〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪
一五〇坪	一五〇坪	三〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪
一五〇坪	一五〇坪	三〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪
一五〇坪	一五〇坪	三〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪	六〇〇坪	四五〇坪

〔忠南例〕

常傭夫一日當積算總坪	四町	四町	四町	四町	四町	四町	四町	四町	四町	四町	四町	四町	四町
常傭夫給料額	三六〇圓	三六〇圓	三六〇圓	三六〇圓	三六〇圓	三六〇圓	三六〇圓	三六〇圓	三六〇圓	三六〇圓	三六〇圓	三六〇圓	三六〇圓
一町步當常傭夫賃總坪	九〇圓	九〇圓	九〇圓	九〇圓	九〇圓	九〇圓	九〇圓	九〇圓	九〇圓	九〇圓	九〇圓	九〇圓	九〇圓

備考　アカシヤノ一回床替ヤマハンノキノ二回床替ノ場合ハクヌキニ準スヘシ

二、消耗品

區分	標準	播種		一回床替		二回床替		挿條
		ハンノキ	マツ	アカシヤ	クヌキ	ハンノキマツ	クヌキ	
一坪當肥料代	床坪	五錢	五錢	三錢	四錢	三錢	三錢	二錢	三錢
十坪當繩量	床坪	二五〇匁	二〇〇匁	五〇匁	五〇匁	五〇匁	五〇匁	五〇匁	五〇匁
木札一枚所要坪	床坪	一〇〇坪	一〇〇坪	一〇〇坪	一〇〇坪	一〇〇坪	一〇〇坪	一〇〇坪	一〇〇坪
一坪當藁數量	床坪	二五〇匁	二〇〇匁						
一坪當日覆用筵	床坪	二間							
同	竹床坪	二、四本							

〔忠南例〕

三、坪當施行量及施行回數表

區分	標準	播種及床替	一坪當播種數	一坪當生産苗數	一坪當生産苗數	種子一升又ハ挿條一萬本當生産苗數	棄却又ハ枯損歩合	床回歩道ノ割合	除草回數	施肥回數	間引回數
			床坪	床坪	床坪		割合	割合	年	年	年
播種	ハンノキ	床替	一五勺	一六〇本	一〇〇本	一〇〇本	二〇%	五〇%	五回	三回	二回
	マツ	播種	八勺	二、〇〇〇本	一二、〇〇〇本	九、六〇〇本	二〇%	五〇%	五回	三回	一回
	アカシヤ	播種	一勺	一二〇本	九六本		二〇%	五〇%	三回	二回	二回
	クヌキ	床替	八〇勺	二〇〇本		一八六本	一〇%	五〇%	五回	三回	
一回床替	ハンノキ	床替	一四四勺	一〇〇本	八〇本		二〇%	四〇%	四回	二回	
	マツ	床替	一九六勺	一五七本	一一〇本		二〇%	四〇%	四回	二回	
	クヌキ	床替	一四四勺	一一五本	八六本		二〇%	四〇%	四回	二回	
二回床替	マツ	床替	一四四勺	一一五本	一一五本		二〇%	四〇%	四回	二回	
	クヌキ	床替	一〇〇勺	八〇本	八〇本		二〇%	四〇%	四回	一回	
挿條			一〇〇勺	八〇本	八〇本		二〇%	四〇%	三回	二回	

【忠南例】

切幹回數　年

二回

【忠南例】

●苗圃成績報告ニ關スル件

大正九年八月二十三日
勸第四六二一號第一部長通牒

貴苗圃ノ成績ハ左記ニ依リ毎年調査報告相成度及通牒候也

苗圃技手　扶餘郡守宛

記

一、毎年八月末、九月末及十月末現在ヲ調査シ別紙樣式ニ依リ翌月十日迄報告スルコト

別紙

何々殖林苗圃第　回成績調

記入番號	樹種	施業別	施業數量	成績 床替所要數	成績 山出見込數	生育狀況

備考

●苗圃事業實行ニ關シ月報ノ件

大正九年十一月十一日
勸第四三八三號第一部長通牒

各苗圃技手　扶餘郡守宛

別紙樣式ニ依リ前月分苗圃狀況ヲ其ノ月拾日迄ニ御報告相成度及通牒候也

樣式

番號

年　月　日

何々殖林苗圃技手

知事宛

何月分何々殖林苗圃狀況報告

首題ノ件左記ノ通報告候也

注意

一、施業別ハ播種第一回床替第二回床替等トス

二、床替所要數ハ不良育ヲ除キ實際床替シ得ル數量ヲ揭記スヘシ

三、成績ノ調査ハ毎木調査ニ依ルカ或ハ上中下ノ三段ノ所ヲ撰ヒ次ノ公式ニ依リ調査スルコト

蓄木數＝(上ノ部ノ標準地本數×上ノ部ノ面積)＋(中ノ部ノ標準本數×中ノ面積)＋(下ノ部ノ標準地本數×下ノ部ノ面積)

標準地ノ可成大面積ニ付キ調査スルコト

四、生育狀況ハ根際徑幹長强弱等ヲ記載スヘシ

記

一、職員勤務狀況

官氏名	出勤日數	出張日數	公暇其ノ他日數	缺勤日數	計	備考
林業技手何某						
常傭夫〃						

注意　扶餘　殖林苗圃ニ在リテハ出勤日數ヲ內勤ノ二ツニ內譯記入スルコト

二、苗圃作業竝ニ苗木成育狀況

イ、何月中ノ氣候ノ概況

ロ、苗木ノ發芽發育ノ狀況

ハ、作業狀況

ニ、人夫供給ノ狀況使役人員男女別員平均單價

ホ、病害蟲發生驅除ノ狀況

三、經費使用狀況

科目	配當豫算	前月迄使用額	本年使用額	殘額	將來所用額	差引過不足
人夫賃						
消耗品費						

備考

一、注意　消耗品ニ在テハ品目價額ヲ詳細附記スルコト

四、參考事項

●貸付林野事業成績報告ニ關スル件

大正十年五月十四日
勸第二四三九號內務部長通牒

各郡守宛

首題ノ件ニ關シテハ大正六年十一月二十九日忠南勸第六四七一號大正七年二月十七日忠南勸第一七八七號及大正八年一月二十八日忠南勸第六九二號ヲ以テ夫々通牒相成候處道知事宛報告ハ爾今別紙樣式ニ依リ十月末日限リ相違無ク御報告相成度依命及通牒候也

別紙樣式

備考

〔忠南例〕

事業成績調　（五町歩以上）

積面手著未	及育保樹稚植栽完了面積	補植本數	損枯歩合	栽植年 本數	栽植年 種樹	栽植年 種樹	栽植年 積
町	町						

査スヘシ

了セル分ハ除外スルモノトス尙補植本數ハ加算セサルコトトス

モノ及前年度迄ニ全區域ノ完了セル分ヲ記載スヘシ

付後賣却處分ヲ了シタルモノハ除外スルモノトス

〔忠南例〕

大正　年分貸付林野

記入番號	許可年月日	許可番號	場所	受貸付者名	許可面積	前年迄植栽面積	前年迄植栽本數	本…面
					町	町		町
計								

備考

1、稚樹保育箇所數面積及植栽完了ノ箇所數面積

2、未著手ノ個所數

3、主要造林樹種及其ノ割合

4、未著手ノ理由

5、貸付面積ト自後人工植栽ヲ要スル面積トノ割合

6、事業割ノ狀況（人工植栽及稚樹保育別）及成績（被害ノ有無成育ノ狀況）ノ概要

7、造林貸付地ニ付郡ニ於テ特ニ施設シタル事項

本表調製上ノ注意

1、本表ニハ三月末日迄ニ許可セラレタルモノヲ調

2、前年迄植栽欄ニハ、前年迄ニ全區域ノ植栽ヲ完

3、枯損歩合及補植本數ハ前年度分ヲ記載スルモノ

4、稚樹、保育及植栽完了欄ハ稚樹保育ノミニ依ル

5、本表ニハ造林成功ノ上讓與ヲ受ケタルモノ及貸

●木炭價格報告ニ關スル件

大正十年三月八日
勸第一五九八號内務部長通牒
各郡守宛

客年十一月一日忠南勸第五三五一號ヲ以テ通牒首題ノ件ハ自今三月、六月、九月、十二月ノ價格ヲ報告相成コトニ變更候條御了知相成度此段及通牒候也

●統計報告ニ關スル件

大正十一年四月十二日
勸第六九八號内務部長通牒
各郡守宛

報告例第一七一號表中注意事項第一項國有林野ヲ除ク他ノ林野ヨリ伐採スル主伐木ニ就調査揭記スヘシノ項ノ國有林野ニ就キ左記ノ通リ解釋スル樣通牒有之候條爲參考及通牒候也

記

報告例第一七一號伐採表注意事項第一項ノ國有林野トハ民有林野及之ニ準スル緣故林野ヲ除キタル要存國有林及第一種不要存林野ヲ含ム義ナリ

第八編　交通

第八編　交通

第一章　道路

●道路監視員職務規程

大正四年四月三十日
訓第三號

改正　大正一一年三月訓第九號

第一條　道路監視員ハ本規程ニ依リ其職務ニ服スヘシ

第二條　道路監視員ハ常ニ擔當區域ヲ巡回シ左記各號ニ付修路工夫ヲ監督スヘシ

一、道路、橋梁、暗渠ノ小破修繕
二、溝渠、樋管ノ浚渫、排疏
三、竝木ノ保護及折損障害木ノ措置
四、路面雜草ノ芟除及塵芥等ノ掃除
五、風雨後路面溜水ノ排疏
六、道路橋梁ノ通行不能トナリシ場合ニ於ケル一時應急ノ施設

第三條　破損稍大ニシテ修路工夫ノミヲ以テ補修シ難シト認ムル場合ハ其ノ輕重ニ從ヒ所屬郡守又ハ面長竝ニ保全委員ト協議シ沿道部落民ヲシテ修繕施行セシムヘシ

第四條　巡回ニ際シ道路取締規則中道路橋梁、溝渠竝木其ノ他道路行政上監視ヲ要スル事項ニ關スル違犯者ヲ發見シタルトキハ最寄警察官憲ニ通報シ併テ道ニ報告シ事ノ重要ナルモノハ指揮ヲ受クヘシ

第四條ノ二　道路監視員ハ毎日出勤時刻迄ニ巡回ノ準備ヲ整ヘ駐在地ノ郡廳（公州駐在道路監視員ハ道廳土木課）ニ備付ノ出勤簿ニ捺印スヘシ

巡回出張ノ行程ハ別紙第一號樣式ニ依リ其ノ郡度駐在地郡守ニ提出スヘシ但公州駐在ノ道路監視員ハ土木課長ヘ提出スヘシ

第四條ノ三　道路監視員巡回ノ際其ノ擔當區域內ノ郡廳所在地ニ到著シタルトキハ郡廳備付別紙第二號樣式ノ巡回表ニ到著時刻ヲ記入捺印スヘシ

第五條　修路工夫ニ貸與セル器具ヲ檢査シ修繕又ハ取換ヲ要スルモノアルトキハ道ニ報告シ必要ノ措置ヲ爲スヘシ

第六條　修路工夫指揮ニ從ハス又ハ職務ヲ怠ル者アルトキハ其ノ事實ヲ詳記シ道ニ內報スヘシ

第七條　道路監視員ハ每月修路工夫ノ勤怠及道路保全ノ狀況ヲ調査シ翌月七日迄ニ之ヲ道ニ報告スヘシ但シ工事ノ急施ヲ要スル場合ハ卽時報告スヘシ

第一號樣式

道路監視員巡回出張行程表

出發月日	歸著月日	出張日數	出張地名	監視員印	摘要

備考　摘要欄ニハ重ナル用務及宿泊日取竝其ノ豫定地ヲ記載スルモノトス

第二號樣式

道路監視員巡回表

大正　年　月分

日次	到著時刻	認印	日次	到著時刻	認印	日次	到著時刻	認印	日次	到著時刻	認印
1	前時　分		2	〃		3	〃		4	〃	
5	後時　分		6	〃		7	〃		8	〃	
9	〃		10			11			12		
13			14			15			16		
17			18			19			20		
21			22			23			24		
25			26			27			28		
29			30			31					

【忠南例】

●修路工夫服務心得內訓ノ件

大正五年十二月六日
訓第十四號

第一條　修路工夫ハ指定ノ地ニ駐在シ道路監視員ノ指揮監督ヲ受ケ常ニ周到ナル注意ヲ以テ擔當區域ヲ巡視シ其ノ區域內ニ於ケル道路、橋梁、竝樹、側溝其ノ他道路ニ附屬スル工作物ニ付交通ニ支障ナキヲ期シ其ノ損壞ノ豫防ニ努メ且小破ノ箇所ニ對シテハ遲滯ナク之カ修理ヲ施行スヘシ

第二條　前條修路工夫ノ擔當區域竝駐在地ハ之ヲ告示ス

第三條　修路工夫ノ常時勤務スヘキ事項ノ概目左ノ如シ

一、路面ニ凹凸ヲ生シタルトキハ直ニ之ヲ掘起シ不陸ナク撮キ均ラシ砂利其ノ他ノ材料ヲ以テ修理ヲ爲スコト

二、側溝ヲ浚渫シ水拔土管ノ疏通及路面ノ排水ヲ完全ナラシムルコト
但シ側溝急勾配ニシテ破壞ノ虞アリト認メタル箇所ニ對シテハ石疊其ノ他適當ナル應急ノ保護工事ヲ施設シ其ノ勾配ヲ緩和スヘシ

三、法崩ニ因ル土石ノ排除及風、水、雨、雪等ニ因ル倒木ノ取除ヲ爲スコト

四、路面ニ於ケル雜草ノ芟除及法面ノ崩壞又ハ崩壞ノ虞アル箇所ニ對シ腹付芝付等ヲ爲シ大破ノ豫防ヲ爲スコト

五、浚場土、肥料、薪炭、稻草、其ノ他交通上障害トナリ又ハ道路保持上支障アリト認ムヘキ物件ヲ道路上ニ堆積スルコトヲ禁遏スルコト

六、橋梁、暗渠ハ常ニ其ノ損壞豫防ニ努メ且其ノ少破損ニ付テハ速ニ修繕ヲ爲スコト

七、道路竝樹ノ成育ニ注意シ繁茂セル枝椏ハ適當ニ之ヲ伐採シ又ハ其ノ生長ヲ阻害スル草木ハ悉ク之ヲ芟除シ枯損、折損、傾倒ノ虞アルモノハ速ニ適當ノ保護ヲ爲スコト

八、其ノ他道路監視員ヨリ指示シタル事項

第四條　暴風雨又ハ出水ノ虞アリト認メタルトキハ直ニ其ノ擔當區域內ヲ巡視シ被害豫防ノ途ヲ講スヘシ

第五條　非常災害又ハ其ノ他ニ因ル道路、橋梁竝其ノ附屬工作物ノ被害ニ付テハ遲滯ナク其ノ狀況ヲ道土木係ニ報告シ同時ニ郡廳主任官吏、警察官憲及關係地面長ニ通報シ其ノ援助ヲ求メ被害防禦竝應急手當ヲ施行スヘシ

第六條　道路補修ノ用ニ供スル砂利ハ面長ニ協議シ農閑ノ時期ニ於テ沿道部落民ヲシテ豫メ之ヲ採集シ砂利置場ニ蓄積セシムヘシ

第七條　每月勤務報告ヲ作製シ之ニ其ノ月內ニ於ケル作業其ノ他ノ事項ヲ記載シ翌月五日迄ニ道土木係ニ提出スヘシ

第八條　修路工夫ノ勤務時間左ノ如シ但シ急施ヲ要スル業務アル場合ハ時間外ト雖勤務スヘシ

三月一日ヨリ十月三十一日迄午前七時三十分ヨリ午後六時ニ至ル

十一月一日ヨリ二月末日迄午前八時三十分ヨリ午後五時三十分ニ至ル

第九條　修路工夫ハ左ノ期日及期間ハ執務セサルコトヲ得但シ急施ヲ要スル業務アルトキハ此ノ限ニ在ラス

祝祭日
十二月三十日ヨリ一月三日ニ至ル　五日間

第十條　修路工夫ハ服務ニ關シ左ノ各項ヲ遵守スヘシ

【忠南例】

一、職務ニ忠實勤勉ニシテ上長ノ指揮命令ヲ嚴守スルコト
二、常ニ其ノ言行ヲ愼ミ苟クモ粗暴不遜ノ行爲アルヘカラサルコト
三、許可ナクシテ勤務地ヲ離ルヘカラサルコト
四、自己ノ職務ニ關スルト又ハ他ヨリ聞知シタルトヲ問ハス官ノ機密ヲ他ニ漏洩スヘカラサルコト
五、商工業其ノ他ノ營業ヲ爲サムトスルトキハ許可ヲ受クヘキコト
六、身分ニ變更アリタルトキハ速ニ届出スヘキコト
七、自己ノ管理スル物件ヲ整理シ其ノ保管ニ注意スルコト

第十一條　修路工夫ハ服務中必ス所定ノ法被ヲ著用スヘシ

第十二條　修路工夫ハ其ノ住所又ハ居所ヲ道土木係ニ申告スヘシ其ノ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第十三條　修路工夫ハ病氣其ノ他已ムヲ得サル事故ニ因リ勤務ニ服スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ具シ届出ツヘシ但シ其ノ七日以上ニ亙ルトキハ病氣ノ場合ニ在リテハ醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ

第十四條　修路工夫ニハ勤務手帳ヲ給與ス勤務手帳ニハ毎日ノ作業工程、晴、雨、砂利採取數量竝ニ貸與器具ノ員數及其ノ所在ヲ明記スヘシ

第十五條　修路工夫ニハ修路用器具、法服及外套ヲ貸與ス

第十六條　修路工夫ハ故意又ハ大ナル過失ニ因リ給與品若ハ貸與品ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ之カ賠償若ハ修補ノ責ニ任スルモノトス

附　則

本心得ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
道路保全工夫服務心得ハ之ヲ廢止ス

●驛屯土ヲ道路敷ニ充用スル場合ニ於ケル手續ニ關スル件

大正五年五月十二日
土第四八六號第一部長通牒
各郡守宛

首題ノ件ニ付土木局長ヨリ別紙寫ノ通リ通牒有之候條爾後右ニ依リ御處理相成度此段及通牒候也

（寫）
土第一二八六號
大正五年五月八日
土木局長
忠淸南道長官殿

驛屯土ヲ道路敷ニ充用スル場合ニ於ケル手續ニ關スル件通牒

驛屯土ヲ道路敷ニ充用セムトスル場合ニ於テハ前以テ認可ヲ受クヘキコトニ規定相成居候處近時其ノ手續ヲ履行セス事後ニ於テ之カ承認ヲ求メ甚シキハ充用後數年ヲ經過シ始メテ其ノ手續ヲ爲スモノ等有之事務處理上不都合不尠儀ニ付將來ハ必ス事前ニ認可ヲ受クルコトトシ若シ不得止事情ニ依リ事前ニ認可ヲ受クルコト能ハサリシ場合ニ於テハ充用後直ニ手續相成度此段及通牒候也

●水災ニ際シ道路、堤防、橋梁等ノ防禦方法ニ關スル件

大正五年五月三十日
土第五三六號第一部長通牒
各郡守宛

本年三月二十九日土第三三〇號ヲ以テ通牒致置候事項ノ内首題ノ件ニ關シ這般警察官憲會議ニ際シ別紙ノ通リ指示セラレ候ニ付一朝出水ノ場合ニ際シ機宜ノ處置ヲ誤ラサルヤウ克ク警察官憲ト協議シ各地適當ナル方法ニ依リ豫メ警戒防禦ノ御手配相成度依命此段及通牒候也

（別紙）

水災ニ際シ道路、堤防、橋梁等ノ防禦ニ關スル件

水災ニ際スル道路、堤防、橋梁等ノ防禦ニ關シテハ道路規則第四十四條ニ明示セラレ殊ニ本年四月各道警務部長會議ニ於ケル總督ノ訓示及本年二月本府ニ於ケル土木主任會議ノ際指示セラレタルカ如ク之カ防禦ニ付テハ消防組及關係部落ヲシテ豫メ其ノ防備材料ヲ準備セシムル外夫役ノ出働、防禦ノ手配等平素訓練ヲ爲シ一朝出水ノ場合ニ際シ機宜ノ處置ヲ誤ラサル樣遺憾ナキヲ期セラレタシ而シテ其ノ方法ハ大略左記要項ニ依リ各地適當ナル措置ヲ執ルヘキモノトス

一、一般的施設

（イ）豫メ警戒受持區域ヲ定メ置クコト
（ロ）出水狀況通報員ヲ置キ又其ノ通報先及通報方法ヲ定メ置クコト
（ハ）出水ノ虞レアルトキ又ハ出水狀況通報員ノ通報ヲ受ケタルトキハ消防組及關係部落民ヲ出働セシムルコト
（ニ）前項ノ場合ハ警察官及郡廳員面里長ハ直ニ現場ニ急行シ防禦上機宜ノ處置ヲ執ルコト但シ現場ニ於ケル指揮ハ警察官吏ニ於テ之ヲ統一ス
（ホ）道路橋梁破損ノ場合ハ速ニ補修ヲ行フヘキハ勿論流失ノ爲交通ヲ杜絶シタルトキハ其ノ狀況ヲ按シ假道又ハ渡船其ノ他應急ノ設備ヲ爲スコト

二、防備方法

（イ）道路ノ場合道路ノ缺潰及越水ノ虞レアル部分ニ對シテハ土俵ヲ準備シ置キ又ハ蓆水刎若クハ松枝類ヲ流シ掛ケ之ヲ保護スルコト
（ロ）橋梁ノ場合橋梁附近適切ノ場所ニ豫メ石材、土俵等ヲ配置シ出水ノ際ハ之ヲ橋面ニ積載シ其ノ流失ニ備ヘ流木、塵芥等ハ橋脚ニ集積セサルヨウ流下セシメ橋桁其ノ他構作物ノ流失ヲ防ク爲メ豫メ鐵線又ハ綱繩ノ類ヲ以テ之ヲ安全ナル位置ニ繫クコト
上流ヨリ橋梁其ノ他ノ用材流失セル場合ハ下流沿岸部落ノ人民ヲシテ直ニ之ヲ引上ケ適當ノ箇所ニ保管セシムルコト
（ハ）堤防ノ場合　堤防溢水セントスルトキニ於テハ堤上ニ積土俵ヲ爲シ堤塘漏水ノ場合ハ其ノ吸込口ヲ捜リ表法堤腹ニ蓆ヲ張リ目串留トシ缺崩ノトキハ積土俵トシ箇處ニ應シ適宜ノ假手當ヲナスコト

三、防備用器具及材料ニ水防ニ要スル器具及材料ノ種類ハ大體左ノ如クナルモ其ノ必要品目及數量等ハ土地ノ狀況ニ鑑ミ適宜斟酌シ平素消防組及關係部落ニ於テ用意シ之ヲ保管スルコト而シテ是等材料ノ内地元ニ於テ製作シ得ヘキモノハ地元住民ヲシテ平素餘暇ヲ利用シ豫メ之ヲ製作シ置カシムルコト

防備用器具及材料ノ種類

鳶口、鐵槌、鋸、斧、鉈、ペンチ、鐵線、綱、繩、掛矢、モツコ、蛸、鍬、ショベル、鶴嘴、空俵、叺、杭木、蓆、松明、石材等

●水災ニ際シ道路橋梁堤防等ノ保護防禦方法ニ關スル件

大正七年九月二十五日
土第九六〇號第一部長通牒

各郡守宛

首題ノ件ニ關シテハ大正五年六月五日忠南土第五三六號ヲ以テ通牒致置候處既往ノ實例ニ徴スレハ防禦材料ノ準備ヲ等閑ニ附シアル爲出水ニ際シ應急防禦上遺憾ノ點尠シトセス故ニ冬期農閑期ヲ利用シ叺繩其ノ他必要ナル（曩ノ通牒ニ列擧シアリ）防禦材料ノ製作ヲ實行準備セシメラレ度而シテ既往數年ノ水害狀況ニ鑑ミ左記事項ハ水害ヲ惹起セシムル一大原因ト相認メ候條豫各地元面里ニ於テ平素注意ヲ周密ニシ以テ破損ヲ未然ニ防キ大破ニ至ラサラシムル樣特ニ指示セラレ度依命此段及通牒候也

記

一、旱天ニ際シ河水又ハ河川ノ地下水ヲ畚ニ引用スル爲堤防ニ導水路ヲ穿チ洪水ニ際シテモ締切ヲ怠リ爲ニ堤防ノ決潰ヲ來スコト

二、堤防ニハ可成芝草類ヲ繁植セシムヘキニ却テ之ヲ開墾シ豆菜類ヲ播種シ堤防ノ決潰ヲ來スコト

三、堤防ノ內面（河流ニ面セル部分）ニ樹木ヲ植栽スルハ洪水ニ際シ水ノ流下ヲ阻害シ特ニ「アカシヤ」ノ植栽ハ最モ不可ナルヲ以テ速ニ伐切セシムヘキコト

若シ堤防ヲ堅固ナラシムル目的ヲ以テ植樹スルトキハ其ノ外面ニ可成深根性植物（楊柳類、クヌギ、クリ類、ハンノキ、桑等ノ如キ）ヲ植ユヘク杞柳ハ堤防內面ニ植栽スルモ妨ケナシ

四、橋梁附近ニハ常ニ石材ヲ用意シ一朝出水ノ際ハ豫メ該石材ヲ積載シ潛水スルモ流失セシメサルコト竝道堤防等ノ保護防禦ノ爲メ平素古叺ヲ準備セシメ置キ出水ノ場合ハ各要所ニ配置シ萬一ニ備フルコト

五、道路ノ側溝ハ路面ノ排水又ハ左右ノ土地ヨリ流出スル雨水湧水又ハ汚水ヲ排除シ道路ノ維持ヲ圖ル最モ必要ノモノナルニ不拘側溝ノ閉塞ヲ等閑ニ付セル爲雨水路面ニ横溢シ路面ノ破壞流失ヲ來セルハ往々見ル處ナルヲ以テ常ニ側溝ノ浚渫ヲ爲サシメ地質ノ桑軟脆弱ナル場所ニハ階段狀石張等ヲ施シ倘溝床ニハ張石代用ノ捨石ヲ爲シ勾配ノ緩和ヲ圖リ豫メ其ノ防禦上ニ遺憾ナカラシムルコト

●橋梁工事竝橋梁火災豫防ニ關スル件

大正七年五月一日
土第一二六四號土木局長通牒

第一部長宛

橋梁工事竝ニ橋梁火災豫防ニツキ左記事項御留意相成候樣致度爲念及通牒候也、

記

一、ボールト締付ニ就テ

從來橋梁架設ニ當リテ桁ト受桁トノ締付「ボールト」ハ螺絲（捻山）ヲ潰シ嚙取ヲ防キ來リシモ倘嚙取セラルヽモノ尠カラサルニ依リ衡今「ボールト」ノ頭部ト女捻部ヲ轉倒使用シ頭部ノ方ヲ橋下ニ顯シ締付ケ被害ヲ避クルコト但敷板、敷竝木取替ノ場合ニモ之ヲ勵行スルコト

一、橋梁火災豫防ニ就テ

近年橋ノ燒失セルモノ往々アリ之カ原因ハ橋下ニテ炊事ヲナシ其ノ跡片付ノ不充分ナルト又野火ノ延燒ニ依ルモノ多キヲ以テ橋下ハ勿論橋梁上下流相當區間ハ雜草塵芥等常ニ之ヲ刈除シ延燒ヲ豫防スルコト

●道路河川等ニ關スル提出願書ノ件

【忠南例】

大正七年五月十一日
土第四八九號第一部長通牒

各郡守宛

道路河川港灣其ノ他公共ノ用ニ供スル官有土地水面等ニ關シ個人ヨリ出願スル願書ニシテ本府ニ進達スルモノハ正副二通ヲ要シ候ニ付本道用ノ分ト共ニ總テ三通提出相成度及通牒候也

●道路修築ニ際シ踏切リ道ノ鐵道トノ交叉角其ノ他ニ關スル件

大正七年七月二十九日
土第二一二四號土木局長通牒

長官宛

道路規則第二十條乃至第二十二條ニ準據シ道路踏切ノ鐵道トノ交叉角其ノ他ノ標準ヲ左記ノ通リ決定相成候條自今右標準ニ依リ施行相成度此段及通牒候也

記

一、踏切リ道ノ鐵道トノ交叉角ハ六十度ヲ下ルヘカラス
但シ地形上已ムヲ得サル場合ニ於テ本制限ニ依リ難キトキハ特ニ四十五度迄ト爲スコトヲ得

一、踏切前後ニ亙ル直線部ノ長サハ二十間ヲ下ルヘカラス
但シ地形上已ムヲ得サル場合ニ於テ前項ノ制限ニ依リ難キトキハ特ニ一、二等道路ニ在リテハ十間三等道路ニ在リテハ八間迄短縮スルコトヲ得

一、踏切前後ニ亙ル水平部ノ長ハ一、二等道路ニ在リテハ十間三等道路ニ在リテハ八間ヲ下ルヘカラス

一、踏切ノ幅員ハ前後道路ノ幅員ト一致セシムヘシ

一、輕便鐵道ニ對シテモ本標準ニ依ルヘシ

●急坂路ニ於ケル洗越張石工ニ關スル件

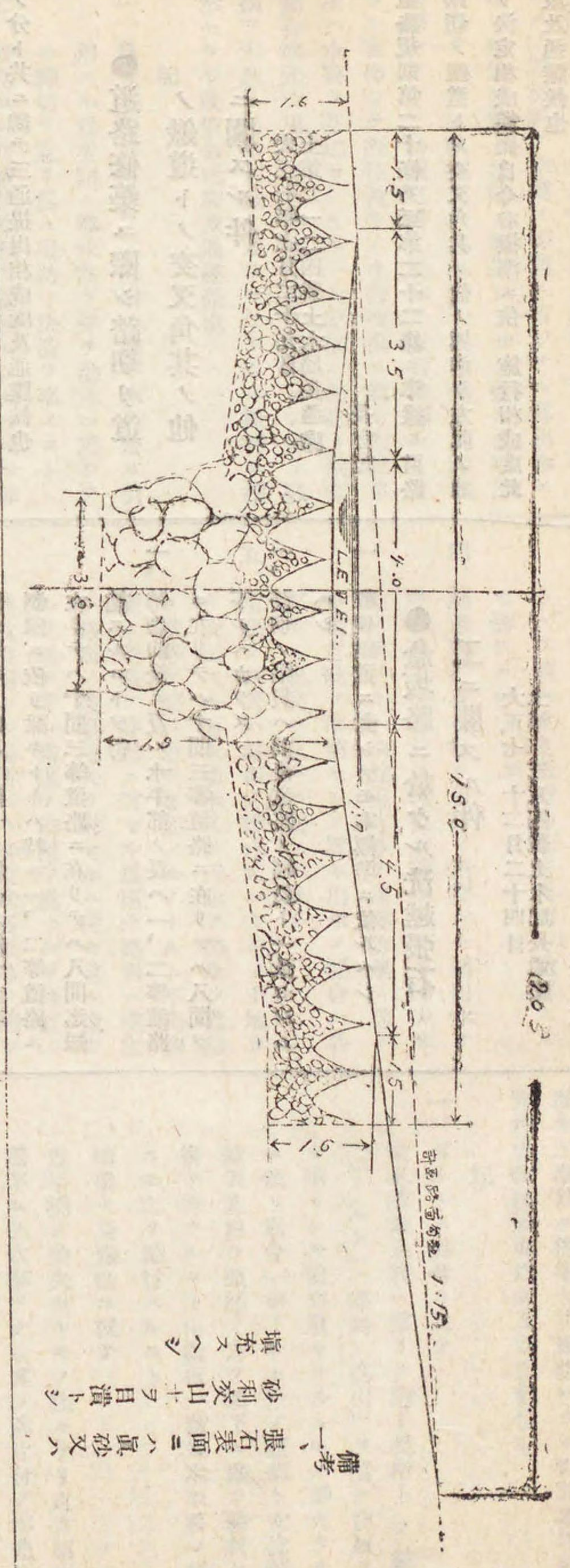
大正七年十二月二十四日
土第三三八四號土木局長通牒

長官宛

從來施設シアル道路急坂路ニ於ケル洗越張石工中凹陷部深キニ失シ自動車疾走上危險ヲ感スルモノ往々有之ニ付自今新設或ハ改造ノ場合ハ別紙大體標準圖ニ據リ築設相成度此段及通牒候也

【忠南例】

洗越張石圖
縮尺二十分之一
縱斷面



備考
一、張石表面ニハ眞砂又ハ砂利交山土ヲ目潰トシ塡充スヘシ

〔忠南例〕

●土木事業ニ關スル寫眞規程ノ件

大正九年七月六日
土第一六五一號土木部長通牒
知事宛

將來施行スヘキ貴道土木事業ニ關シテハ工事施行前後ニ於ケル狀況ヲ寫眞トシ新舊ノ對照ニ便ナラシムルヲ適當ト相認メ候ニ付テハ左記御了知ノ上撮影ノ都度寫眞ニ説明ヲ附シ其ノ二葉ヲ當部ニ御送付相成樣致度此段及通牒候也
追テ既ニ竣功シタル工事ニシテ主要ナルモノニ付該當寫眞有之候ハハ此際復寫ノ上二葉ヲ御送付相成度申添候也

記

一、撮影スヘキ工事ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノタルコト
イ　道路工事ニ在リテハ主要ナル切取盛土特ニ山間部ニ於ケル修築竝改良工事
ロ　主要ナル市區ノ改正
ハ　大橋梁又ハ特種ノ工法ヲ用ヒタル橋梁ノ新築及改良工事
ニ　港灣河川上下水道ニ關スル主要ナル新設及改良工事
ホ　前各號ノ外特殊ノ工事ニ屬スルモノ
二、撮影スヘキ種類ハ左ノ四種タルコト但シ道路ニ關シテハ改修前後ニ於ケル運搬竝交通機關ノ變遷狀況ヲ加フルコト
イ　工事前ノ狀況
ロ　竣功狀況
ハ　竣功後利用ノ狀況
ニ　前各號ノ外參考トナルナキ狀況
三、寫眞ハ二ツ切リ又ハ四ツ切トシ説明ニハ左記事項ヲ掲クルコト
イ　撮影時期及目的
ロ　寫眞中主要ナル地點、地物、物件及狀況ニ關スル説明
ハ　工事著手及竣功年月日
ニ　工事費
ホ　規模
ヘ　特種ノ工事ニ在リテハ其ノ工法ノ概要
ト　前各號ノ外必要ト認ムル事項

〔忠南例〕

●道路上ニ一時的敷設スル手押軌道ニ關スル件

大正九年十二月十日
鐵監第一三七五號鐵道部長通牒
知事宛

道路上ニ一時的敷設スル手押軌道ハ所管警察署長ニ於テ許可ノ上貴官ヨリ報告相成居候處今後ハ特ニ重要ナルモノヲ除クノ外右報告要セサルモノト御了知相成度候也

●修路工夫受持區域竝駐在地ニ關スル件

大正十年八月三十日
告示第三十一號

修路工夫受持區域竝ニ駐在地左ノ通定ム

修路工夫受持區域表

區別	道路等級 路線名	區間	駐在地	
第一區	一等 京城木浦線	自天安郡成歡面地内京畿道界 至天安停車場前	成歡面	五里
第二區	一等 京城木浦線	自同上 至公州郡正安面役所前	全義面(小井里)	六里三・十町
第三區	同	自同上 至論山郡界	公州面	九里十七町
第四區	同	自公州郡界 至全羅北道界	論山面	七里
第五區	二等 公州忠州線	自公州郡長岐面地内(京城木浦線分岐點) 至忠淸北道界	長岐面	六里三町

第六區	二等 天安洪城線	自天安郡寧城面天安（京城木浦線分岐點）至新昌	溫陽面（溫泉里）	五里十二町
第七區	同	自同處至禮山	禮山面	四里十八町
第八區	同	自同處至洪城郡洪陽面五官里終點	峯山面	五里三町
第九區	同	自公州郡州外面（京城木浦線分岐點）至大田郡界	反浦面	五里十一町
第十區	同	自公州郡界至大田郡大田面春日町終點	柳川面	四里六町
第十一區	同	自公州郡公州面山城町（京城木浦線分岐點）至公州郡新上面維鳩	寺谷面	七里
第十二區	二等 禮山新陽線	自同處禮山郡新陽ニ至ル全線	新陽面	五里
第十三區	二等 群山瑞山線	自瑞山郡瑞山面瑞山邑內至洪城郡界	海美面	五里二十七町
第十四區	同	自瑞山郡界至保寧郡界	洪州面	七里十八町
第十五區	同	自洪城郡界至保寧郡藍浦面藍浦	周浦面	六里九町
第十六區	同	自同處至舒川郡庇仁面庇仁	熊川面	五里十五町
第十七區	同	自同處至舒川郡馬東面（群山對岸）	舒川面	五里二十六町
第十八區	三等 扶餘舒川線	舒川郡內	舒川面	七里
	論山舒川線 藍浦韓山線	舒川韓山間 韓山新場里間		
第十九區	三等 扶餘舒川線	扶餘郡內	鴻山面	七里
第二十區	三等 扶餘論山線	全線	石城面	五里
第二十一區	三等 江景勵山線	全線	江景面	七里

〔忠南例〕

	論山舒川線 江景公州線	江景論山間 江景乾坪里間		
第二十二區	三等 公州扶餘線	全線	灘川面	八里十五町
第二十三區	三等 大田錦山線	全線	山內面	五里
第二十四區	三等 新陽青陽線	全線	雲谷面	五里
第二十五區	三等 青陽洪城線	全線	飛鳳面	六里二十六町
第二十六區	三等 洪城禮山海美線 唐津線	禮山德山間 德山沔川間	德山面	六里二十五町
第二十七區	三等 唐津洪城、唐津線 富里浦線	沔川唐津間 唐津棧池市間	唐津面	五里
第二十八區	三等 唐津瑞山線	全線	雲山面	六里
第二十九區	三等 瑞山舊島線 瑞山安興線	全線 瑞山泰安間	八峯面	七里
第三十區	三等 天安鎭川線	全線	葛田面	八里

〔忠南例〕

●道路監視員擔當區域及駐在地ニ關スル件

大正十年八月三十日
公示第三十二號

道路監視員擔當區域及駐在地左ノ通定ム

監視區名	擔當區域	駐在場所
第一區	公州郡內ニ於ケル一、二、三等道路	公州
	燕岐郡內ニ於ケル同上	
第二區	大田郡內ニ於ケル同上	當分ノ內公州
第三區	論山郡內ニ於ケル同上	溫泉里
	天安郡內ニ於ケル同上	
	牙山郡內ニ於ケル二、三等道路	
	禮山郡內ニ於ケル同上	

第四區	唐津郡内ニ於ケル三等道路	
	瑞山郡内ニ於ケル二、三等道路	瑞　山
第五區	洪城郡内ニ於ケル同上	
	保寧郡内ニ於ケル同上	大保寧川郡
第六區	舒川郡内ニ於ケル同上	
	扶餘郡内ニ於ケル三等道路	扶　餘
	靑陽郡内ニ於ケル同上	

●橋梁木造高欄工法ニ關スル件

大正十年六月二十四日
土第七七九號土木部長通牒
知事宛

橋梁木造高欄在來工法ハ其ノ樞木ト桁木締結部分ニ於テ地覆木ヲ貫通スル關係上其ノ下部ヲ削リ細ムル爲メ其ノ部分自然腐朽ヲ速メ耐久力ヲ減スル虞アリ且土橋ノ場合ニ於テ車輪壓力等ノ爲メ樞木及地覆木ヲ壓出スル傾向アルニヨリ樞木ト桁締結ノ部分ハ地覆ヲ缺キ込ミ樞木ヲ細メサルコトヽシ若シ工法上已ムヲ得サル場合ニアリテモ樞木ノ缺込ハ僅少ニ止メ土橋ノ地覆木ハ二ニハ一寸五分内外ヲ離シテ別ニ土留木三寸内外押角ノモノヲ堅固ニ竝木ニ打付ケ以テ車輪壓力等ヨリ地覆木ノ横壓ヲ防クヲ適當ノ工法ト認メ候條添付圖ニ準シ設計候樣致度此段及通牒候也

●土木事業地方費補助規程

大正四年十月二十三日
道令第八號

改正　大正一一年四月道令第七號

第一條　道路、橋梁、河川、堤防及其ノ他ノ土木工事ニ對シ地方費ヨリ補助ヲ受ケムトスルモノハ工事計畫書、設計書及圖面ヲ添ヘ前年八月末日迄ニ、災害ニ依リ臨時施行ヲ要スル工事ニ在リテハ其ノ災害ノ止ミタル後二十日以内ニ郡守ヲ經由シ道知事ニ補助申請書ヲ提出スヘシ

第二條　補助工事ノ著手及竣功期日ハ補助指令ノ際道知事之ヲ指定ス

第三條　補助工事ハ道知事ノ査定ヲ經タル設計書ニ依リ之ヲ施行スヘシ
設計變更ノ必要アリタルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル申請書ニ變更セムトスル計劃書、設計書及圖面ニ添付シ道知事ニ提出シ其ノ認可ヲ受クヘシ

第四條　指定ノ期日ニ於テ工事ニ著手シ又ハ之ヲ竣功スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ具シ延期ヲ道知事ニ申請スヘシ

第五條　補助工事ノ材料ハ豫メ道ノ檢査ヲ受クヘシ

第六條　補助工事ノ功程ハ第一號樣式ニ依リ前月分ヲ翌月十日迄ニ郡守ヲ經テ之ヲ道知事ニ届出ツヘシ

第七條　補助工事ハ道ノ竣功檢査ヲ受クルコトヲ要ス

第八條　工事竣功シタルトキハ第二號書式ノ工

〔忠南例〕

費精算書ニ補助金請求書ヲ添ヘ工事ノ費用ニ剩餘ヲ生シタルトキハ其ノ處分案ヲ具シ竣功認可申請書ヲ郡守ヲ經テ道知事ニ提出スヘシ

二年度以上ニ跨ル工事ニ在リテハ每年度割工事終了ノトキ前項ニ準シ年度割工事終了檢査申請書ヲ提出シ最終年度ノ工事竣功後更ニ竣功認可申請ノ手續ヲ爲スヘシ
剩餘金處分案ニハ郡守意見ヲ副申スヘシ

第一號書式

何月分工事工程報告

工事名	工種	設計數量	出來形數量	起工月日	何月末日竣功歩合	摘要

右及報告候也

年　月　日　　何

道知事宛　　誰

第二號書式ノ一

何年度土木補助工事精算書

第八編　交通　第一章　道路

第九條　補助金ハ工事竣功檢査ヲ了リタル後之ヲ交付ス但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ工事竣功檢査前之ヲ交付スルコトアルヘシ
前項但書ニ依ル補助金ノ交付額及其ノ交付方法ハ申請ニ依リ道知事之ヲ決定ス

第十條　二年度以上ニ跨ル工事ニ對スル補助金ハ年度ノ異ル每ニ區分シ當該年度ノ工事終了檢査ヲ了リタル後之ヲ交付ス但シ前條第一項ノ適用ヲ妨ケス

第十一條　竣功檢査ノ結果ニ依ル手直ノ命ヲ遵奉セサルトキ、第三條、第四條、第五條又ハ第八條ノ規定ニ違ヒ若ハ指定ノ期間内ニ工事竣功セサルトキハ補助金ノ全部又ハ一部ヲ取消シ若ハ其ノ返納ヲ命スルコトアルヘシ

附　則

本規程第一條補助申請期限ハ大正五年ニ於テ補助ヲ申請セムトスルモノニ限リ本年十二月二十日限リトス

〔忠南例〕

第二號書式ノ二

精算内譯書

何郡何

一、何々何工事　何々

此工費金

内　譯

工事名 / 區分	設計金額	實施金額	差引增減額	著手及竣功年月日	摘要

工種	名稱	品種	寸法 容量	員數	單位	單價	金額	摘要

請負又ハ直營

第二號書式ノ三

請求書（正副二通ヲ要ス）

一金何程也

但シ　年　月　日忠南土第　號指令ニ係ル何郡何々補助工事竣功ニ付全額（又ハ「殘金」「內渡ノトキハ出來形何步ニ對スル八步金」）

外金何程　年　月　日領收濟

右御渡相成度及請求候也

年　月　日

被補助者　何　某㊞

道知事宛

●道路規則ノ適用ニ關スル疑義ノ件

大正五年四月二十八日
第一部長通牒

各郡守宛

天安郡守伺出ニ係ル首題ノ件ニ付一月十二日忠南土第四一號ヲ以テ及通牒置候處這般內務部長官ノ通牒ニ依リ道路規則第十一條ニ所謂關係部落ノ負擔ニ付テハ第十二條ニ基キ慣行ニ依リ夫役現品ヲ賦課スルコトヲ得ルニ止マリ金錢ハ之ヲ賦課スルコトヲ得サル次第ニ付了知相成度此段及通牒候也

追テ御決裁ノ上ハ道報ニ掲載ノ義併テ相伺候

●道路、河川、海面ノ使用料及土石、砂利採取料ニ關スル件

大正六年十月九日
土第一〇〇三號第一部長通牒

各郡守宛

首題ノ料金ハ從來一定ノ標準ナキ爲取扱上區々ニ亙ル嫌有之自今左記標準ノ通料金相定メ候條願書進達ノ場合ハ該標準ニ依リ難キモノハ其事由具體的副申相成度此段及通牒候也

記

算定標準

道路、河川、海面ノ使用料及土石、砂利ノ採取料ハ左記標準ニ依リ算定スルモノトス但シ使用ノ便否收益ノ多寡等ニ依リ本標準ニ依リ難キトキハ適宜增減スルコトヲ妨ケス

イ、道路、河川、使用料

1、公州、大田、江景、論山、鳥致院ノ各市街地　一坪年額　五錢

2、其ノ他ノ地域　同　三錢

ロ、海面使用料　同　三錢

ハ、土石砂利採取料（河海、湖沼等ノ地域內ヨリ採取スルモノ）

1、砂利
2、土砂　一坪　五錢
3、礫

●國費施行ノ道路工事ニ關シ夫役及用地寄附ヲ廢止スルノ件

大正八年十月二十五日
土第二八五四號政務總監通牒

知事宛

本府直轄第二期沿道工事ノ實施ニ付テハ經費ノ關係上輕易ナル土工ノ如キハ地方夫役ヲ使用シ用地ハ之ヲ寄附ニ依リ國費ト相俟テ沿道計畫ヲ

〔忠南例〕

完成スルノ方針ヲ以テ進行シ來レルモ自今國費施行ノ道路改修工事ニ對シテハ全然夫役ヲ廢シ用地ヲ買收シ施行スルコトニ決定相成候條御了知相成度此段及通牒候也

●渡船營業用官有土地水面ニ關スル件

大正四年七月五日
土第二八八號第一部長通牒

各郡守宛

渡船營業上河川敷地ニ小屋掛又ハ其ノ他ノ工作物設置ノ爲河川敷地使用ノ場合ハ河川取締規則ノ適用ヲ受クヘキモノニ付從來使用ノモノモ此際總テ該規則ニ依リ許可ヲ受ケシメラレタク爲念此段及通牒候也

●渡船經營ニ關スル件

大正五年六月十六日
土第五九〇號第一部長通牒

各郡守宛

道路ヲ接續スル渡船ハ其ノ道路ノ當該管理廳之ヲ經營シ無料ニテ自由ニ交通セシムルヲ主旨トスルモ目下ノ財政狀態ニテハ之カ實行ヲ期スルハ至難ノコトニ屬スルヲ以テ當分ノ間有料經營ニ委スルノ外無之候ヘ共漸次無料渡船ト爲ス方針ニ有之候條新規經營ノ場合ハ勿論現在現ニ許可ヲ受ケ經營シツツアルモノニシテ其ノ期間滿了シタルトキハ左記方法ニ依ル樣致度依命此段及通牒候也

記

一、渡船ハ將來當該道路管理廳（等外道路ニ付テハ將來面ニ事業能力ヲ認メラルルニ至リタル場合ハ或ハ面）ノ經營ト爲ス見込ナルヲ以テ個人ノ營利又ハ他ノ團體ノ財源ト爲ス目的タラシメサルコト

二、渡船ノ經營ニ關シテハ當分ノ間ハ可成地元關係部落民ヲシテ稧ヲ組織シ共同經營ト爲サシメ其ノ收入ハ渡船場ノ維持修繕費、船夫ノ給料等ニ充テ殘金ハ之ヲ積立テ置キ相當金額ヲ得タルトキ稧員共有ノ名義ニテ土地ヲ購入シ之ヲ小作セシメ其ノ收入ヲ以テ渡船ニ要スル費用ヲ支出シ得ルニ至リタルトキ其ノ財產ヲ無償ニテ面ニ讓渡シ以テ無料渡船ト爲サシムルコト

三、渡船料額ハ可成左記ニ依リ出願セシメラレ度若シ該定額ヲ超過スルノ已ムナキモノニ對シテハ殊ニ其ノ事情ヲ調査シ副申スルコト

人	一人ニ付	壹錢以內
人力車	一輛ニ付（人共）	五錢以內
轎	一個ニ付	參錢以內
牛馬	一頭ニ付	參錢以內
牛馬車	一輛ニ付（實車）	拾錢以內
同	同　（空車）	五錢以內
荷車	同　（實車）	六錢以內
同	同　（空車）	參錢以內

增水（三尺以上）ノトキハ五割增トス

（參照）

大正四年十二月一日附官通牒第三二八號第六項寫

六、渡船ノ經營ハ成ルヘク之ヲ道路管理廳又ハ地方民ノ公共的經營ニ依ラシムルコトトシ無料ヲ以テ自由ニ交通セシムルヲ主旨トスルモ已ムヲ得スシテ料金ノ徵收ヲ認ムル場合ニハ其ノ料額ヲ爲シ得ル限リ低廉ナラシムルコト

●橋梁渡船無賃通行ノ件

大正五年六月二十一日
土第六二一號第一部長通牒

各郡守宛

道路規則第五十三條ニ依リ橋梁又ハ渡船ノ經營

〔忠南例〕

ヲ許可スル場合ハ左記ノ者ヨリ通行料ヲ徴收セサルコトノ條件ヲ付セラレ度尚從來許可濟ノモノニシテ右條件ノ保留ナキモノハ此ノ際右條件ヲ追加相成度旨其ノ筋ヨリ通牒ノ次第有之候條及通牒候也

記

一、制服ヲ著用シタル軍人、警察官吏及囚人護送ノ司獄官吏

二、水火災警防又ハ演習ノ爲通行スル消防組員

三、被送ノ囚人又ハ刑事被告人

●道路水害報告ニ關スル件

大正五年四月二十五日
土第四六二號第一部長通牒

各郡守宛

這般來豪雨出水ノ爲メ各道路ニ被害多ク一般交通ニ支障ヲ來シタル箇處有之候ニモ不拘報告遲延シ若クハ報告セサル趣有之處理上多大ナル支障有之候殊ニ時下追々出水期モ切迫シ來リ候間自今被害ヲ受ケタル時ハ直ニ左記樣式ニ依リ電報通知スルト同時ニ應急補修相成度而シテ後其ノ狀況詳細報告セラレ度依命此段通牒候也

左記

五日ヨリ豪雨（○ウ）、天安洪城間（テンアンコウジヨウカン）道路橋梁（○ト）流失（○ヘ）（○ナ）九個所（カシヨ）暗渠破損七箇所（○ア）（○ヤ）（カシヨ）道路缺潰四箇所（○ト）（○キ）（カシヨ）交通杜絶（○フ）

電報略號

豪雨（○ウ）道路（○ト）橋梁（○ハ）暗渠（○ア）流失（○ナ）破損（○ヤ）缺潰（○キ）崩壞（○ホ）交通杜絶（○フ）堤堰（○テ）堤防（○ツ）護岸（○コ）石垣（○イ）交通危險（○ケ）今尚增水（○マ）辛シテ通行シ得（○カ）車輛交通不能（ロシ）洑（○ク）水路（○ロ）取入口（○レ）放水路（○ス）耕地被害（○チ）

●一、二等道路調書送付ノ件

大正七年九月七日
土第二五四五號土木局長通牒

長官宛

今回一、二等道路調書別冊ノ通リ調製ニ付一部及送付候條爾後ノ異動ハ毎年度末現在ヲ以テ加除修正ヲ加フルコトトシ各種ノ統計報告ニハ本調書ノ里程ヲ應用相成度此段及通牒候也

追テ本調書調製後ノ異動ハ毎年度末現在ヲ以テ道管内分ヲ四月十五日限リ通報相成度申添候

第二章　運輸

●一時的道路ニ敷設スル手押軌道輕便鐵道ニ關スル件

大正四年四月十二日保收第四一三二號警務總監部保安課長通牒

警務部長宛

一時的道路ニ敷設シ又ハ道路ヲ横斷スル手押軌道輕便鐵道ニ關シテハ明治四十五年總督府令第百二十號專用ノ輕便鐵道及軌道ニ關スル法規ニ依ル手續ヲ要セサルモ道路取締規則第三條第一項第一號ニ依リ警察署ノ許可ヲ受クヘキモノニ候處右ニ依リ許可ヲ爲シタル場合ハ速ニ左記事項ヲ鐵道局長官ニ通報相成度依命此段及通牒候也

追テ許可ノ場合其ノ敷設カ道路ニ對シ重要ノ關係アリト認ムルモノニ限リ道路管理廳ニ協議シ又ハ道路取締規則第二條第三號ニ依リ其ノ許可ヲ受ケシムル等適宜處理相成度候

記

一、被許可者住所氏名

二、目的

〔忠南例〕

三、延長及軌間

四、使用期間

五、工費概算

●朝鮮輕便鐵道令施行規則中改正ノ件

大正七年五月三日
官通牒第六八號政務總監通牒

警務總長　道長官　警察部長宛

今般朝鮮輕便鐵道令施行規則中改正相成候處右輕便鐵道ノ敷設許可及工事施行認可ハ主トシテ地方一般ノ行政及經濟ニ關スル事項ナルヲ以テ地方長官ヲ經由官廳トシ交通警察上必要ナル事項ニ關シ警務部長ニ商議セシムルコトヽシ又其ノ以外ノ提出文書ハ多ク地方官廳ト密接ナル關係ヲ有セサル事項ナルヲ以テ直接本府ニ提出セシムルコトニ改メ以テ事務ノ簡捷ヲ圖ラムトスル趣旨ニ有之候間文書經由ノ際若ハ經由ニ關シ協議ヲ受ケタル際ニ於テハ成ルヘク迅速ニ處理相成度此段及通牒候也

●私設鐵道令施行ニ關スル件

大正九年十二月一日
鐵監第一三四四號鐵道部長通牒

知事宛

朝鮮私設鐵道令及關係法令ハ十一月十日ヨリ施行相成候處免許、許可、認可ノ申請書竝屆出書ニシテ地方長官ヲ經由スヘキ場合ハ舊令ニ於テハ主タル事務所設置地ノ管轄ニ依ルコトヽセシモ新令ニ於テハ鐵道ヲ敷設スル地ノ管轄ニ依ルコトヽ相成候ニ付テハ御承知相成度尚從來往々上記書類ノ進達遲延シタル爲メ企業者ニ對シ尠カラサル迷惑ヲ及ホシ事業計畫ニ齟齬ヲ來セシ例有之今後ハ敏速ニ處理セシメラルヽ樣御配慮相煩度此段申進候也

●鐵道ノ工事施行認可申請ニ關スル件

大正十年十月二日土第一一五四號
土木部長鐵道部長通牒

知事宛

私設鐵道工事施行ノ場合ニ於テ道路橋梁、河川等ニ關スル工事ノ施設ハ地方鐵道法第十六條ニ依ル所轄行政廳ノ許可ヲ要シ候ニ付其ノ許可ヲ受ケシメタル上鐵道工事施行認可申請書類進達相成度此段及通牒候也

追テ總督ノ許可ヲ要スルモノニ付テハ鐵道工事施行認可申請書進達ト同時ニ本文許可申請書進達相成度申添候

〔忠南例〕

●南滿洲鐵道株式會社ノ施行スル國有鐵道工事ニシテ道路、河川、港灣等ニ關係アル場合ニ關スル件

大正十一年四月一日
土第五三一號土木部長通牒

知事宛

南滿洲鐵道株式會社ニ於テ國有鐵道ノ工事ヲ施行スルニ當リ道路、河川、港灣等ニ關係アル場合ニハ之ヲ官廳ノ行爲ト看做シテ明治四十四年三月二十七日附土發第一四九號照會及大正三年四月二十七日附官通牒第百五十三號通牒ニ依リ豫メ協議又ハ合議ヲ爲スコトニ決定相成居候ニ付右ニ關シ同會社ヨリ協議有之候際ハ可然御取計相成度及通牒候也

●自動車運轉經營者ニ對シ道路維持修繕施行方命令委任ノ件

大正七年六月五日
土第五六一號長官申請（總督宛）

自動車ノ運轉セル左記道路ノ維持修繕ニ關シテハ特ニ周到ノ注意ヲ爲シ修繕ニ努メツヽ有之候モ土質軟弱ニシテ自動車運轉ノ爲路面破損ヲ生スルニ依リ夫役ヲシテ砂利敷及目潰施行セシメタル箇所ノ路面ヲ固結セシムル爲本道備付ローラ回轉ノ義道路規則第十三條ニ據リ必要ニ應シ自動車運轉營者ニ命令方本官ニ御委任相成度此段申請候也

追テ本件ハ警察部長トモ協議濟ニ有之候條申添候

記

一、天安洪城間（二等道路）
一、洪城瑞山（二等道路群山瑞山線ノ內）
一、公州鳥致院間（二等道路公州忠州線ノ內）
一、公州論山間（一等道路京城木浦線ノ內）
一、公州維鳩間（二等道路公州洪城線ノ內）

大正七年六月二十八日土第一七〇三號政務總監通牒（長官宛）

大正七年六月五日附忠南土第五六一號ノ件貴官ニ委任相成候條此段及通牒候也

●自動車運轉經營者ニ對シ道路修繕施行命令ニ關スル件

大正七年六月二十八日
土第一七〇三號土木局長通牒
長官宛

大正七年六月五日附忠南土第五六一號申請首題ノ件本日別途通牒相成候條右處分ノ際ハ其ノ都度營業者路線名區間里數施行期間及修繕ノ內容等報告相成度此段及通牒候也

追テ命令書交付ヲ要スル場合ハ別途送付ノ用紙ヲ使用相成度申添候也

●錦江船橋開閉時間ニ關スル件

大正九年十二月二十七日
告示第六十七號

公州郡長岐外面所在錦江船橋ノ船舶又ハ舟筏等ノ航行ノ爲ニスル開閉時間左ノ通定ム但シ天災事變ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

毎日午前八時ヨリ十時ニ至ル間ニ於テ一回及午後三時ヨリ同五時ニ至ル間ニ於テ一回

大正四年十一月告示第五十八號ハ之ヲ廢止ス

●大正三年府令第四十七號道路修繕施行命令ニ關スル件

大正七年六月二十八日
土第一七〇三號土木局長通牒
長官宛

大正七年六月五日附忠南土第五六一號申請首題ノ件本日別途通牒相成候條右處分ノ際ハ其ノ都度營業者路線名區間里數施行期間及修繕ノ內容等報告相成度此段及通牒候也

追テ命令書交付ヲ要スル場合ハ別途送付ノ用紙ヲ使用相成度申添候也

●錦江船橋開閉時間ニ關スル件

大正九年十二月二十七日
告示第六十七號

公州郡長岐外面所在錦江船橋ノ船舶又ハ舟筏等ノ航行ノ爲ニスル開閉時間左ノ通定ム但シ天災事變ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

毎日午前八時ヨリ十時ニ至ル間ニ於テ一回及午後三時ヨリ同五時ニ至ル間ニ於テ一回

大正四年十一月告示第五十八號ハ之ヲ廢止ス

ニ依ル處分事項ノ取扱ニ關スル件

大正九年二月十九日
土第四五四號土木部長通牒
知事宛

大正三年府令第四十七號ニ依リ貴官ニ於テ處分セラルヽ場合ハ大正七年八月二十日官祕第二〇一號通牒左記第一項ニ列擧以外ノ事項ト雖其ノ船舶航路ニ影響ヲ及ホスモノニ在リテハ總督ニ經伺ノ上處理相成度依命此段及通牒候也

第三章　河川

●公用土地水面ニ關スル件

大正四年十月二十五日
土第一八六六號土木局長通牒
長官宛

從來公用土地水面ノ使用又ハ土石砂利ノ採取若ハ輕易ナル棧橋其ノ他工作物建設等ノ出願ニ關シ本府ニ於テ之ヲ許可スルニ方リテハ該期間ノ滿了又ハ使用ノ廢止ニ際シ現場整理、原形復舊ノ上當該道長官ノ檢査ヲ受クルコトヲ條件トシ許可致シ來リ候次第ニ有之平素之カ監督等ニ就テハ精々奬勵ノ事ト存候處當整理上必要ニ付右

〔忠南例〕

事業完了檢査濟ノ上ハ其ノ都度貴官ヨリ御報告相成ル樣致度此段及通牒候也

●國有水路ノ取締ニ關スル件

大正七年五月二十四日
土第五二六號第一部長通牒
各郡守宛

國有ノ水路（驛屯土所屬ノモノヲ除ク）ヨリ其ノ在來灌漑地域外ニ引水シ又ハ灌漑以外ノ目的ヲ以テ水路其ノ他ノ工作物ヲ設置シ若ハ敷地ノ占用ヲ爲サムトスルモノアルトキハ河川ノ取扱ニ準シ道長官ニ於テ處理候事ニ相成候條此段及通牒候也

●公有水面使用出願ニ關スル件

大正七年六月十日
土第一七〇五號土木局長通牒
長官宛

公有水面使用ノ出願アリタル場合ニ於ケル調査事項ニ關シテハ大體本年四月各道土木主任會同ノ際注意致置候次第モ有之候處斯種出願中殊ニ濱地使用ニ付テハ往々單ニ權利ヲ留保スルノ目的ニ出ツルモノ又ハ必要以上ノ面積ヲ使用セムトスル者有之公益上支障ヲ來スノ虞ナキヲ保シ難ク候條爾今右出願ニ對シテハ既定調査事項中「願人ノ業務」ノ項ニハ其事業ノ規模ノ概要ヲ又使用目的ニ關シテハ例ヘハ單ニ漁獲物處理場又ハ同乾燥場トセス其ノ內容ヲ明ニシ及其ノ使用面積ヲ必要トスル算出根據ノ大要ヲモ記載進達相成候樣致度此段及通牒候也

●大正三年府令第四十七號ニ依ル處分事項ノ取扱ニ關スル件

大正七年八月二十日
官祕第二〇一號土木局長通牒
長官宛

大正三年府令第四十七號中改正相成候處同令ニ依リ貴官ニ於テ處分セラルヽ場合ハ左記各項ニ依リ處理相成度依命此段及通牒候也

記

一、左ノ各號ニ該當スルモノハ總督ニ經伺ノ上處理スルコト但シ埋築ヲ伴フ荷揚場ハ官有水面埋立規則ニ依リ本府之ヲ處理スルコト
一、重要ナル護岸渡津場ノ新築變更若ハ除却

〔忠南例〕

二、面積百坪ヲ超ユル荷揚場、棧橋ノ新築變更若ハ除却
三、面積二百坪ヲ超ユル水面若ハ其ノ敷地ノ占用
二、地方人民ノ意向地方ニ及ホスヘキ利害關係等ヲ調査シ支障ナキモノニ限リ之ヲ許可シ其ノ占用料金ハ前納セシメ國庫ノ雜收入トシテ取扱フコト
三、荷揚場、棧橋ニ付テハ之ニ要スル水面若ハ其敷地ノ占用トヲ併セテ許可ノ形式ヲ用フルコト但シ官有ト爲スモノニ在リテハ其ノ築設ノミノ許可ヲ爲スコト
四、水面若ハ其ノ敷地ノ占用期限ハ十年以內ニ於テ之ヲ定ムルコト
五、許可ノ指令ニハ左記ノ事項ヲ條件トシテ附記スルコト
一、占用面積　占用期限　占用料金
二、占用料金ハ前納スヘキモノナルコト
三、工事ハ願書添付ノ設計書及圖面ノ通施行スヘキモノナルコト
四、期限滿了シ若ハ占用ヲ廢止シタルトキハ工作物全部除却ノ上原形ニ復シ道長官ノ檢査ヲ受クヘキモノナルコト

五、護岸、渡津場ハ竣功ノ上ハ之ヲ官有トスヘキモノナルコト

六、荷揚場、棧橋ハ官有トナスモノニ在リテハ竣功ノ上ハ之ヲ官有トスヘキモノナルコト

七、前各號ノ外必要ト認ムル事項

六、海軍省ノ所管地又ハ建造物ニ關係アルカ若ハ重要ナル工事ニ付テハ鎭海要港部司令官ニ協議ノ上處理シ輕微ナルモノハ事後通知スルコト（大正三年七月二十二日調第一、三一二號御通牒參照）

七、前項協議ノ場合ハ左ノ例ニ依ルコト

何々ニ關スル件

一、位置　何道何郡何面何洞里地先

一、使用坪數（海面使用ヲ伴フ場合ニ限ル）

一、目的　荷揚場其ノ他

一、著手期限

一、竣功期限

一、使用期間　何箇年（海面使用ヲ伴フ場合ニ限ル）

一、出願者

一、出願者原籍

一、出願者現住所

一、命令條件　朝鮮總督府第四十七號ニ依リ公益上必要アルトキハ何時ニテモ無償ニテ許可ヲ取消シ又ハ命令條件ヲ增減變更シ得ヘキ規定ナリ

一、其ノ他參考上必要ト認ムル事項

右ニ關シ貴官ノ御意見承知致シ度關係圖面添付此段及照會候也

（備考）添付スヘキ圖面ハ大正三年五月二十二日官通牒第一九七號ニ準シ調製シ又工事ノ內容ヲ解說スルノ必要アルモノハ圖面ノ外其ノ計畫說明書ヲモ添付スルコト

八、處分ノ結果ハ別紙樣式ニ依リ前月分ヲ翌月十日迄ニ報告スルコト

樣式

府令第四十七號ニ依ル處分表

道名

種別	場所	占用面積	工作ノ種別	期間	占用料金	工費額	目的	處分年月日	出願人住所氏名	備考

備考

一、種別欄ニハ海面、濱地等ノ種目ヲ揭記スヘシ

二、場所欄ニハ許可ヲ與ヘタル府郡島面洞里名ヲ揭記スヘシ

三、工作ノ種別欄ニハ工事名又ハ設備ノ名稱ヲ揭記スヘシ

四、處分年月日欄ニハ何年何月何日許可取消又ハ命令ト揭記シ尙命令處分ヲ爲シタルモノニ付テハ其ノ要領ヲ備考欄ニ記載スヘシ

五、占用面積ノ長幅及工作ノ要領（例ヘハ棧橋長何間幅何間何々建物長何間幅何間等ノ類）ヲ備考欄ニ揭記スヘシ

〔忠南例〕

●大正三年府令第四十七號ニ依ル處分事項ノ取扱ニ關スル件

大正七年十一月二十日
土第三〇五七號土木局長通牒
長官宛

大正三年府令第四十七號ニ依ル處分事項ニ關シ大正七年八月二十日官秘第二〇一號ニ依リ經伺セラルル場合ハ許可ノ處分ヲ爲サムトスルモノニ限ル義ニ有之不許可處分ノ場合ハ別ニ經伺ニ及ハス貴官限リ專行相成可然候條依命爲念此段及通牒候也

●港灣其ノ他公共ノ用ニ供スル水面竝其ノ敷地ノ取締ニ關スル處分事項ノ取扱ニ關スル件

大正九年六月十六日
官秘第一八四號土木部長通牒
知事宛

港灣其ノ他公共ノ用ニ供スル水面竝其敷地ノ取締ニ關スル貴官處分事項中經伺ノ上處理スヘキモノニ關シ大正七年八月二十日官秘第二〇一號ヲ以テ通牒致置候處右ハ自今經伺ニ及ハサルコトニ決定相成候條御了知相成度依命此段及通牒候也

●官有水面埋築ニ關スル件

大正七年五月十一日
土第四八八號第一部長通牒
各郡守宛

官有水面埋築等ノ事業ニ關シ出願ニ對シ其ノ書類進達ノ場合ハ左記事項ヲ調査シ副申相成度及通牒候也

記

（イ）埋築ニ對スル地方民ノ意嚮

（ロ）埋築區域利用ノ現狀竝埋築ノ爲地方ニ及ホスヘキ利害特ニ地方商港及漁港內ノ埋築ハ一般ノ船舶碇繫及貨物ノ積卸ニ及ホス影響

（ハ）願人ノ資產額

（ニ）願人ノ信用ノ程度

（ホ）願人ノ業務及願人ト埋築地トノ關係

（ヘ）埋築區域內ニ民有地介在スルコトナキヤ否

（ト）其ノ他事業遂行上ニ關シ參考トナルヘキ事項

●官有水面埋築出願ノ取扱ニ關スル件

大正八年十月二十三日
土第二八五九號土木部長通牒
知事宛

官有水面埋築ノ出願アリタル場合ニ於ケル調査事項ニ關シテハ大體曩ニ各道土木主任會同ノ際注意致置候次第モ有之候處右調査事項中願人ノ資產額及願人ノ信用程度ノ如キハ之カ調査ノ爲メ時日ヲ要シ殊ニ數人共同出願ノ場合ニ在リテハ全員ノ調査ヲ爲スカタメ願書ノ進達ヲ一層遲延スルコト、ナリ延ヒテ施政上ニ影響ヲ及ホスノ嫌有之候條自今出願者ニシテ相當名望ヲ有スト認メラル、者ニ對シテハ前記ノ調査ヲ省略シ又共同出願者トシテ名望アル者相當加入シ居レル場合ハ他ノ出願者ニ付テモ等シク其ノ手續ヲ省略シ進達相成可然候條右ノ趣旨ニ依リ御取扱相成度此段及通牒候也

●會社合併シタル場合ニ於ケル官有水面埋立規則ニ依ル埋立ノ權利義務ニ關

スル件

大正十一年三月二十八日
土第八〇號土木部長通牒

知事宛

現行官有水面埋立規則ニハ埋立ノ許可ヲ受ケタル會社カ合併ニ因リ消滅シタル場合ニ於テ埋立ヲ爲スノ權利及埋立規則又ハ許可條件ニ依リ生シタル權利義務ノ歸屬ニ關シ何等ノ規定無之候處今般其ノ權利義務ハ合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ成立シタル會社之ヲ承繼スルト同時ニ其ノ會社ヲ以テ埋立ノ許可ヲ受ケタルモノト看做スコトニ決定相成候條爾今右ニ該當スルモノアルトキハ合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ成立シタル會社ヲシテ其ノ都度速ニ合併ニ關スル登記ノ謄本ヲ添ヘ其ノ旨届出テシムルコトニ御取計相成度及通牒候也

●河川ノ敷地又ハ堤防ニ於ケル植物ノ栽植及取締ニ關スル件

大正四年十二月一日
土第九九七號第一部長通牒

各郡守宛

河川敷地又ハ堤防ニ於ケル植物栽植ノ取締及河川取締規則發布前許可ヲ受ケタル者ノ權利ニ關スル件別紙ノ通リ定メタルニ付テハ之ニ準據シ取扱相成度此段及通牒候也

記

一、河川ノ敷地又ハ堤防ニ於ケル植物ノ栽植ニシテ河川又ハ堤防ノ保全ノ爲ニスルモノニ在リテハ河川取締規則第二條ニ依リ道長官ノ許可ヲ受ケシメ農作物其ノ他ノ植物ノ栽植ニシテ個人ノ利益ノ爲ノミニ之ヲ利用セントスルモノハ河川又ハ堤防ノ占用ト認メ同則第一條第四號ニ依リ大正三年四月本府告示第百五十一號ニヨル河川、朝鮮總督其ノ他ノ河川ニ在リテハ道長官ノ許可ヲ受ケシメラルヽコト

二、河川取締規則施行前許可ヲ受ケシテ同規則第一條ノ行爲ヲ爲シタルモノハ同規則ニ依リ嚴重ニ之カ取締ヲ爲シ治水又ハ水利上支障アルモノニ對シテハ道ニ報告ノコト

●指定河川ニ於ケル出願事項ヲ道長官ニ於テ專決施行方ノ件

大正五年六月八日
內訓第十一號

朝鮮總督府告示第一三四號指定河川ニ於ケル左記事項ノ處分ハ朝鮮總督ノ名ヲ以テ道長官ニ於テ專決施行スヘシ但シ河身若ハ水利ニ著シキ影響ヲ及ホスヘキモノハ此ノ限ニ在ラス

記

一、農鑛業用ノ水車及輕微ナル引水又ハ排水ノ設備

二、河川ノ敷地、流水又ハ堤防ノ一年以內使用

●指定河川ニ於ケル道長官專決事項ニ關スル件

大正七年七月三日
土第一九〇三號土木局長通牒

長官宛

大正五年六月內訓第一一號指定河川ニ於ケル道長官專決事項左記第一號ノ農事中ニハ精米及製粉業等ノ類ヲモ包含スルモノト解釋シ貴官限處

〔忠南例〕

理相成可然候條右ニ御了知相成度此段及通牒候也

●河川取締ニ關スル件

大正八年十二月二十二日
土第三二五二號土木部長通牒

知事宛

河川取締規則第一條ニ依ル處分ニ關シテハ大正三年五月官通牒第一九六號通牒ノ次第モ有之候處爾今水力電氣事業ト相關聯スルモノニ在リテハ凡テ關係書類ヲ添付シ豫メ經伺相成度依命此段及通牒候也

●河川敷占用ニ關スル件

大正十年四月十一日
土第四七四號內務部長通牒

各郡守宛

河川敷ノ利用ニ關シテハ治水上特ニ愼重ノ調査ヲ行ヒ其ノ取締ヲ嚴ニスヘキコトヲ屢々指示シアルニモ拘ハラス往々許可ヲ得スシテ築堤ヲ行ヒ河川敷ノ冒耕ヲナスモノ有之爲ニ水流ヲ阻止シ或ハ水流方向ヲ變シ附近ノ土地ニ被害ヲ與ヘ紛議ヲ釀スコト尠カラス依ツテ之等ハ發見次第相當處分セラルヘキモノニ付郡ニ於テモ今後一層取締ヲ嚴ニシ反則者ヲ未前ニ防クト共ニ一方利用差支ナシト被認個所ハ所定ノ手續ヲ行ヒ許可ヲ得セシメラレ度尙又從來官有河川敷冒耕地ニ對シ課稅地トシテ登錄セラレタル爲道廳ノ注意ニ依リ取消サレタル向モ有之候條如斯取扱ヲ爲サヽル樣御注意相成度依命通牒候也

追テ河川敷占用ノ出願ニ際シテハ利用地求積圖ノ外一般地形圖ヲ添付スルコトヽ相成居候ニ拘ラス既願ノ分ハ多ク一局部ノ圖面ノミヲ添付シアリ爲ニ審査ニ支障アルヲ以テ爾後一般地形圖ヲ添付セシメラレ度尙河川敷占用願書ハ樣式一定セスシテ取扱ニ不便不尠ニ付今後ハ左記ノ樣式ニ依リ出願セシメラレ度申添候也

記

河川敷占用願

一、河川所在地
一、河川名
一、占用面積
一、占用ノ目的
一、占用期間

有河川敷占用致度候ニ付御許可相成度河川取締規則第三條ニ規定スル設計書及圖面相添ヘ此段奉願候也

年　月　日　住所
出願者　氏　名

忠淸南道知事殿

（但シ指定河川ハ朝鮮總督宛）

〔忠南例〕

●河川取締規則ニ依ル出願ニ關スル件

大正十年十月二十一日
土第一三一五號內務部長通牒

各郡守宛

首題ニ關シ向後出願アリタルトキハ左記ノ通御取扱相成度依命此段及通牒候也

記

一、從來河川、國有未墾地若ハ官有財產等ノ名目ニヨリ占用、使用、貸付方等出願セルコトアル土地ニシテ何等カノ理由ニ依リ返戻セルコトアルモノナルニ於テハ夫ニ對シ當廳ヨリ最終ニ通知若ハ照會セル日附及番號ヲ記載通達ノコト

二、初メテノ出願ナルトキハ許否ニ關シ貴官ノ意見ヲ具シ進達ノコト

三、從來純然河川敷地ノ使用ナルニモ不拘、國有未墾地トシテ出願スルモノ多シ之等ハ豫メ出願取扱ノ際充分注意ノコト

●河川取締規則及地稅令施行規則適用ニ關スル件

大正十年十一月二十四日土第一三二七號内務部長財務部長通牒
各郡守宛

頃者河川敷地ヲ無許可ニテ開墾シ之ヲ地稅令施行規則第十六條第一項第一號ニ依ル課稅地トシテ申告スル者有之ヲ受理シテ土地臺帳ニ登錄相成候向有之趣ノ處河川敷地ハ河川取締規則ニ依リ許可ヲ得ルニアラサレハ慢リニ占用開墾シ得サル儀ニ付斯ル場合ニハ課稅地成申告ヲ受理セス河川取締規則ニ依リ夫々御處理相成度此段依命及通牒候也

追テ本文違法ノ申告ニ依リ土地臺帳ニ登錄セル土地有之候得者此際抹消削除相成度申添候

記

問一、河川ニ於テ一定ノ期間及區域ヲ限リ氷雪ヲ採取スルモノニ對シテハ之ヲ河川取締規則第一條第一項第四號ニ所謂流水ヲ占用スルモノトシ取扱フヘキモノナリヤ

答、大正十年十二月三日附土第九五二號ヲ以テ御照會相成候首題ノ件貴見ノ通ト存候ニ付及回答候也

追テ右ニ依ル占用料金ハ河川ノ敷地又ハ流水ノ占用面積ヲ標準トシ算定スヘキ義ト御了知相成度爲念申添候

●土石採取ニ關スル件

大正十年十一月二十一日
土第一九七〇號知事照會

南滿洲鐵道株式會社工事用土石砂利採取出願ニ關シ朝鮮内鐵道工事ニ使用スルモノニアリテハ料金ヲ徵セサルコトニ處理可致旨御通牒相成居候處右ニ關シ左記ノ點疑義ニ亙リ候ニ付御指示相成度此段及照會候也

記

一、私設鐵道會社ノ出願ニ就テモ同シク鐵道工事ニ使用スルモノハ無料採取許可可然哉

二、鐵道工事用ニ供スルモノナルモ工事請負人ヨリ願出テタル場合ハ料金ヲ徵收スヘキモノナルヤ

大正十年十二月二日
土第一九七〇號土木部長回答

大正十年十一月二十一日附忠南土第一九七〇號ヲ以テ御照會相成候首題ノ件南滿洲鐵道株式會社以外ノ者ノ出願ニ對シテハ其ノ事業カ公益ノ爲ニスル場合ヲ除クノ外總テ料金ヲ徵收スルコトニ御處理相成度及回答候也

●土石採取ニ關スル件

大正七年十一月十二日
土第三〇五〇號土木局長通牒
長官宛

南滿洲鐵道株式會社ヨリ河川又ハ港灣内ニ於テ土石砂利採取ノ出願ニ際シ往々料金ヲ徵スル向有之趣ニ候處朝鮮内鐵道工事ニ使用スルモノニアリテハ料金ヲ徵收セサルコトニ處理相成度爲念此段及通牒候也

●出水報告方ノ件

大正五年五月一日
土第一〇六號第一部長通牒
燕岐郡守宛

本年一月二十八日付土第一〇六號ヲ以テ鳥川ノ出水六尺以上ニ達シタルトキハ報告相成度旨及通牒置候處自今電報又ハ電話ヲ以テ報告相成度及通牒候也

●出水報告方ノ件

大正五年五月一日
土第四六九號第一部長通牒
論山郡守宛

客年八月二十四日土第六八二號ヲ以テ量水標ヲ建設シタル河川ノ出水六尺以上ニ達シタルトキハ報告相成度旨及通牒置候處自今電報又ハ電話ヲ以テ報告相成度及通牒候也

●量水位報告ニ關スル件

大正六年八月十五日
土第一〇二八號第一部長通牒
大田郡守宛

大田川橋右岸第二輿除杭ヘ設置シタル量水標水位五尺ニ達セハ其ノ都度報告相成儀ト御承知相成度此段及通牒候也

第四章　雜

●市街地ニ於ケル協議團體組織方ノ件

大正四年七月二十四日訓第九號

市街地ニ於ケル土工其ノ他公共的事業（教育衞生消防ニ關スル事業ニシテ國費又ハ地方費ノ所管ニ屬セサルヲ除ク）ニシテ國費又ハ地方費ノ所管ニ屬スルモ緊急ノ必要アリテ國費、地方費ノ施設ヲ待ツコト能ハサル事項ヲ處理セシムル爲左記各項ニ依リ其ノ地住民ヲシテ協議團體ヲ組織セシムル樣措置スヘシ

記

一　協議團體ノ名稱ハ隨意ナルモ可成（「何地」協議會）ト稱セシムルコト

二　協議團體ノ規約ハ別紙規約準則ニ據ラシメ道長官ノ承認ヲ受ケシムルコト

三　協議團體ヲ設置セシムルヲ要スル市街地ハ別ニ指定スル所ニ依ルコト

四　會長副會長ノ内執レカ一名ハ朝鮮人ヲ擧ケシムルコト

五　書記ハ事情ノ許ス限リ學校組合之ハ衞生組合ノ書記ヲシテ之ヲ兼務セシメ萬已ムヲ得サル場合ノ外專任ノ書記ヲ置カサルコトヽシ以テ經費ヲ節約セシムルコト

「何」協議會規約準則

〔忠南例〕

第一條　本會ハ「何地」住民ノ協議ニ依リ之ヲ組織シ所轄道長官及郡守ノ指揮監督ヲ承ケ「何地」ニ於ケル公共的事業（教育衞生消防ニ關スル事業ヲ除クニシテ國又ハ地方費ニ於テ施設セサル事項又ハ緊急ノ必要アリテ其ノ施設ヲ待ツコト能ハサル事項ヲ協議處理シ住民共同ノ福利ヲ增進スルヲ以テ目的トス

第二條　本會ハ「何地」協議會ト稱ス

第三條　本會ノ區域ハ何郡何面（又ハ「及何面ノ内何町（又ハ何里）ノ區域トス

第四條　本會ノ事務所ハ之ヲ何郡何面何町（又ハ「何里」）何丁目何番地（「又ハ何統何戶」）ニ置ク

第五條　本會ノ會員タル者ハ本會ノ區域内ニ住所、居所ヲ有シ獨立ノ生計ヲ營ム者及區域内ニ營業所ヲ有スル法人、並本會ノ區域外ニ居住シ區域内ニ土地又ハ建物ヲ所有スル者（法人ヲ含ム）トス

本會ノ會員ハ協議委員會ノ議決シタル協議費ヲ負擔スル義務アルモノトス

第六條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一會長　一名
二副會長　一名

三　協議委員　若干名
四　書記　若干名

第七條　會長副會長及協議委員ハ會員ノ協議ニ依リ之ヲ選定シ書記ハ會長之ヲ任免ス

第八條　會長、副會長、協議委員ハ名譽職トシ其ノ任期ハ各三箇年トス但シ再選ヲ妨ケサルモノトス

第九條　會長ハ本會ヲ代表シ會務ヲ統轄ス副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

協議委員ハ本會ニ關スル諸般ノ事項ヲ議決シ會長ノ諮詢ニ答ヘ又ハ會長ニ意見ヲ陳フルモノトス

第十條　書記ハ會長副會長ノ指揮監督ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第十一條　本會ニ協議委員會ヲ置ク

協議委員會ハ會長ノ必要ト認ムルトキ又ハ會員三分ノ一以上ヨリ請求アリタルトキ會長之ヲ招集ス但シ會長ハ協議委員會ニ附議セムトスル事項輕易ナリト認ムルトキハ會議ヲ開カス書面ヲ以テ協議委員ノ意見ヲ聞キ其ノ三分ノ二以上ノ同意アルトキハ之ヲ以テ協議委員會ノ議決ト看做スコトヲ得

協議委員會ノ議長ハ會長之ニ膺リ會議ハ議長之ヲ開閉ス

第十二條　協議委員會ノ議決スヘキ事件ノ概目左ノ如シ

一、歲入歲出豫算ヲ定ムル事
二、歲入歲出決算ヲ認定スル事
三、協議費及夫役現品ノ醵出額竝其ノ負擔率、等級ノ決定ニ關スル事
四、本會ノ施行スヘキ事業ノ種類及其ノ計畫ニ關スル事

第十三條　左ニ揭クル事項ハ豫メ道長官ノ承認ヲ受クルニアラサレハ之ヲ執行スルコトヲ得ス

一、規約ノ變更
二、歲入歲出豫算（追加更正ヲ含ム）
三、本會ノ施行スヘキ事業ノ種類、計畫竝其ノ變更

第十四條　本會ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

第十五條　本會ノ經費ハ會員ノ醵出スル協議費寄附金及國庫又ハ地方費ノ補助金ヲ以テ之ヲ支辨スルモノトス

第十六條　協議費ハ戶別割（及地稅割）トス

戶別割ハ會員ノ資產、所得及生計ノ程度ニ依リ（地稅割ハ會員ノ所有スル土地ノ地稅ヲ標準トシ）每年度協議委員會ノ議決ヲ經テ其ノ割當額ヲ定メ納入通知書ニ依リ之ヲ會員ニ通知ス但シ區域內ニ住所又ハ主タル營業所ヲ有セサル會員ノ醵出額ハ其ノ區域內ニ於ケル資產、所得ノミヲ標準トシテ之ヲ算定スルモノトス

前項協議委員會ニ於ケル協議費醵出額議決後新ニ會員トナリタル者ノ醵出額ハ協議委員會ノ議決シタル他會員ノ醵出額ニ準シ會長之ヲ決定ス

第十七條　協議費ハ左ノ四期ニ分チ每期初月ノ末日限リ醵出スルモノトス（又ハ月割ヲ以テ每月末日限リ醵出スルモノトス）

第一期　四月一日ヨリ六月三十日
第二期　七月一日ヨリ九月三十日
第三期　十月一日ヨリ十二月三十一日
第四期　一月一日ヨリ三月三十一日

●直營工事施行吏員心得

明治四十年九月二十一日伺定

第一條　直營工事施行ノ命ヲ承ケタル者ハ先ツ設計書仕樣書及圖面ヲ實地ニ對照シ丁張其ノ他施行ノ準備ヲ爲スヘシ

〔忠南例〕

第二條　工事施行ノ準備ヲ爲スニ當リ若シ誤謬違算ヲ發見シ又ハ現場ノ變更等ニ依リ設計ノ變更ヲ要スルトキハ直ニ其ノ事由ヲ詳記シ設計ノ變更ヲ請フヘシ其ノ工事著手ノ後是等ノ事由ヲ生シ又ハ豫算金額ノ增額ヲ要スルトキ亦同シ

但シ設計變更ノ確定スル迄工事ヲ中止スヘシ

第三條　工事ハ必ス竣功期限迄ニ完成スヘシ若シ已ムヲ得ス延期ヲ要スルトキハ其ノ事由ヲ具シ豫メ認可ヲ請フヘシ

第四條　特ニ許可ヲ受ケタル場合ヲ除ク外出張先ニ於テ人夫又ハ材料ノ供給ヲ請負ハシムヘカラス

第五條　一工事每ニ左ノ帳簿ヲ作リ置キ歸廳ノトキ復命書ト共ニ之ヲ提出スヘシ

一、日誌　晴雨其ノ他直接工事ニ關係アル事故ヲ簡明ニ記載スヘシ
一、人夫及材料使用簿　每日使用セシ人夫材料ヲ工種每ニ區別シ月計ヲ付スヘシ

第六條　工事完成セシトキハ出來形明細書及工費決算仕譯書ヲ作リ復命書ト共ニ之ヲ提出スヘシ

●工事請負內譯書中總括表以外ノ單價及金額省略ノ件

大正七年八月二十三日伺定

從來請負契約書ニ添付セシムル內譯書ハ單價及金額ヲ記入セシメ來リ候處往々不適當ノ單價ヲ記入シ照覆ヲ重ヌルコト多ク處理上不便尠カラス且ツ本府ニ於テモ單ニ總括表ノミニ單價及金額ヲ記載セシメ處理ノ趣ニ付委託工事施行ノ關係モ有之旁本府ト同一ノ取扱ニ致度候條御後左記ノ通處理致可然哉相伺候也

記

一、請負契約書ニ添付スヘキ內譯書ノ單價及金額ハ總括表ニノミ記載セシメ其ノ他ノ單價及金額ハ省略スルコト但シ總括表ノナキ場合ハ記載セシムルコト
一、設計變更ノ場合ハ原設計額請負額及變更設計額ニ依リ變更請負額算定方ハ前乘後除トス

變更請負額＝$\frac{變更設計額 \times 原請負額}{原設計額}$

一、請負工費內渡金ニ對スル調査方法ハ原設計額ト請負額トノ差額割合ニ依リ按分シ算出スルモノトス

●土木局主管傭人給料ニ關スル件

大正八年五月二日決定

土木局主管ノ工事傭人ハ孰レモ特別ノ技能ヲ要シ且ツ勞務モ劇甚ナルニ依リ其ノ給料支給ノ方法竝昇給等ハ傭人規程ニ依ル一般傭人ニ準シ難ク又同局主管船舶乘組員ノ給料支給ニ付テモ亦同樣ノ狀況ニ付別紙土木局長申出モ有之從來ノ特別決定ヲ左ノ通改正相成可然哉仰高裁

記

一、工事ニ從事スル傭人ノ給金ハ其ノ職務ニ依リ四拾錢以上一圓五拾錢以內ノ範圍ニ於テ基格金ヲ定メ步格ヲ以テ之ヲ支給ス其ノ基格給金ハ土木局長之ヲ定ム
二、前項ニ依リ支給ヲ受クル者ノ增給率ハ給金步格ノ百分ノ五以內トス但シ昇給停年ハ朝鮮總督府及所屬官署傭人規程第二十六條第二項ニ據ラサルコトヲ得
三、工事傭人及土木局主管船舶乘組員ノ給料加給減給ハ別記加給減給規程ニ依ル但シ請負工事ノ監督ニ從事スル傭人ニハ第三條、第四條第二項及第七條ノ規定ヲ適用セス

〔忠南例〕

●傭人給料ニ關スル件

大正九年一月十九日
土第一六七號土木部長通牒
知事宛

本府主管一、二等道路指定河川護岸等ノ改修築修繕（災害復舊ヲ含ム）委託工事ニ從事スル傭人給料ニ關シテハ別紙大正八年五月二十三日第一五一九號土木部出張所長宛通牒寫ノ通同月二日決定土木部主管傭人給料ニ關スル規定ニ據リ取扱相成差支無之候條此段及通牒候也

●地方費支辨吏員ニ對シ朝鮮總督府及所屬官署賄料支給規程準用ニ關スル件

大正十一年一月十日決裁

錦江橋架設以來出水毎ニ船橋ノ開放、繫留等ノ作業指導監督ノ爲地方費支辨吏員ヲシテ時間外勤務ヲ爲サシメタル時ニ於テ該勤務手當ヲ支給スルノ必要ヲ認メ別紙寫ノ通其筋ヘ稟議候處右ハ勤務手當トシテ支給スヘキモノニ無之賄料ヲ支給スルコトニ取扱相成度旨回答ノ次第有之候ニ付地方費吏員如上ノ場合ニ於テハ朝鮮總督府及所屬官署賄料支給規程第一條第二條及第三條ヲ準用シ可然哉相伺候

（別紙寫略ス）

右伺之通大正十一年一月十日決裁

（參照）

朝鮮總督府及所屬官署賄料支給規程

第一條　朝鮮總督府及所屬官署職員宿直又ハ徹夜勤務ヲナシタルトキハ本規程ニ依リ賄料ヲ支給ス

第二條　賄料ハ之ヲ別表ニ依リ支給ス

第三條　居殘勤務ヲナシ午後八時乃至午後十二時ノ間ニ至リタルモノニハ定額ノ半額ニ相當スル賄料ヲ支給ス

別表

等級	甲額	乙額
奏任官及同相當官ノ待遇ヲ受クル者	一圓	八拾錢
判任官及同相當官ノ待遇ヲ受クル者	八拾錢	六拾錢
雇員	六拾錢	四拾錢
傭人	四拾錢	貳拾五錢

備考

道廳及府所在各廳在勤者ニハ甲額ヲ支給シ其ノ他ハ總テ乙額ヲ支給ス

錦江橋監守人服務心得

第一條　監守人ハ錦江橋監視所ニ於テ勤務シ土木課長ノ指揮監督ヲ受ケ常ニ周到ナル注意ヲ以テ巡視シ以下各條ヲ遵守スヘシ

第二條　監守人ノ常時服務事項ノ概目左ノ如シ

一、船舶及筏通行ノ爲メ開閉ノ際ハ周到ナル注意ヲナスヘシ

通行後ハ直ニ復舊ノ上附屬工作物ヲ整理スヘシ

二、船體各部ニ注意シ漏水又ハ溜水ヲ生シタルトキハ直ニ應急手當ヲ爲シ水替其ノ他必要ナル修理ヲ施行スヘシ

三、常ニ土石及除雪等橋面ノ掃除ニ注意シ流木塵芥等橋脚又ハ繫船杭ニ集積セサル樣流下セシムヘシ

四、前後取付道路面ニ不陸ヲ生シ又ハ法崩及側溝ノ埋沒シタルトキハ直ニ之カ修理ヲ爲スヘシ

五、其ノ他土木課長ヨリ指示シタル事項ヲ遵行スヘシ

第三條　豪雨出水四尺以上ニ達シ若ハ流水流木ノ船橋ニ危險ヲ及ホスノ虞アリト認メタルトキハ直ニ土木課長ニ報告スルト同時ニ船橋解放ノ爲必要ナル器具ヲ現場ニ準備シ被害豫防ノ途ヲ講スヘシ

【忠南例】

第四條　前條ニ依リ船體ヲ解放シタルトキハ之ニ適當ナル保護ヲ施シ同時ニ渡船ニ依ル通行ヲ開始シ直ニ其ノ狀況ヲ土木課長及公州警察署長ニ報告スヘシ

第五條　非常災害又ハ其ノ他ニ因ル工作物ノ被害ニ付テハ遲滯ナク其ノ狀況ヲ土木課長ニ報告シ同時ニ公州警察署長及公州郡守ニ通報シ其ノ援助ヲ求メ被害防禦竝應急手當ヲ施行スヘシ

第六條　監守人ハ病氣其ノ他已ムヲ得サル事故ニ因リ勤務ニ服スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ具シ届出ツヘシ但シ缺勤七日以上ニ亙ルトキハ代理人任命ヲ申請スヘシ

第七條　監守所ニ監守日誌人夫使役明細簿及物品保管臺帳ヲ備付クヘシ

第八條　監守日誌ニハ其ノ日ニ於ケル作業工程前項但書ノ缺勤ニシテ病氣ニ因ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

天候氣溫出水及結氷ノ狀況量水標高、船橋開閉度數竝出役人夫數其ノ他必要ナル事項ヲ記載スヘシ

第九條　人夫使役明細簿ニハ其ノ日ニ於ケル船橋開閉及其ノ他用務ノ爲メ使役シタル人夫數並其ノ勞役時間等ヲ記載シ每月十日及臨時必要ノ期ニ於テ之ヲ土木課長ニ報告シ點檢ヲ受クヘシ

第十條　保管臺帳ニハ其ノ保管スル物品ヲ登記シ常ニ物品ヲ整理シ其ノ保管ノ責ニ任スヘシ

第十一條　監守人ハ每月勤務報告書ヲ作製シ之ニ其ノ月內ニ於ケル作業及船橋開閉ノ度數並之ニ要シタル人夫數其ノ他必要ナル事項ヲ記載シ翌月五日迄ニ土木課長ニ提出スヘシ

第十二條　監守人ニハ必要ナル諸器具及制服ヲ貸與ス

第十三條　監守人ハ服務中必ス所定ノ制服ヲ著用スヘシ

第十四條　監守人故意又ハ重大ナル過失ニ因リ貸與品ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ之カ賠償若ハ修補ノ責ニ任スルモノトス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

【忠南例】

勤務報告書

月日	天候	氣溫	水量	開閉時間	度數	使役人夫	摘　要
							作業狀況及其ノ他必要ナル事項ヲ記載ス

人夫使役明細簿

月日	出役時間	一日賃金	出役賃金	出役者氏名

物品臺帳

第九編　會計

年月日	受入	拂出	毀損亡失返納	保管現在高

●大正十一年度國庫補助要求ニ關ルス件

大正十年四月六日
土第四七九號土木部長通牒

知事宛

地方土木費ノ國庫補助ヲ受ケントスルトキハ地方土木費國庫補助規程ニ依リ前年度四月末迄ニ稟申可相成儀ニ候處期限經過後要求ノモノ有之豫算要求上支障少カラス候ニ付大正十一年度ニ於テ新規計畫又ハ既定事業ノ追加ヲ要スルモノハ必ス本年五月十日迄ニ申請相成度萬一期限ヲ經過スルモノハ乍遺憾要求ヲ見合スコトニ相成ヤモ難計候間御含相成度此段及通牒候也

第九編　會計

第一章　豫算

●歲出豫算經理方委任ノ件

大正八年十二月十五日
會第四二七三號第一部長通牒

慈惠醫院、種苗場、農業學校、
蠶業取締所、原蠶種製造所長宛

貴廳（所）ノ歲出豫算ニ對スル物件ノ購買傭人ノ命免其ノ他一切ノ經理ハ從來本道ニ於テ執行シ居リ候處衞今貴官（職）ニ委任相成候條監督ヲ嚴正ニシ不都合ヲ生セサル樣深ク御注意相成度依命及通牒候也

第二章　出納

●地方費取扱ニ係ル收入官吏歲入歲出外現金出納官吏任命ノ件

明治四十四年八月一日
訓第百八號

地方費取扱ニ係ル收入官吏、歲入歲出外現金出納官吏ハ別ニ辭令ヲ用ヰサルモ左記官吏之カ任命ヲ受ケタルモノト心得其ノ事務ヲ取扱フヘシ

一、收入官吏ハ政府ニ屬スル收入官吏ノ職務ニ在ル者

二、歲入歲出外現金出納官吏ハ政府ニ屬スル歲入歲出外現金出納官吏ノ職務ニ在ル者

●出納官吏其ノ他命免ノ件

大正二年七月三日
會第一〇四四號長官々房事務取扱
內務部長財務部長通牒

各郡守宛

會計事務章程第四條各號ノ官吏ハ自今貴官ニ於テ左記各項ニ依リ之ヲ命免シ第一號又ハ第五號ノ官吏ヲ命免シタルトキハ卽日別紙樣式ノ報告書作成本道ニ送付相成度依命及通牒候也

追テ第三號及第四號ノ官吏ハ財務係ハ內地人又ハ鮮人書記中ノ一人ニ隨意任命相成可然候

記

一、第一號及第五號ノ官吏ハ財務係內地人書記
但シ財務係ニ內地人書記二人在勤スル郡ニ在リテハ其ノ首席者內地人書記在勤セサル郡ニ在リテハ首席朝鮮人書記

二、第二號ノ官吏ハ庶務係內地人書記但シ庶務係ニ內地人書記二人在勤スル郡ニ在リテハ其ノ首席者內地人書記在勤セサル郡ニ在リテハ首席朝鮮人書記

年　月　日

郡守名

朝鮮總督宛

〔忠南例〕

報告

官吏命免ノ件

發令年月日	事由	故官氏名
何年何月何日	收入官吏兼歲入歲出外現金出納官吏物品會計官吏保管物取扱主任ヲ免ス	朝鮮總督府郡書記　某
何年何月何日	收入官吏兼歲入歲出外現金出納官吏物品會計官吏保管物取扱主任ヲ命ス	同　何某

備考

本報告書ハ正副二通差付スルコト

●出納官吏命免報告ニ關スル件

大正八年十一月二十二日
會第三八七三號第一部長通牒
各警察署長宛

會計事務章程第十二條第一號ノ官吏命免又ハ交替ノ場合ニ於ケル報告ハ自今左記樣式ニ依リ道經由報告相成度依命及通牒候也
追テ本年十月以降任免報告未提出ノ向ハ此際報告相成度申添候

記

出納官吏命免（交替）報告書

任命年月日	任免職別	任免事由	官氏名
大正八年何月何日	何々署何々官吏付	轉勤ニ付（退職ニ付）免	朝鮮總督府道警部 何某
同	何々官吏	同	同

右及報告候也

何々署長

總督宛

備考　正副二通提出ノコト

●會計官吏任免ノ件

大正九年四月一日
會第一七〇一號第一部長通牒
種苗場長、農業學校長、
原蠶種製造所長、蠶業取締所長宛

貴廳ニ於ケル會計官吏（收入官吏、歲入歲出外現金出納官吏及物品會計官吏）ノ任免ハ自今貴官ニ委任相成候條異動發令ノ都度其ノ旨報告相成度依命及通牒候也

●道金庫規程

大正九年十月一日
訓令第三十九號

改正　大正一一年四月訓令第一六號

第一條　道金庫ノ保管スル現金ハ道地方費ノ歲入歲出ニ屬スルモノニ限リ支出ニ妨ナキ程度ニ於テ道金庫事務取扱ヲ爲ス銀行之ヲ運用スルコトヲ得
但シ契約ノ定ムル所ニ依リ利子ヲ納ムヘシ

第二條　道金庫ノ休日及執務時間左ノ如シ
休日　日曜日、祭日、祝日及十二月二十八日ヨリ翌年一月三日迄
執務時間　午前九時ヨリ午後三時迄
但シ土曜日ハ午後一時限トス

第三條　道金庫ハ照合ニ供スル爲關係各廳ニ於ケル出納ニ關係アル官吏又ハ吏員ニ道金庫及其ノ事務取扱主任者ノ印鑑ヲ提出シ同時ニ其ノ官吏又ハ吏員ノ印鑑ノ送付ヲ受クヘシ

第四條　道金庫ハ地方費賦課金收納郵便振替貯金特別口座ノ外京城郵便振替貯金口座ニ加入スヘシ

第五條　道地方費ノ歲入歲出ニ屬スル現金ノ出納ハ一般會計、特別會計ニ分チ年度毎ニ歲入歲出ヲ區分シ其ノ他ノ現金ノ出納ハ年度毎ニ區分整理スヘシ

第六條　道金庫ニ於テ現金納付書、納稅告知書、納入告知書、返納告知書又ハ拂込書ニ依リ現金ヲ領收シタルトキハ別符ノ領收證書及領收濟通知書ニ年月日ヲ記入シ道金庫及取扱主任者ノ印ヲ押捺シ領收證書ハ直ニ納入交付シ領收濟通知書ハ卽日歲入事務取扱廳又ハ支拂事務取扱廳ニ送付スヘシ

第七條　郵便振替貯金ニ依リ拂込ヲ受ケタルトキハ收納ノ手續ヲ爲シ地方費賦課金收納郵便振替貯金特別口座ニ在リテハ振替貯金拂込當

ルモノアルトキハ前項開庫時間外ト雖之カ取扱ヲ爲スヘシ

第八條　道金庫ハ毎月現金納入濟ノ現金納付書、納稅告知書、納入告知書、返納告知書、拂込書及每日支拂濟ノ道地方費歲入過誤納金拂戾命令書ヲ取纏メ帳簿ニ照合シ之ニ月計ヲ表記シテ保存スヘシ

第九條　道金庫ニ於テ道地方費歲入過誤納金拂戾命令又ハ支拂命令ニ依リ現金支拂ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ拂戾命令又ハ支拂命令ト引換ニ現金ヲ交付シ送金拂戾命令又ハ送金支拂命令ヲ受ケタルトキハ送達請求郵便爲替其ノ他ノ方法ヲ以テ債主ニ送金スヘシ
前項ノ支拂又ハ送金ヲ爲シタルトキハ其ノ拂戾命令書又ハ支拂命令書ニ支拂濟又ハ送金濟年月日ヲ記入シ道金庫印ヲ押捺シ道地方費歲入過誤納金拂戾ニ付テハ支拂濟通知書又ハ送金濟通知書ヲ當該歲入事務取扱廳ニ送付スヘシ

第十條　拂戾命令又ハ支拂命令左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ道金庫ハ其ノ支拂ヲ拒ムヘシ
一　拂戾命令案內又ハ仕拂命令案內ノ到達セサルトキ
二　通常拂戾命令又ハ通常支拂命令ト拂戾命令案內又ハ支拂命令案內ト符合セス又ハ汚損シ照合シ難キトキ
三　拂戾命令又ハ支拂命令ノ有效期間內鑑ト符合セサルトキ
四　金額ヲ表示スル數字ヲ一、二、三、十ノ文字ヲ以テ記載シタルトキ
五　改竄、塗抹、其ノ他變更ノ痕跡アルトキ
但シ金額ヲ除ク外更正ノ箇所ニ擔任者ノ證印アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十一條　拂戾命令又ハ支拂命令ノ有效期間內ニ現金支拂ノ請求ナキトキハ其ノ命令案內ニ「未請求」ノ印ヲ押捺シ拂戾命令案內ニ在リテハ歲入事務取扱廳ニ支拂命令案內ニ在リテハ支拂事務取扱廳ニ直ニ之ヲ還付スヘシ

第十二條　道金庫ハ每月現金交付濟ニ係ル通常支拂命令及送金支拂命令ヲ取纏メ帳簿ニ照合シ之ニ月計ヲ表記シテ保存スヘシ

第十三條　道金庫道地方費ニ屬スル歲入歲出外現金ノ寄托ヲ受ケタルトキハ保管證書ヲ交付スヘシ

第十四條　寄托金ノ拂戾請求ヲ受ケタルトキハ

印鑑ト照合ノ上保管證書ト引換ニ之ヲ交付指ヘシ但シ受入ノ際同種ノ通貨ヲ以テ支拂ヲ定スセラレタルモノハ其ノ指定ニ從ヒ支拂フヘシ

第十五條　道金庫ハ每日道地方費歲入歲出及其ノ現金殘高ヲ道知事ニ報告スヘシ

第十六條　道金庫ハ歲入金內譯簿歲出金內譯簿及寄托金內譯簿ヲ設ケ第五條ノ區分ニ依リ其ノ收支ヲ明ニスヘシ

第十七條　道金庫ハ每月道地方費取扱高報告書及歲入歲出外現金取扱高報告書ヲ調製シ翌月三日迄ニ道知事ニ提出スヘシ

第十八條　道金庫ハ每月道地方費收入金月計表ヲ調製シ翌月三日迄ニ之ヲ歲入事務取扱廳ニ送付スヘシ

第十九條　道金庫ハ道地方費ノ收入支出ニ要シタル郵便振替貯金受拂料金ヲ每年九月、三月ノ二期ニ取纏メ明細書ヲ添ヘ道知事ニ之ヲ請求スヘシ

第二十條　道金庫ニ於テ道地方費歲入歲出金ノ年度、科目、氏名又ハ歲入事務取扱廳口座ノ訂正請求ヲ受ケタルトキハ直ニ訂正ノ手續ヲ爲シ歲入事務取扱廳又ハ支拂事務取扱廳ニ訂正濟通知書ヲ送付スヘシ

〔忠南例〕

知票附屬乙號ニ京城郵便振替貯金口座ニ在リテハ振替貯金拂込通知票ノ餘白ニ領收月日ヲ記入シ歲入事務取扱廳又ハ支拂事務取扱廳ニ送付スヘシ

第八條　道金庫ハ每月現金納入濟ノ現金納付書、納稅告知書、納入告知書、返納告知書、拂込書及每日支拂濟ノ道地方費歲入過誤納金拂戾命令書ヲ取纏メ帳簿ニ照合シ之ニ月計ヲ表記シテ保存スヘシ

第九條　道金庫ニ於テ道地方費歲入過誤納金拂戾命令又ハ支拂命令ニ依リ現金支拂ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ拂戾命令又ハ支拂命令ト引換ニ現金ヲ交付シ送金拂戾命令又ハ送金支拂命令ヲ受ケタルトキハ送達請求郵便爲替其ノ他ノ方法ヲ以テ債主ニ送金スヘシ
前項ノ支拂又ハ送金ヲ爲シタルトキハ其ノ拂戾命令書又ハ支拂命令書ニ支拂濟又ハ送金濟年月日ヲ記入シ道金庫印ヲ押捺シ道地方費歲入過誤納金拂戾ニ付テハ支拂濟通知書又ハ送金濟通知書ヲ當該歲入事務取扱廳ニ送付スヘシ

第十條　拂戾命令又ハ支拂命令左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ道金庫ハ其ノ支拂ヲ拒ムヘシ
一　拂戾命令案內又ハ仕拂命令案內ノ到達セ

第二十一條　道金庫ノ振込其ノ他ノ様式ハ第一號乃至第八號ニ依ル

第二十二條　道地方費及歳入歳出外現金出納ニ關スル帳簿及關係書類ハ年度經過後五ケ年間之ヲ保存スヘシ

前項ノ保存簿書ヲ廢棄セムトスルトキハ道知事ノ承認ヲ受クヘシ

附則

本令ハ大正九年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號様式

「何」年度道地方費歳入歳出及現金殘高日報

前日殘高		歳入金		歳出金		本日殘高		備考

右　年　月　日

忠清南道金庫㊞

第二號様式

「何」年度道地方費歳入金内譯簿

歳入取扱廳　　經常部臨時部　　款

年月日		摘要	證書番號	納入氏名	金額		累計	

備考

一、本簿ハ一般會計特別會計及年度毎ニ別冊トナスコト

〔次頁ニ續ク〕

〔前頁ヨリ續ク〕

二、歳入取扱廳及經常部臨時部款毎ニ口座ヲ區分スルコト

三、毎月末ニ月計ヲ附スルコト

四、過誤納金ノ拂戻ハ朱書スルコト

第三號様式

「何」年度道地方費歳出金内譯簿

經常部臨時部　　款

年月日		摘要	證書番號	領收人氏名	金額		累計	

備考

一、本簿ハ一般會計特別會計及年度毎ニ別冊トナスコト

二、經常部臨時部款毎ニ區分スルコト

三、毎月末ニ月計ヲ付スルコト

第四號様式

寄託金内譯簿

年月日	保管證書番號	摘要	寄託者	寄託ノ事由	受取人	取扱官廳	受	拂	殘	備考

第五號樣式

「何」年度道地方費取扱高報告書

年　　月　　分

區別	收入						支拂						月末現在額		未拂額	
	前月迄收入		本月收入		累計		前月迄支拂		本月支拂		累計					

右　　年　　月　　日　　忠清南道金庫㊞

備考

一、區別欄ニハ經常部、臨時部款ノ別ヲ揭クルコト

二、過誤納拂戻金ハ本月收入欄ニ外書(朱書)シ累計ニ於テ差引スルコト

第六號樣式

地方費歲入歲出外現金取扱報告書

〔白紙〕

〔白紙〕

年　　月　　分

摘要	受		拂		殘		備考
計							

右　　年　　月　　日　　忠清南道金庫㊞

第七號樣式

道地方費收入金月計表

忠清南道　　「何」年度　　「何」年「何」月分

歲入取扱廳	經常部臨時部	款	金額						備考
			收入		過誤納拂戻		差引		

右　　年　　月　　日　　忠清南道金庫㊞

第八號樣式

道地方費歲入歲出年度其ノ他訂正濟報告書

納人、納入月日又ハ支拂命令番號	訂正事項	訂正月日	備考
			年月日第號訂正請求ノ分

右　　年　　月　　日　　忠清南道金庫㊞